

平成 2 9 年度 市民意識調査

報 告 書

平成 3 0 年 3 月

加 古 川 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収状況	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	2
1.	回答者の属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	家族構成	2
(4)	居住地域	3
(5)	居住年数	4
(6)	職業	4
(7)	通勤・通学先	5
(8)	通勤・通学の交通手段	5
(9)	結婚の経験	6
(10)	子どもの有無	6
(11)	子どもの年齢・人数	7
2.	定住意向	8
(1)	定住意向	8
(2)	転居したい理由	11
(3)	市内で希望する居住場所	15
(4)	市外で希望する居住場所	18
3.	市の施策に対する満足度・重要度	20
3-1	安心して暮らせるまちをめざして	25
3-2	心豊かに暮らせるまちをめざして	51
3-3	うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	73
3-4	にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	83
3-5	快適に暮らせるまちをめざして	97
3-6	まちづくりの進め方	125
4.	「防災」対策として地域等で取り組んでいること	132
5.	「防犯」対策として地域等で取り組んでいること	134
6.	家族等の介護状況	136
(1)	家族等の介護をしているか	136
(2)	介護の対象者	139
(3)	介護で困っていること	141

7. 介護について思うこと.....	144
8. 市政に関する情報の入手方法.....	146
9. 「広報かこがわ」に対する満足度.....	150
10. 「加古川市のホームページ」に対する満足度.....	153
11. 「棋士のまち 加古川」の認知度.....	156
12. 「棋士のまち 加古川」に関する取組の認知度.....	159
13. 市民活動の参加状況.....	161
14. 市民活動の参加意向.....	164
15. 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度.....	167
16. 加古川産を意識した農畜産物の購入状況.....	170
17. 自由意見.....	173
Ⅲ 総括	177
1. 全体考察.....	177
2. 経年比較.....	180

I 調査の概要

1 調査目的

加古川市後期総合基本計画（計画期間：平成28年度から平成32年度まで）に掲げた施策に対する市民の満足度と重要度などの意識を調査することにより、後期総合基本計画の進行管理を行うとともに、今後の施策展開に活用することを目的に実施した。

2 調査設計

調査対象：市内に在住する18歳以上の市民 3,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

調査方法：配布・回収とも郵送による

調査期間：平成29年(2017年)11月17日（金）から平成29年(2017年)11月30日（木）まで

調査項目：・回答者の属性

- ・定住意向について
- ・加古川市が取り組んでいる施策について
- ・「防災」及び「防犯」対策への取組について
- ・家族等の介護の状況について
- ・市政等に関する情報について
- ・市民活動の参加状況について
- ・その他について
- ・自由意見

3 回収状況

配布数	回収数	有効回答率
3,000人	1,380人	46.0%

4 報告書の見方

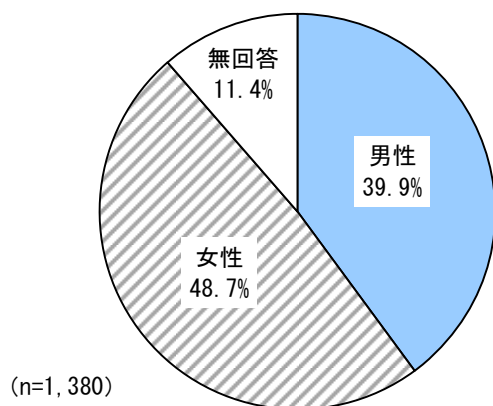
- ① 図表上の「n」は、設問に対する回答者数（number of case）のことである。
- ② 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出している。小数点以下第2位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- ③ 図表上の「MA%」（Multiple Answerの略）や「3LA%」（3 Limited Answerの略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」や「あてはまるもの3つまで」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- ④ 本文中にある前回調査とは「平成28年度調査」を指している。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

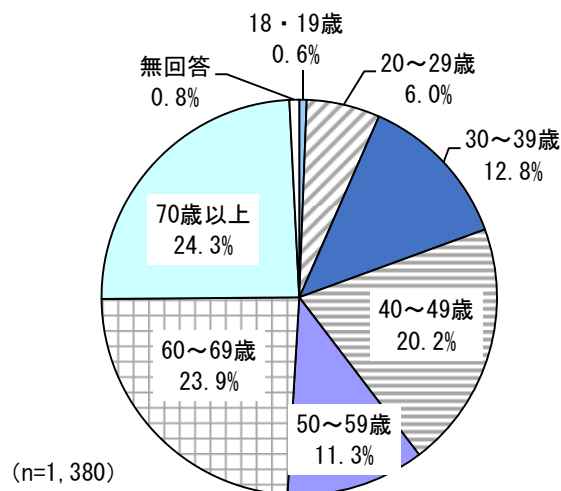
【図1-1 性別】



- 回答者の性別は、「男性」が39.9%、「女性」が48.7%となっている。(図1-1)

(2) 年齢

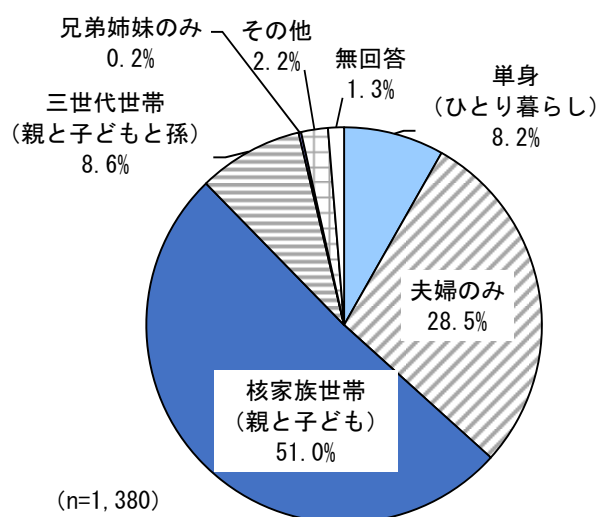
【図1-2 年齢】



- 回答者の年齢は、「70歳以上」が24.3%で最も多く、次いで「60～69歳」が23.9%、「40～49歳」が20.2%となっており、60歳以上が約5割を占めている。(図1-2)

(3) 家族構成

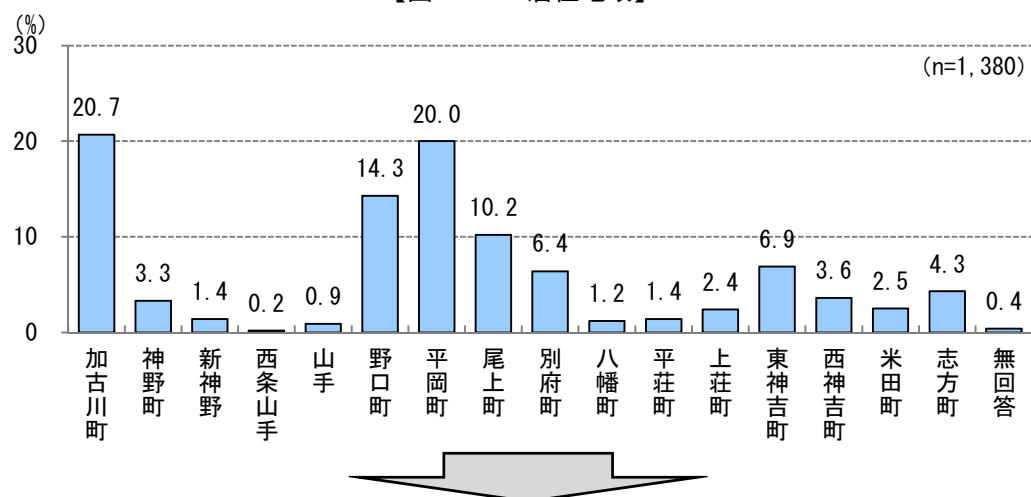
【図1-3 家族構成】



- 回答者の家族構成は、「核家族世帯 (親と子ども)」が51.0%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が28.5%、「三世代世帯 (親と子どもと孫)」が8.6%となっている。(図1-3)

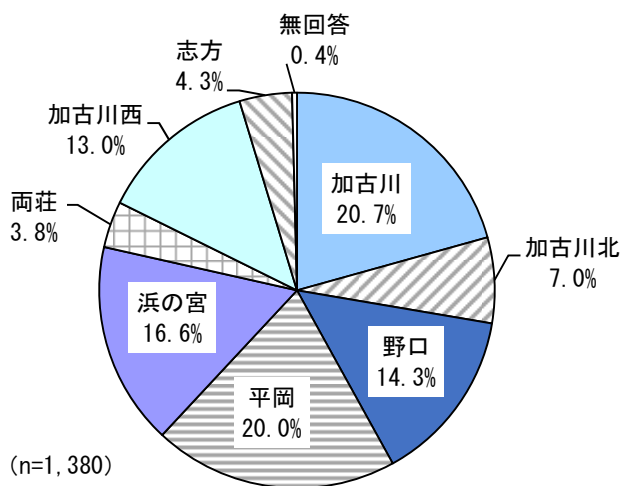
(4) 居住地域

【図1-4-1 居住地域】



【図1-4-2 居住地区】

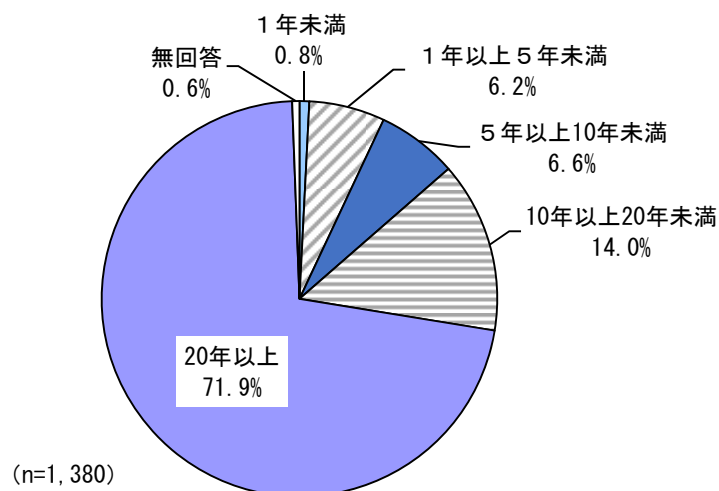
居住地区	町名等
加古川	加古川町
加古川北	神野町 新神野 西条山手 山手 八幡町
野口	野口町
平岡	平岡町
浜の宮	尾上町 別府町
両荘	平荘町 上荘町
加古川西	東神吉町 西神吉町 米田町
志方	志方町



- 回答者の居住地区は、「加古川」地区が20.7%で最も多く、次いで「平岡」地区が20.0%、「浜の宮」地区が16.6%となっている。(図1-4-2)

(5) 居住年数

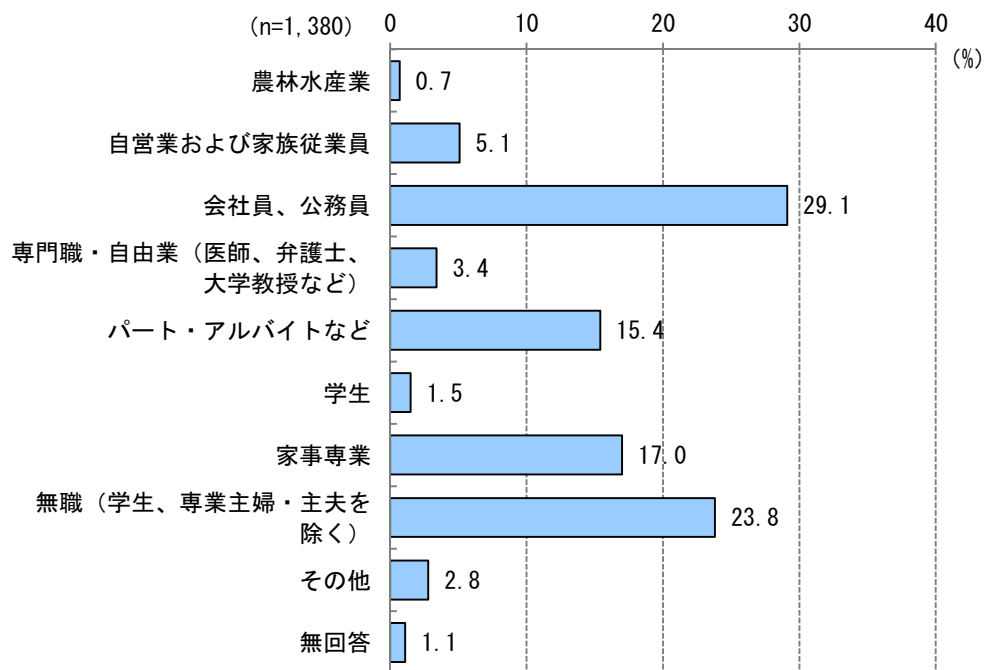
【図1-5 居住年数】



- 加古川市での居住年数は、「20年以上」が71.9%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」が14.0%、「5年以上10年未満」が6.6%となっている。(図1-5)

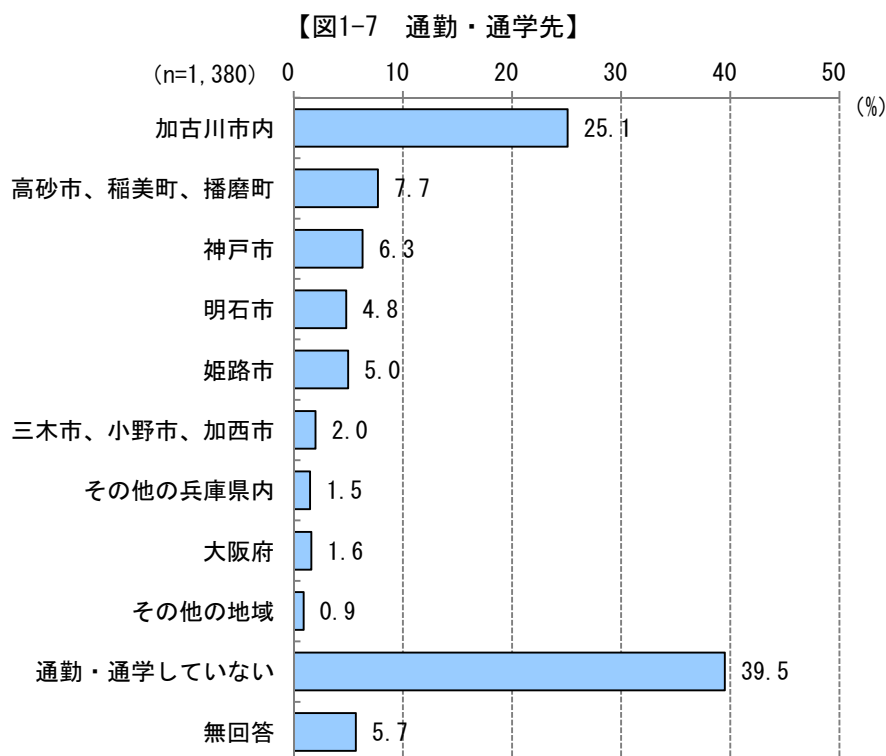
(6) 職業

【図1-6 職業】



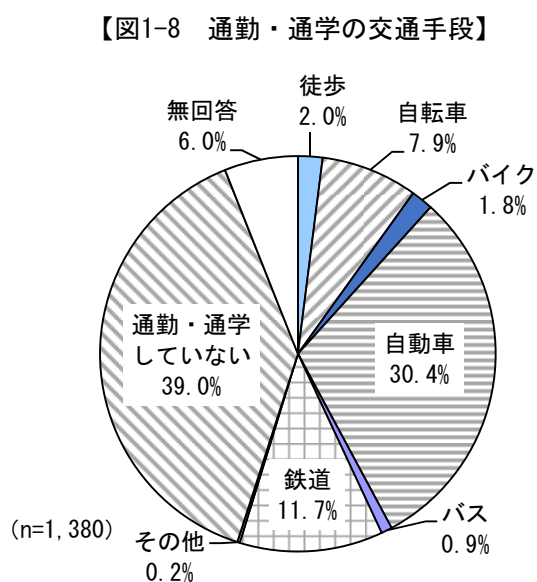
- 回答者の職業は、「会社員、公務員」が29.1%で最も多く、次いで「無職（学生、専業主婦・主夫を除く）」が23.8%、「家事専業」が17.0%、「パート・アルバイトなど」が15.4%となっている。(図1-6)

(7) 通勤・通学先



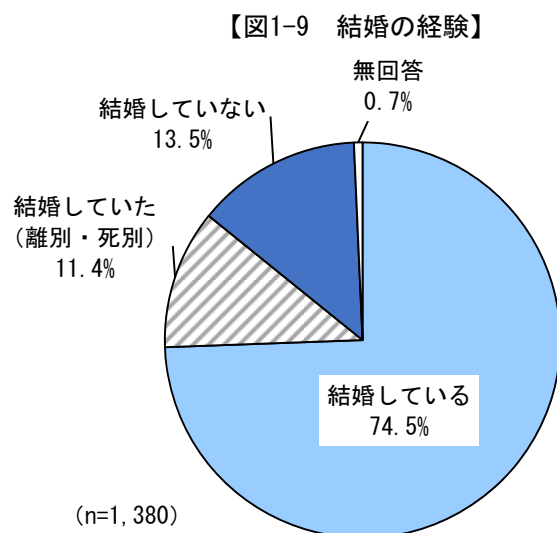
- 回答者の通勤・通学先は、「通勤・通学していない」が39.5%で最も多く、次いで「加古川市内」が25.1%、「高砂市、稲美町、播磨町」が7.7%となっている。(図1-7)

(8) 通勤・通学の交通手段



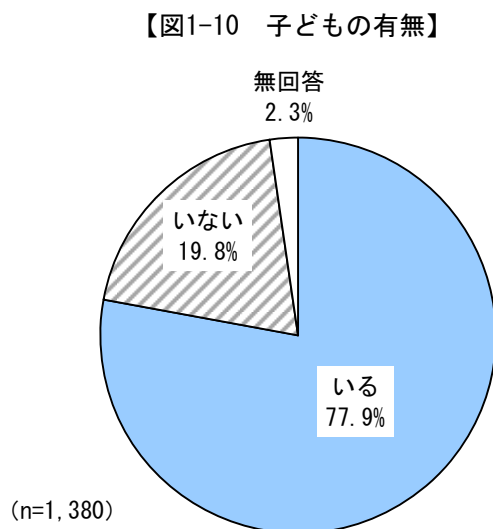
- 通勤・通学の交通手段は、「通勤・通学していない」が39.0%で最も多く、次いで「自動車」が30.4%、「鉄道」が11.7%となっている。(図1-8)

(9) 結婚の経験



- 結婚の経験については、「結婚している」が74.5%で最も多く、次いで「結婚していない」が13.5%、「結婚していた (離別・死別)」が11.4%となっている。(図1-9)

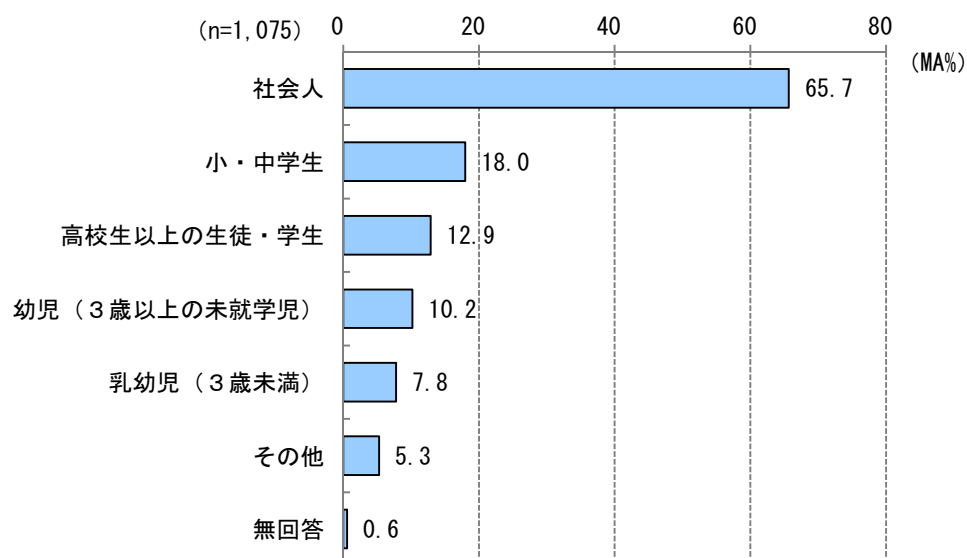
(10) 子どもの有無



- 子どもの有無については、「いる」が77.9%に対し、「いない」が19.8%となっている。(図1-10)

(11) 子どもの年齢・人数

【図1-11 子どもの年齢】



●子どもの年齢は、「社会人」が65.7%で最も多く、次いで「小・中学生」が18.0%、「高校生以上の生徒・学生」が12.9%となっている。（図1-11）

●子どもの人数の内訳は、以下のとおりとなっている。（表1-12）

【表1-12 子どもの人数】

（件）

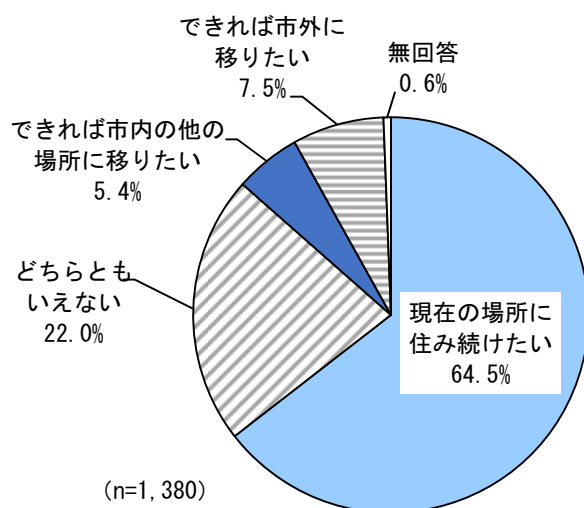
(n=1,075)	乳幼児 (3歳未満)	幼児 (3歳以上の 未就学児)	小・中学生	高校生以上の 生徒・学生	社会人	その他
合 計	84	110	194	139	706	57
1人	75	97	123	98	167	31
2人	7	12	50	35	360	22
3人	—	1	15	3	136	1
4人	—	—	—	—	11	—
5人	—	—	—	—	1	—
無回答	2	—	6	3	31	3

2. 定住意向

(1) 定住意向

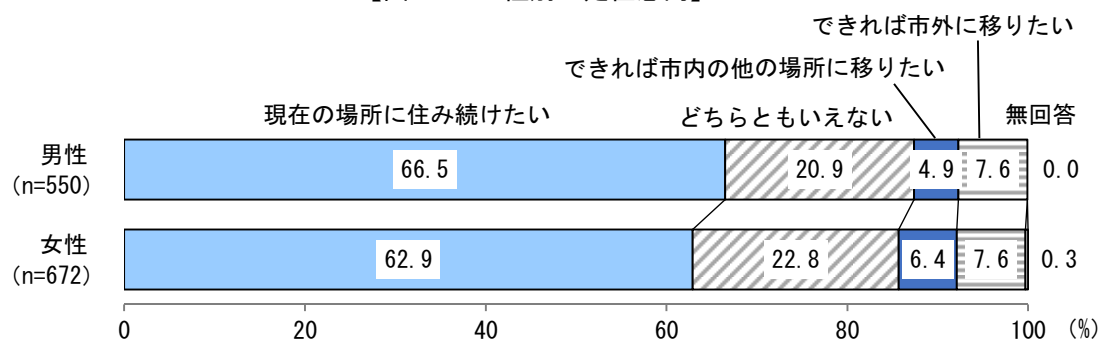
問2 あなたは、現在お住まいの場所にこれからも住み続けたいと思いますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図2-1 定住意向】



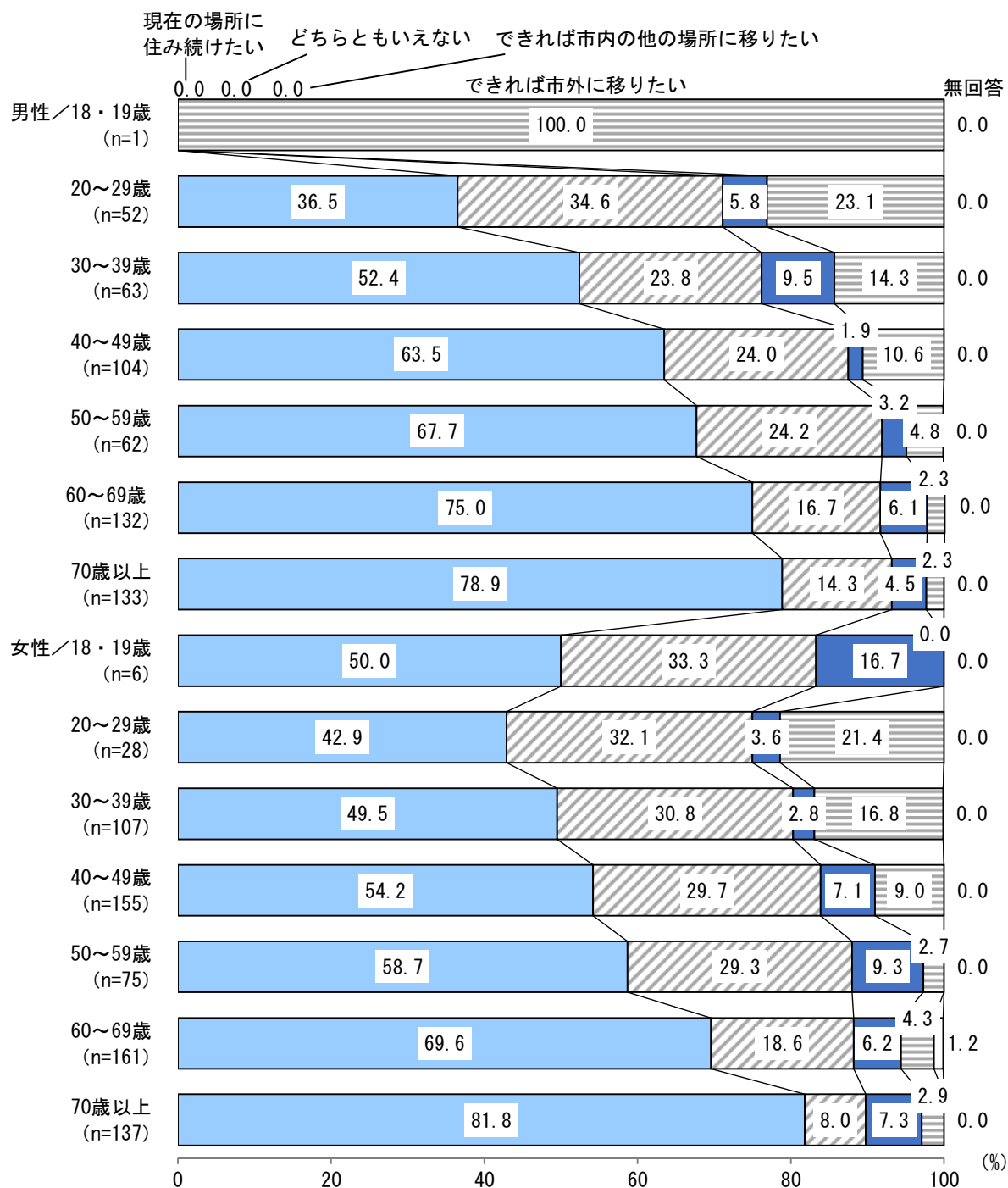
- 定住意向については、「現在の場所に住み続けたい」が64.5%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が22.0%、「できれば市外に移りたい」が7.5%となっている。(図2-1)
- 性別でみると、「現在の場所に住み続けたい」は女性(62.9%)より男性(66.5%)の方が3.6ポイント高くなっている。(図2-1-1)

【図2-1-1 性別 定住意向】



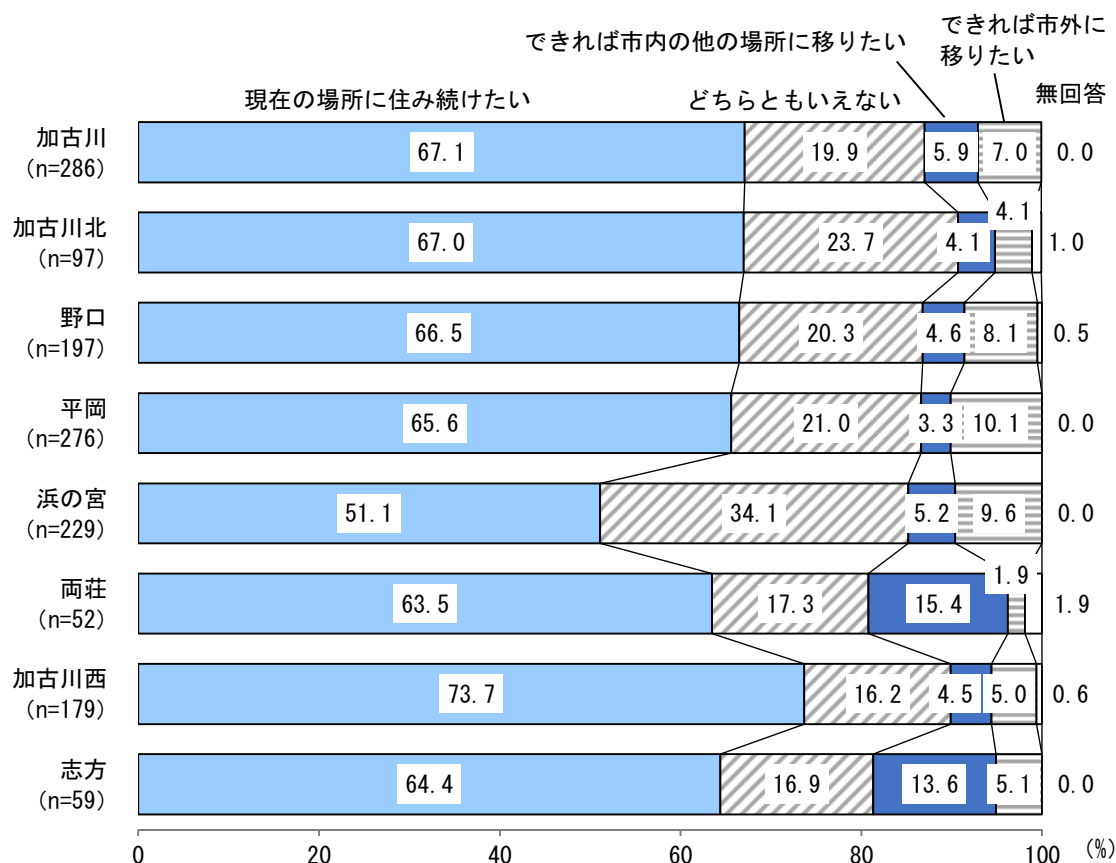
- 性年代別でみると、「現在の場所に住み続けたい」は男女とも20歳代以降で年代が上がるにつれて割合が高くなっており、70歳以上では男性78.9%、女性81.8%となっている。
(図2-1-2)

【図2-1-2 性年代別 定住意向】



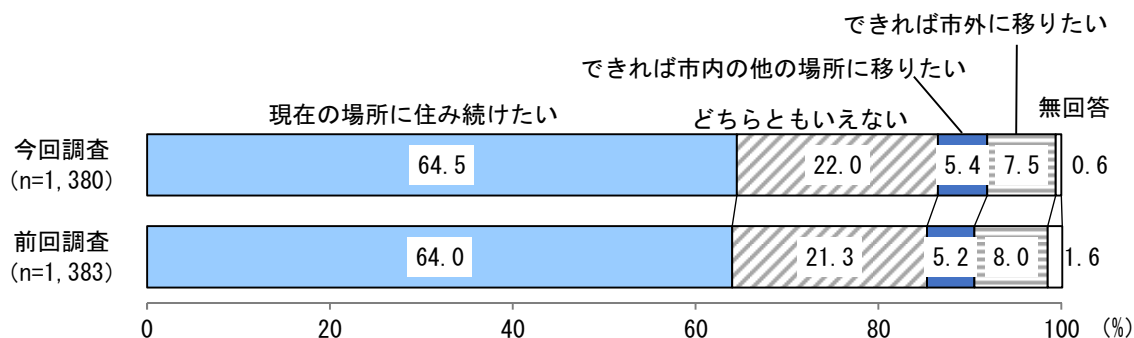
- 居住地区別でみると、「現在の場所に住み続けたい」がいずれの地区も過半数を占めており、なかでも加古川西地区が73.7%で最も高くなっている。また、「できれば市内の他の場所に移りたい」は両荘地区（15.4%）で最も高く、「できれば市外に移りたい」は平岡地区（10.1%）で最も高くなっている。（図2-1-3）

【図2-1-3 居住地区別 定住意向】



- 前回調査と比較すると、「現在の場所に住み続けたい」「できれば市内の他の場所に移りたい」は前回よりそれぞれ0.5ポイント、0.2ポイント高い一方で、「できれば市外に移りたい」が0.5ポイント低くなっている。（図2-1-4）

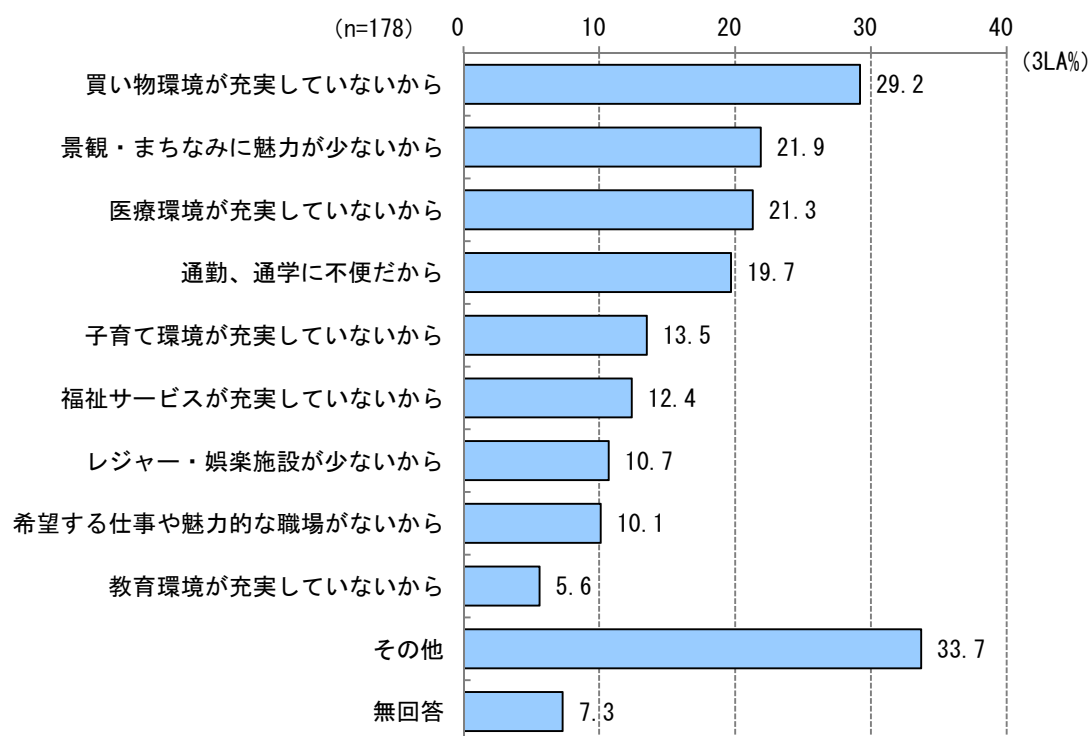
【図2-1-4 定住意向（前回との比較）】



(2) 転居したい理由

問2-① 問2で「3. できれば市内の他の場所に移りたい」または「4. できれば市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。現在お住まいの場所から移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

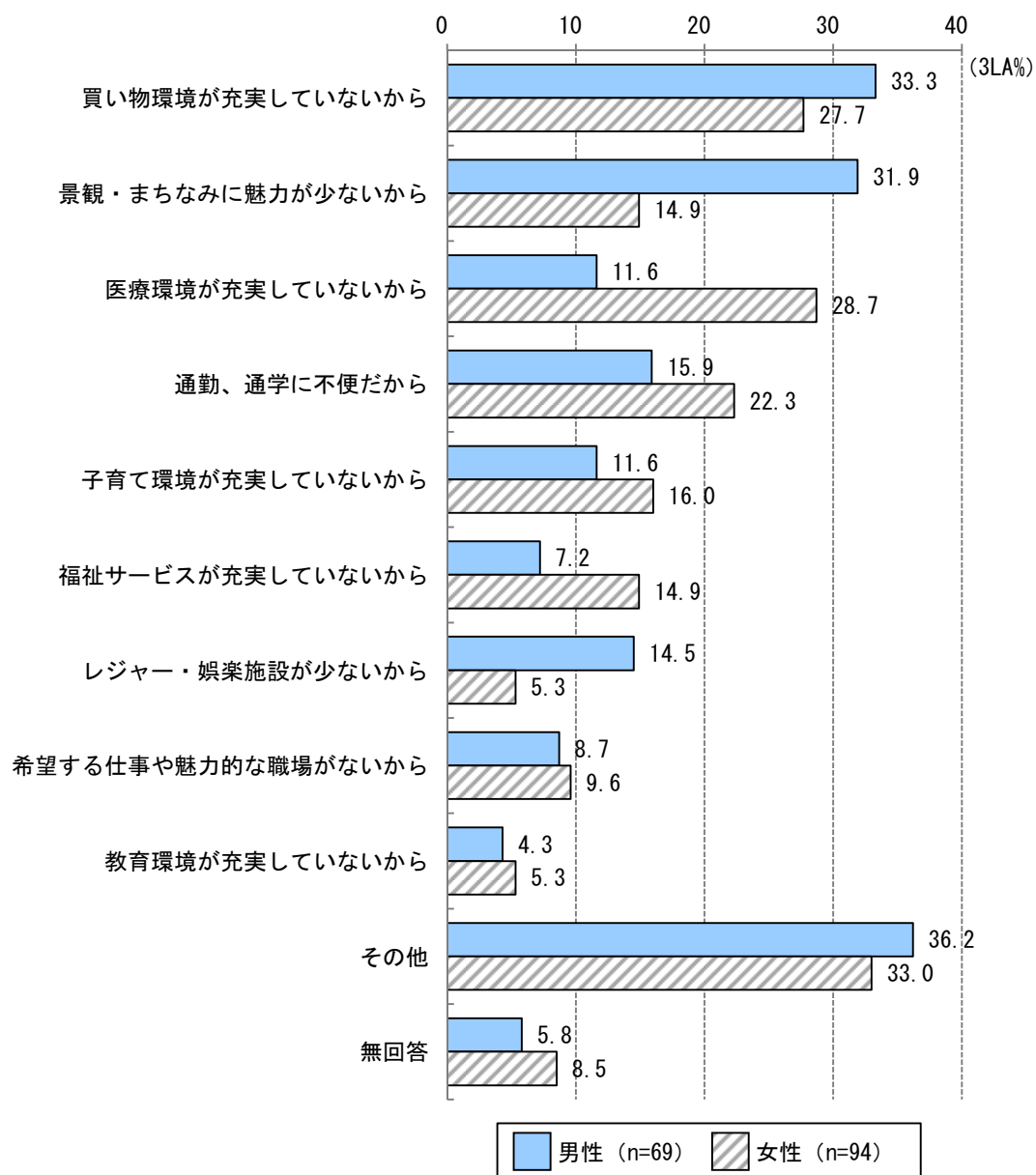
【図2-2 転居したい理由】



- 転居したいと回答した人の理由としては、「買い物環境が充実していないから」が29.2%で最も多く、次いで「景観・まちなみに魅力が少ないから」が21.9%、「医療環境が充実していないから」が21.3%となっている。(図2-2)

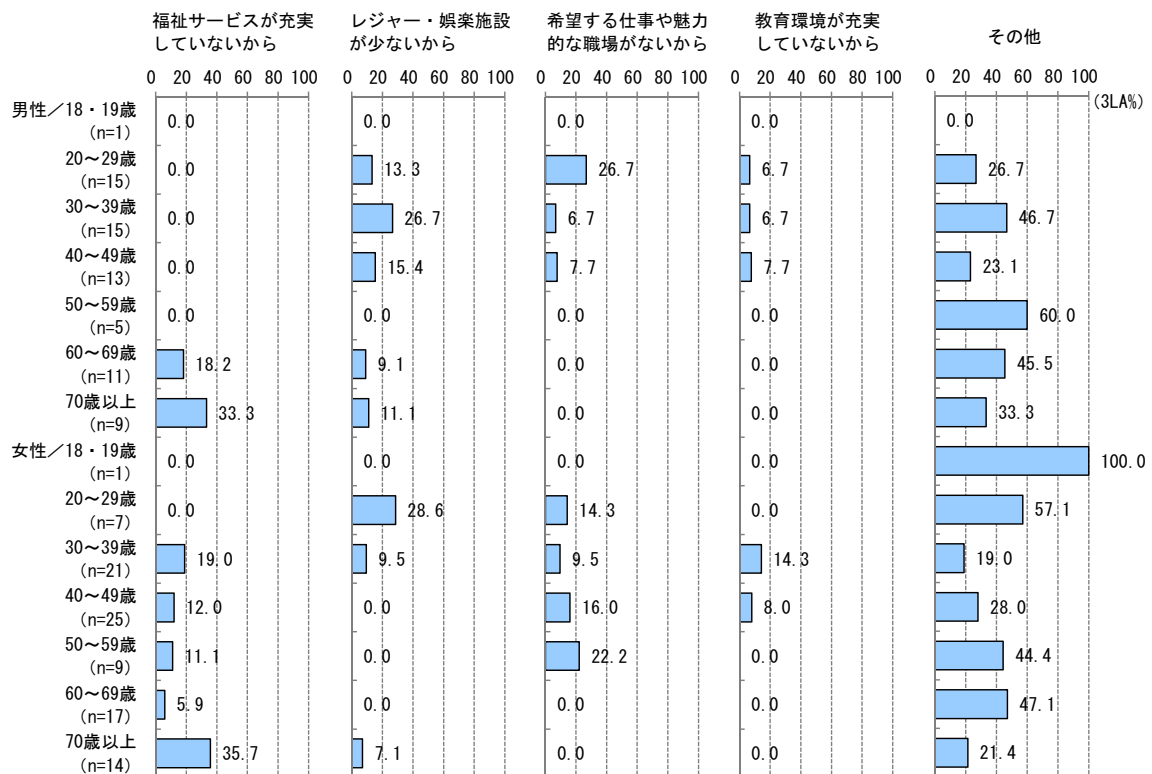
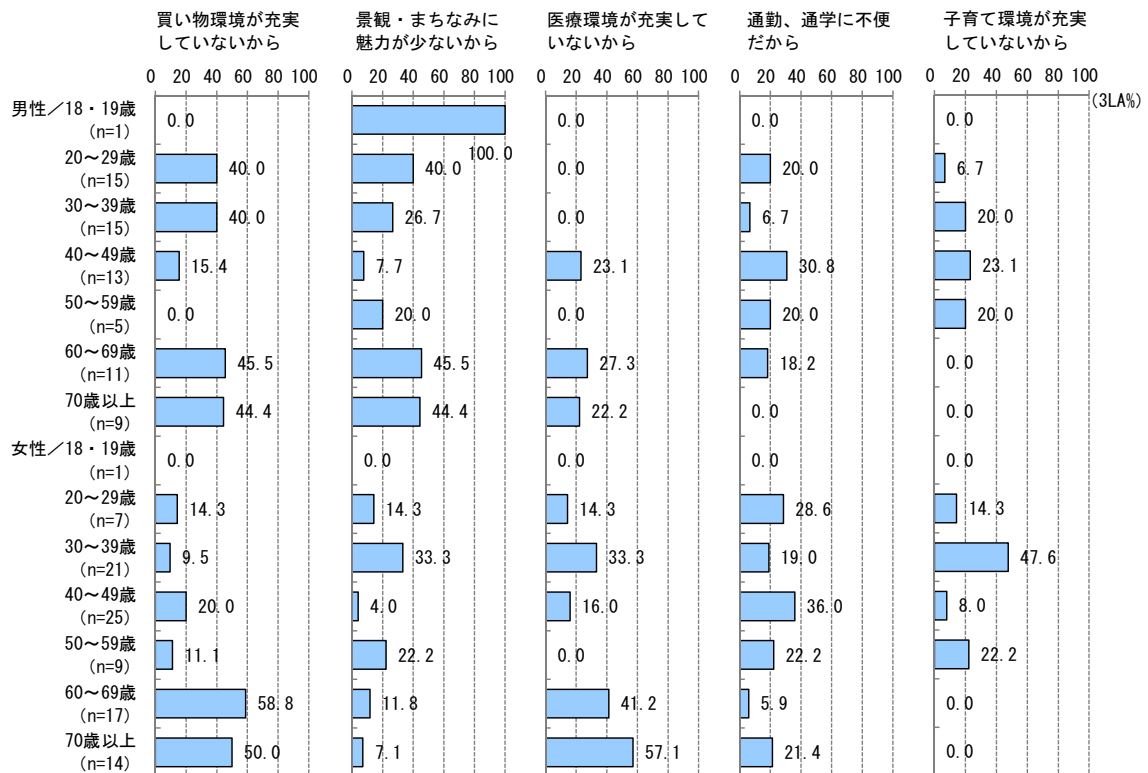
●性別でみると、男性は「買い物環境が充実していないから」が33.3%で最も多く、次いで「景観・まちなみに魅力が少ないから」(31.9%)となっており、それぞれ女性より高い割合となっている。女性は「医療環境が充実していないから」が28.7%で最も多く、男性(11.6%)より17.1ポイント高くなっている。(図2-2-1)

【図2-2-1 性別 転居したい理由】



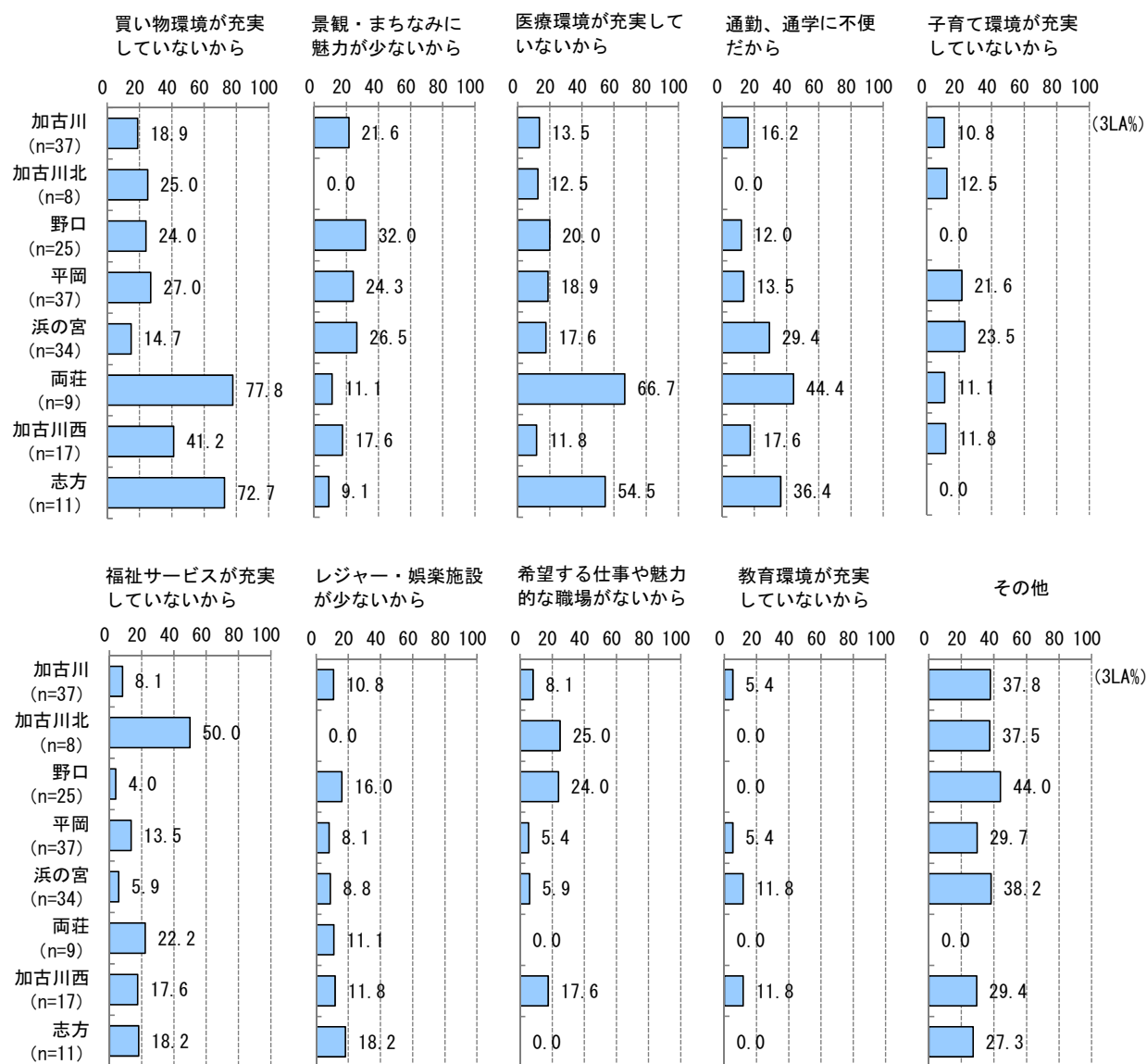
- 性年代別でみると、男女ともに40歳代では「通勤、通学に不便だから」が最も多くなっている。また、女性では、30歳代は「子育て環境が充実していないから」が47.6%、60歳代は「買い物環境が充実していないから」が58.8%、70歳以上では「医療環境が充実していないから」が57.1%と、それぞれ最も多くなっている。(図2-2-2)

【図2-2-2 性年代別 転居したい理由】



●居住地区別でみると、両荘地区、志方地区で「買い物環境が充実していないから」が7割以上、「医療環境が充実していないから」が5割以上と、他の地区に比べて高い割合となっている。また、加古川北地区では「福祉サービスが充実していないから」が50.0%と最も多くなっている。(図2-2-3)

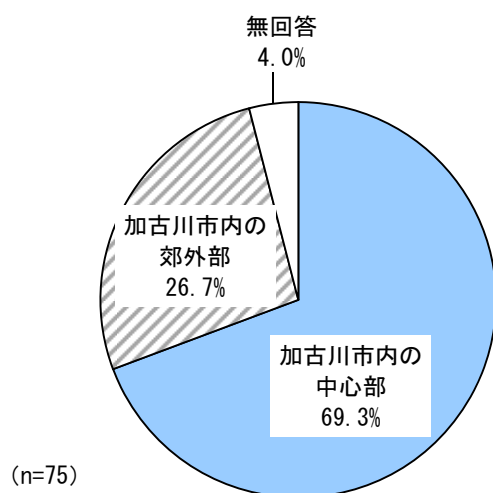
【図2-2-3 居住地区別 転居したい理由】



(3) 市内で希望する居住場所

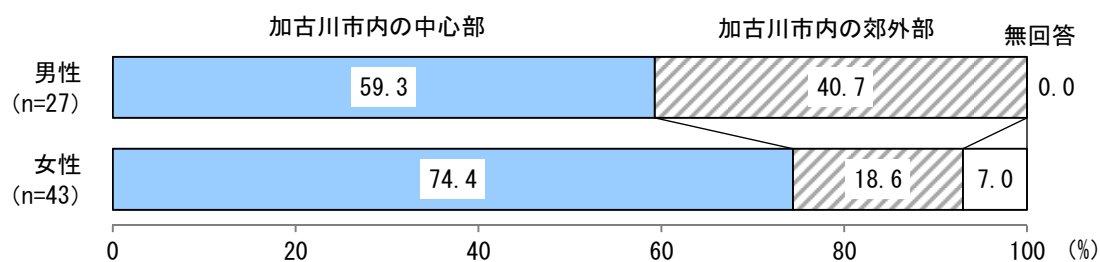
問2-② 問2で「3. できれば市内の他の場所に移りたい」を選ばれた方におたずねします。
 今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図2-3 市内で希望する居住場所】



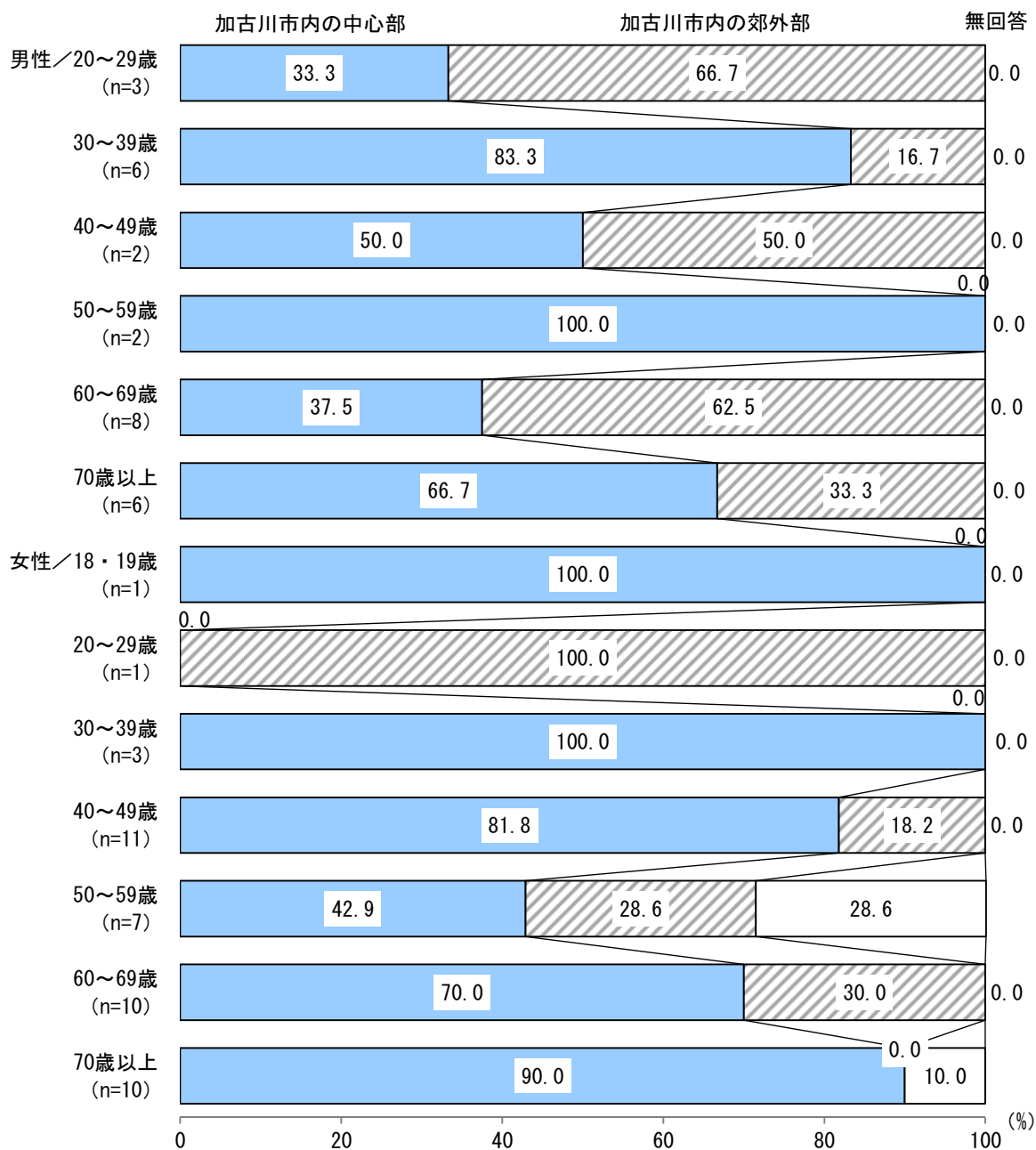
- 市内の他の場所に移りたいと回答した人の希望する居住場所としては、「加古川市内の中心部」が69.3%に対し、「加古川市内の郊外部」が26.7%となっている。(図2-3)
- 性別でみると、「加古川市内の中心部」は男性(59.3%)より女性(74.4%)の方が15.1ポイント高くなっている。(図2-3-1)

【図2-3-1 性別 市内で希望する居住場所】



●性年代別でみると、男性の20歳代、60歳代では「加古川市内の郊外部」が6割を占めている。女性では50歳代で「加古川市内の中心部」が42.9%と、他の年代に比べて割合が低くなっている。(図2-3-2)

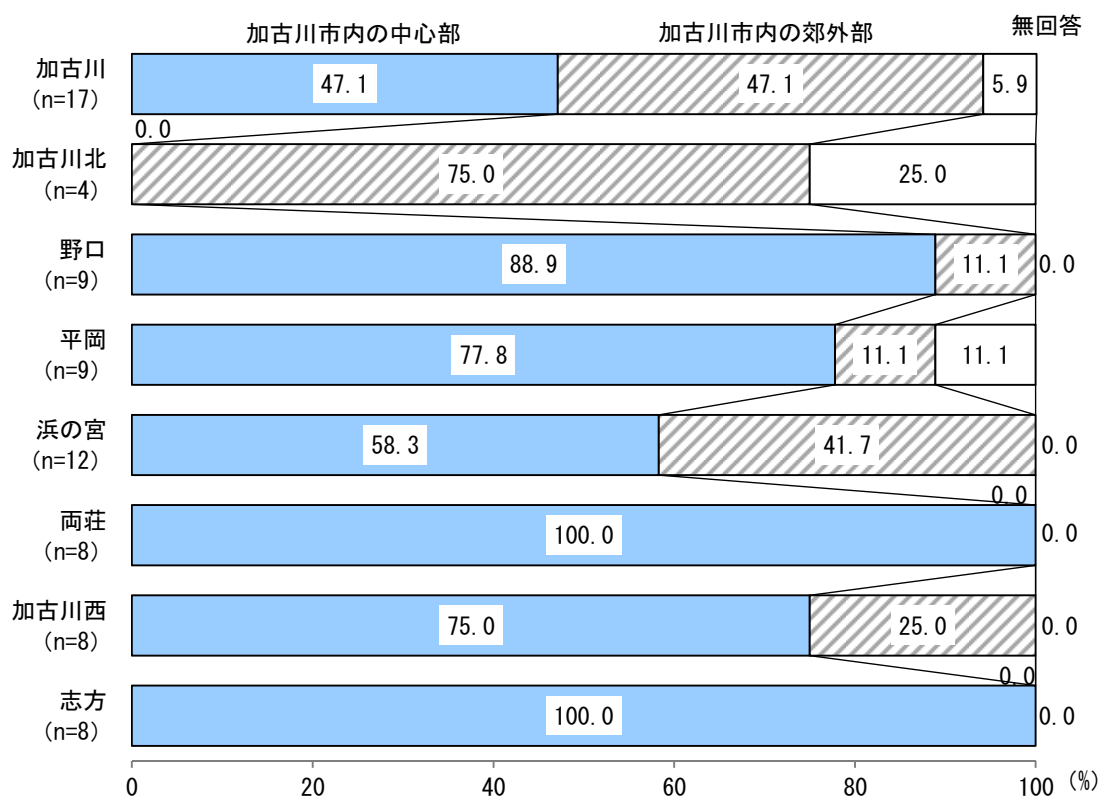
【図2-3-2 性年代別 市内で希望する居住場所】



* 「男性18・19歳」は回答者なし

- 居住地区別でみると、「加古川市内の中心部」は両荘地区、志方地区でともに100.0%となっている。また、加古川地区では「加古川市内の中心部」「加古川市内の郊外部」が同率（47.1%）となっている。（図2-3-3）

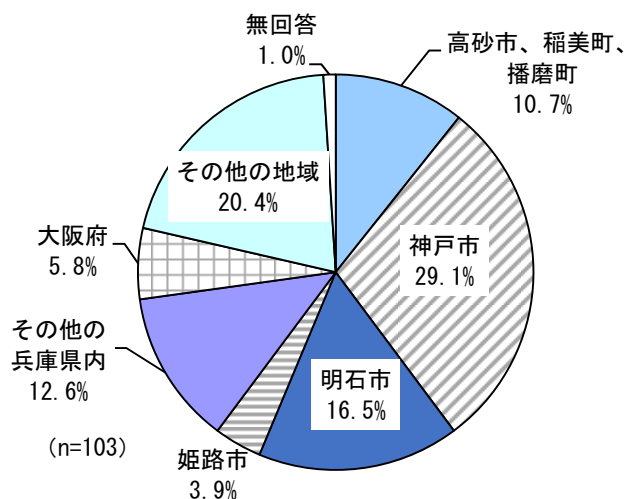
【図2-3-3 居住地区別 市内で希望する居住場所】



(4) 市外で希望する居住場所

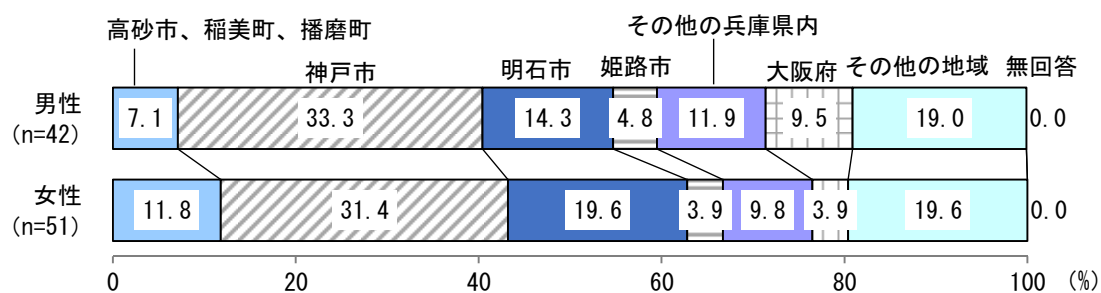
問2-③ 問2で「4. できれば市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図2-4 市外で希望する居住場所】



- 市外に移りたいと回答した人の市外で希望する場所としては、「神戸市」が29.1%で最も多く、次いで「明石市」が16.5%、「その他の兵庫県内」が12.6%となっている。(図2-4)
- 性別でみると、男女とも「神戸市」が最も多く、「高砂市、稲美町、播磨町」や「明石市」は、男性より女性の方が高い割合となっている。(図2-4-1)

【図2-4-1 性別 市外で希望する居住場所】



- 性年代別でみると、男性の20～40歳代では「神戸市」が最も多くなっている。女性の30歳代では「明石市」、40歳代では「神戸市」が最も多くなっている。(表2-4-2)

【表2-4-2 性年代別 市外で希望する居住場所】

(%)

	n	高砂市、 稲美町、 播磨町	神戸市	明石市	姫路市	その他の 兵庫県内	大阪府	その他の 地域	無回答
全体	103	10.7	29.1	16.5	3.9	12.6	5.8	20.4	1.0
男性	18・19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20～29歳	12	8.3	33.3	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0
	30～39歳	9	0.0	44.4	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0
	40～49歳	11	9.1	36.4	27.3	0.0	9.1	9.1	0.0
	50～59歳	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	60～69歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	70歳以上	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
女性	20～29歳	6	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
	30～39歳	18	16.7	16.7	38.9	11.1	11.1	0.0	5.6
	40～49歳	14	0.0	42.9	7.1	0.0	14.3	0.0	35.7
	50～59歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	60～69歳	7	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0
	70歳以上	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*「女性18・19歳」は回答者なし

- 居住地区別でみると、平岡地区、加古川西地区では「神戸市」、浜の宮地区では「明石市」が最も多くなっている。(表2-4-3)

【表2-4-3 居住地区別 市外で希望する居住場所】

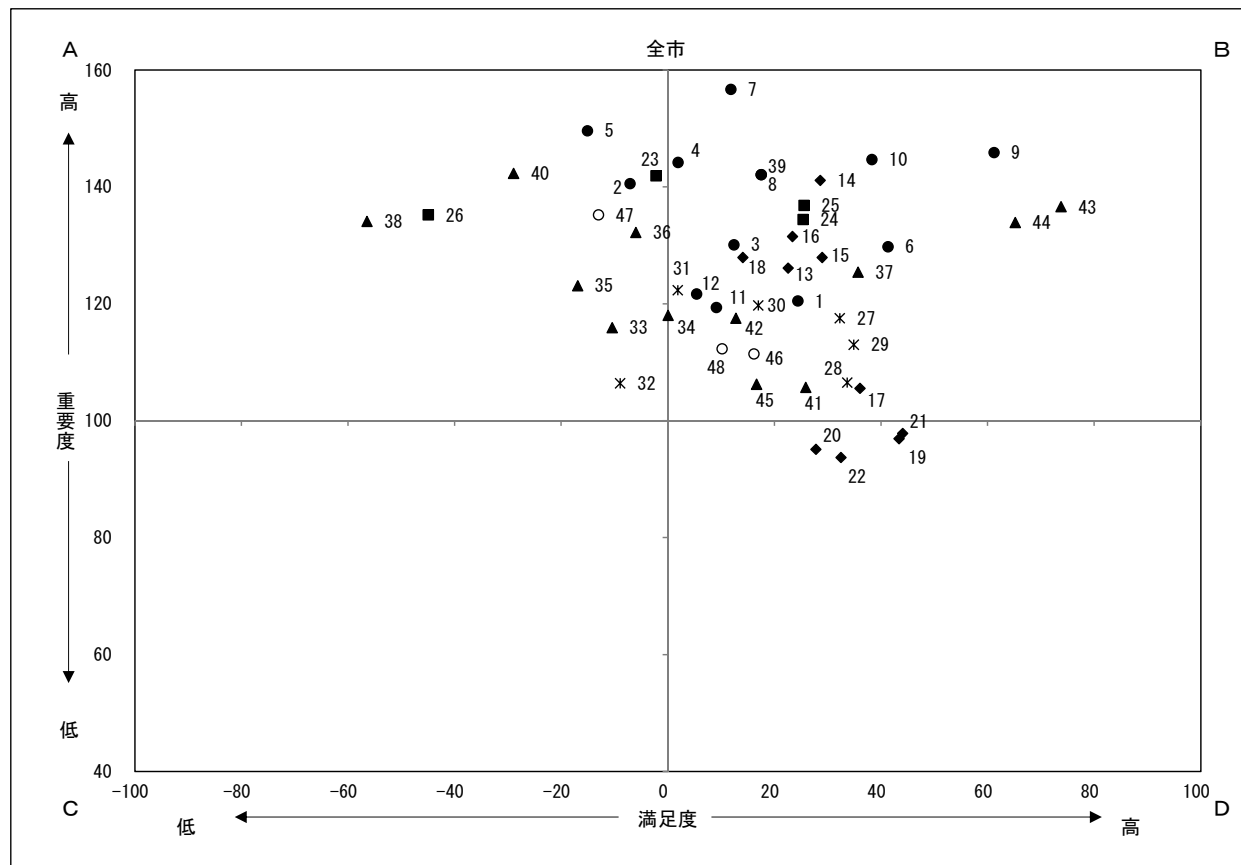
(%)

	n	高砂市、 稲美町、 播磨町	神戸市	明石市	姫路市	その他の 兵庫県内	大阪府	その他の 地域	無回答
全体	103	10.7	29.1	16.5	3.9	12.6	5.8	20.4	1.0
加古川	20	15.0	35.0	0.0	5.0	0.0	10.0	35.0	0.0
加古川北	4	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
野口	16	6.3	18.8	12.5	6.3	12.5	18.8	25.0	0.0
平岡	28	3.6	46.4	21.4	0.0	10.7	3.6	14.3	0.0
浜の宮	22	9.1	18.2	31.8	4.5	18.2	0.0	13.6	4.5
両荘	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加古川西	9	22.2	33.3	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0
志方	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0

3. 市の施策に対する満足度・重要度

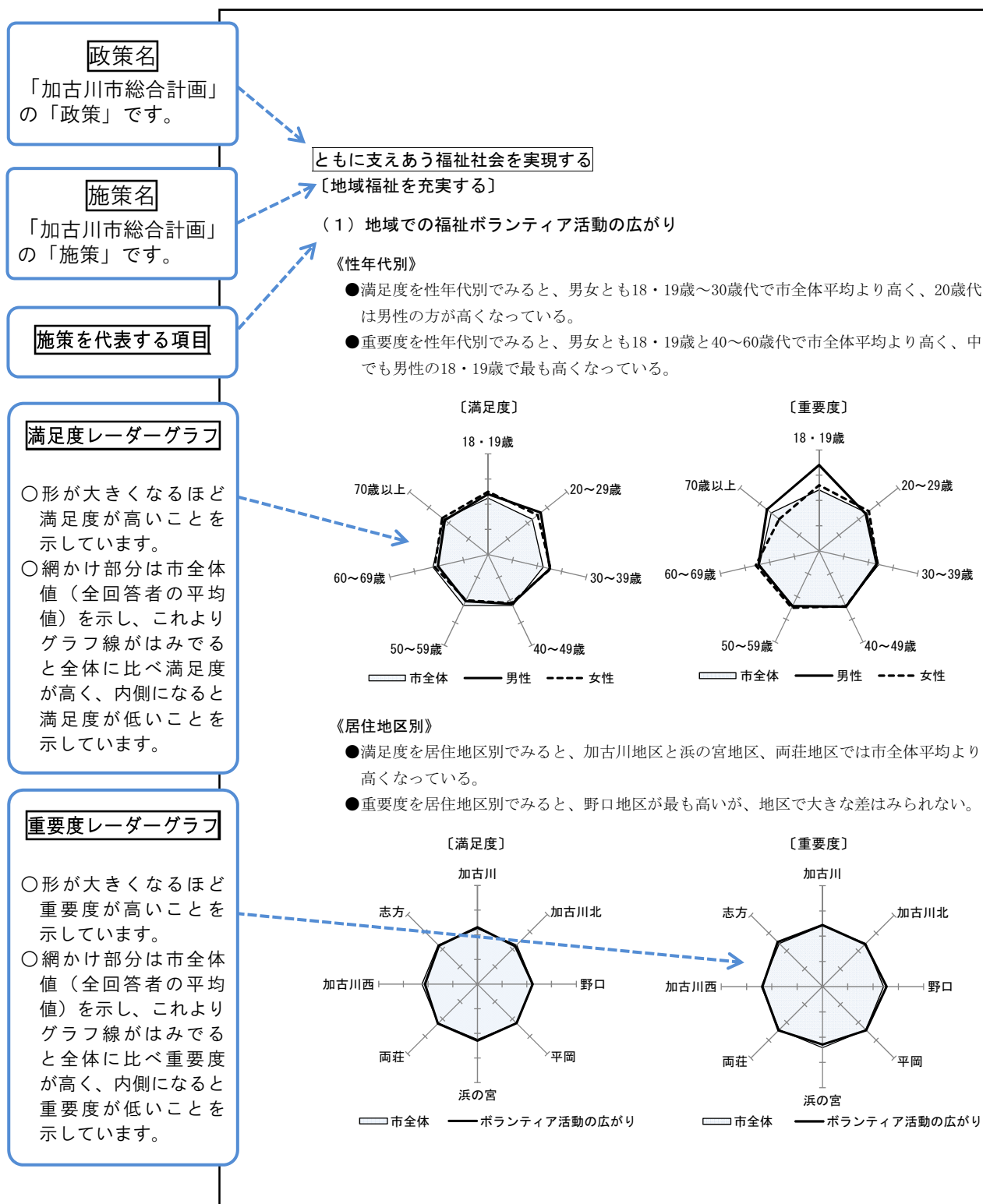
問3 次にあげた「施策を代表する項目」について、あなたは、どの程度満足していますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。〔1〕から〔6〕の各項目の満足度、今後の重要度それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

〔満足度と重要度の関係〕



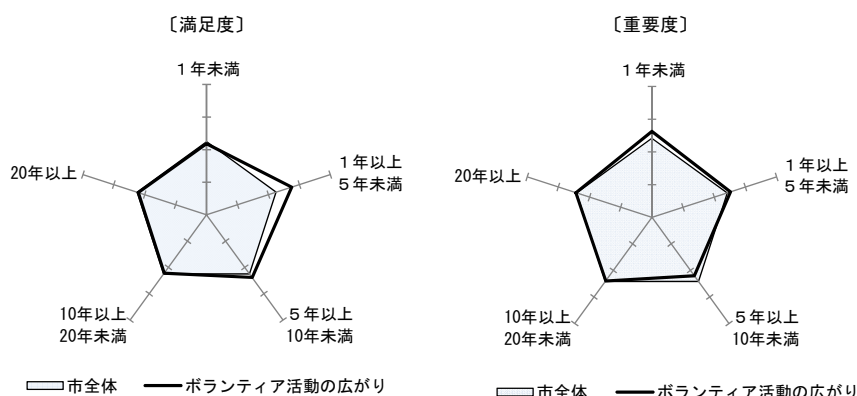
● 安心して暮らせるまち	1 地域での福祉ボランティア活動の広がり	* にぎわいの中で暮らせるまち	27 農業の振興
	2 子育てと仕事両立できる環境		28 水産業の振興
	3 障がい者に対する支援		29 工業の振興
	4 高齢者に対する支援		30 地場産業の振興
	5 介護保険など社会保障制度の適正な運営		31 商業の振興
	6 住民健診の充実や健康づくりの推進		32 観光の振興
	7 安心できる医療体制		33 秩序だった土地利用や建物の配置
	8 地域の防災体制		34 景観や、まちなみの美しさ
	9 消防や救急・救命体制		35 加古川駅周辺の都心としての魅力
	10 子どもの見守りやパトロールなどの安全対策		36 幹線道路の整備
	11 悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発		37 鉄道の便利さ
	12 勤労者の福利厚生や労働相談などの勤労支援		38 バスの便利さ
◆ 心豊かに暮らせるまち	13 就学前教育の内容	▲ 快適に暮らせるまち	39 地域の防災体制（再掲）
	14 義務教育の内容		40 地域内の道路の安全性や便利さ
	15 特別支援教育の内容		41 住宅の供給
	16 教育を支える環境		42 公園・緑地や水辺の整備
	17 生涯学習の機会や環境		43 水道水の供給
	18 青少年の健全な育成		44 下水道の整備
	19 スポーツ・レクリエーション活動機会の提供		45 ICT（情報通信技術）を活用した地域の情報化
	20 文化・芸術に接する機会の提供		46 市民活動や行政との協働
	21 人権教育や人権啓発の推進		47 行政の効率化
	22 男女共同参画の啓発		48 近隣都市との広域的な連携
■ うるおいのある環境の中で暮らせるまち	23 大気や水質・騒音等の環境対策	○ まちづくりの進め方	
	24 自然環境の保全		
	25 ごみの減量・不用品のリサイクルの推進		
	26 ポイ捨てやベットのふん害防止		

「3. 市の施策に対する満足度・重要度」のグラフの見方



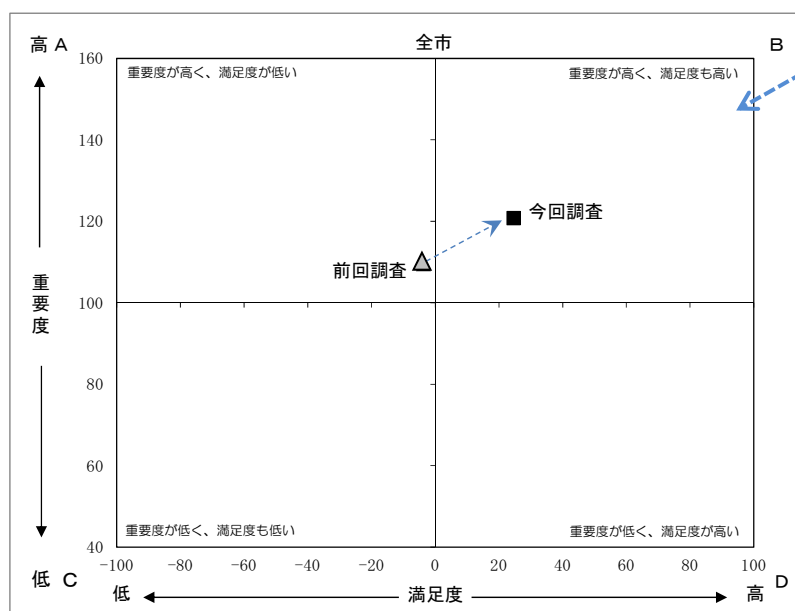
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、5年以上では居住期間が長くなるほど得点が低くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”が最も高く、次いで“1年以上5年未満”となっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度・満足度とも高くなっている。



満足度・重要度関係グラフ

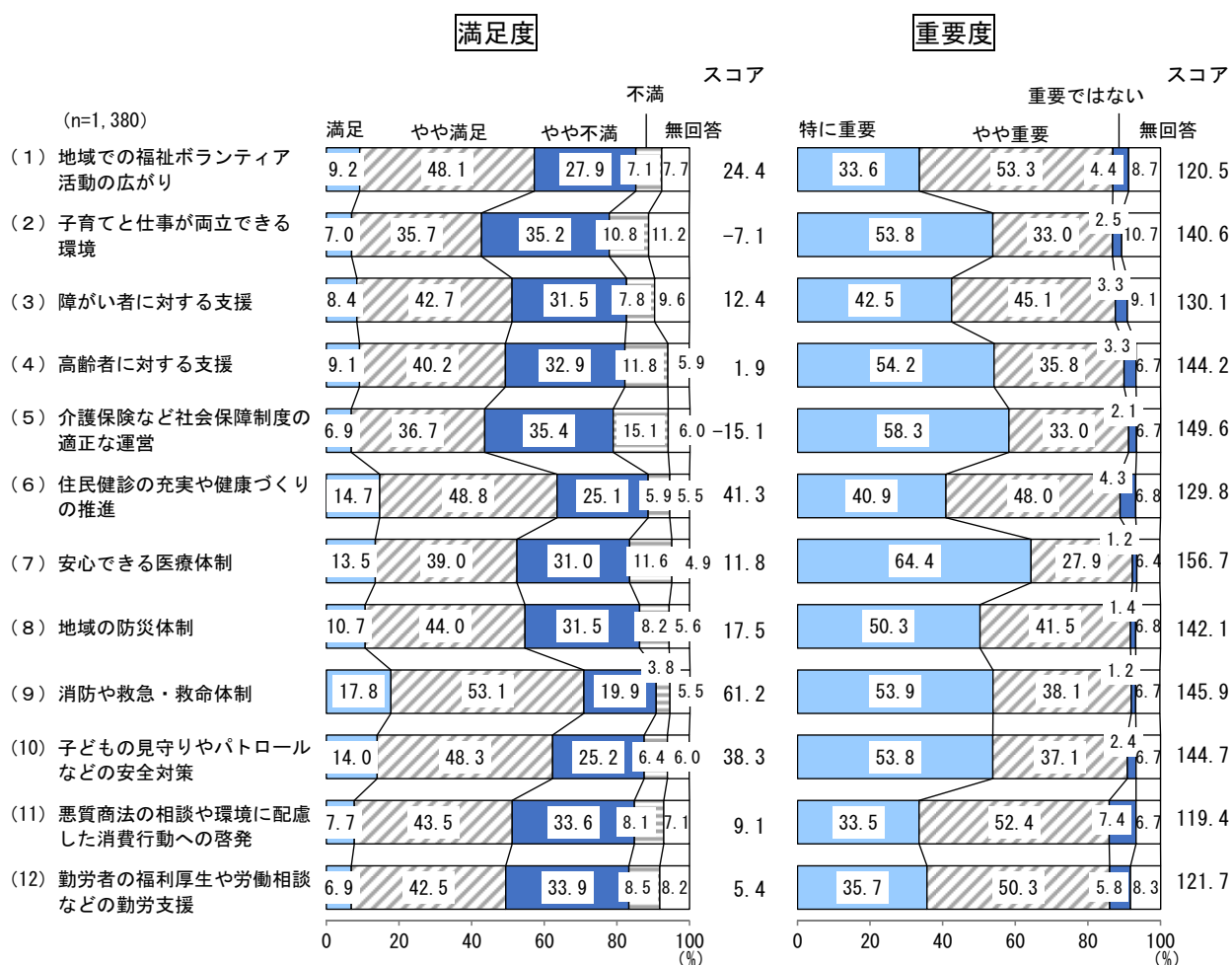
- ある施策の満足度スコアと重要度スコアとの関係を点としてプロット（データを図表上に示すこと）したグラフで、施策の優先度を判断するのに利用します。
- 例えば象限Aに点がある場合、施策満足度が低く重要度は高いので、今後最優先に取り組むべき施策と判断できます。一方、象限Bは、施策満足度も重要度も高いので、Aに比べると優先度は低く、満足度が低下しないよう取り組む必要のある施策を示しています。
- 過年度のデータをプロットすることで、施策の優先度の推移（満足度・重要度の関係性の変化）をみることができます。

3-1 安心して暮らせるまちをめざして

●施策の満足度スコアが最も高い項目は“(9) 消防や救急・救命体制”、次いで“(6) 住民健診の充実や健康づくりの推進”となっている。一方、最も低い項目は“(5) 介護保険など社会保障制度の適正な運営”、次いで“(2) 子育てと仕事が両立できる環境”となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は“(7) 安心できる医療体制”、次いで“(5) 介護保険など社会保障制度の適正な運営”となっている。一方、最も低い項目は“(11) 悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発”、次いで“(1) 地域での福祉ボランティア活動の広がり”となっている。

《全体》



※スコアは以下の手順で得点化し、算出している

〔満足度〕

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
2点	1点	-1点	-2点	0点

$$2\text{点} \times \text{「満足」の割合} + 1\text{点} \times \text{「やや満足」の割合} + (-1\text{点}) \times \text{「やや不満」の割合} + (-2\text{点}) \times \text{「不満」の割合}$$

=満足度スコア

〔重要度〕

重要	やや重要	重要ではない	無回答
2点	1点	0点	0点

$$2\text{点} \times \text{「重要」の割合} + 1\text{点} \times \text{「やや重要」の割合} = \text{重要度スコア}$$

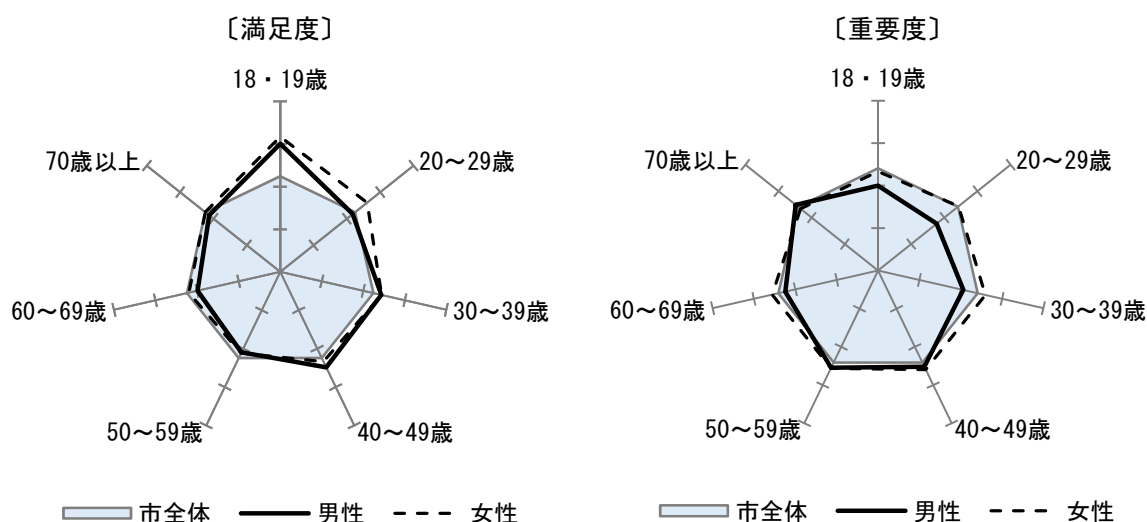
ともに支えあう福祉社会を実現する

〔地域福祉を充実する〕

（１）地域での福祉ボランティア活動の広がり

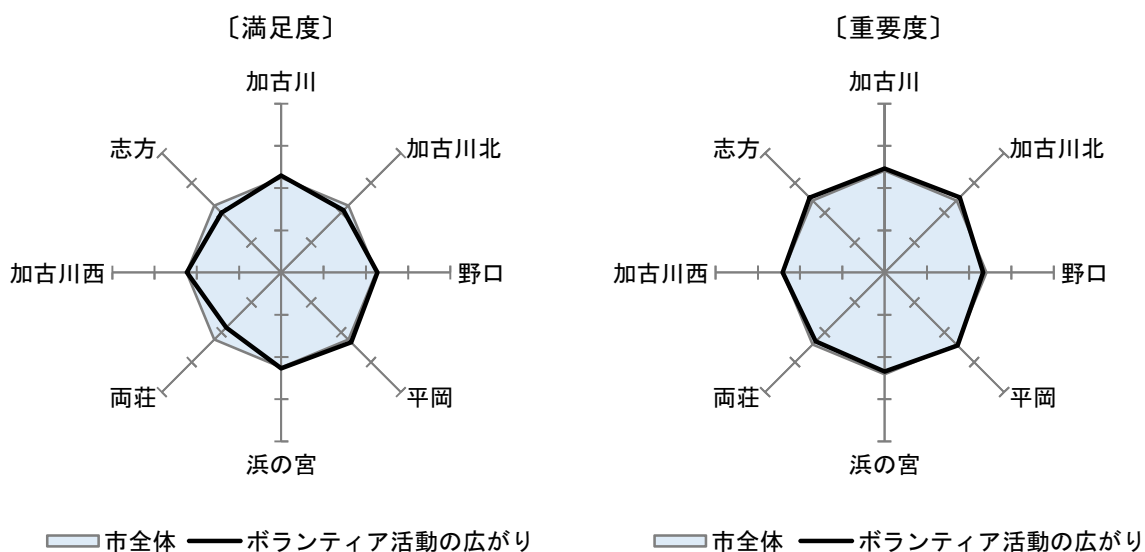
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と30～40歳代の男女と、女性の20歳代、70歳以上で市全体平均より高く、40歳代以外の年代では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の40～50歳代と70歳以上、女性の20～60歳代で市全体平均より高く、70歳以上のみ男性の方が高くなっている。



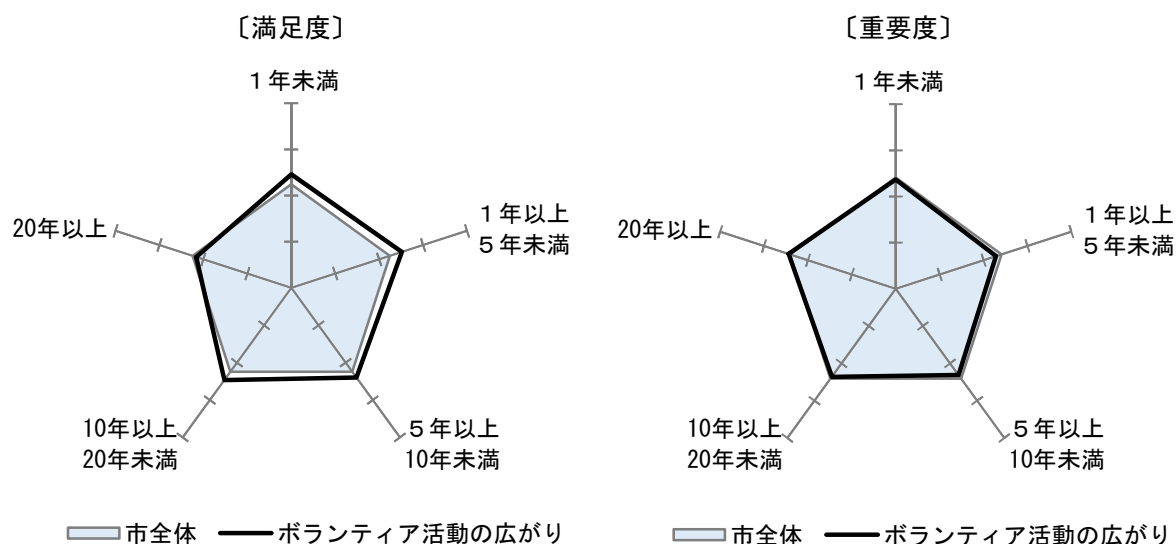
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・浜の宮・両荘地区では市全体平均より低い、加古川北地区が最も高く、次いで志方地区となっている。



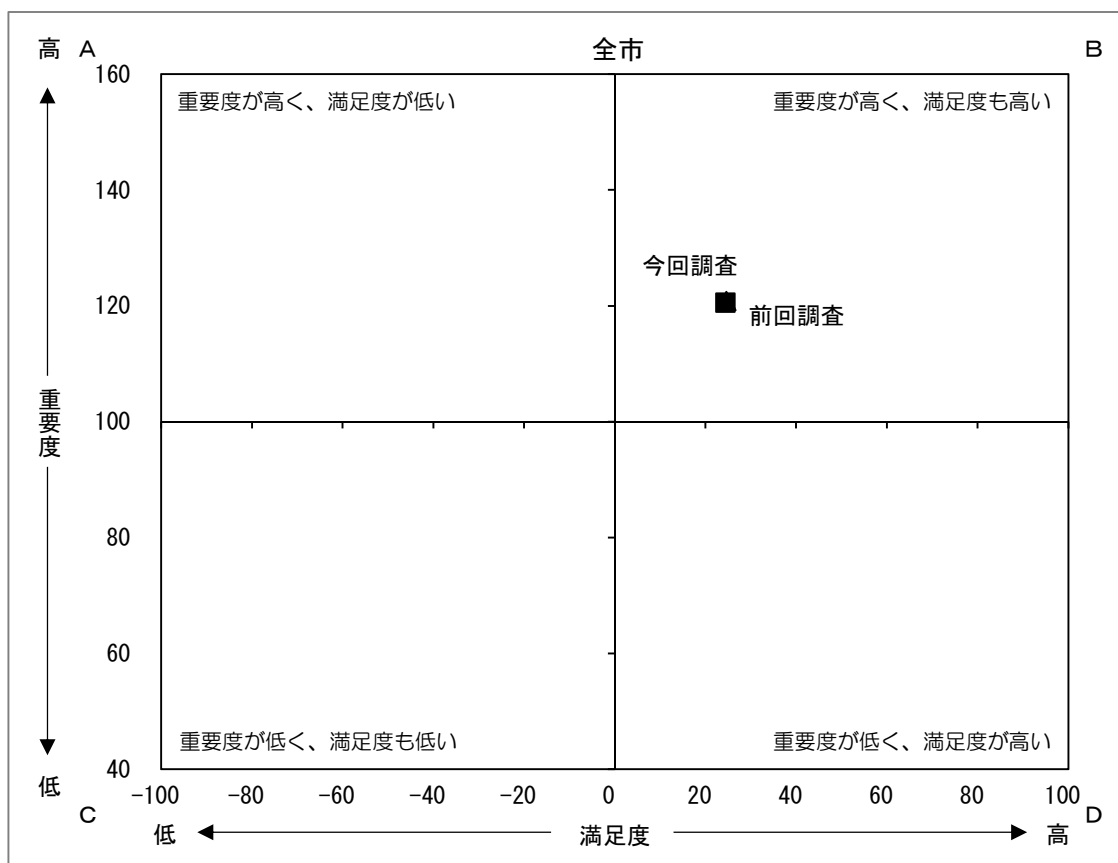
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”以外で市全体平均より高く、なかでも“10年以上20年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”が最も高く、20年未満で市全体平均より低くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度・満足度とも変わらない。

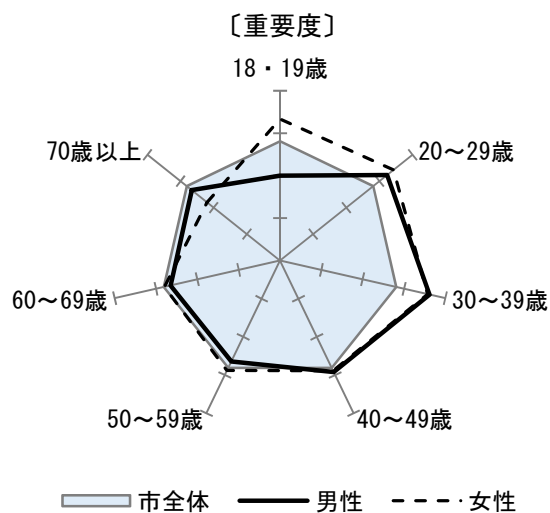
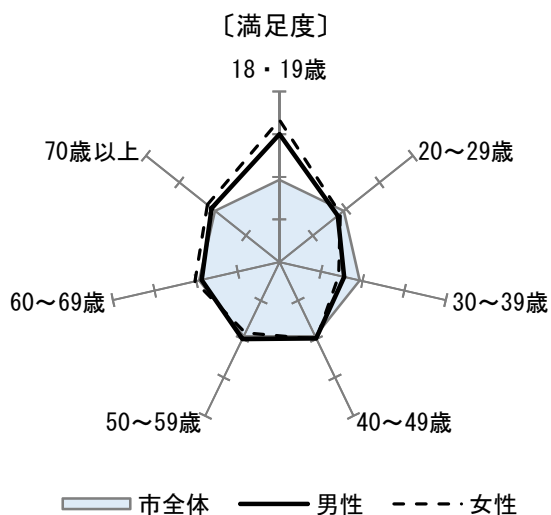


〔出産と子育ての支援を充実する〕

（２）子育てと仕事が両立できる環境

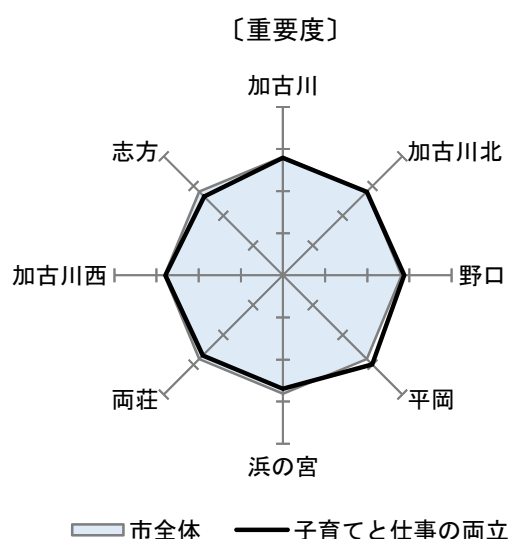
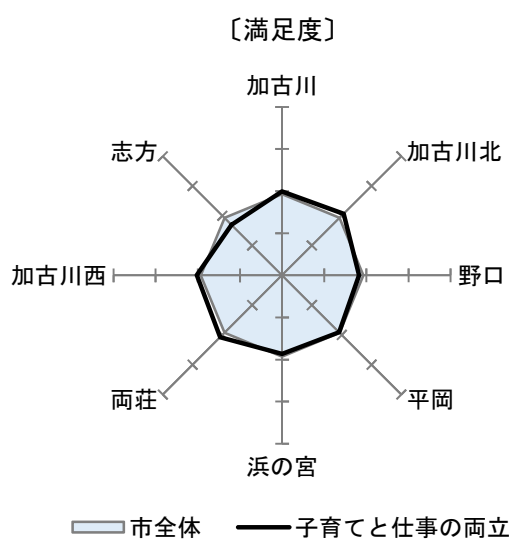
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と40歳代、70歳以上の男女と、男性の50歳代、女性の60歳代では市全体平均より高いが、30歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性では20～40歳代、女性では18・19歳～50歳代で市全体平均より高く、なかでも30歳代で男女とも最も高くなっている。



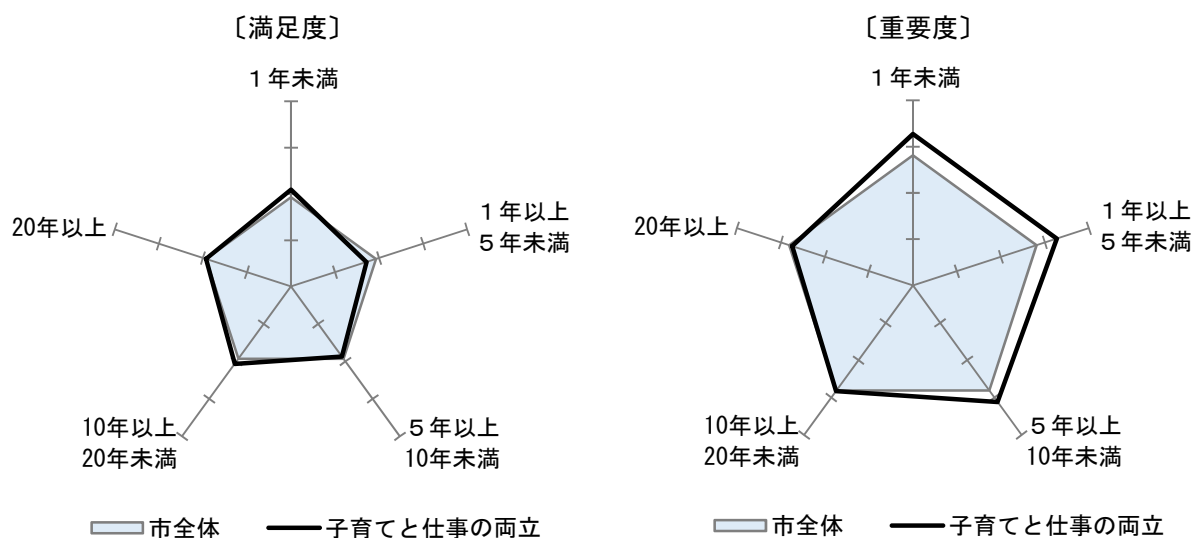
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・両荘・加古川西地区では市全体平均より高いが、志方地区が最も低くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・平岡地区で市全体平均より高くなっている。



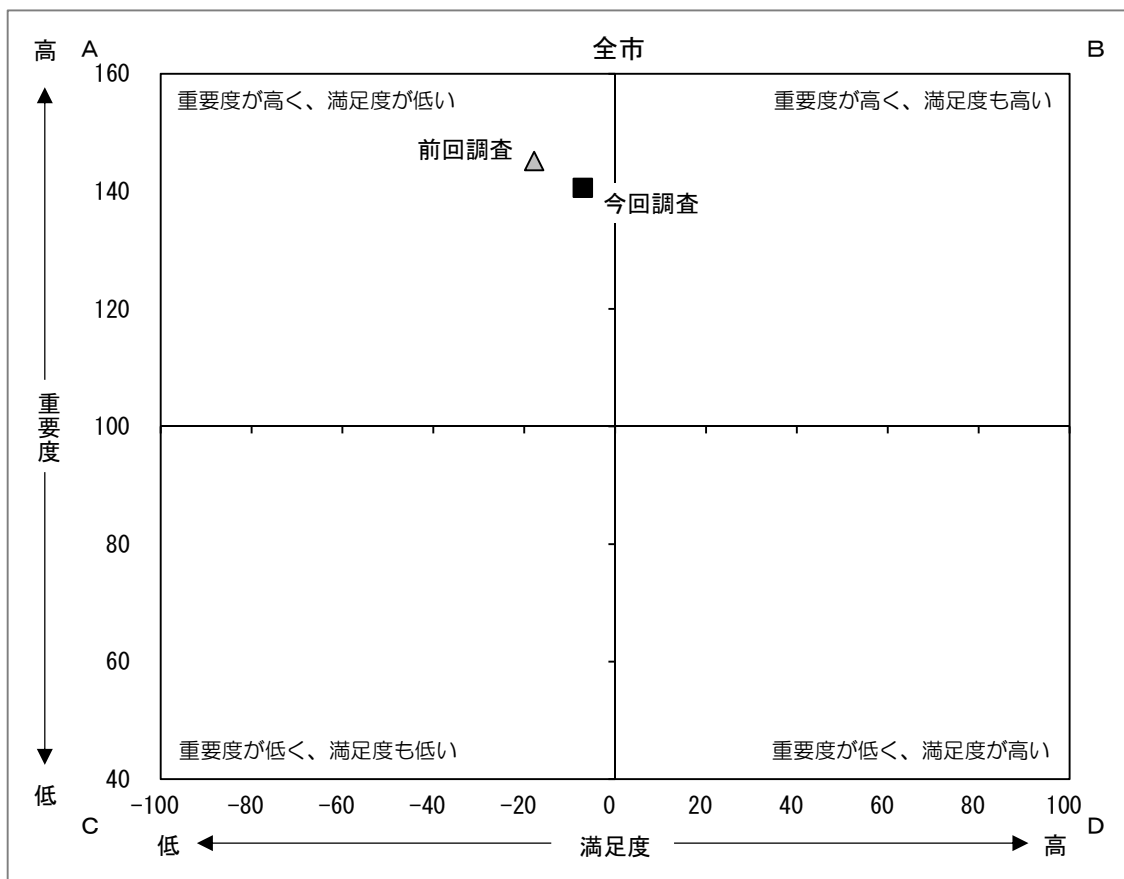
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、“1年未満”と“1年以上5年未満”が同率で最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。

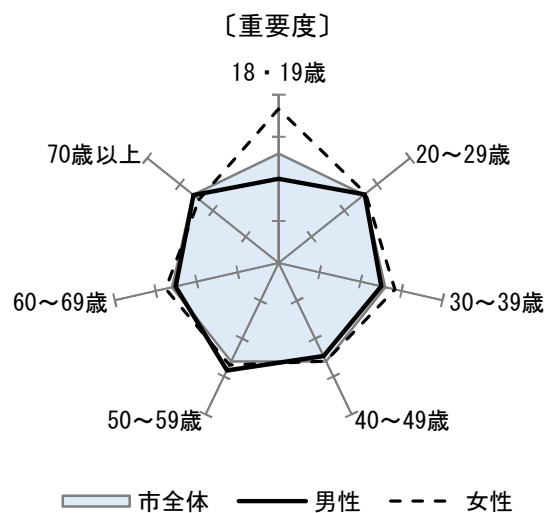
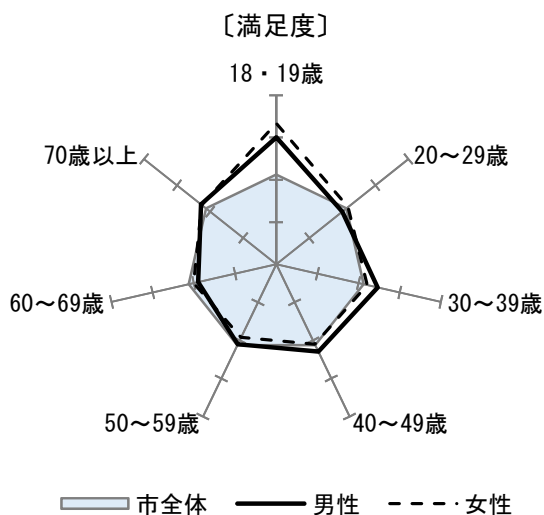


〔障がい者の福祉を充実する〕

（３）障がい者に対する支援

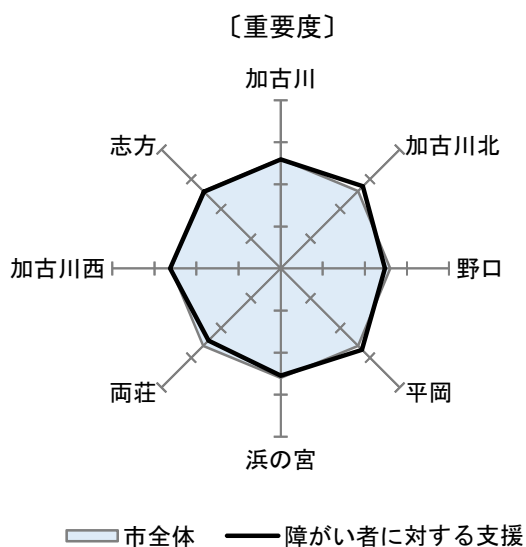
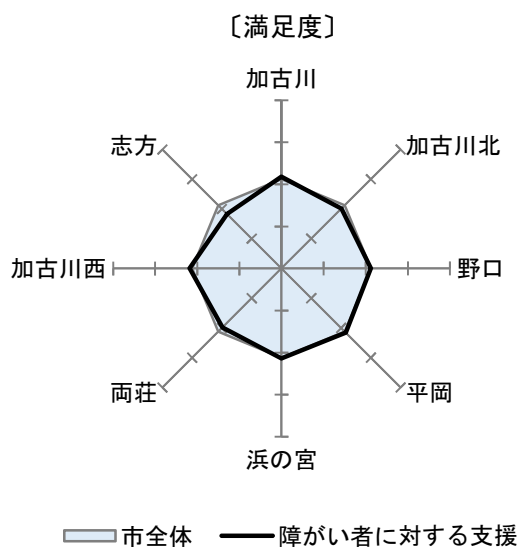
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の60歳代が最も低く、18・19歳と30歳代、70歳以上の男女と、男性の40歳代、女性の20歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代と50歳代の男女と、女性の18・19歳と30歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



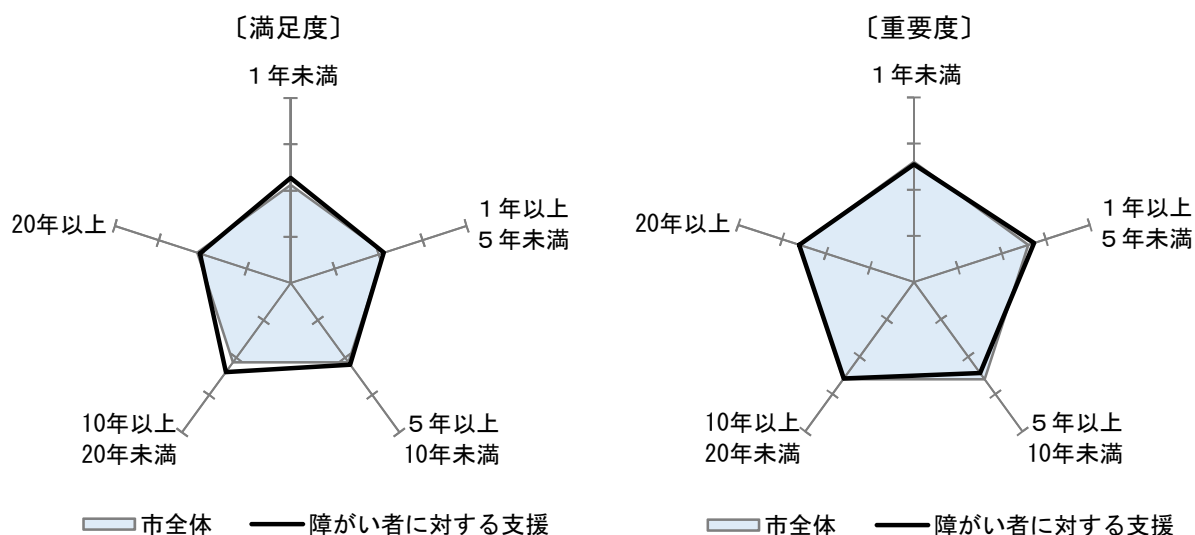
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。



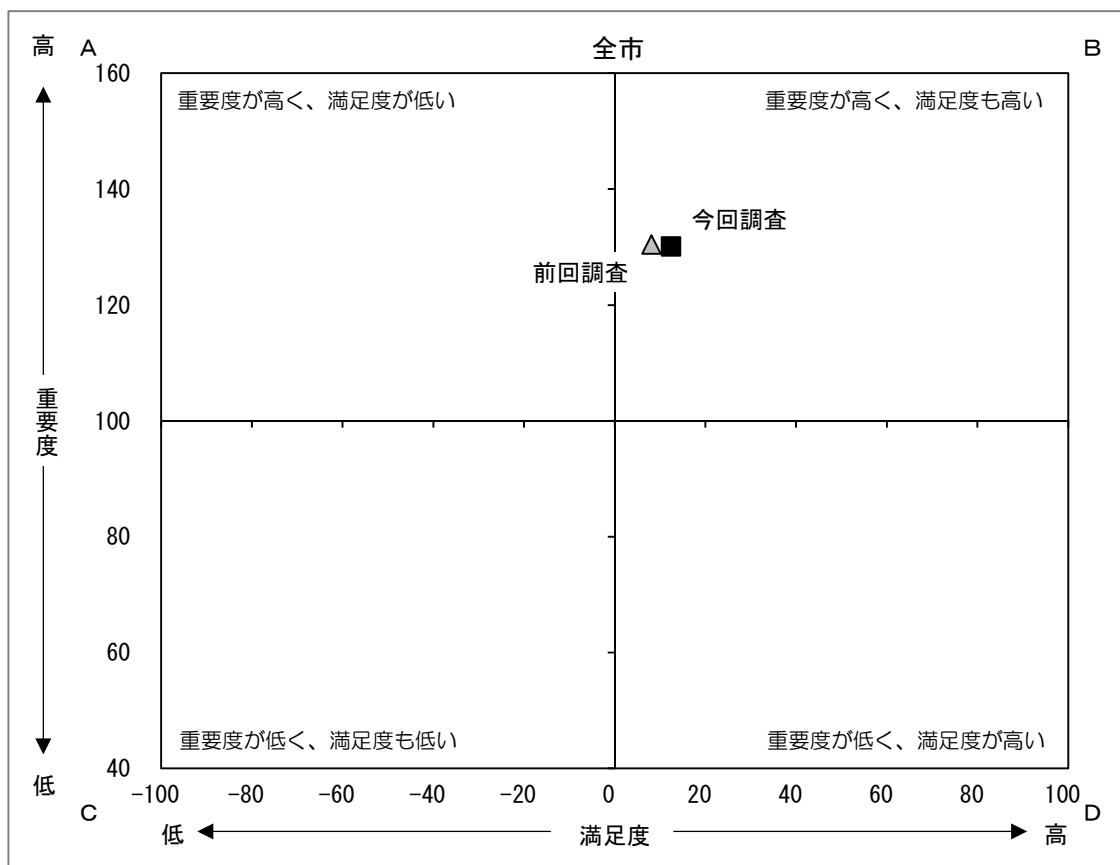
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“10年以上20年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、重要度は変わらないが、前回調査より満足度が高くなっている。

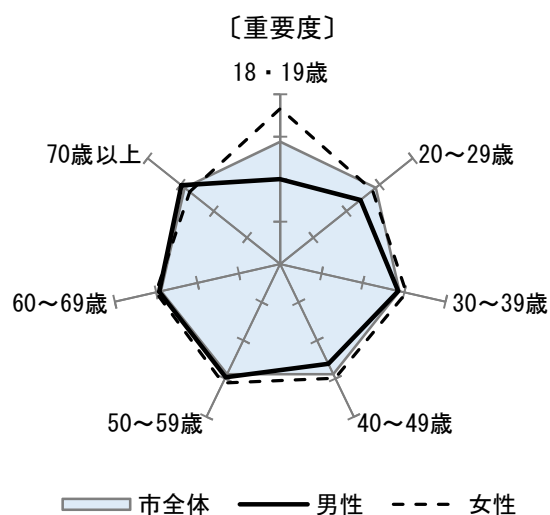
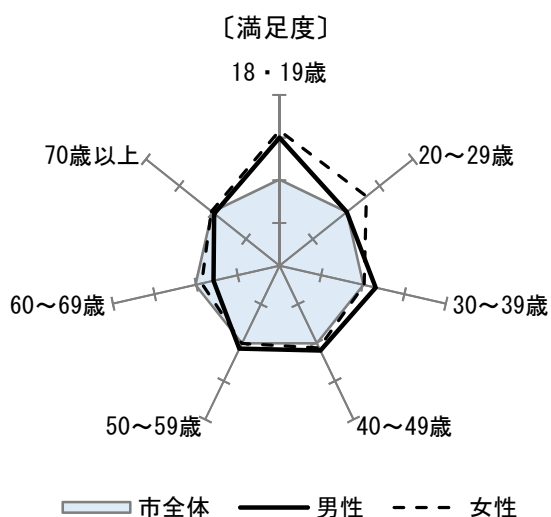


〔高齢者の福祉を充実する〕

（４）高齢者に対する支援

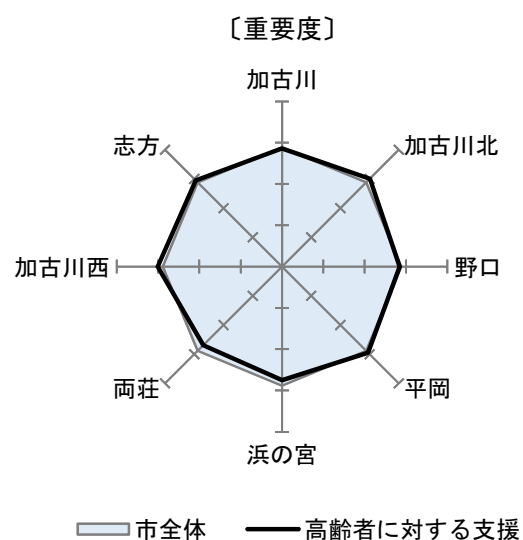
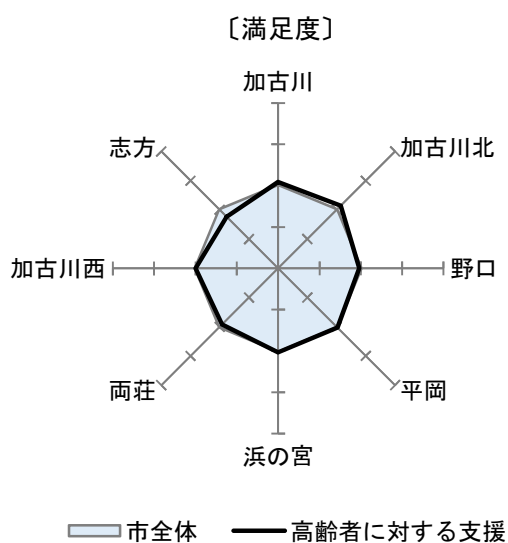
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、30～50歳代の男女と、女性の20歳代と70歳以上では市全体平均より高いが、60歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の50歳代以上と、女性の18・19歳と30～60歳代で市全体平均より高くなっている。



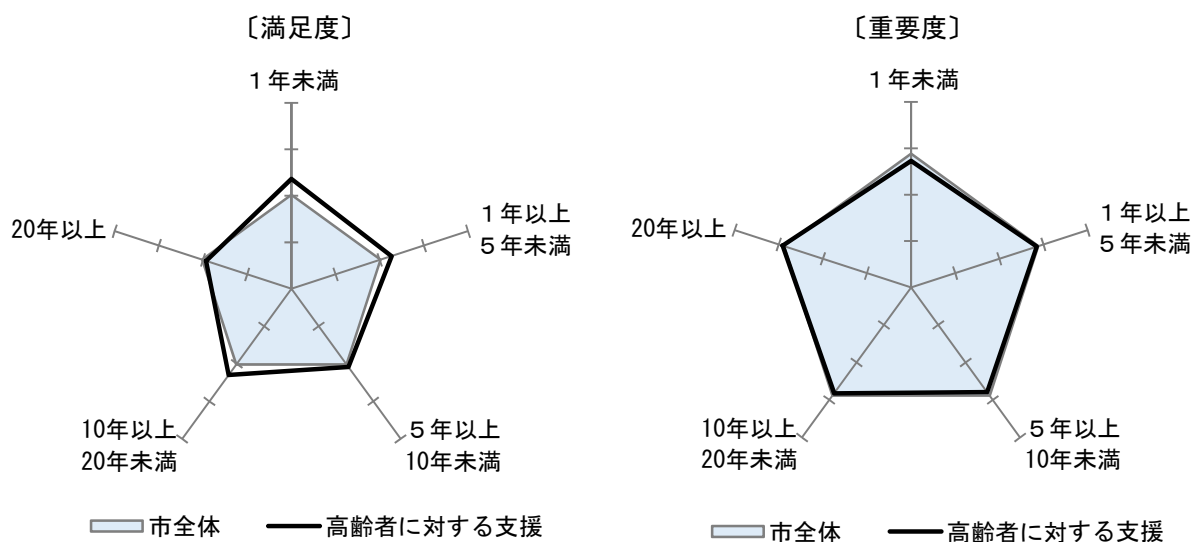
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



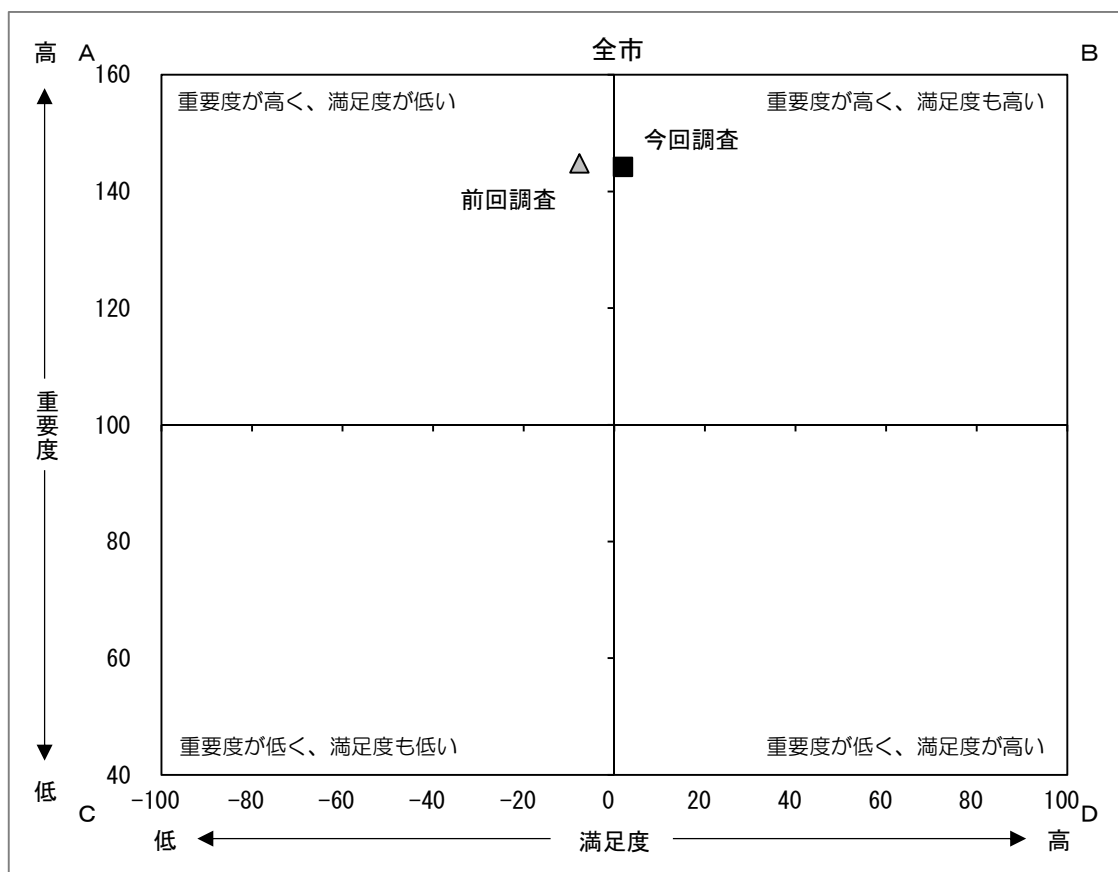
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”が最も高く、20年未満は市全体平均より低くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度がやや低くなり、満足度が高くなっている。

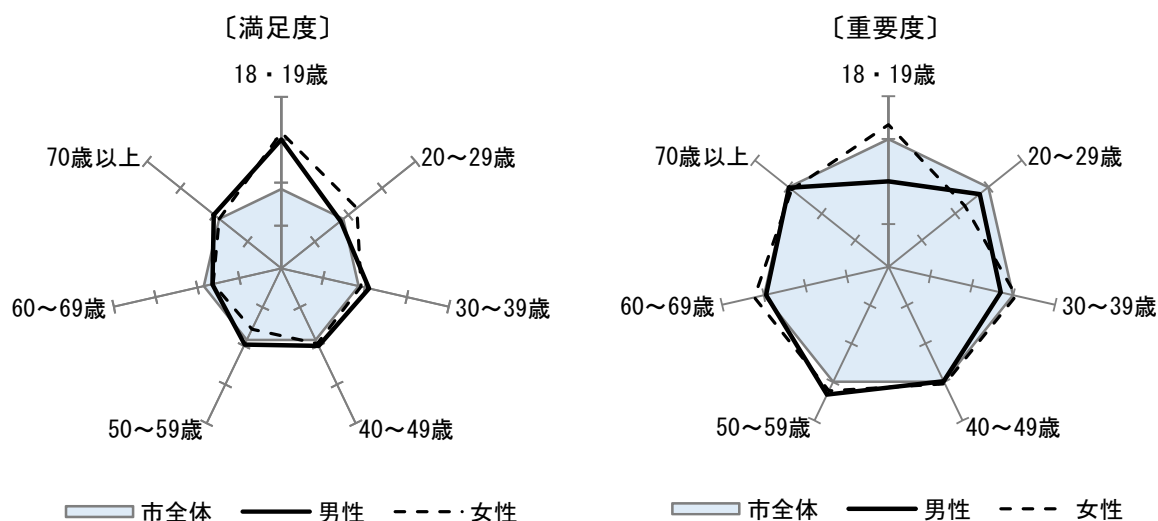


〔自立を支える社会保障制度を適正に運営する〕

（５）介護保険など社会保障制度の適正な運営

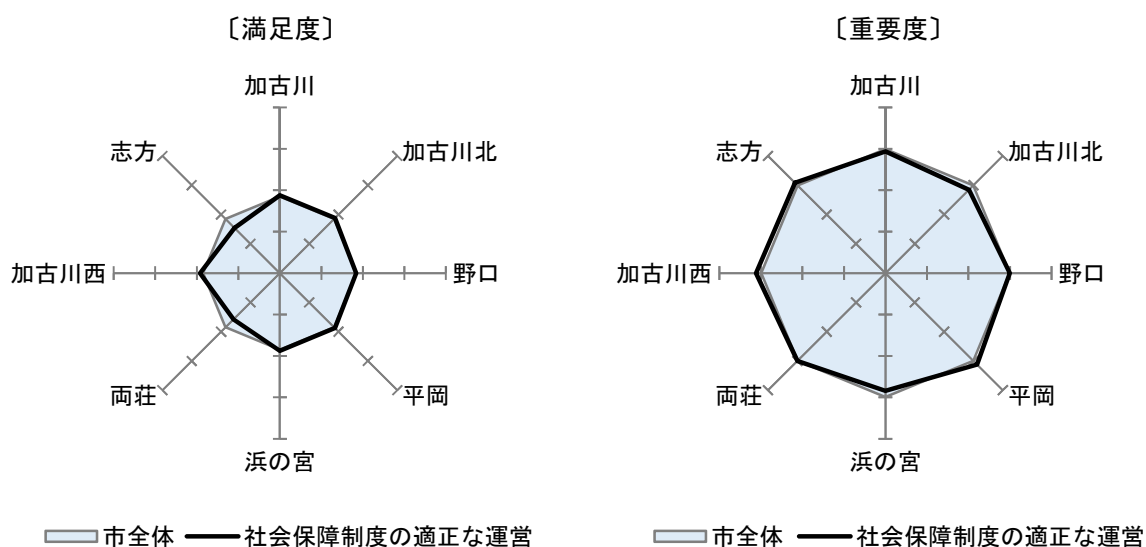
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、女性の50歳代が最も低く、男性の18・19歳、30～50歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～40歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の50歳代と女性の18・19歳、30～60歳代で市全体平均より高くなっている。



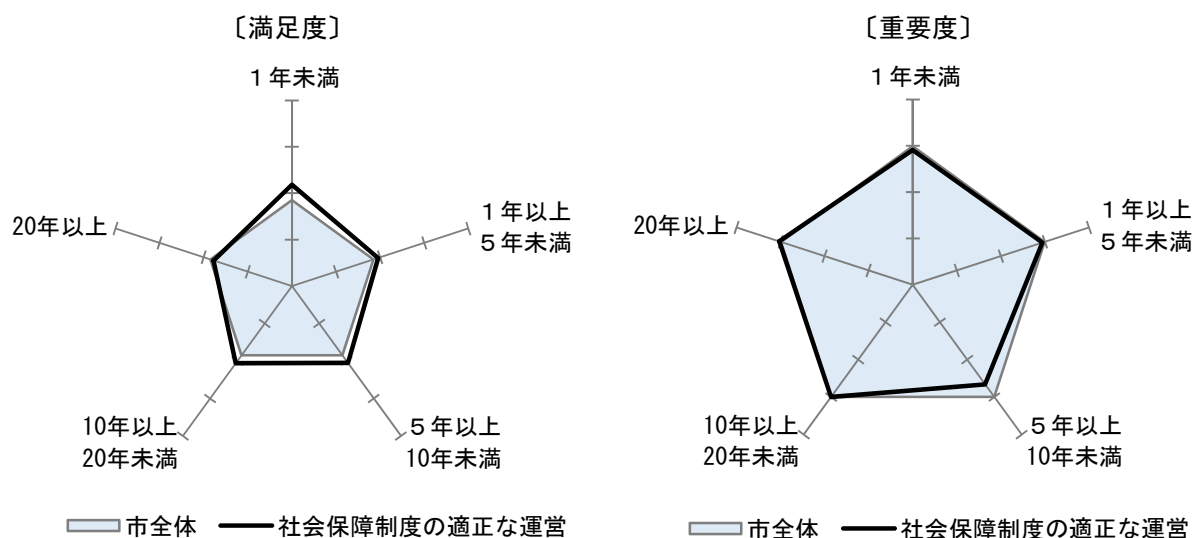
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・両荘・志方地区では市全体平均より低い、加古川西地区が最も高く、次いで加古川地区となっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・浜の宮地区では市全体平均より低い、平岡地区が最も高く、次いで加古川西地区となっている。



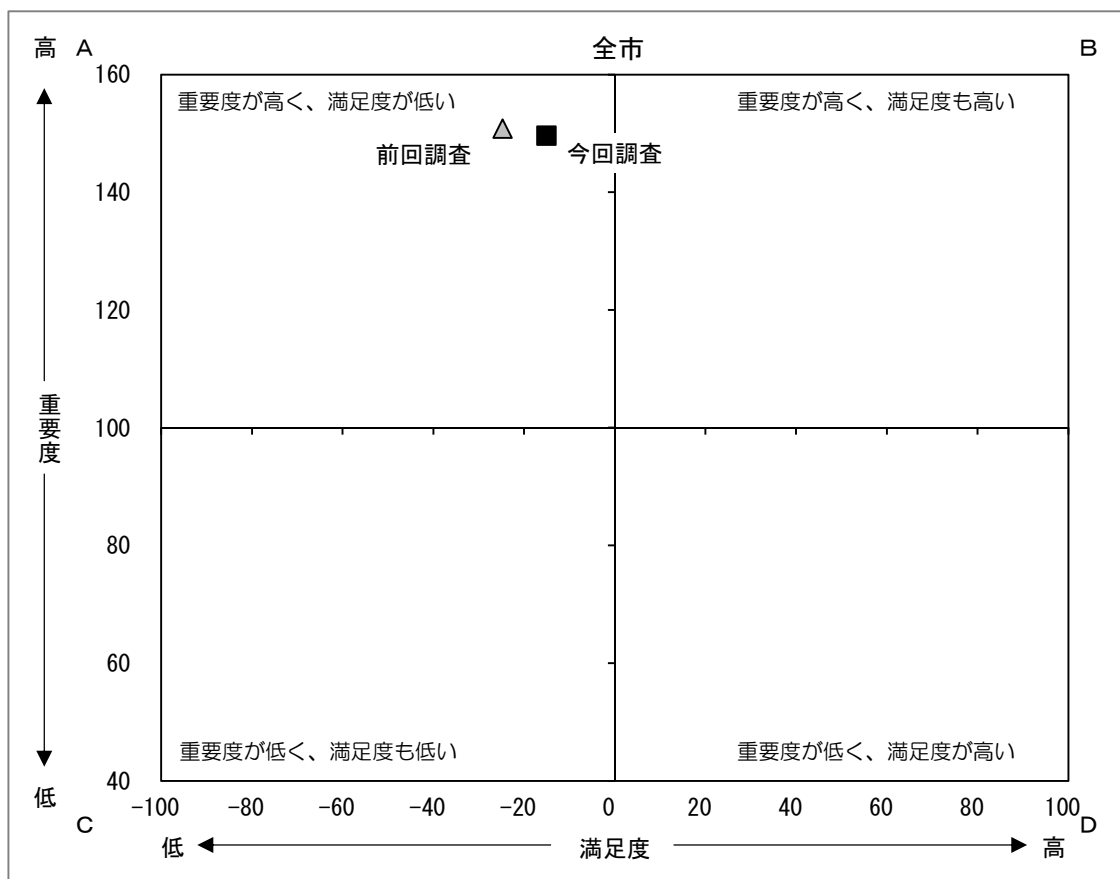
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。



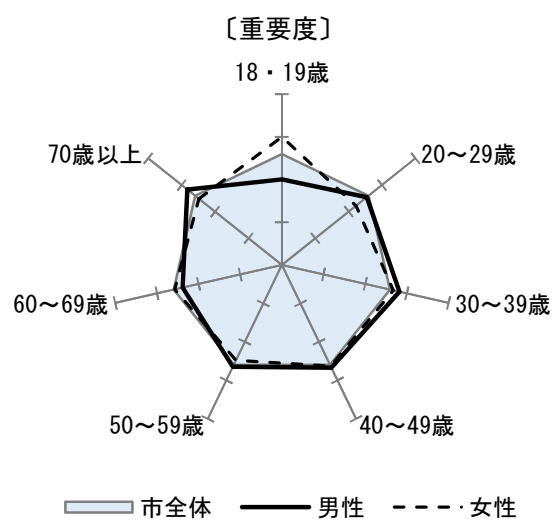
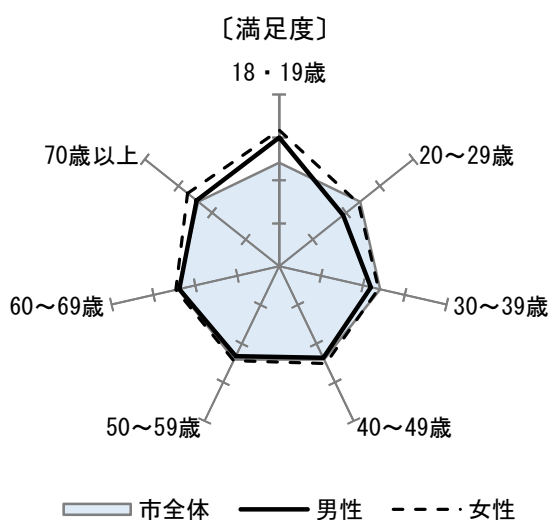
健康づくりや地域医療を充実する

〔健康管理を充実し、病気の予防を図る〕

（６）住民健診の充実や健康づくりの推進

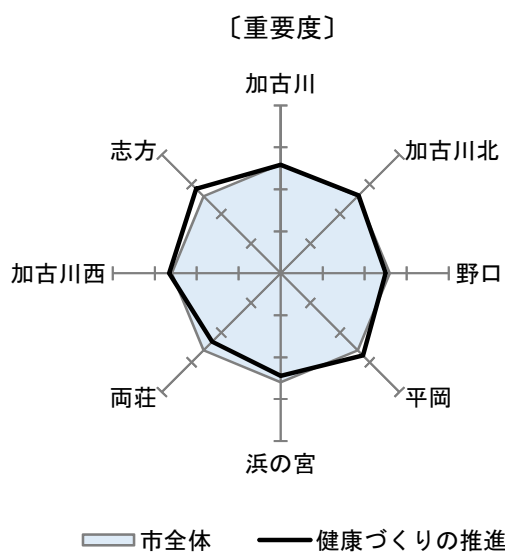
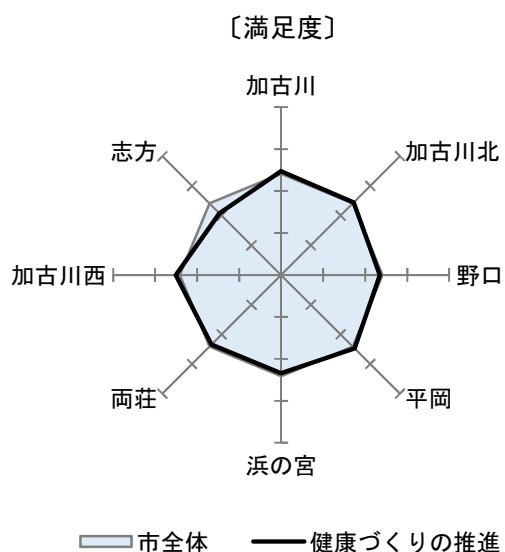
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と70歳以上の男女と、女性の40～60歳代では市全体平均より高いが、20歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、30～40歳代の男女と、男性の50歳代と70歳以上、女性の18・19歳で市全体平均より高くなっている。



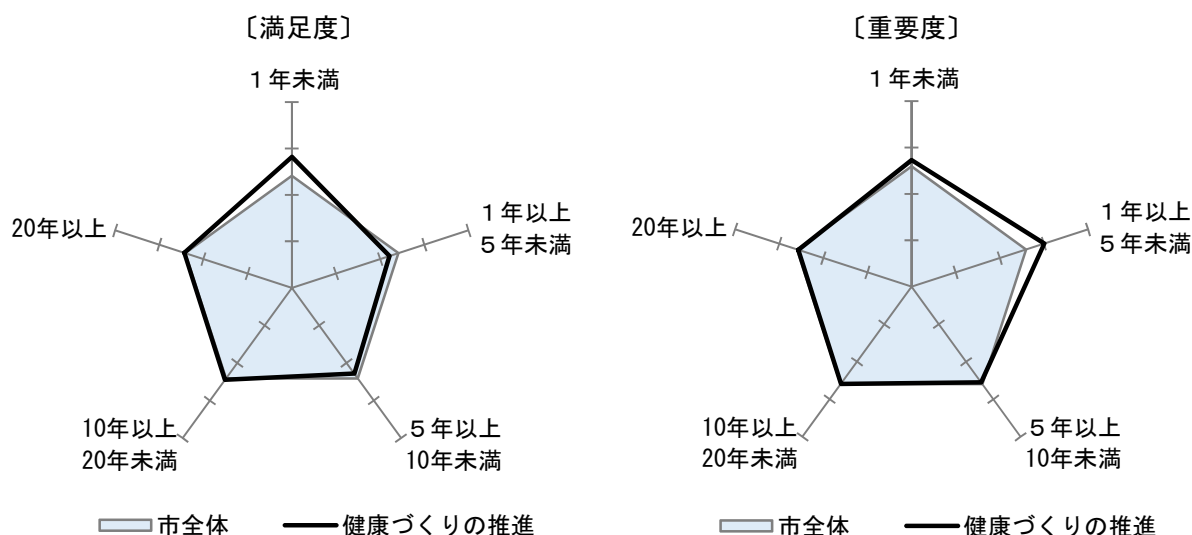
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも志方地区が最も高くなっている。



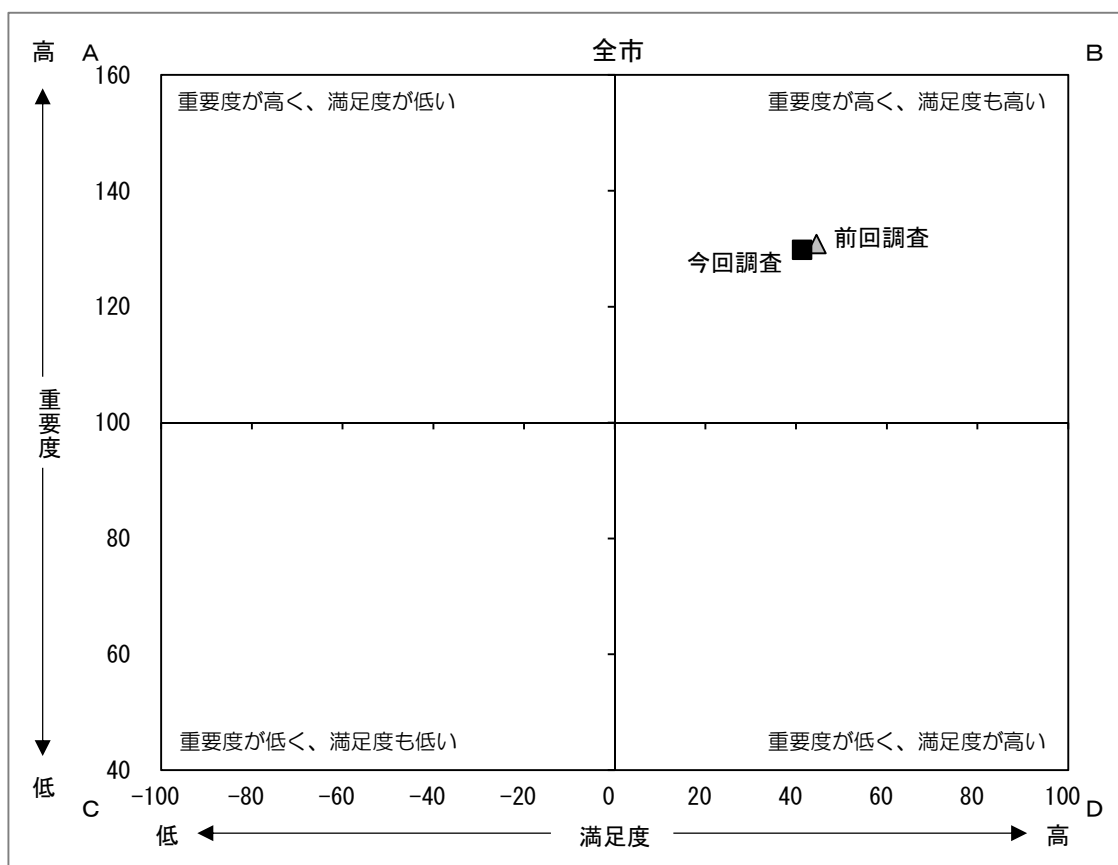
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“1年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度が低く、重要度もやや低くなっている。

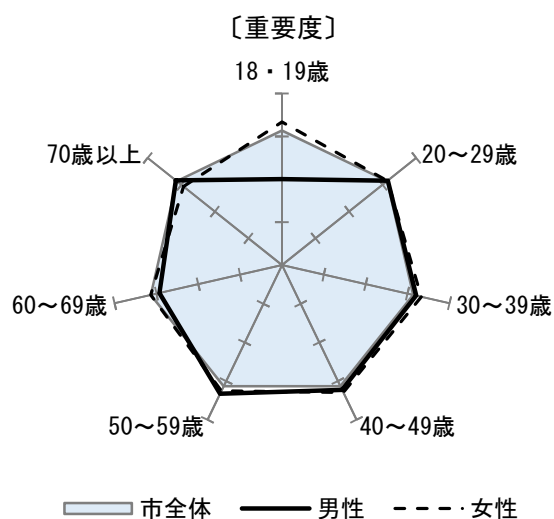
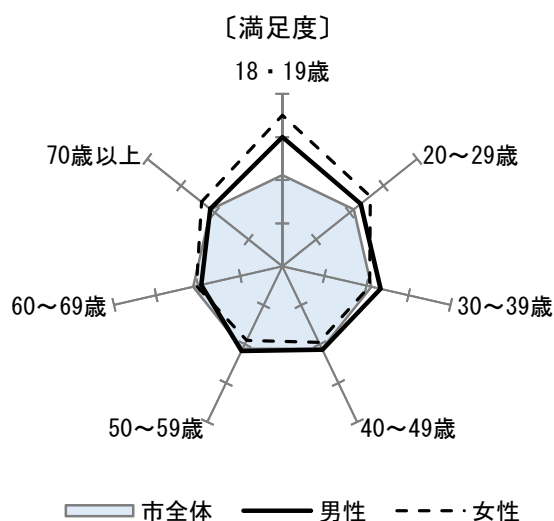


〔地域医療を充実する〕

（７）安心できる医療体制

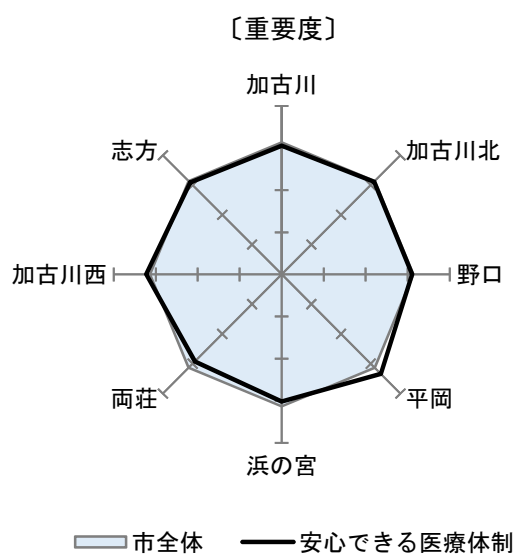
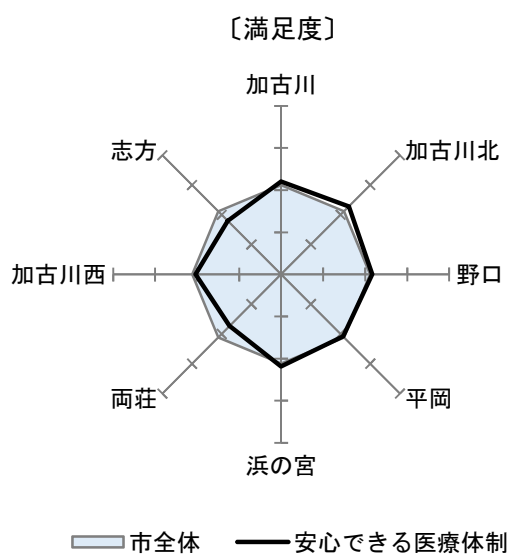
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の60歳代が最も低く、18・19歳～20歳代と70歳以上の男女と、男性の30～50歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20～50歳代の男女と、男性の70歳以上、女性の18・19歳で市全体平均より高くなっている。



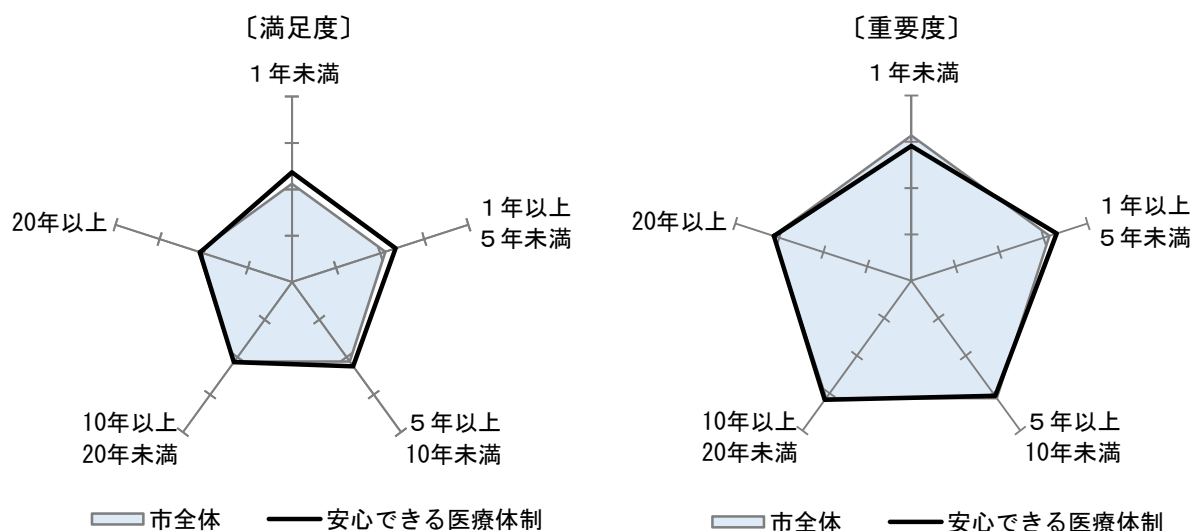
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・浜の宮地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



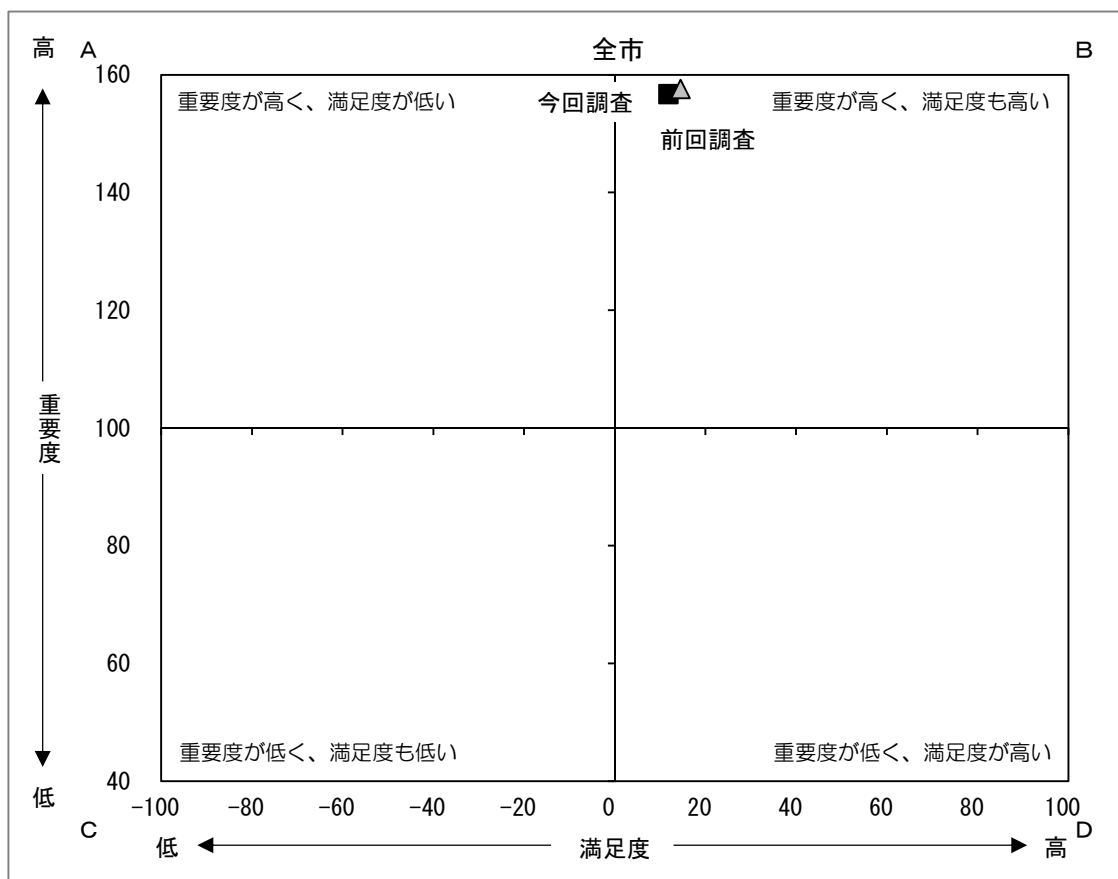
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度が低く、重要度もやや低くなっている。



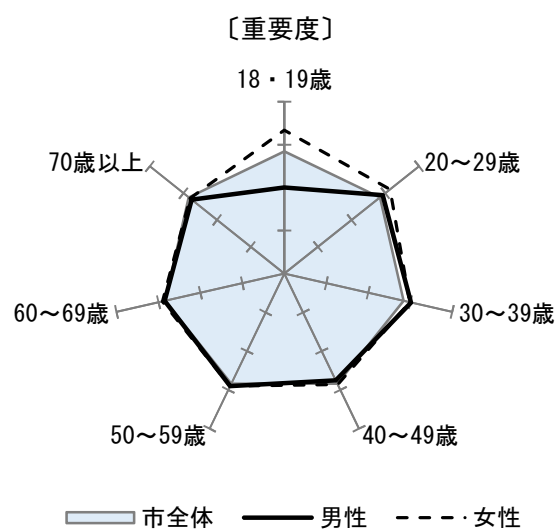
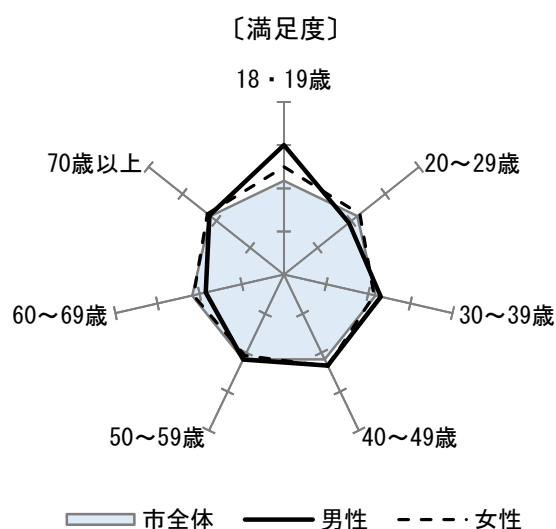
市民生活の安全・安定を確保する

〔災害・非常事態に対応する体制を充実する〕

（８）地域の防災体制

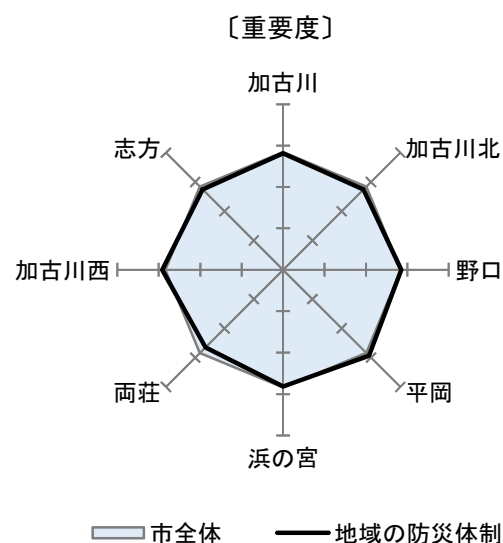
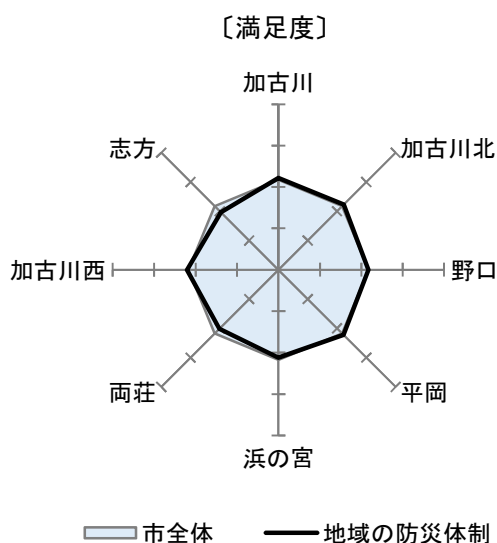
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の60歳代が最も低く、18・19歳と40歳代、70歳以上の男女と、男性の30歳代、50歳代、女性の20歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～30歳代、50～60歳代と、女性の18・19歳～60歳代で市全体平均より高く、30歳代以外の年代では女性の方が高くなっている。



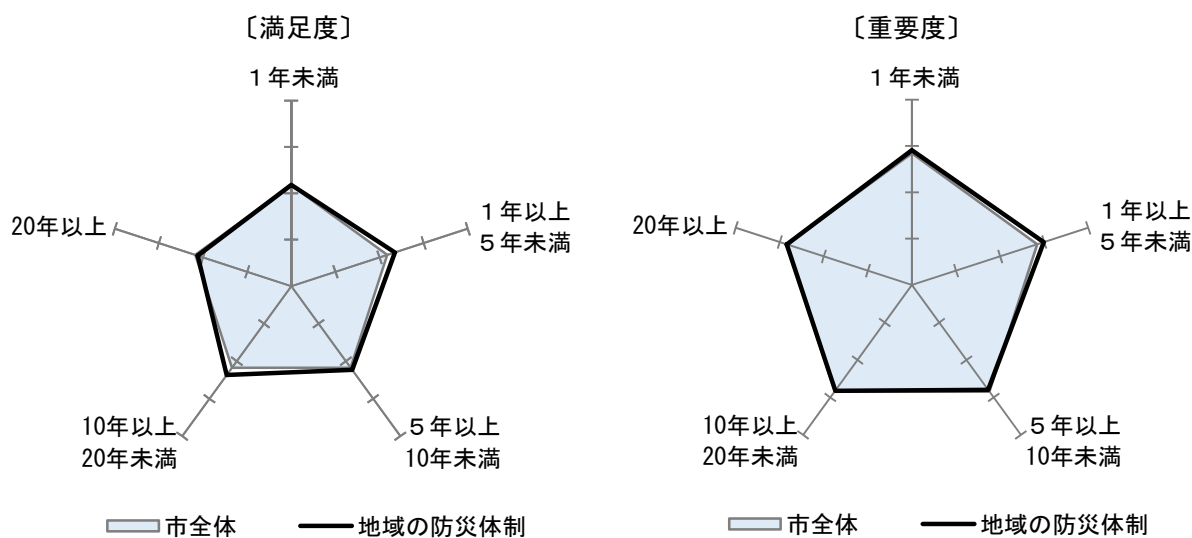
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



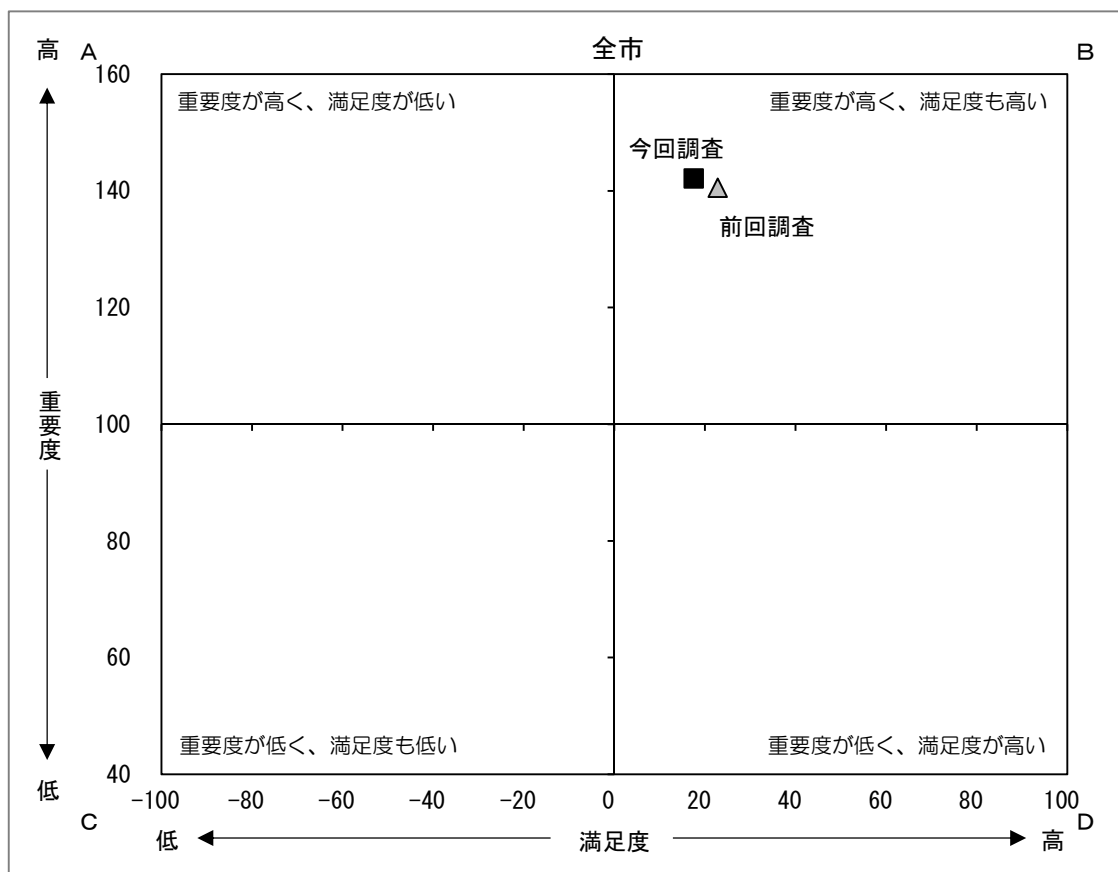
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“10年以上20年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“1年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。

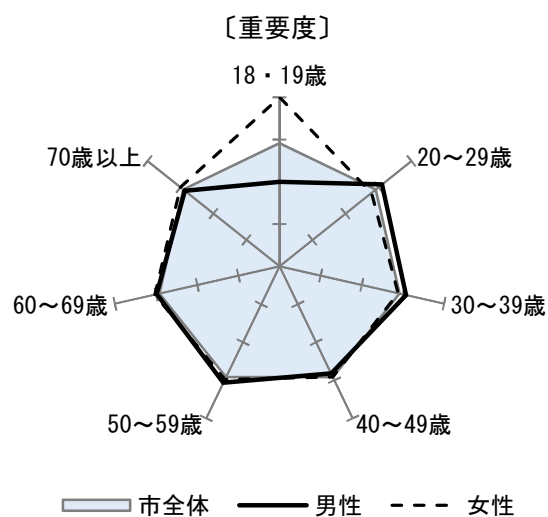
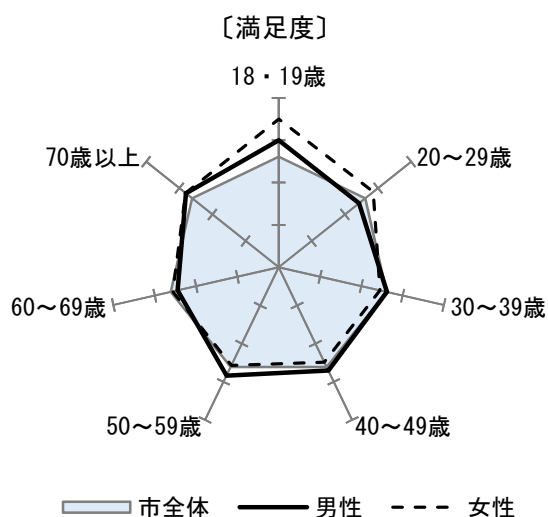


〔消防・救急体制を充実する〕

（９）消防や救急・救命体制

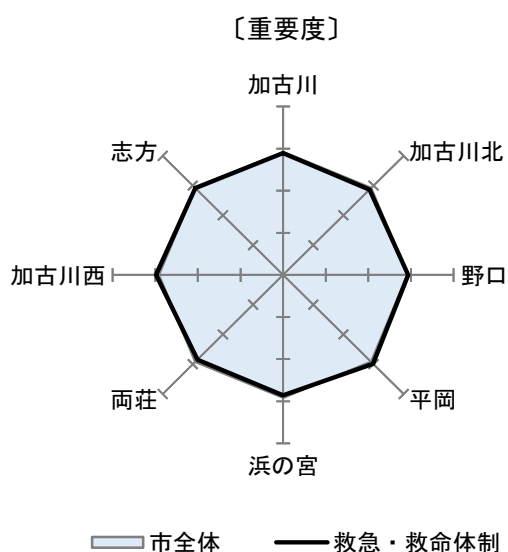
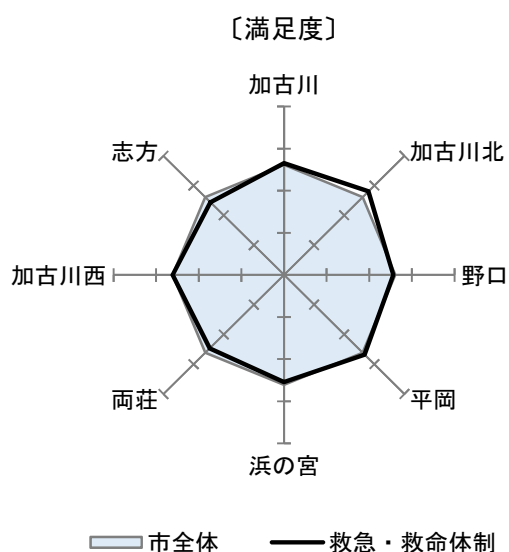
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の20歳代で最も低く、18・19歳と70歳以上の男女と、男性の30～50歳代、女性の20歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～30歳代と50～60歳代、女性の18・19歳と50歳代以上で市全体平均より高くなっている。



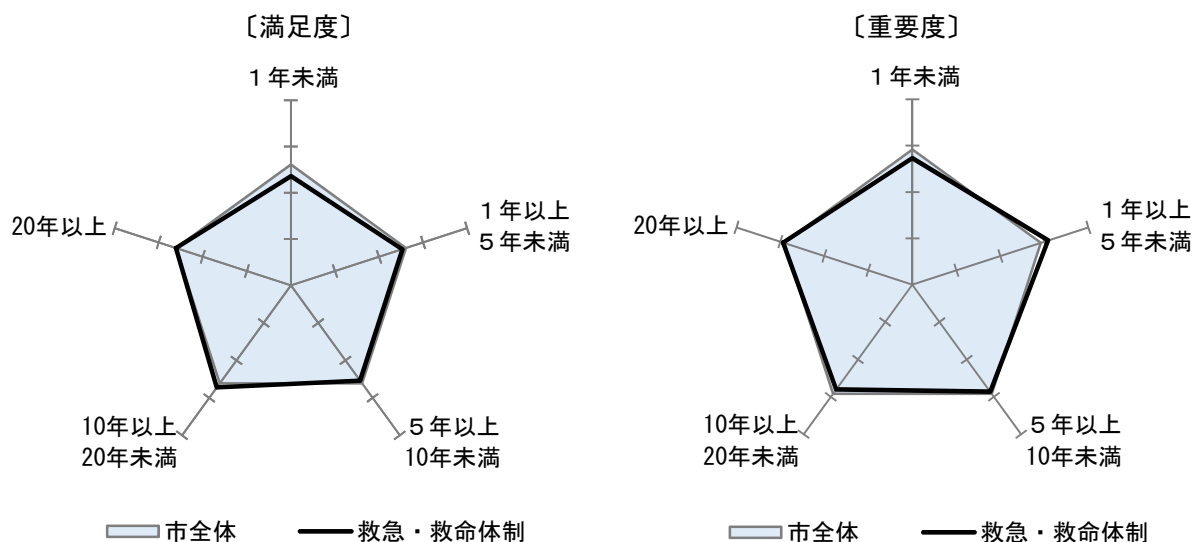
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



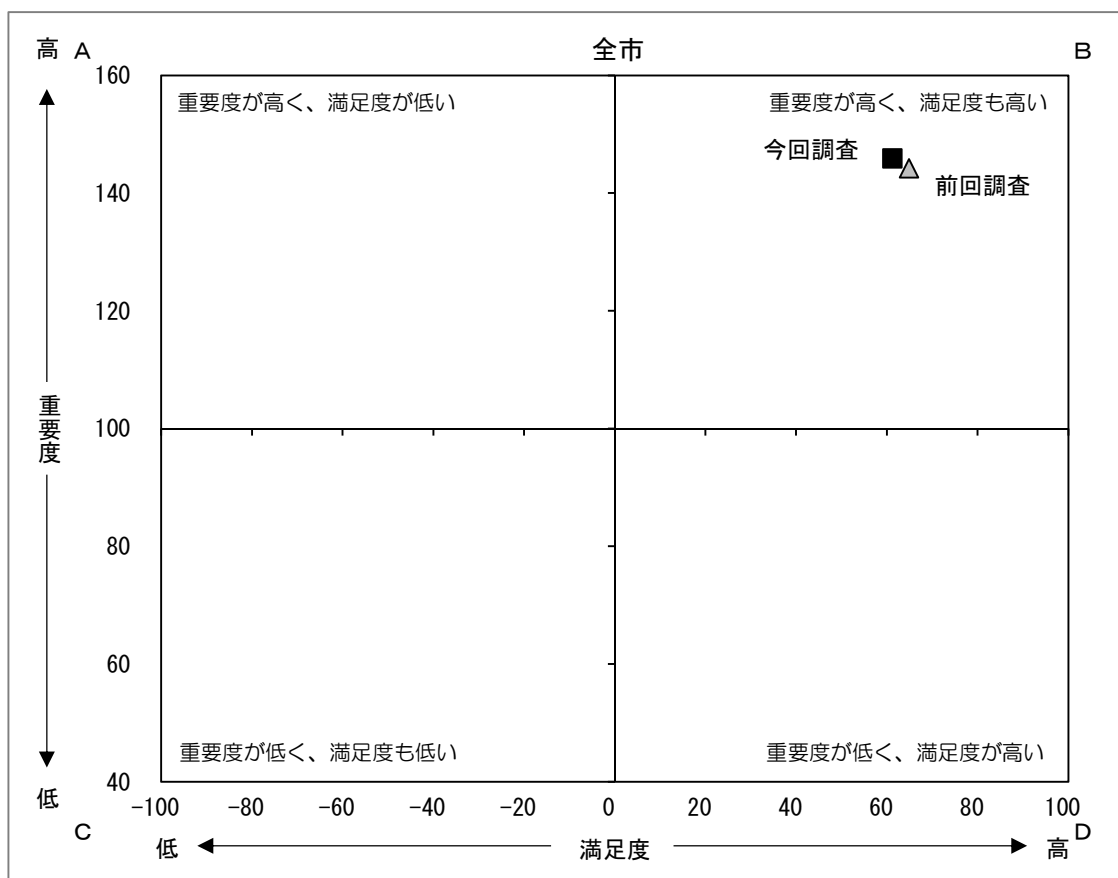
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。

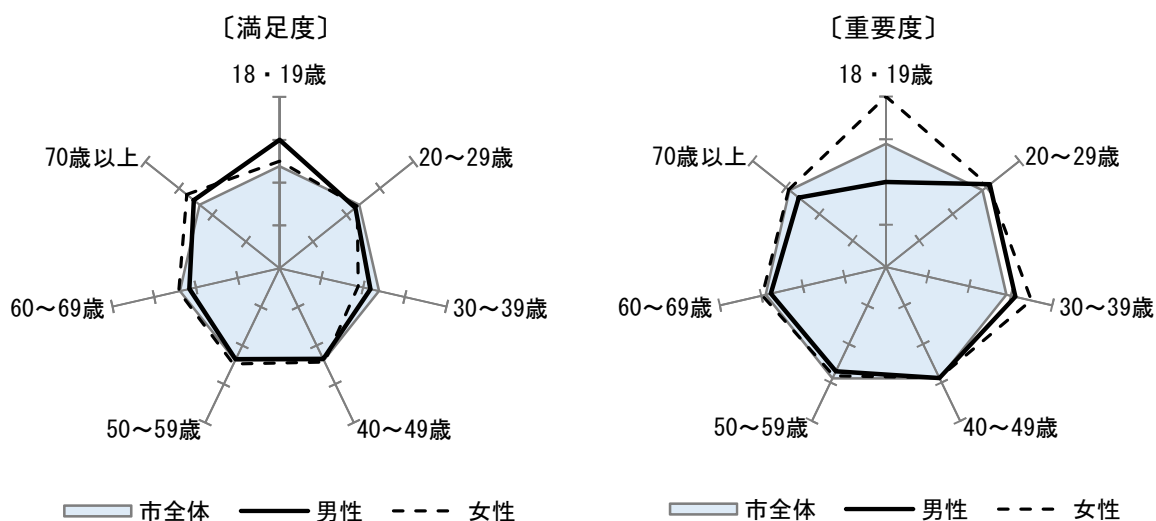


〔防犯・交通安全対策を推進する〕

(10) 子どもの見守りやパトロールなどの安全対策

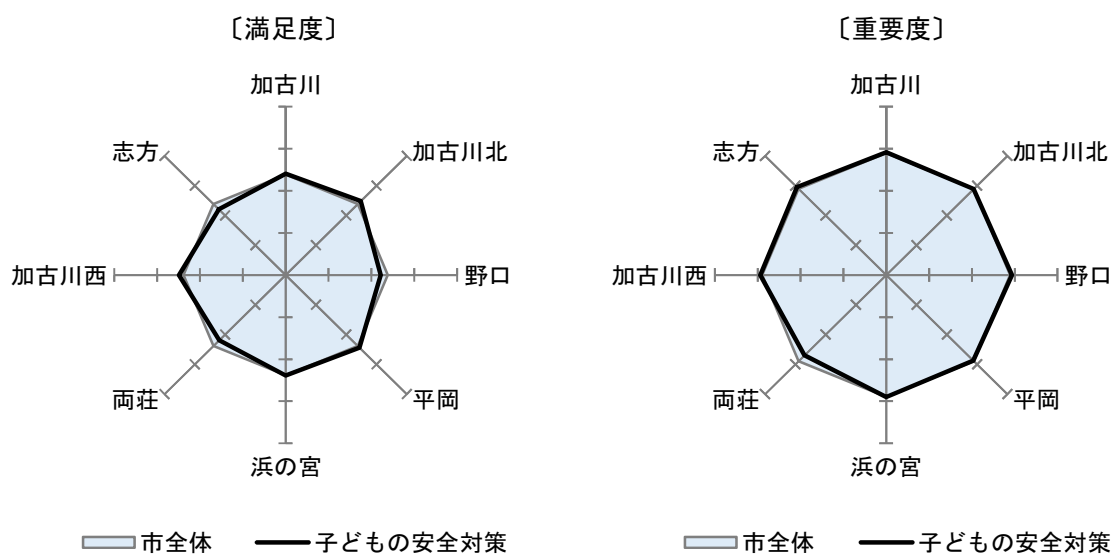
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、女性の30歳代が最も低く、18・19歳と70歳以上の男女と、女性の40～60歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、20～30歳代の男女と、女性の18・19歳、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



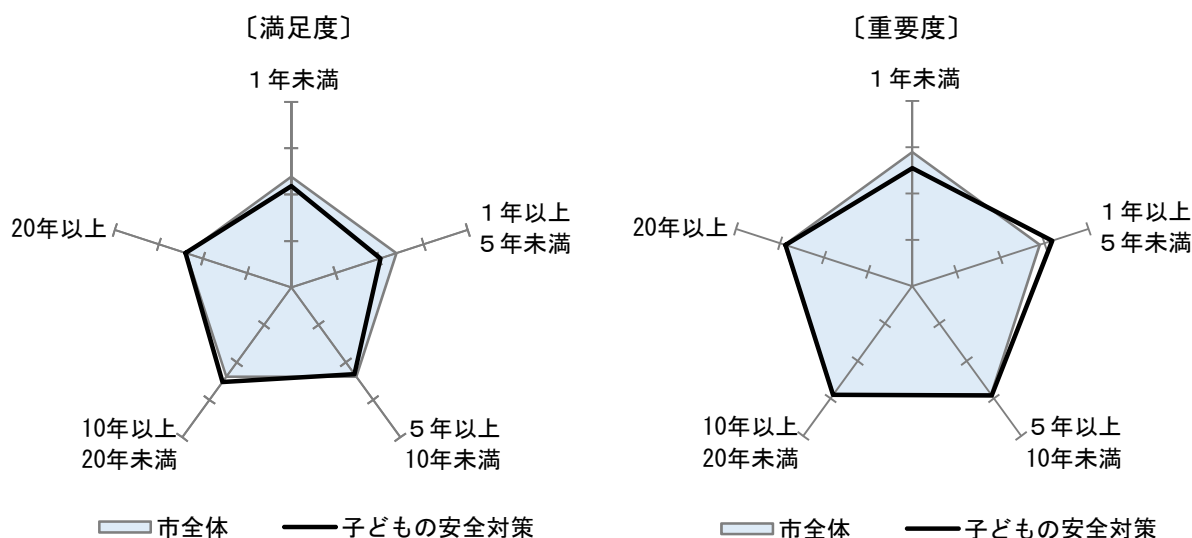
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、野口・両荘・志方地区では市全体平均より低い、加古川西地区が最も高く、次いで加古川北地区となっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川北・平岡・両荘地区では市全体平均より低い、志方地区が最も高く、次いで加古川西地区となっている。



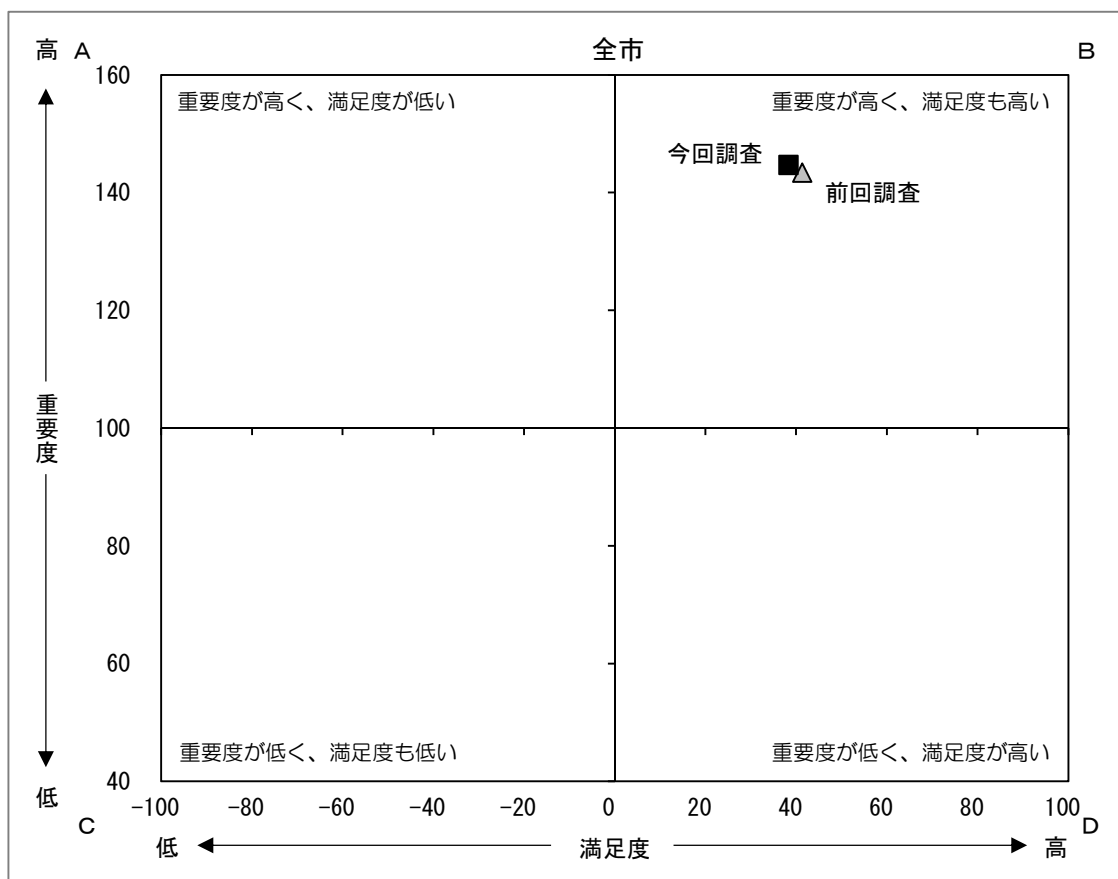
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。

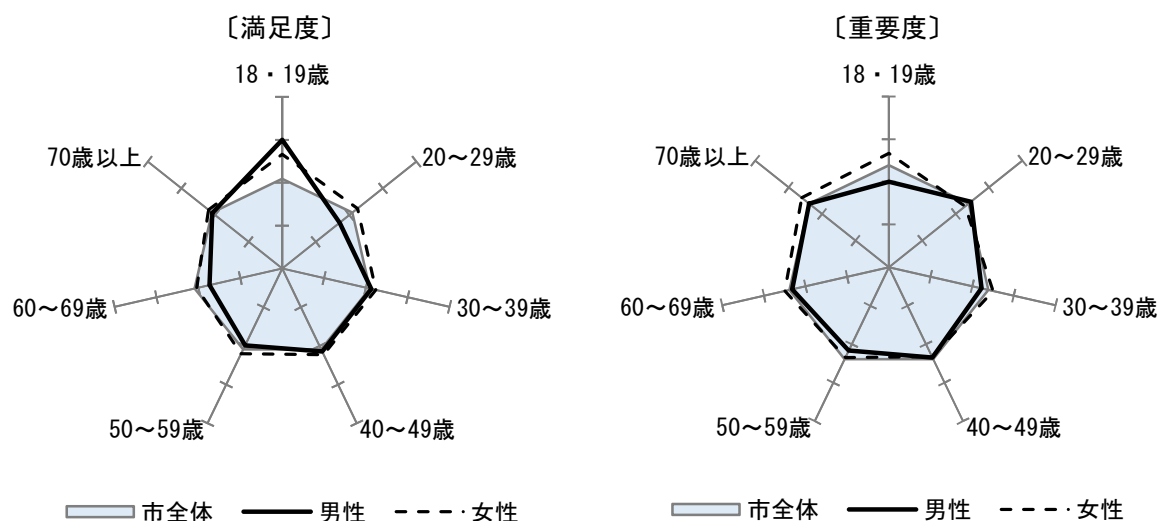


〔消費生活等の安全・向上を図る〕

(11) 悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発

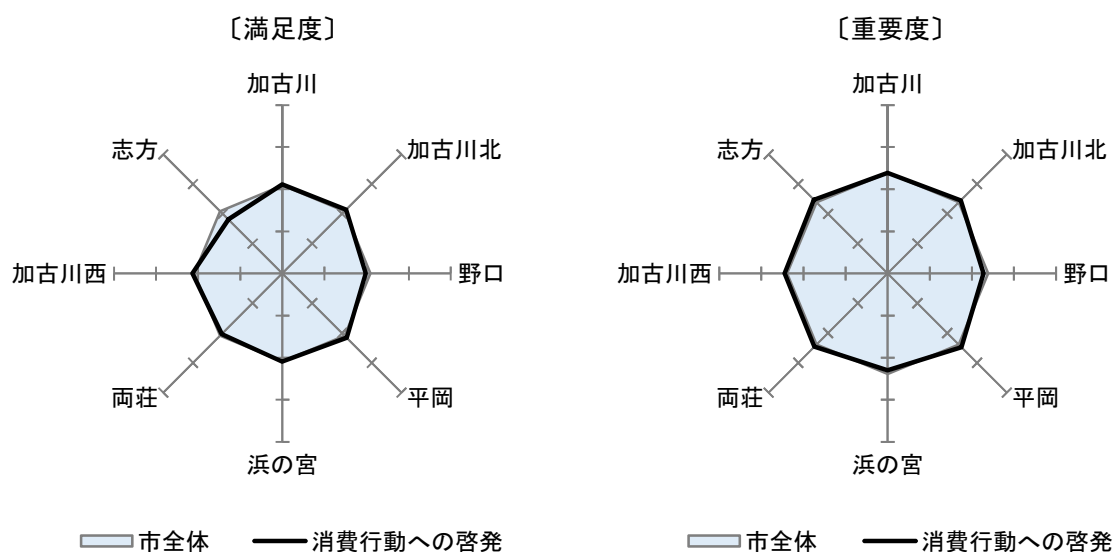
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳と30～40歳代、女性の18・19歳～50歳代、70歳以上で市全体平均より高く、20歳代以上では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20歳代、70歳以上と、女性の18・19歳と30歳代、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



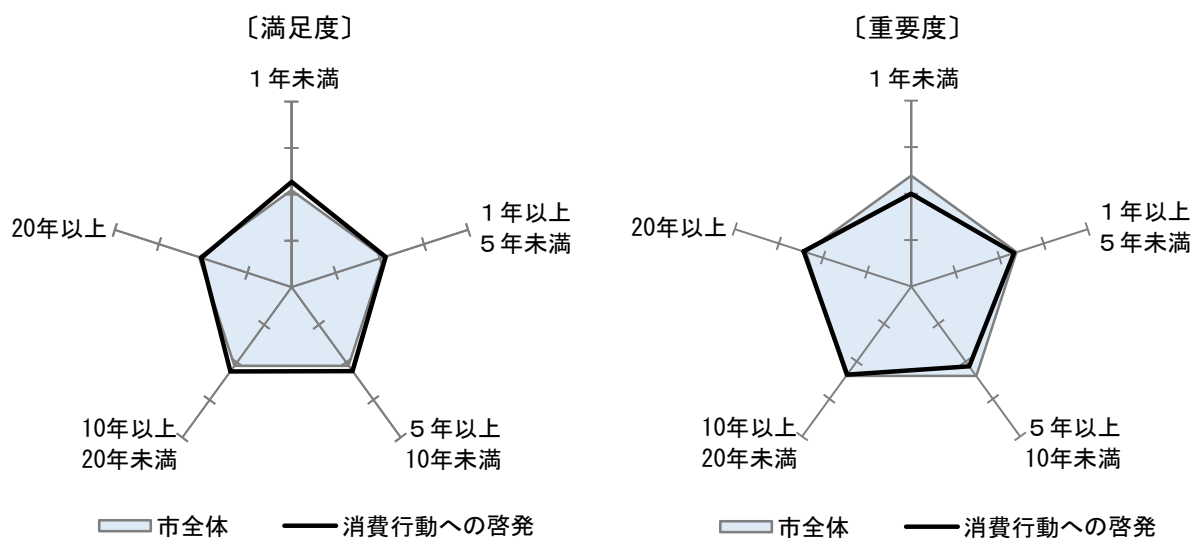
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・両荘・志方地区では市全体平均より低い、平岡地区が最も高く、次いで加古川北地区となっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口・浜の宮地区では市全体平均より低い、平岡地区が最も高く、次いで志方地区となっている。



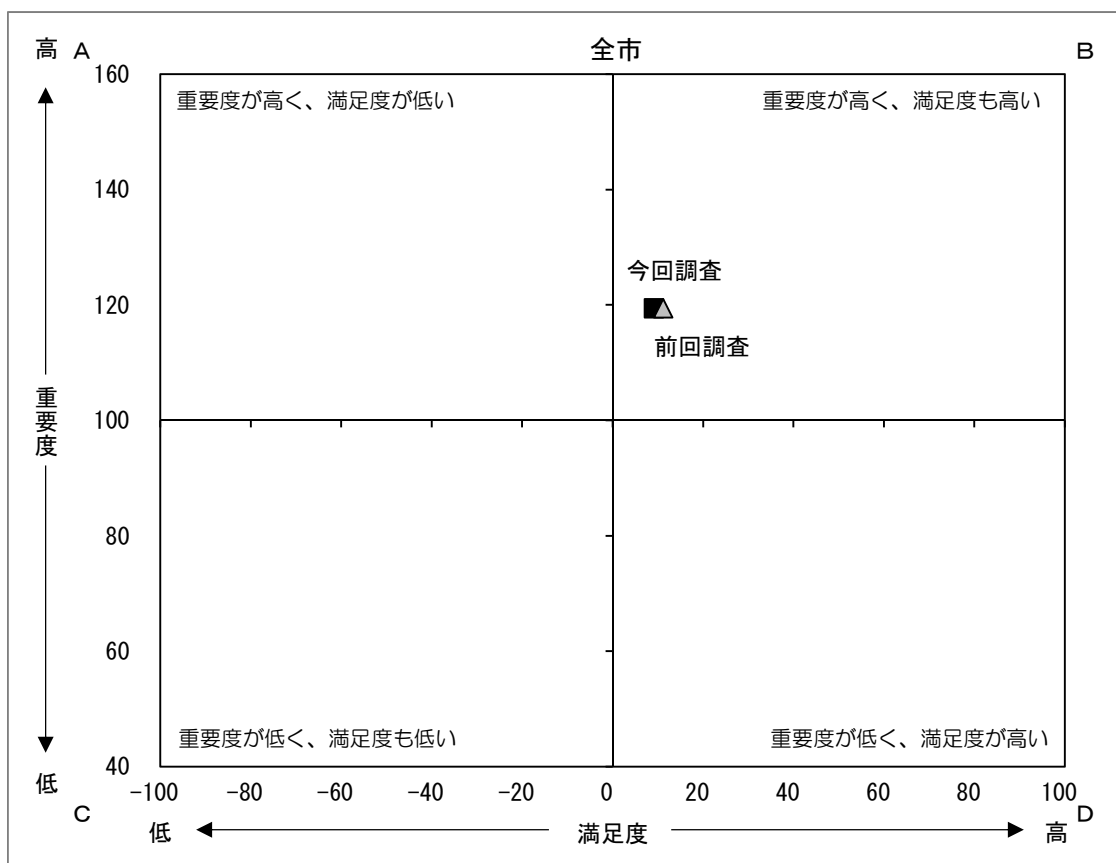
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”が最も高く、20年未満で市全体平均より低くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、重要度は変わらないが、前回調査より満足度が低くなっている。

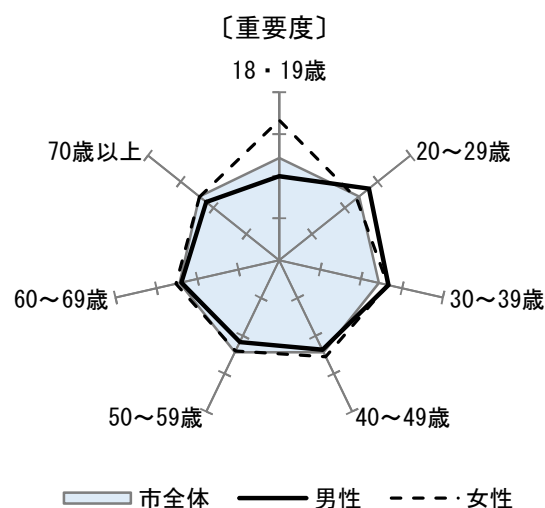
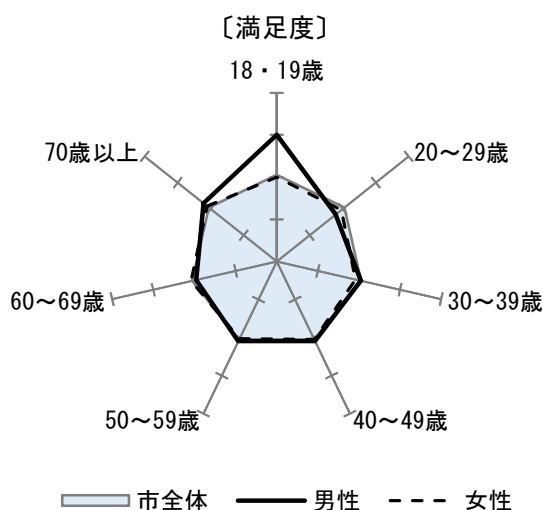


〔勤労者福祉を充実する〕

(12) 勤労者の福利厚生や労働相談などの勤労支援

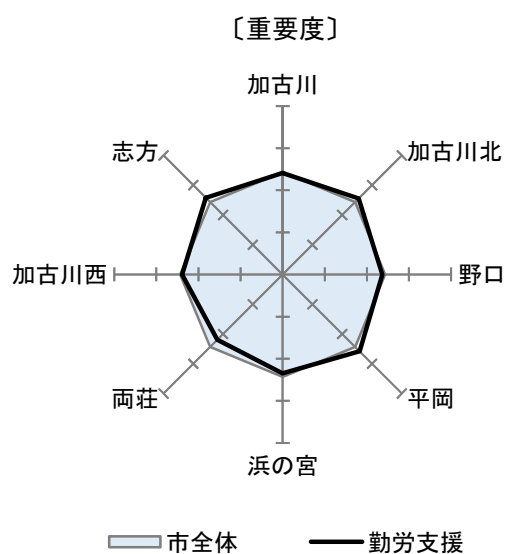
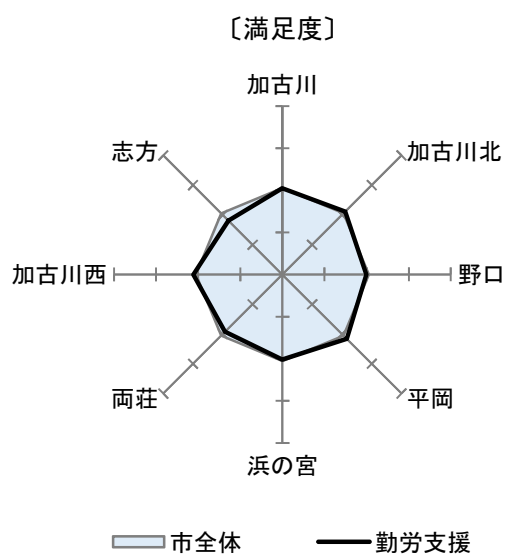
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の20歳代で最も低く、男性の18・19歳、40～50歳代、70歳以上と、女性の60歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～30歳代と女性の18・19歳、30～40歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



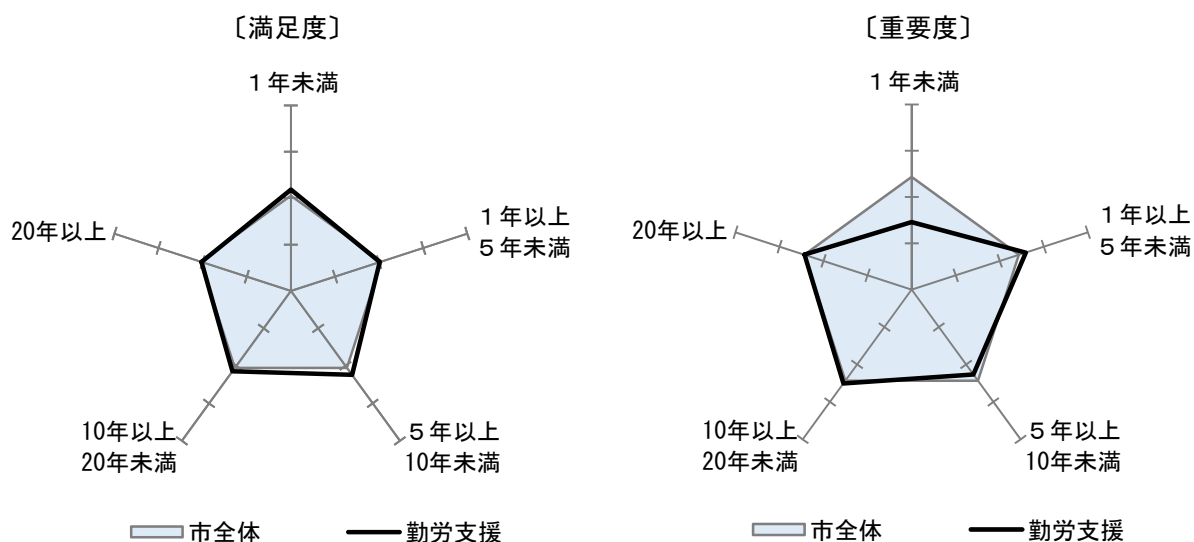
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・志方地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



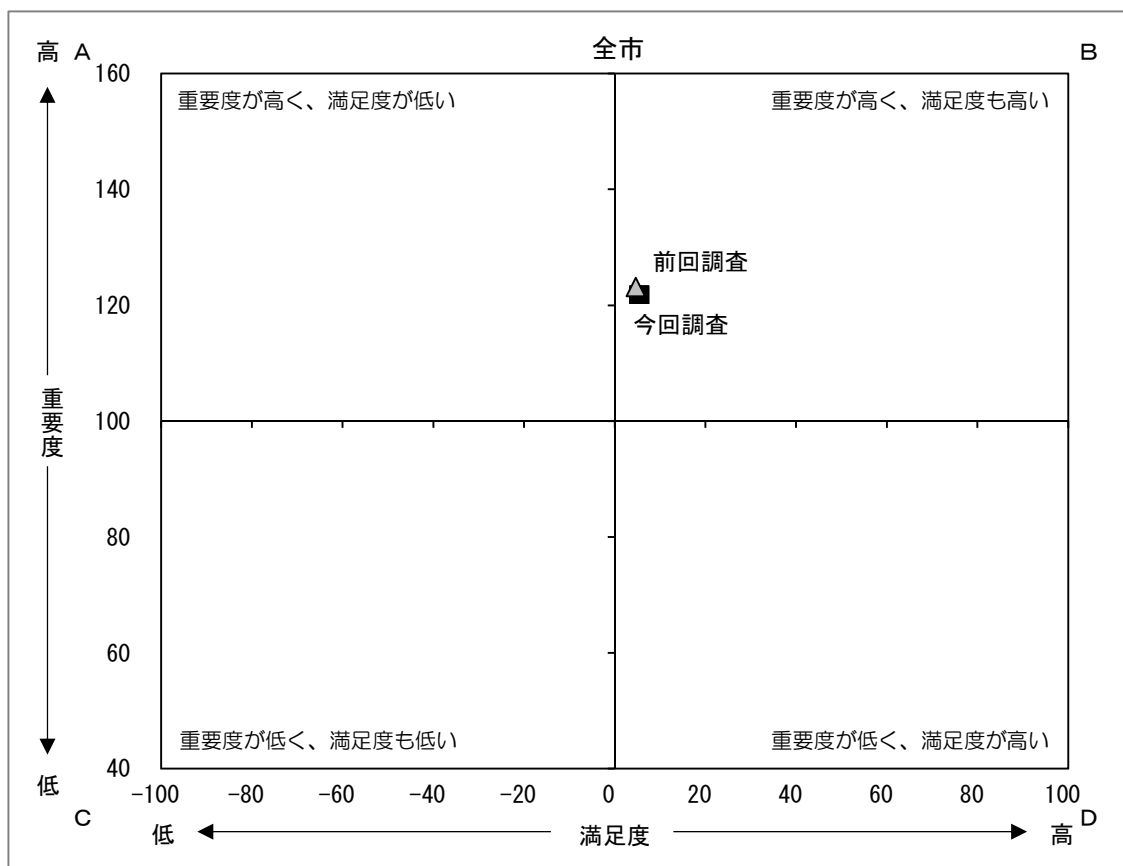
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“5年以上10年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

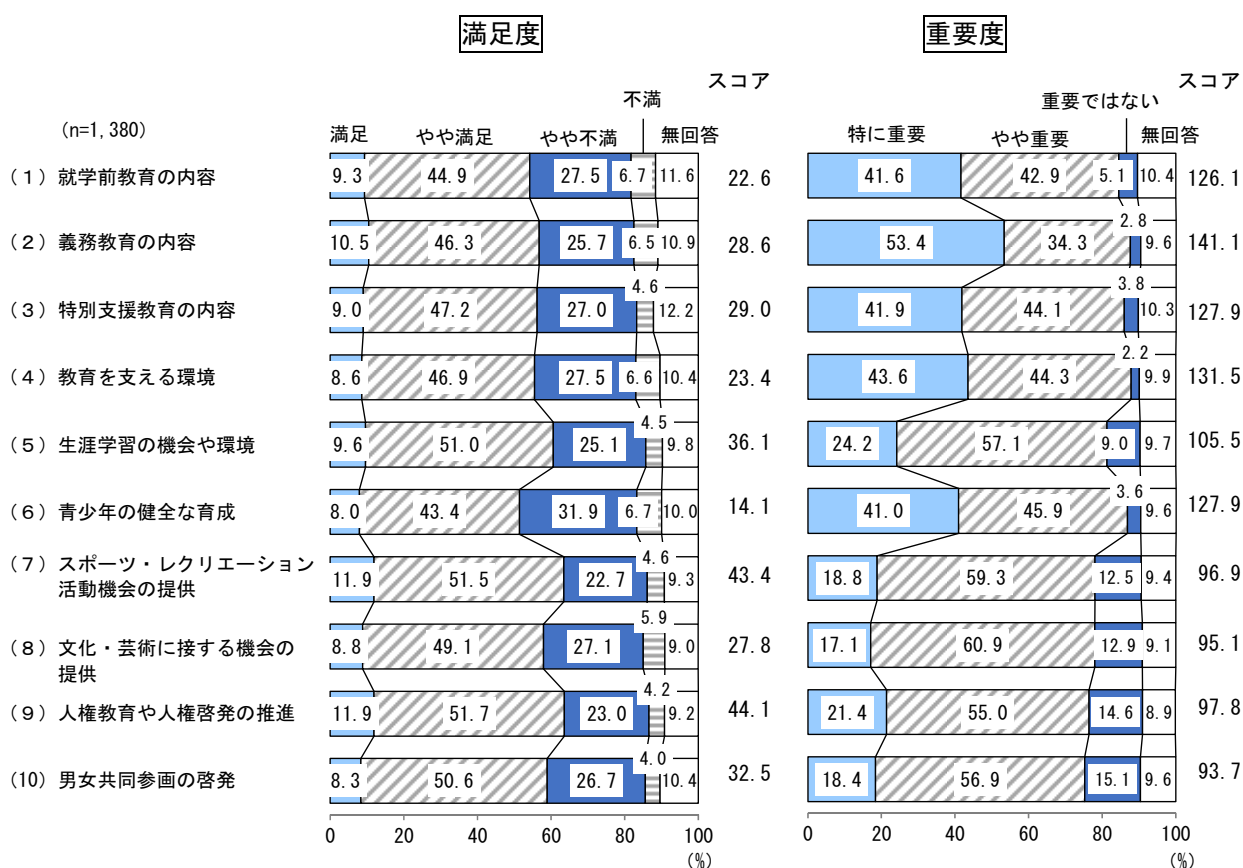
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度がやや高くなっている。



3-2 心豊かに暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(9) 人権教育や人権啓発の推進”、次いで“(7) スポーツ・レクリエーション活動機会の提供”となっている。一方、最も低い項目は“(6) 青少年の健全な育成”、次いで“(1) 就学前教育の内容”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(2) 義務教育の内容”、次いで“(4) 教育を支える環境”となっている。一方、最も低い項目は“(10) 男女共同参画の啓発”、次いで“(8) 文化・芸術に接する機会の提供”となっている。

《全体》



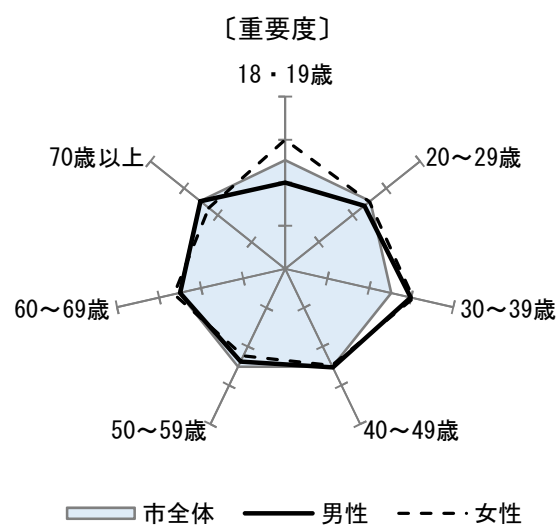
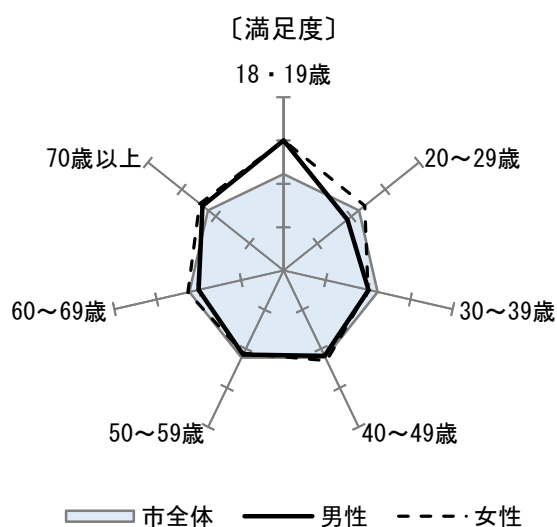
学校教育を充実する

〔特色ある就学前教育を推進する〕

（１）就学前教育の内容

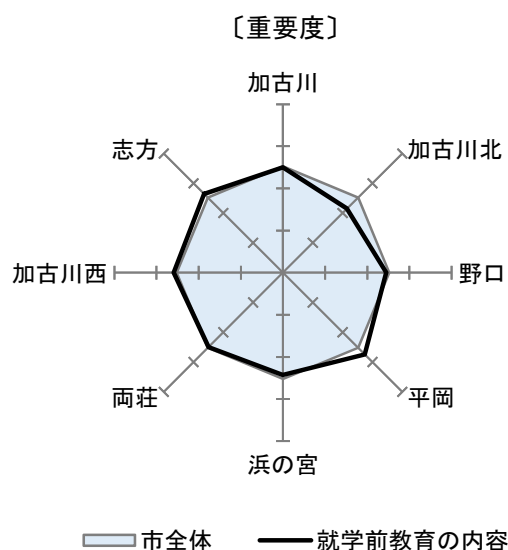
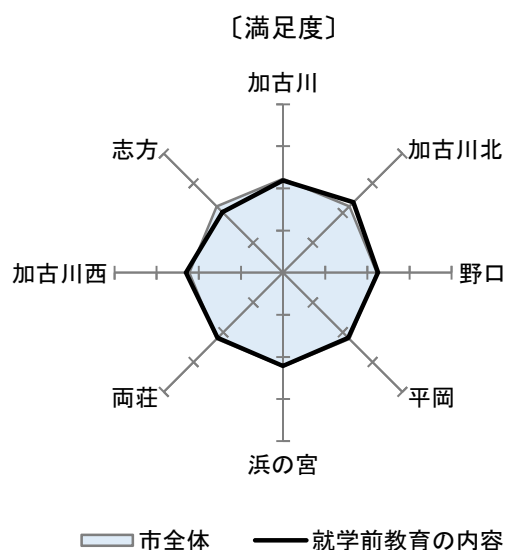
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の20歳代が最も低く、18・19歳、70歳以上の男女と、女性の20歳代と40歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の30～40歳代と女性の18・19歳、30歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



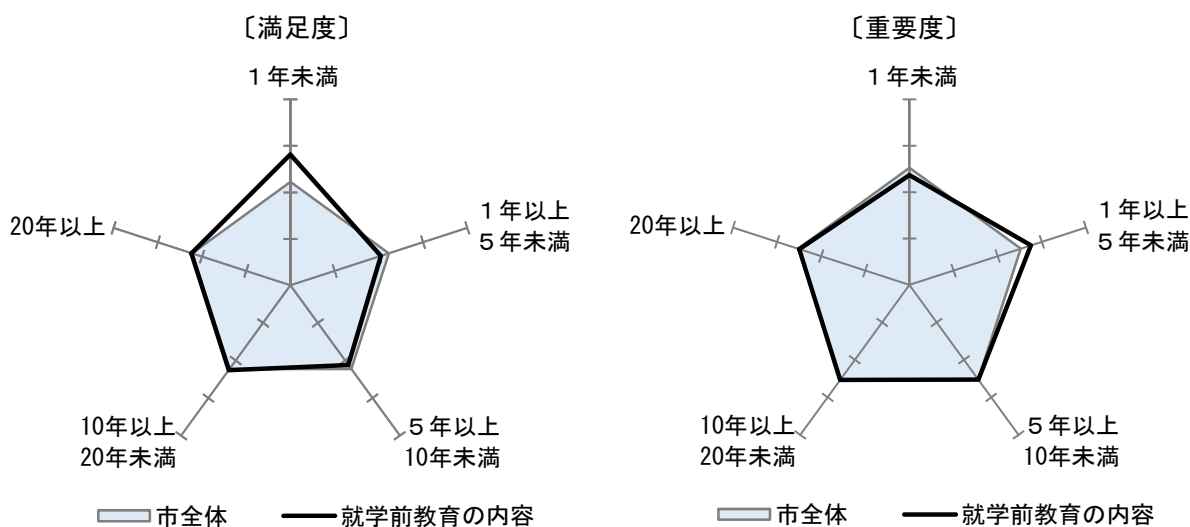
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・野口・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



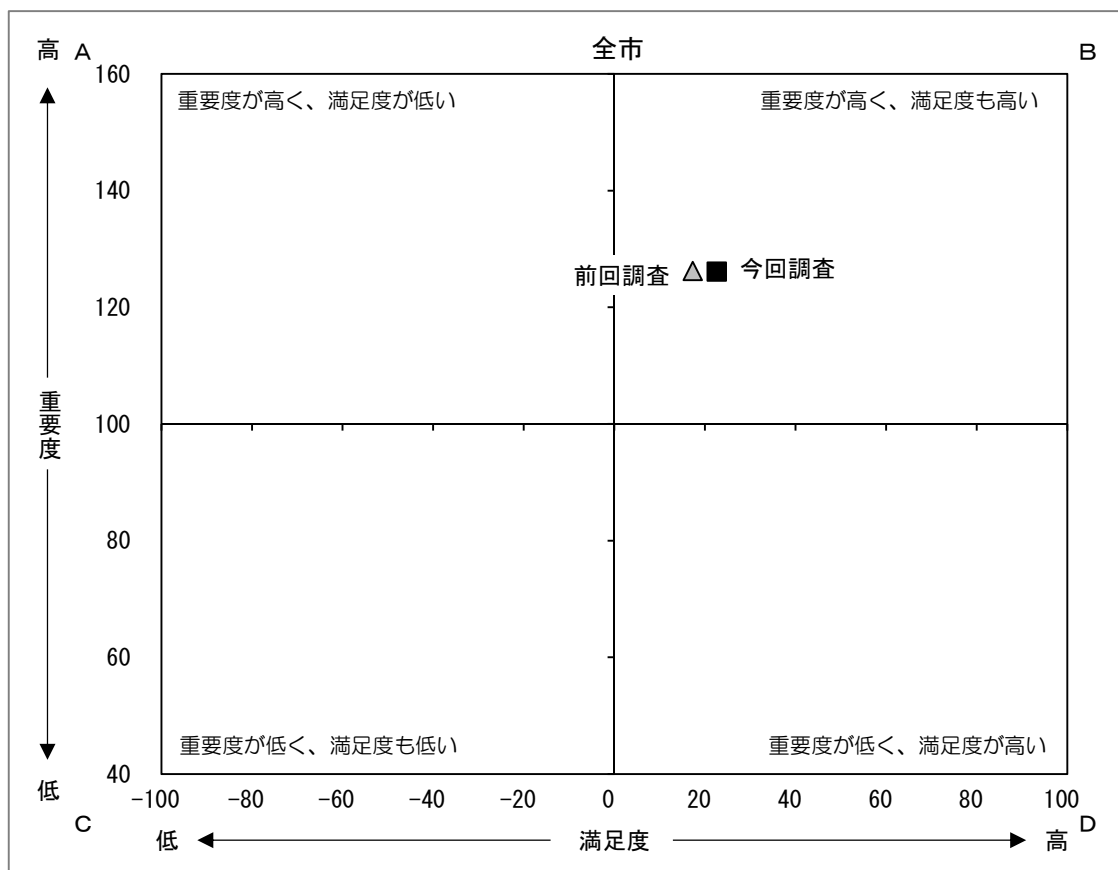
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、重要度は変わらないが、前回調査より満足度が高くなっている。

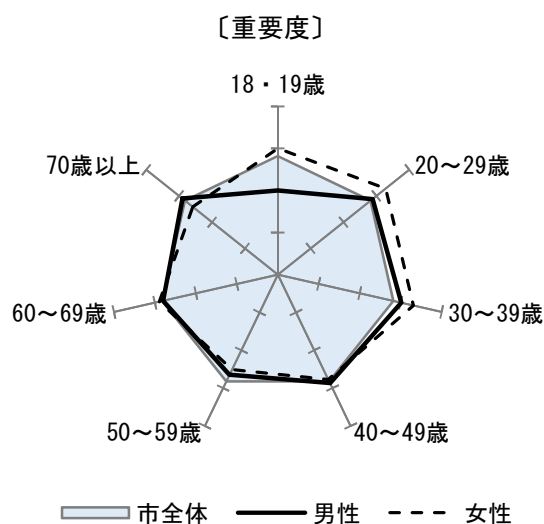
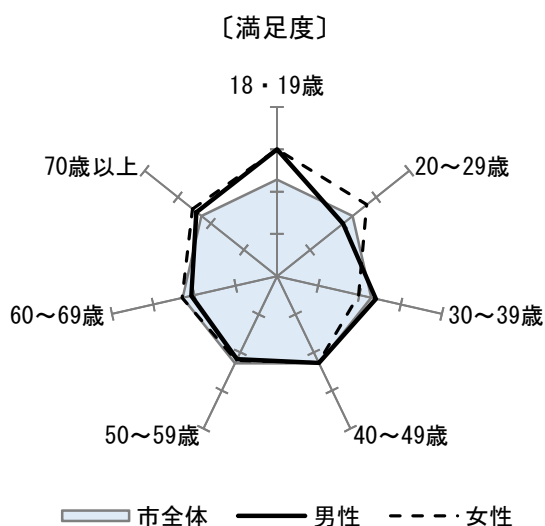


〔義務教育を充実する〕

（２）義務教育の内容

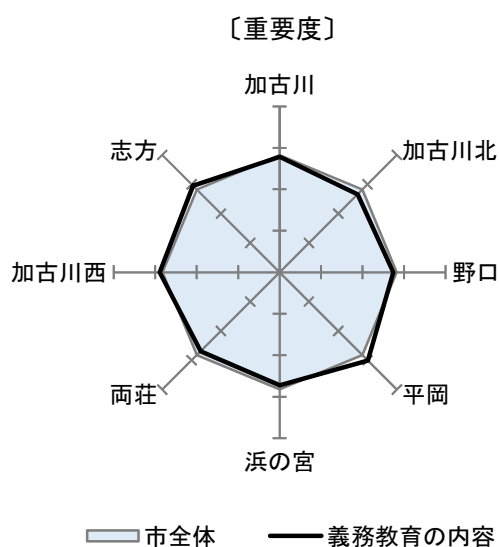
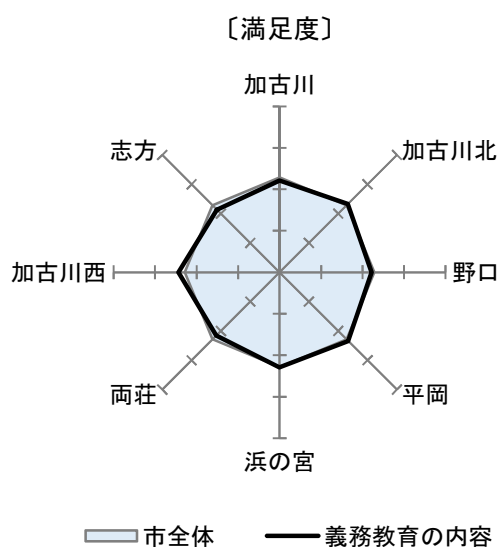
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、女性の30歳代が最も低く、男性の18・19歳、30歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～20歳代と60歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、女性の30歳代が最も高く、男性の20～40歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～30歳代と60歳代で市全体平均より高くなっている。



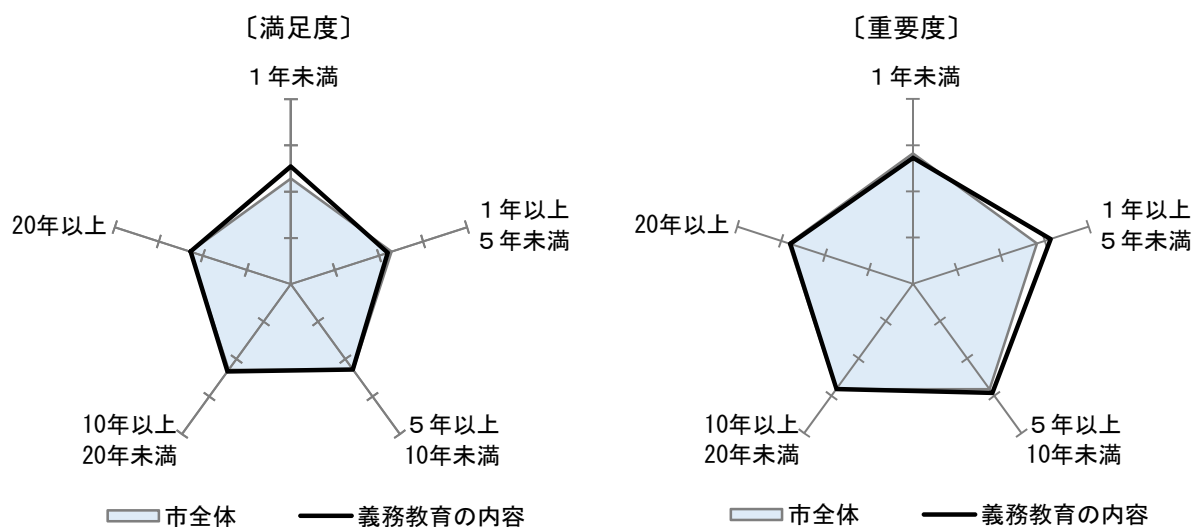
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



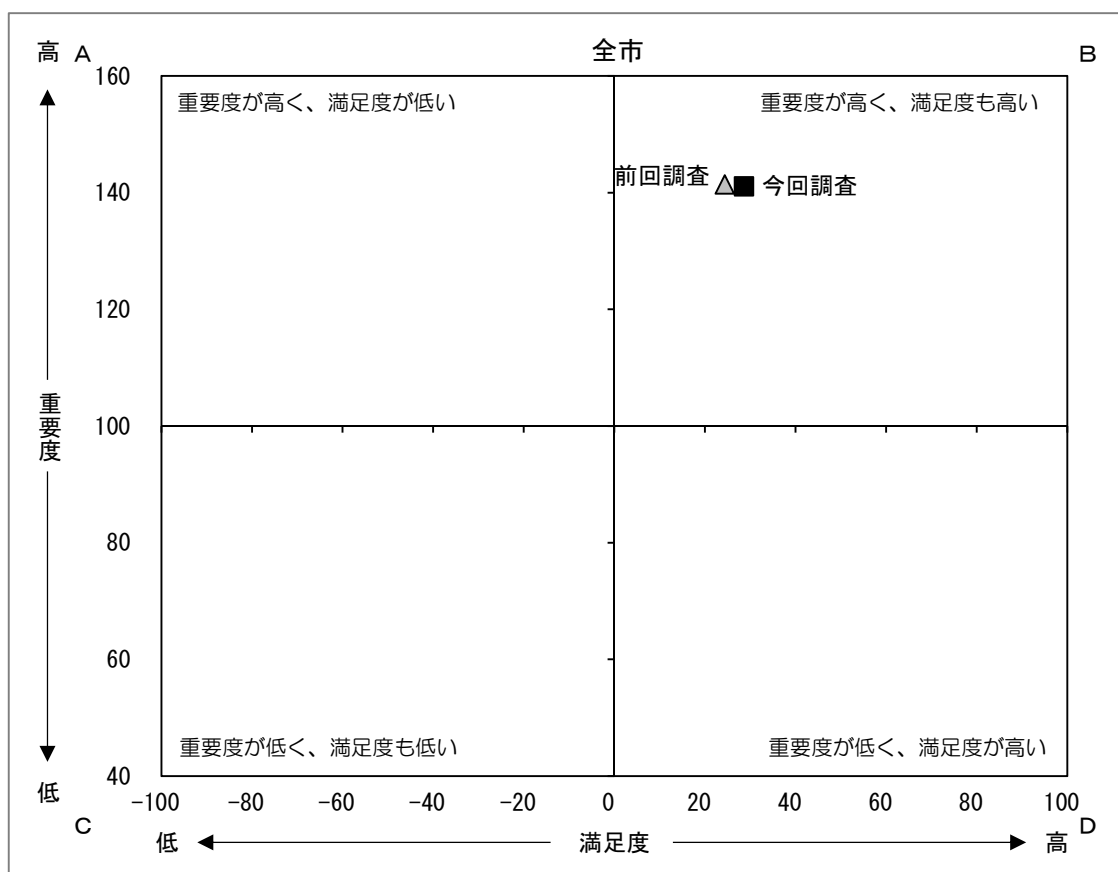
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“5年以上10年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、重要度は変わらないが、前回調査より満足度が高くなっている。

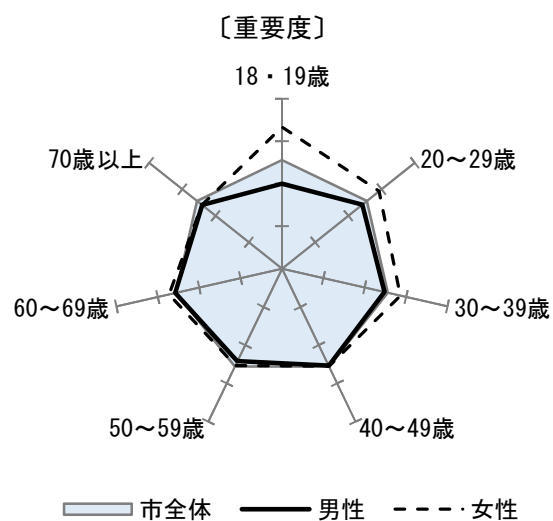
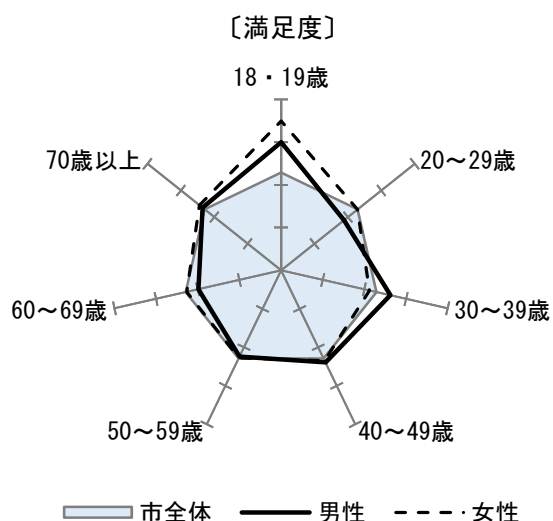


〔特別支援教育を充実する〕

（３）特別支援教育の内容

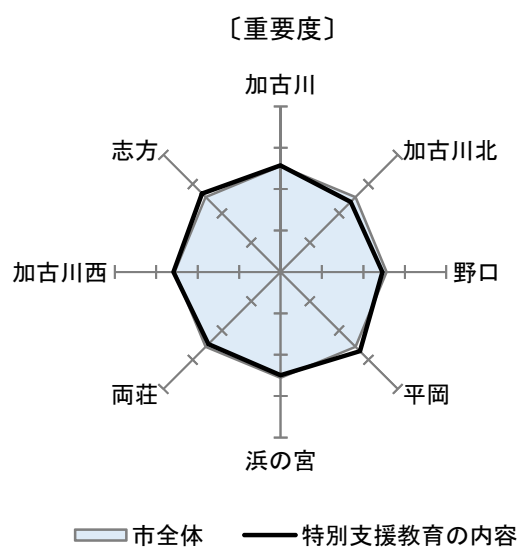
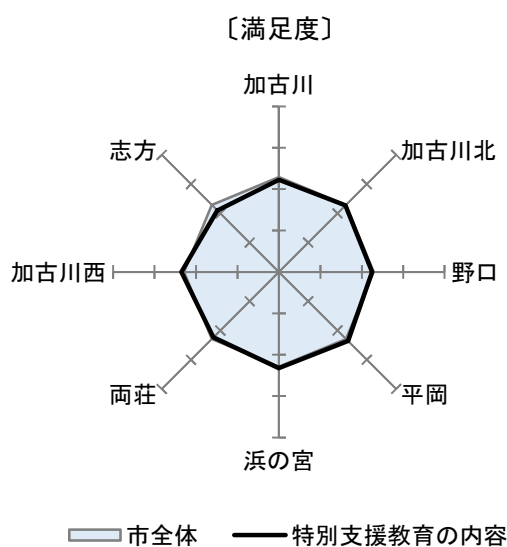
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と40歳代、70歳以上の男女と、男性の30歳代で市全体平均より高く、なかでも女性の18・19歳で最も高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、60歳代の男女と、女性の18・19歳～30歳代で市全体平均より高く、いずれの年代も女性の方が高くなっている。



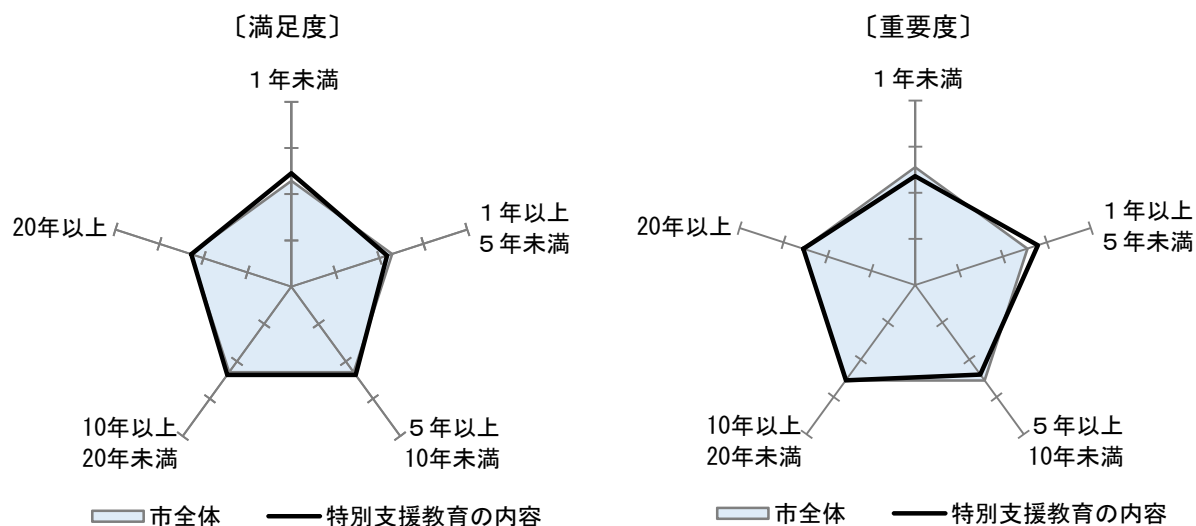
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



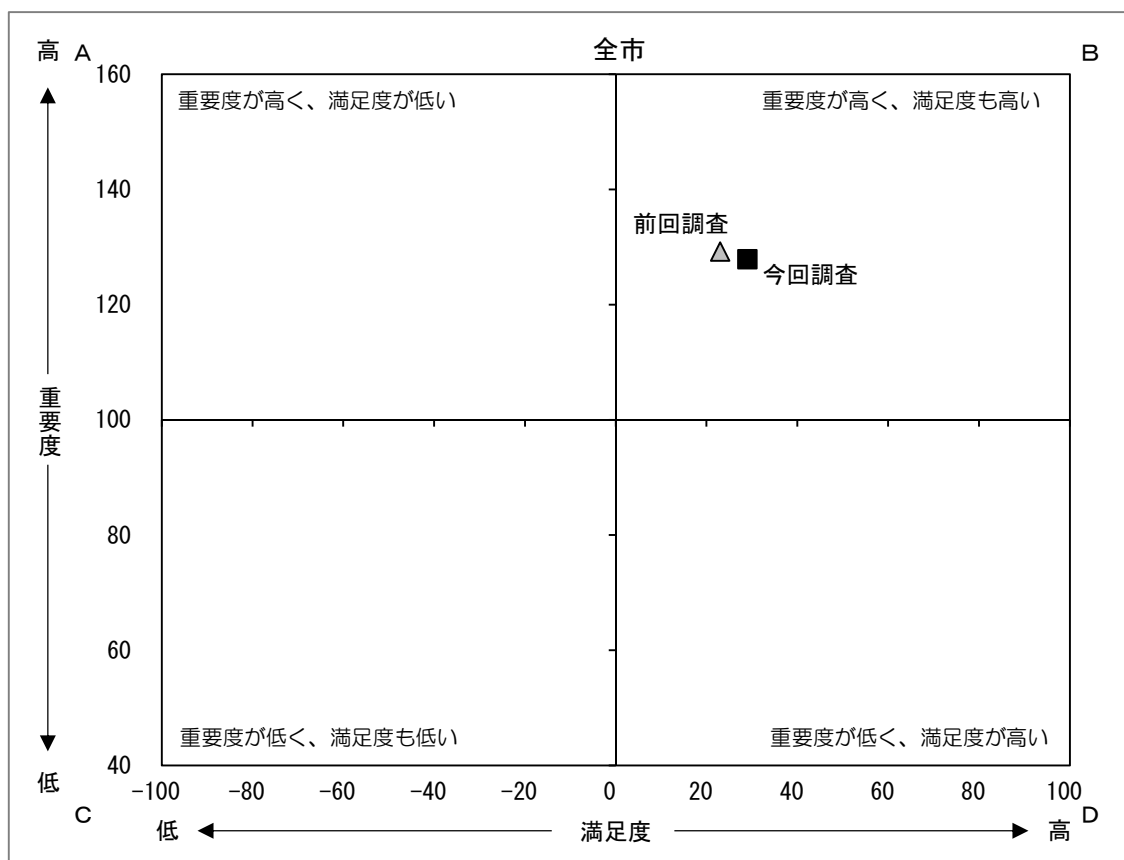
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。

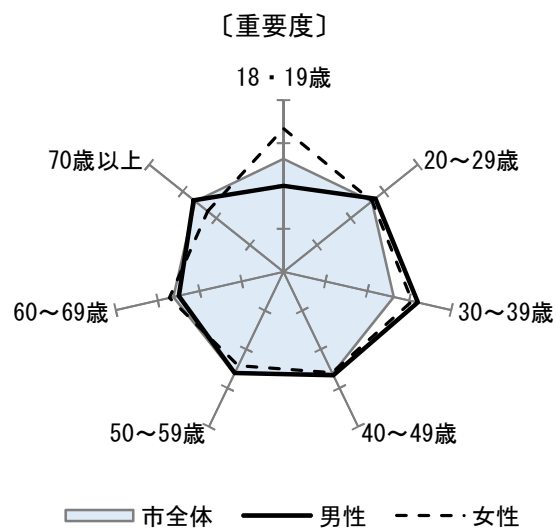
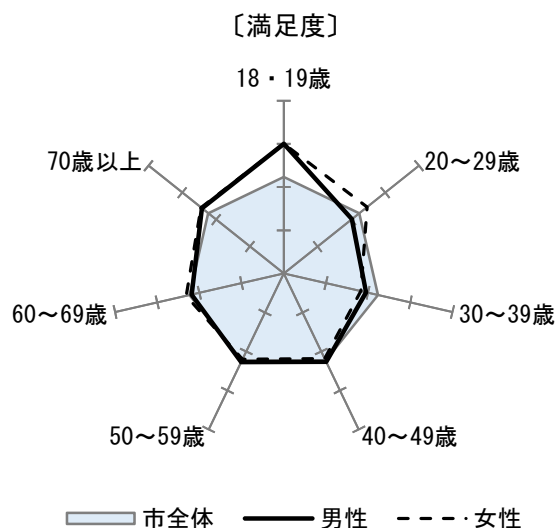


〔教育を支える環境を整備する〕

（４）教育を支える環境

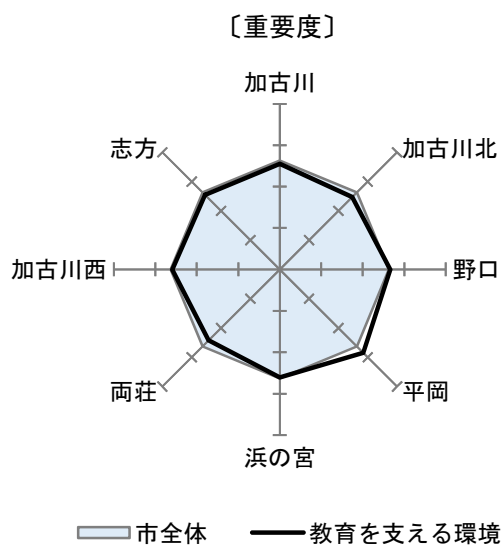
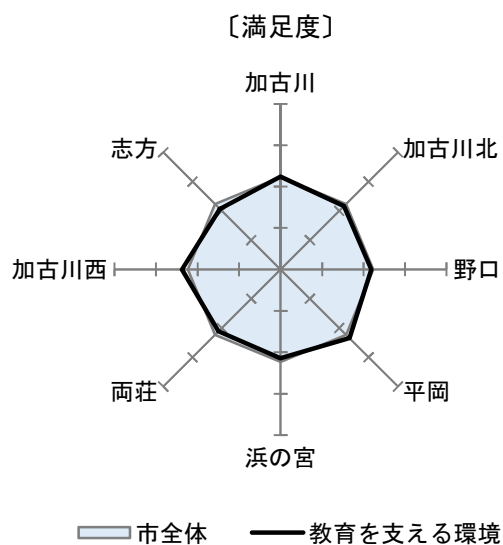
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と70歳以上の男女と、男性の40～50歳代、女性の20歳代と60歳代では市全体平均より高いが、30歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～40歳代と70歳以上、女性の18・19歳～30歳代と60歳代で市全体平均より高くなっている。



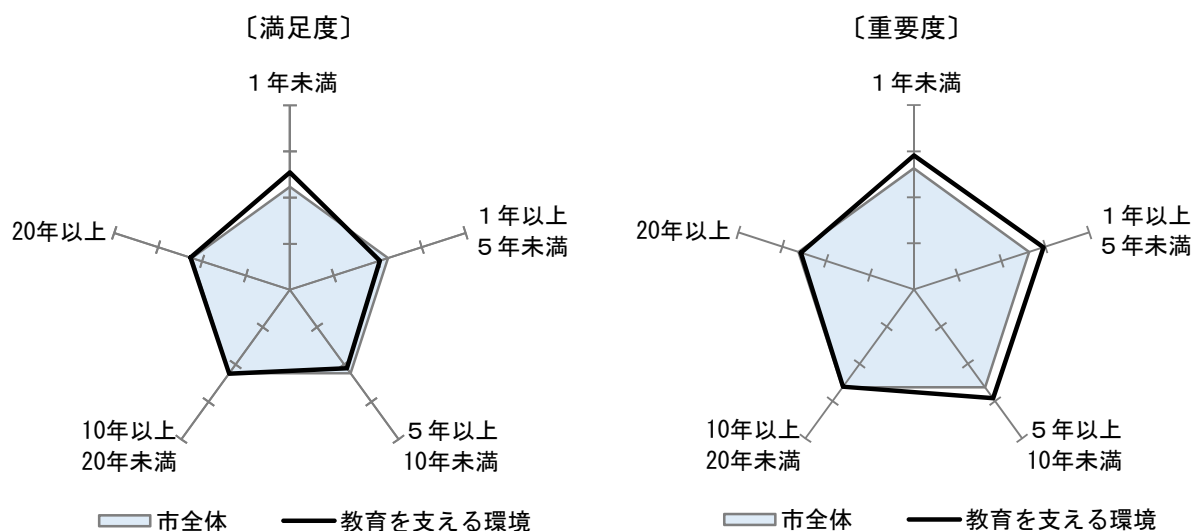
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、平岡地区が最も高く、次いで野口地区で、市全体平均より高くなっている。



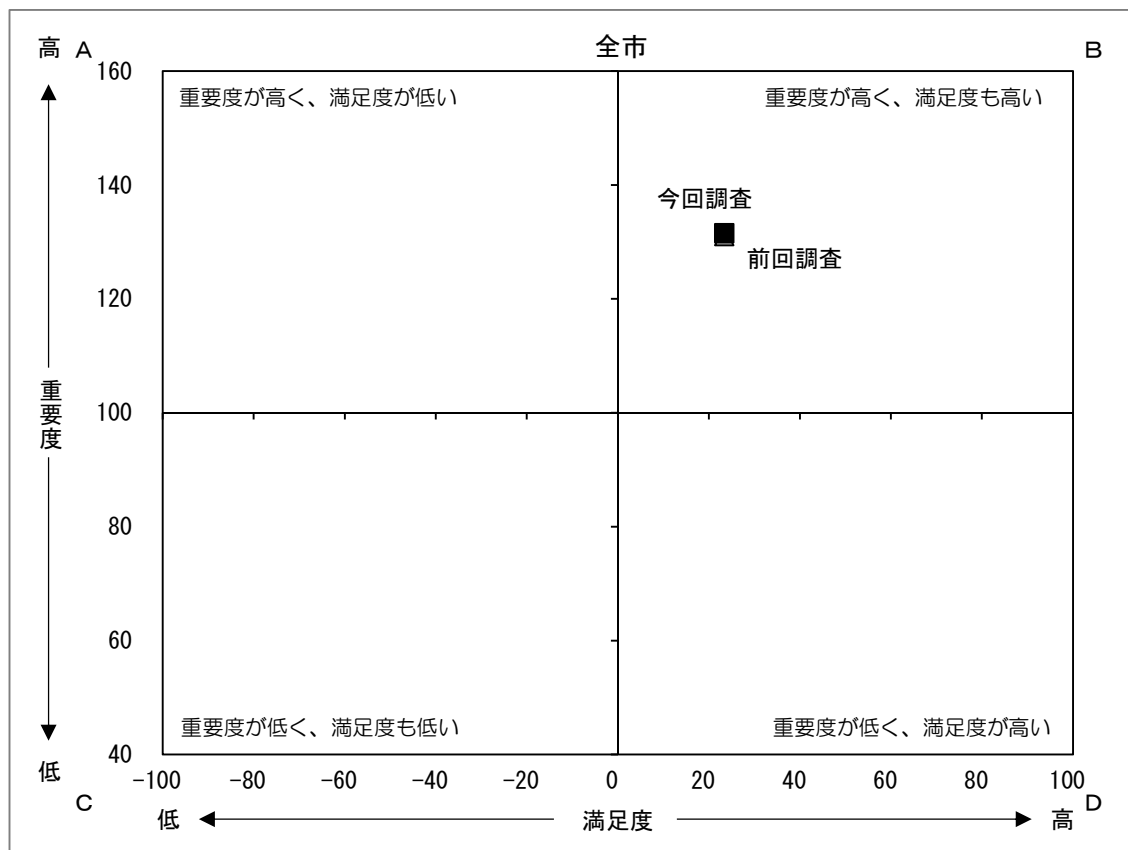
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、10年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、満足度は変わらないが、前回調査より重要度がやや高くなっている。

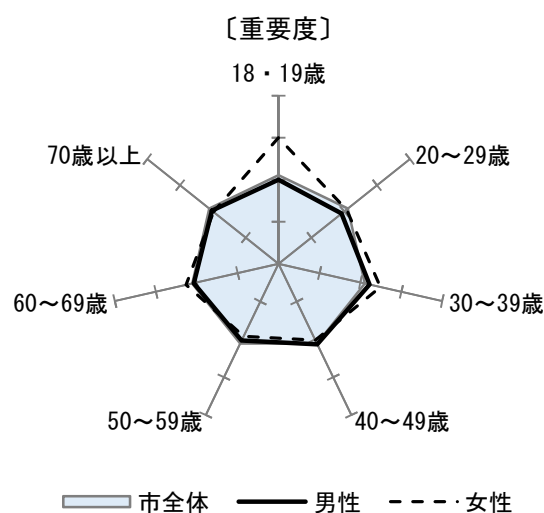
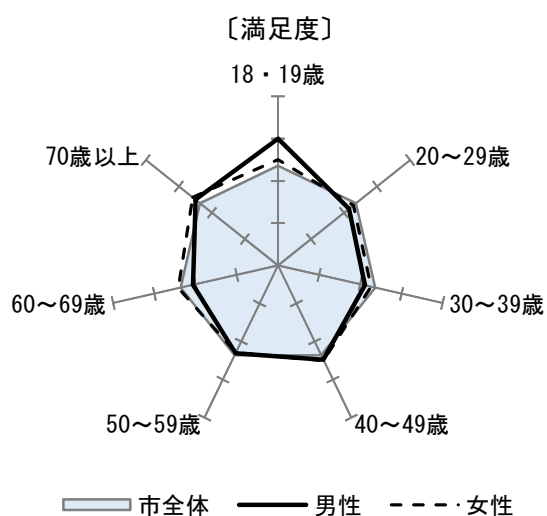


地域における教育・学習環境を整備する
〔生涯学習を推進する〕

(5) 生涯学習の機会や環境

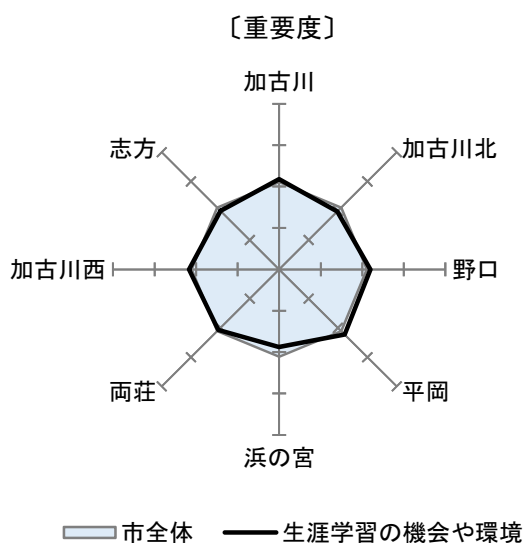
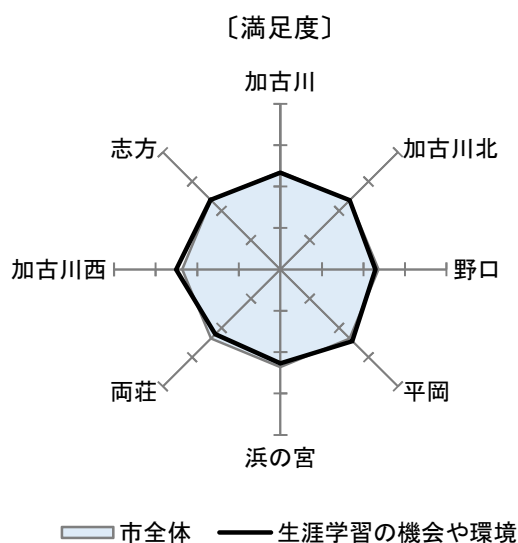
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の60歳代が最も低く、18・19歳と40歳代、70歳以上の男女と、女性の60歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の30～40歳代と女性の18・19歳、30歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



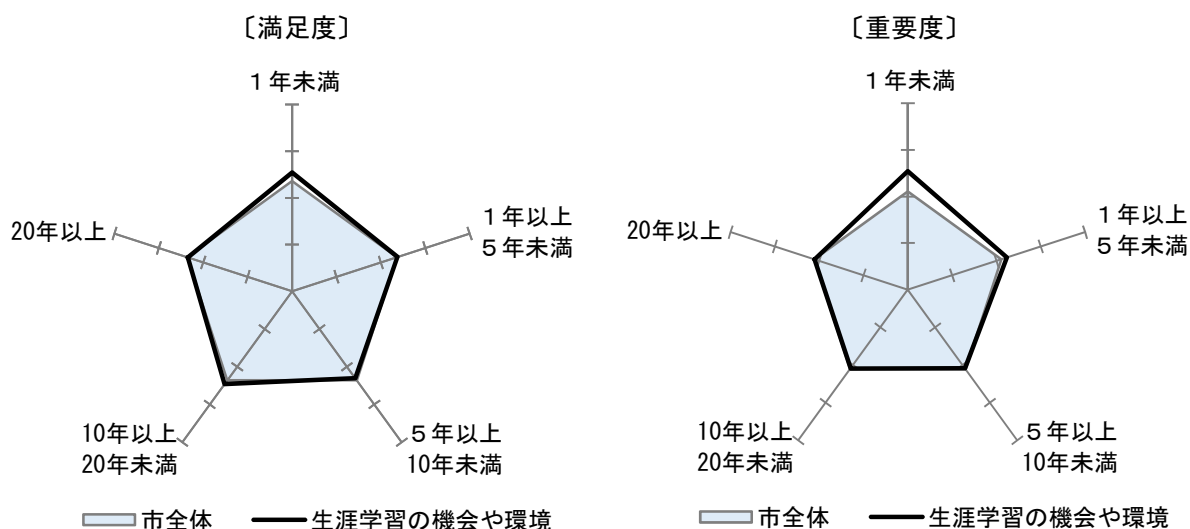
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



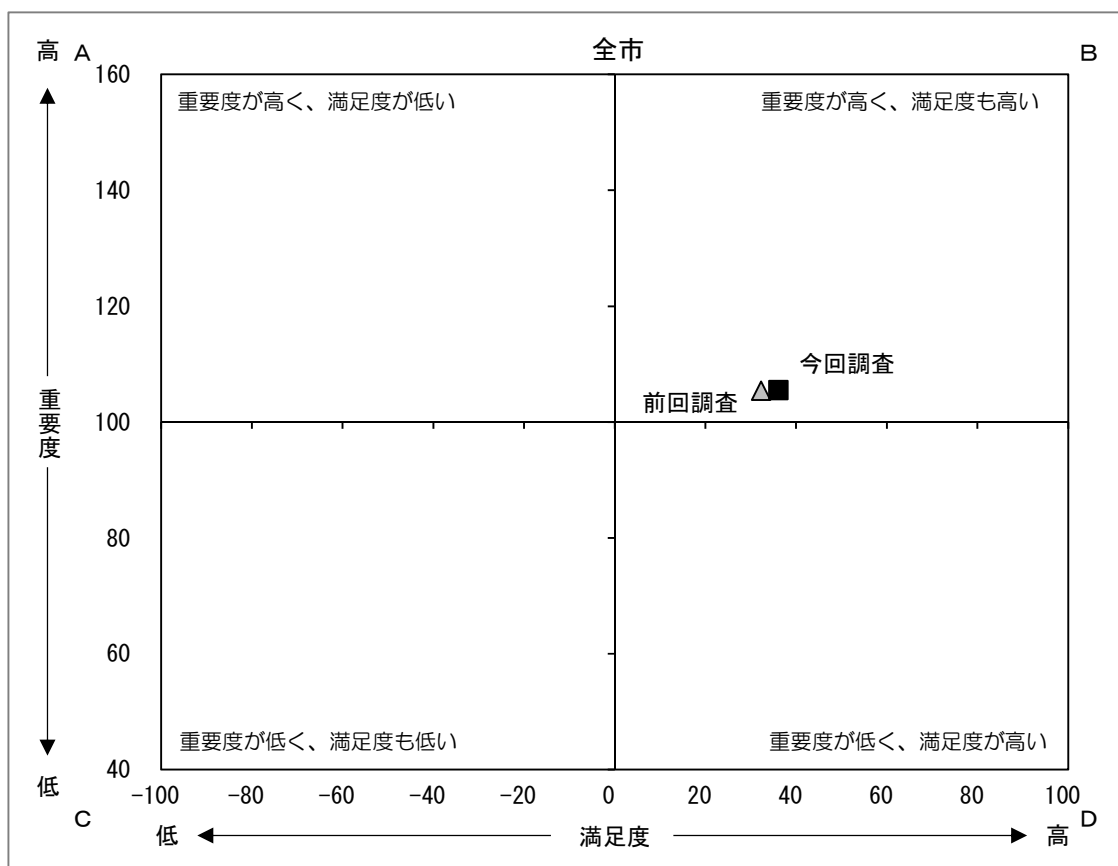
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”が最も高く、次いで“1年以上5年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、重要度は変わらないが、前回調査より満足度が高くなっている。

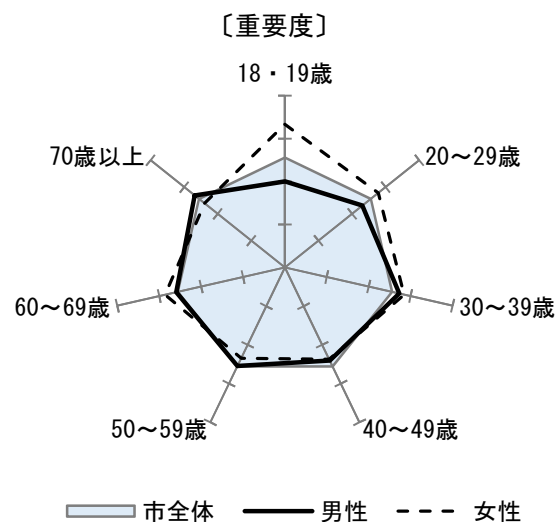
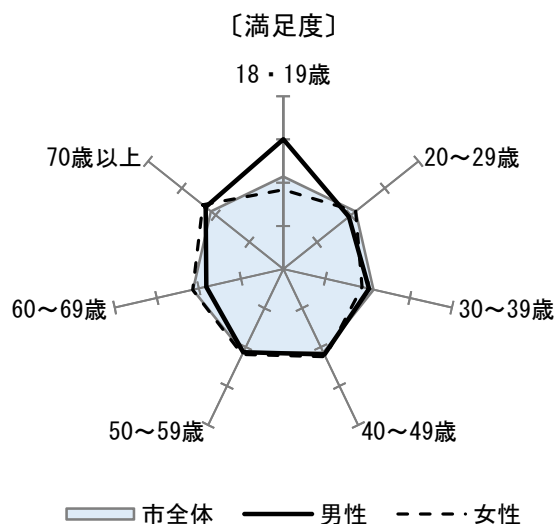


〔地域総がかりで青少年の健全な育成を図る〕

（６）青少年の健全な育成

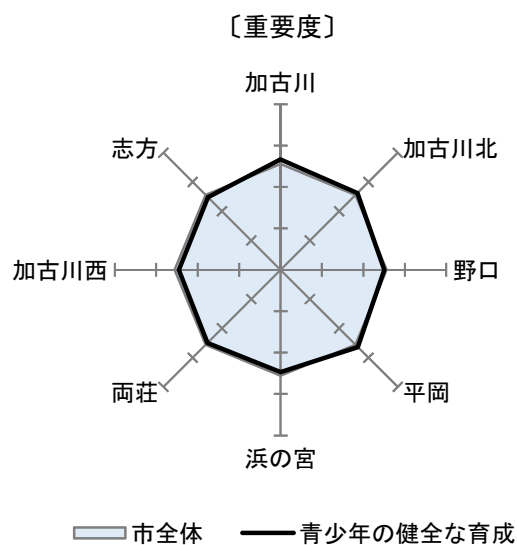
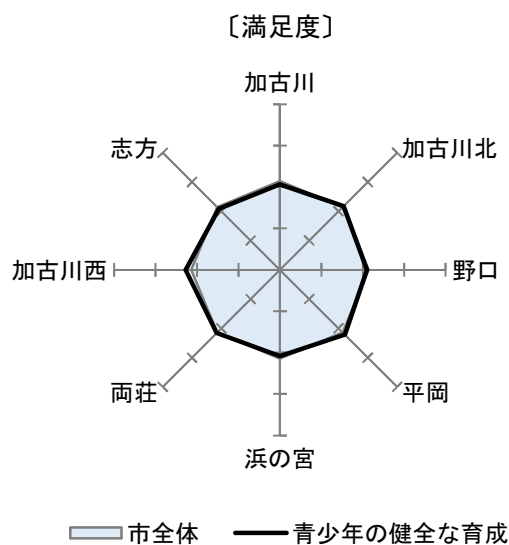
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の60歳代で最も低く、男性の18・19歳、40歳代、70歳以上と女性の20歳代、40歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の30歳代と60歳代以上、女性の18・19歳～30歳代と60歳代で市全体平均より高くなっている。



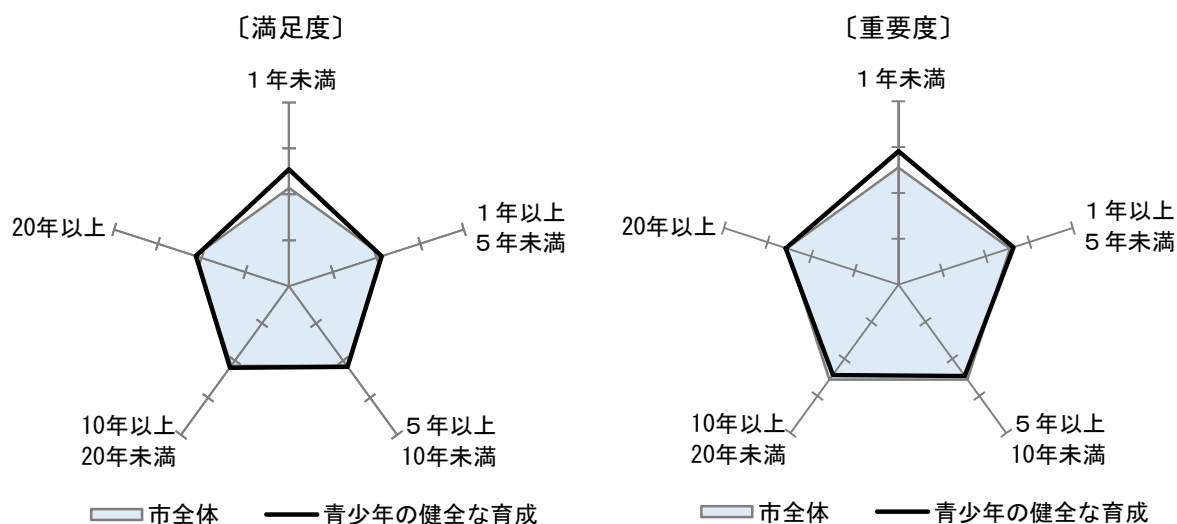
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・両荘・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・平岡地区で市全体平均より高く、なかでも加古川地区が最も高くなっている。



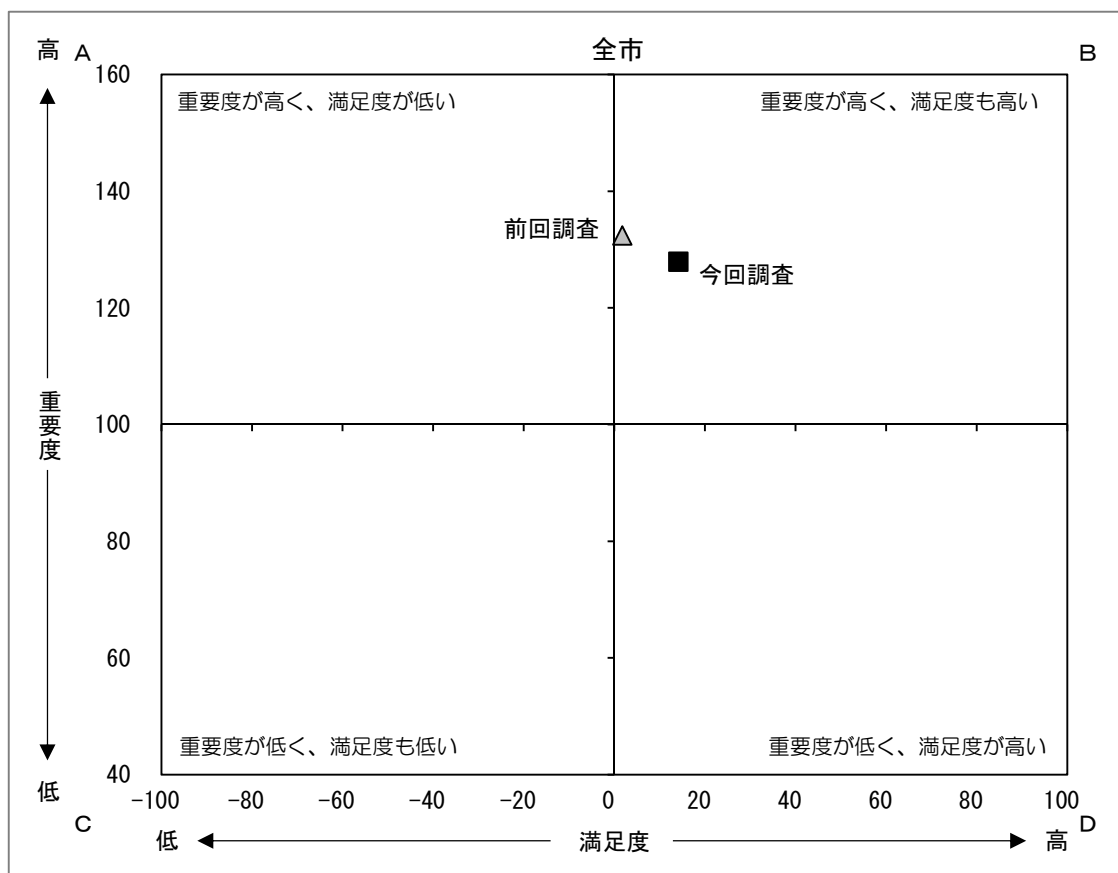
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。



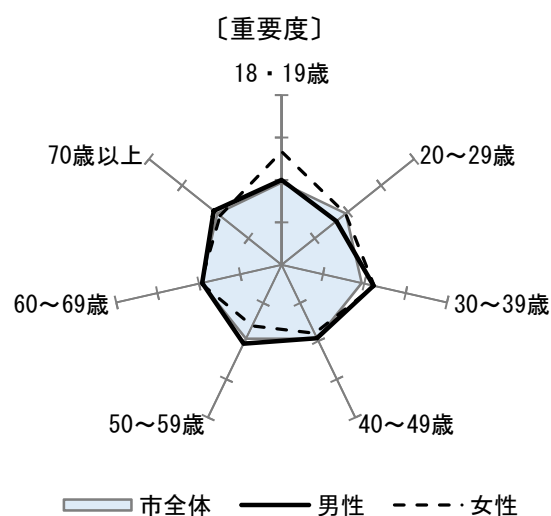
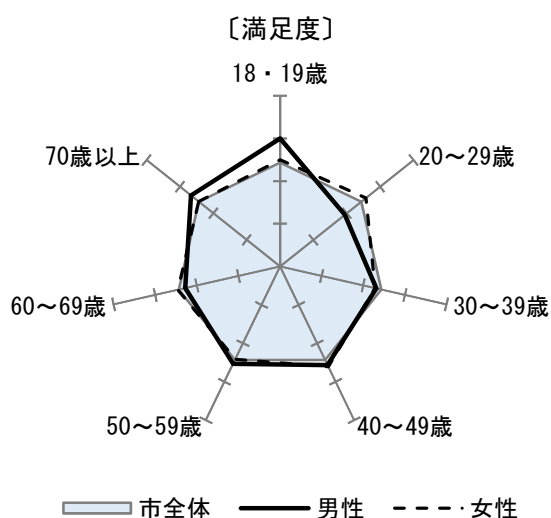
スポーツや文化・芸術を振興する

〔スポーツ・レクリエーション活動を推進する〕

（７）スポーツ・レクリエーション活動機会の提供

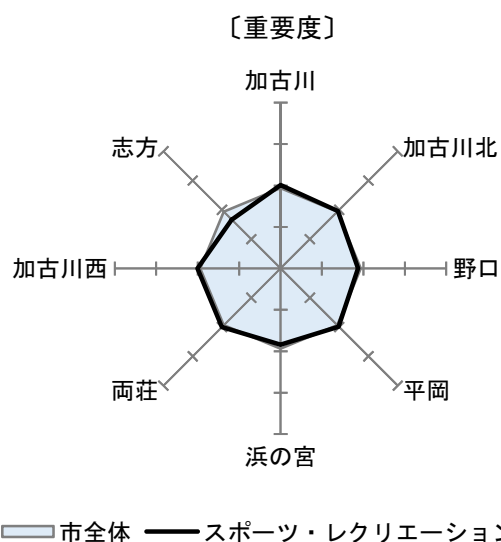
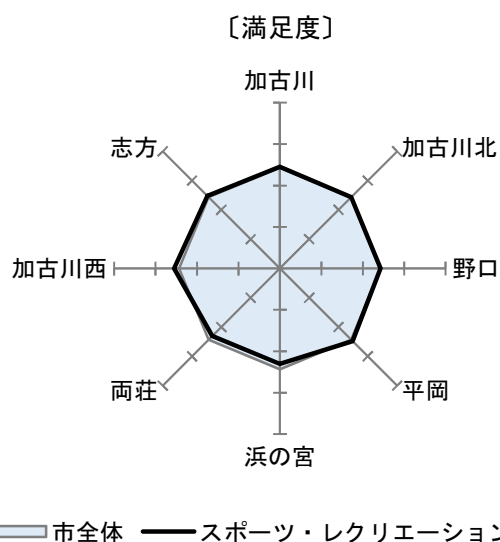
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の20歳代が最も低く、男性の18・19歳、40～50歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～20歳代、40歳代、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳と30歳代の男女と、男性の50歳代と70歳以上、女性の60歳代で市全体平均より高くなっている。



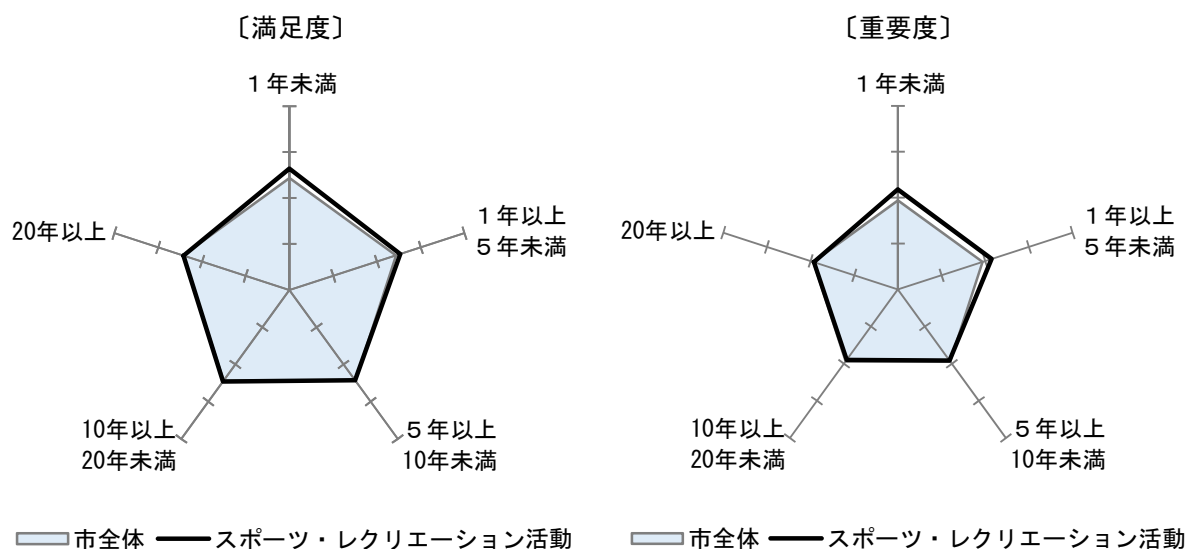
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・浜の宮・志方地区では市全体平均より低い、加古川地区が最も高く、次いで加古川西地区となっている。



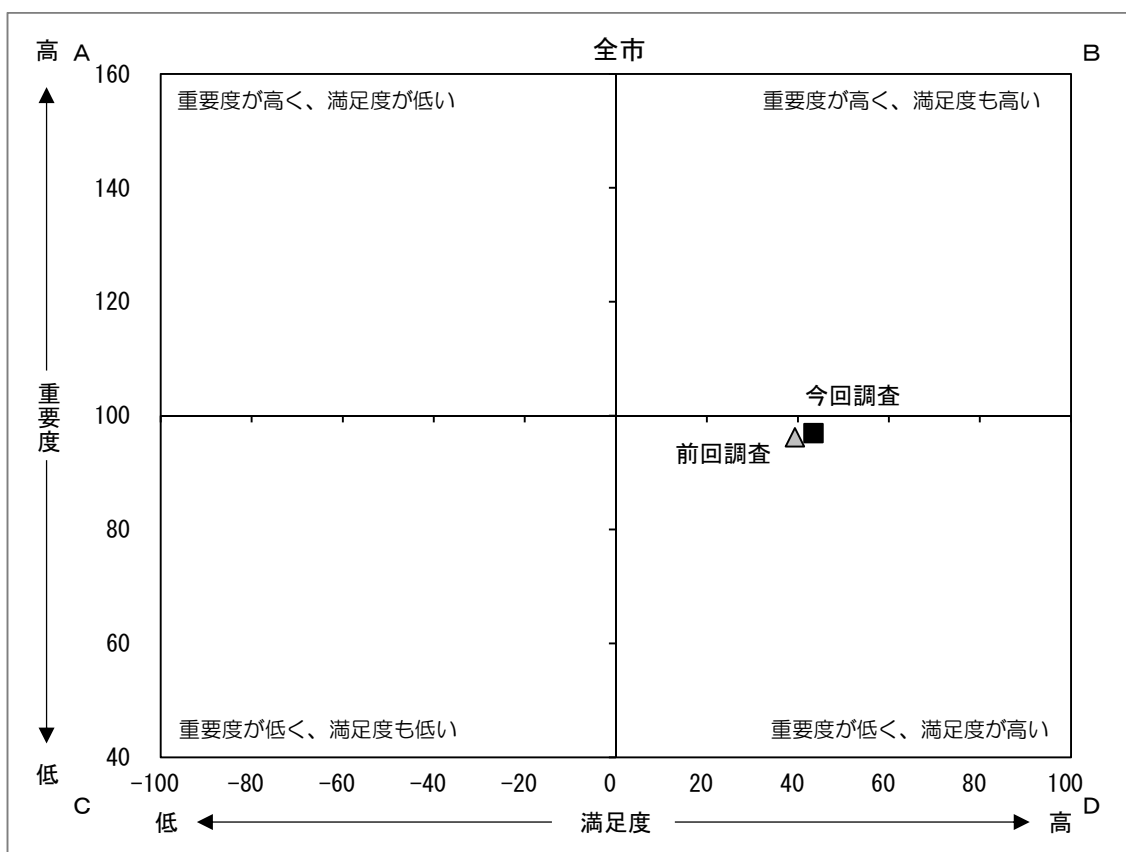
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”が最も高く、次いで“1年以上5年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度・満足度とも高くなっている。

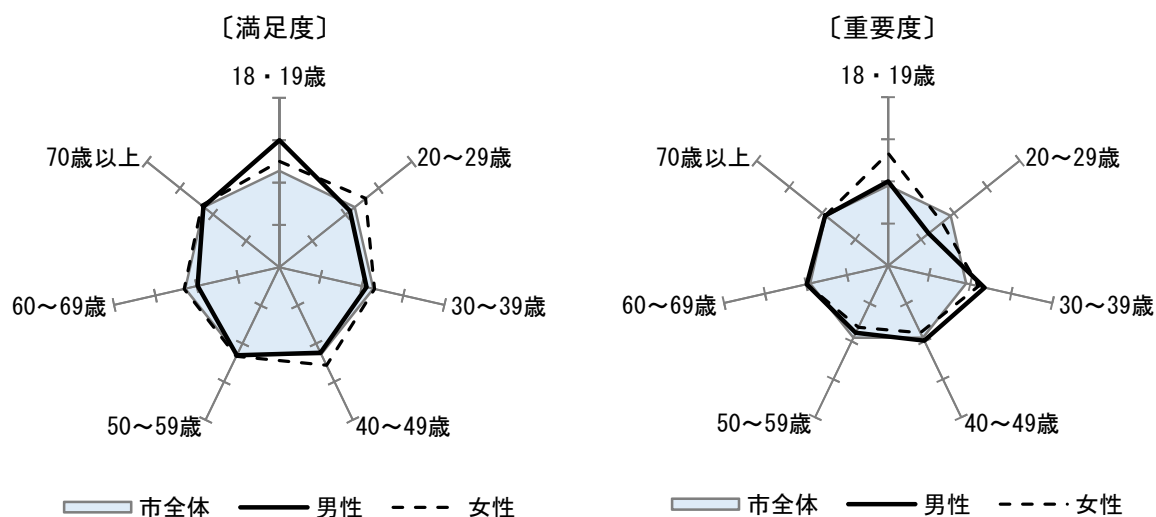


〔豊かな文化・芸術をはぐくむ〕

（８）文化・芸術に接する機会の提供

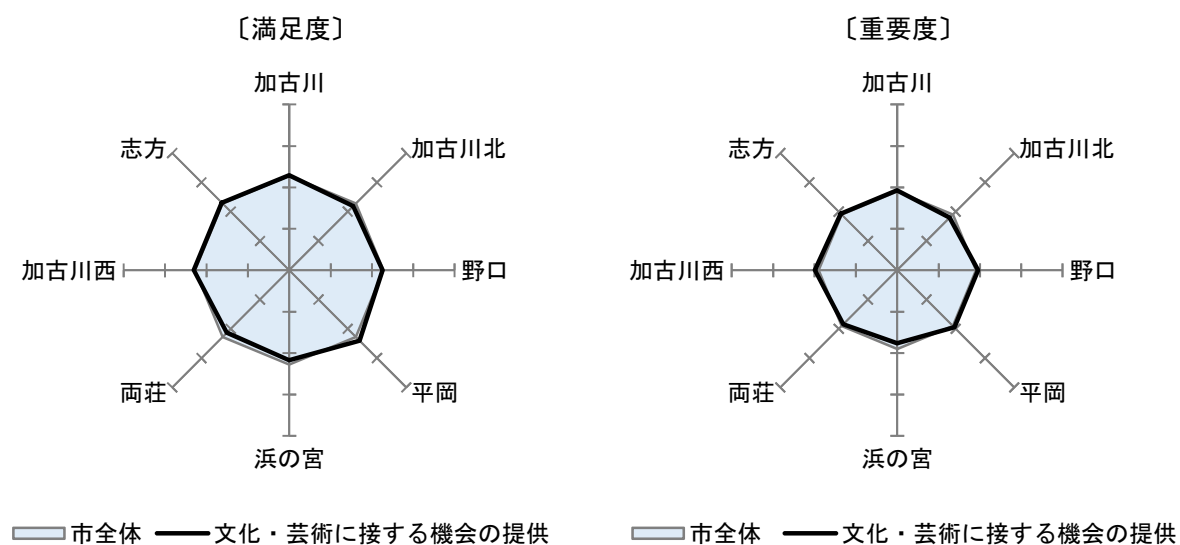
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳と50歳代、70歳以上と女性のいずれの年代で市全体平均より高く、20歳代以上では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20歳代が最も低く、18・19歳と30歳代、60歳代以上の男女と、男性の40歳代で市全体平均より高くなっている。



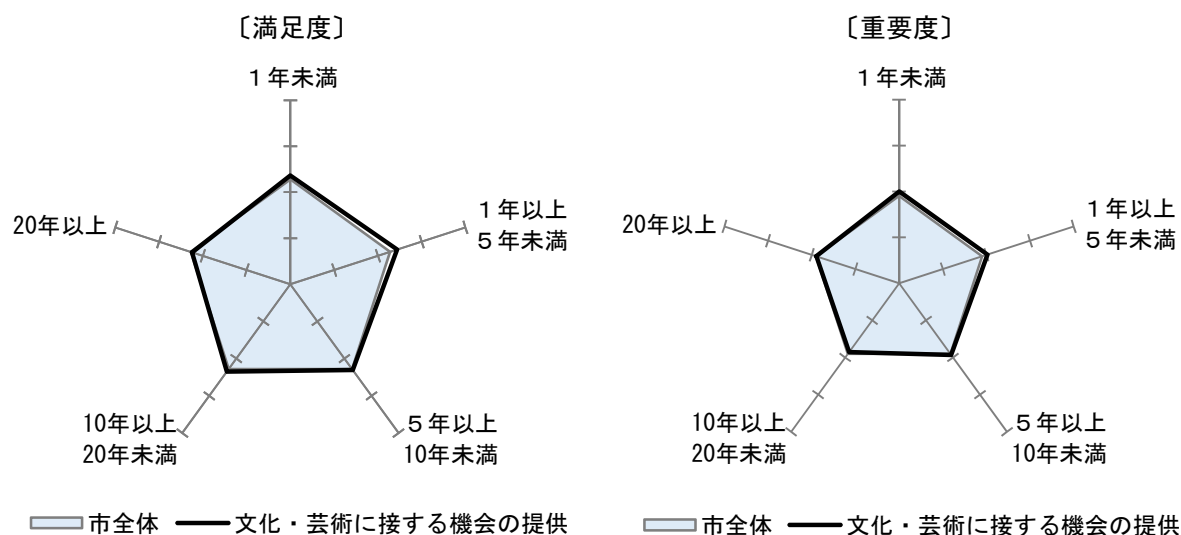
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・浜の宮・両荘地区では市全体平均より低い、加古川西地区が最も高く、次いで野口地区となっている。



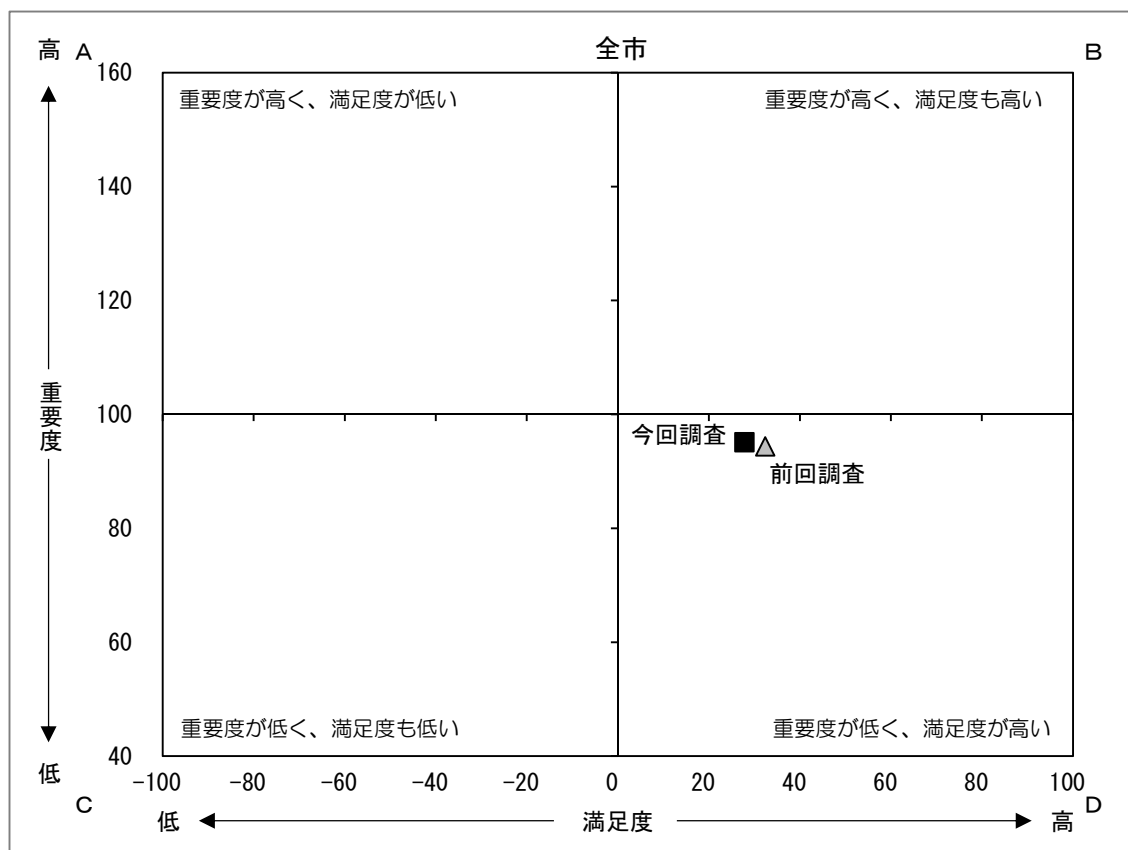
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、10年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度がやや高くなり、満足度が低くなっている。



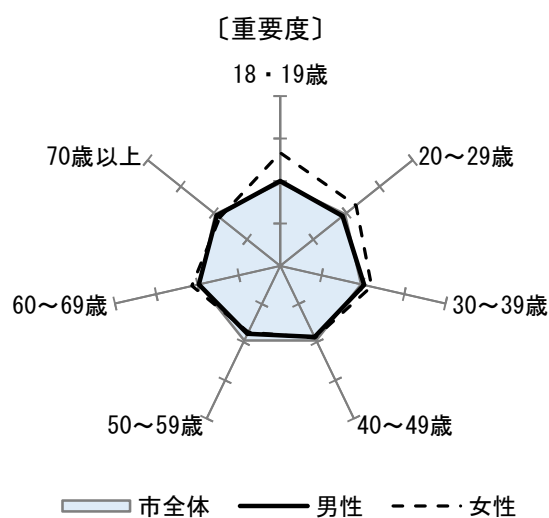
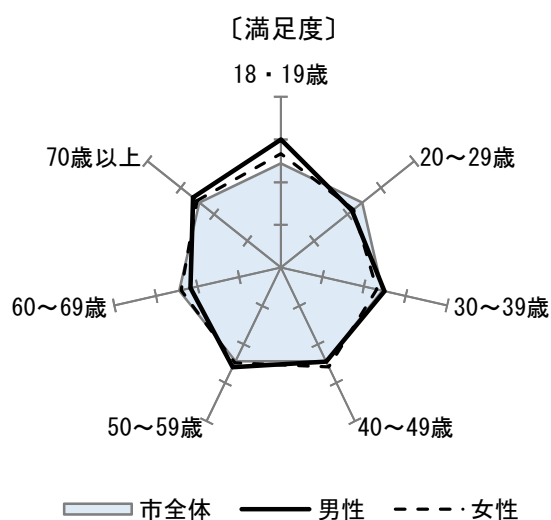
互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する

〔人権文化を確立する〕

（９）人権教育や人権啓発の推進

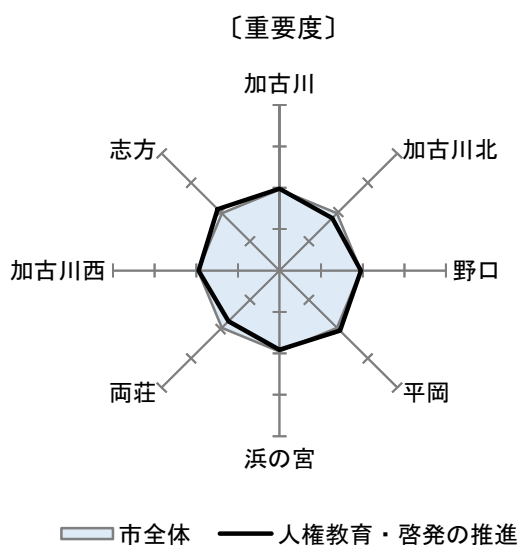
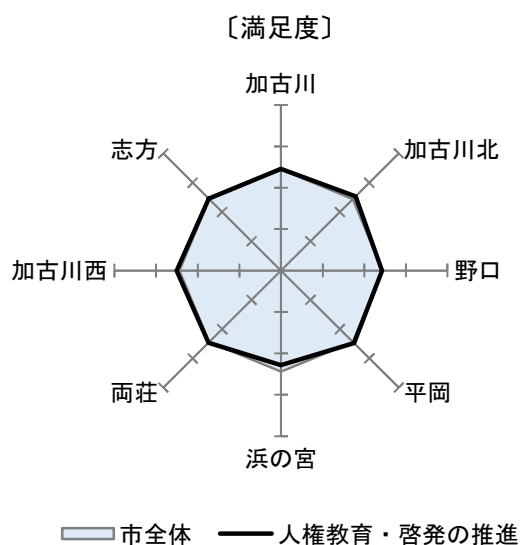
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と40～50歳代、70歳以上の男女と、男性の30歳代では市全体平均より高いが、20歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳と30歳代、60歳代の男女と、女性の20歳代では市全体平均より高いが、50歳代では男女とも最も低くなっている。



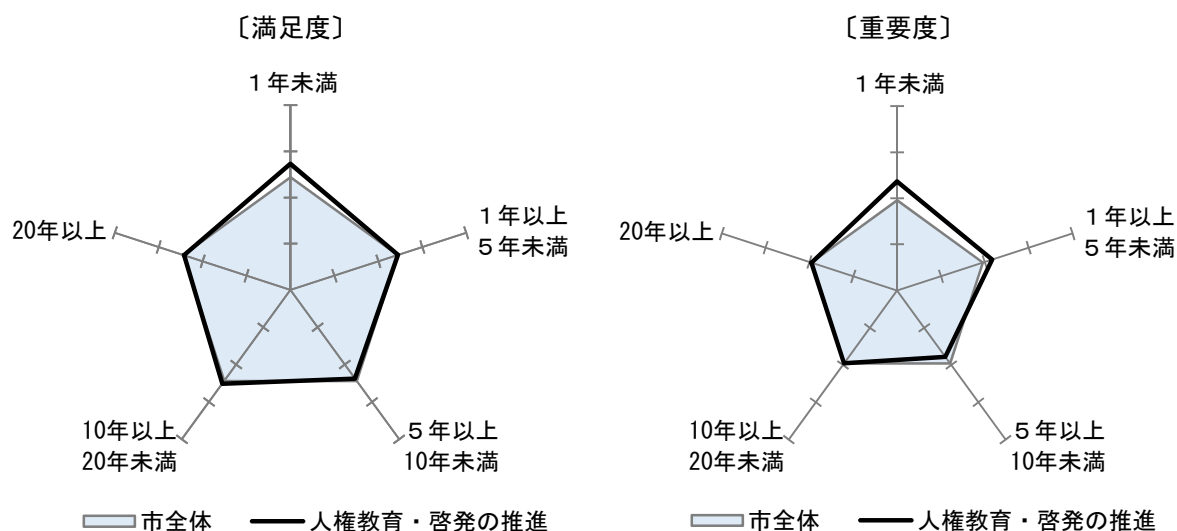
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・浜の宮地区では市全体平均より低い、加古川北地区が最も高く、次いで加古川西地区となっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡、志方地区で市全体平均より高く、なかでも志方地区が最も高くなっている。



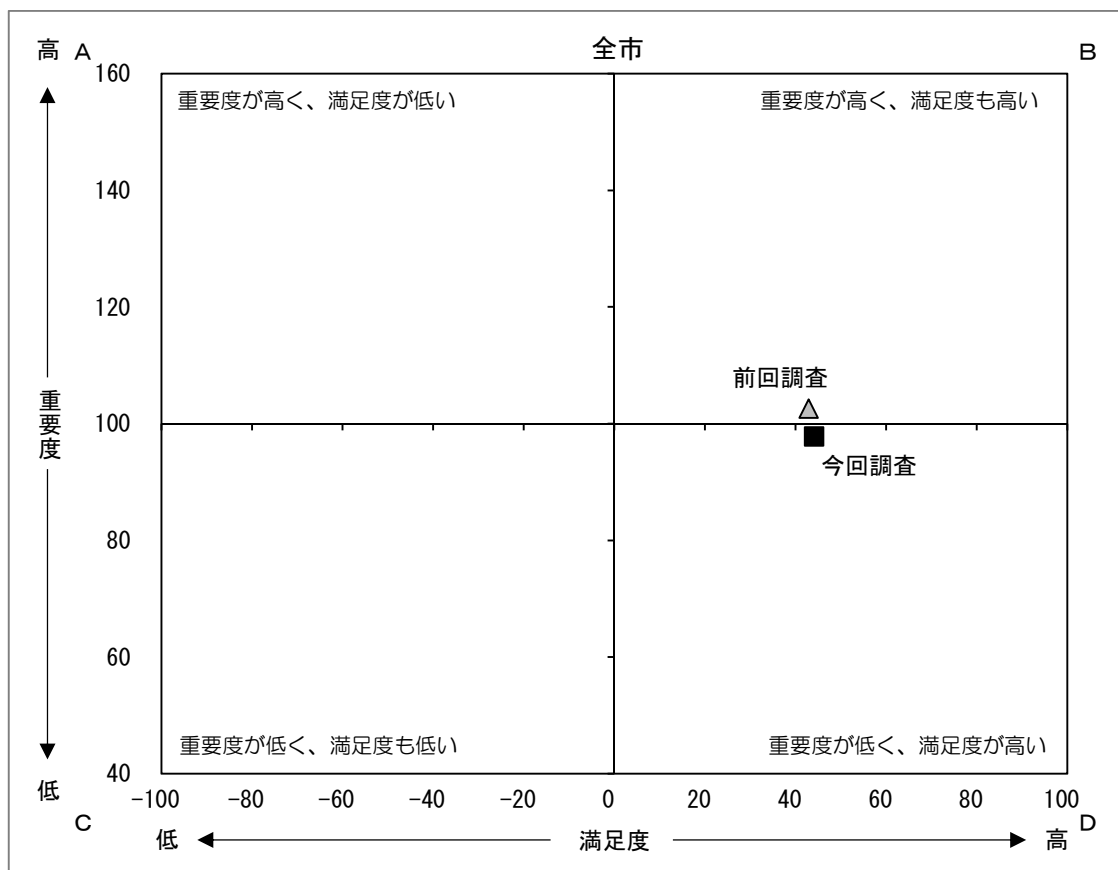
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。

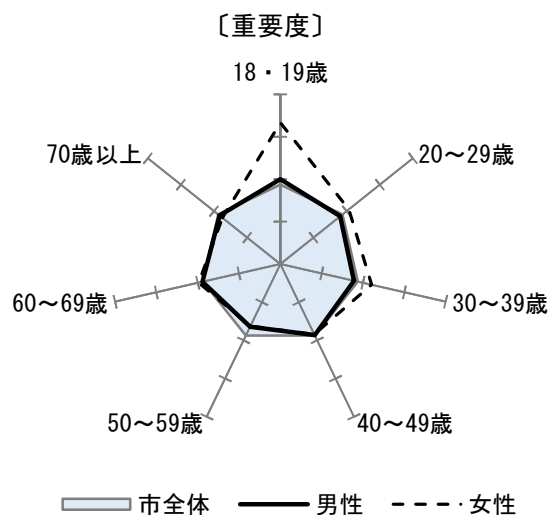
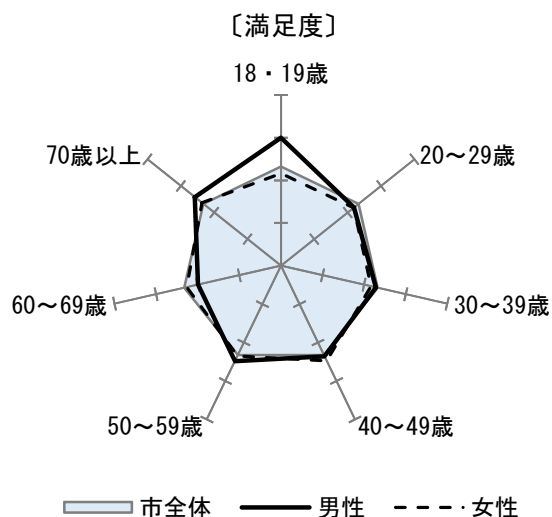


〔男女共同参画社会の形成を推進する〕

(10) 男女共同参画の啓発

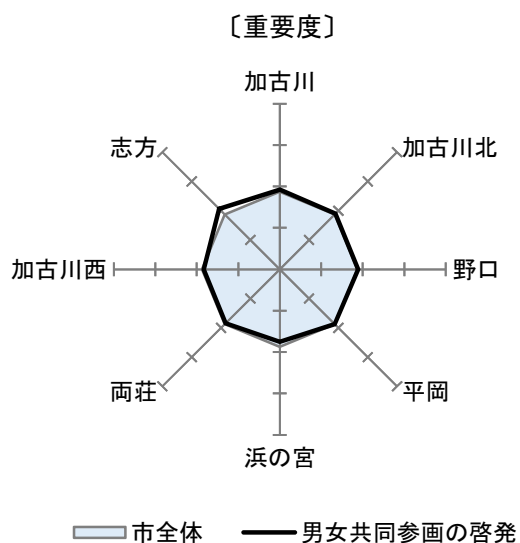
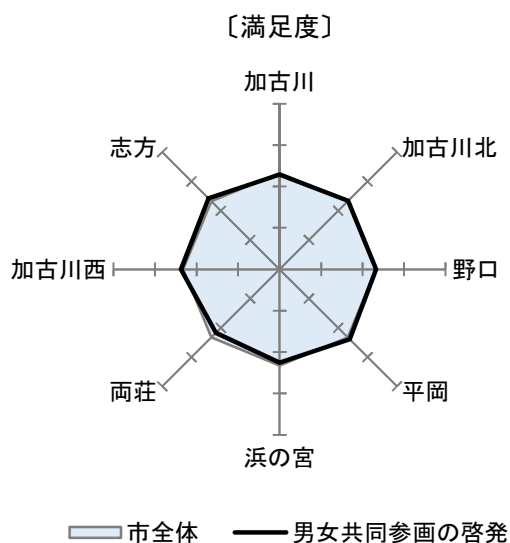
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の60歳代が最も低く、40～50歳代、70歳以上の男女と、男性の18・19歳で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳と60歳代の男女と、女性の20～30歳代では市全体平均より高いが、50歳代では男女とも最も低くなっている。



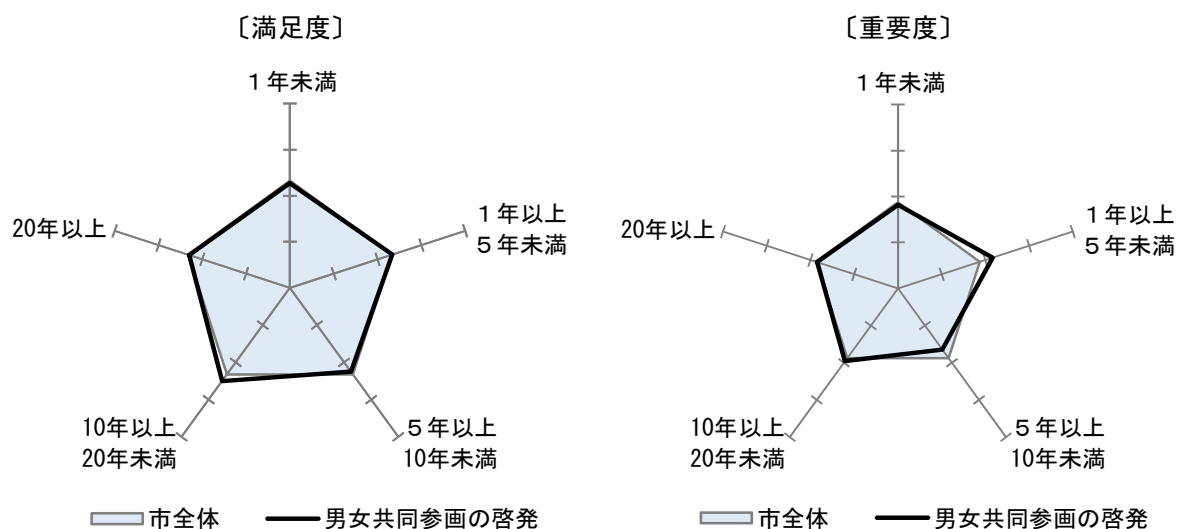
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも志方地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、浜の宮・両荘・加古川西地区では市全体平均より低い、志方地区が最も高く、次いで加古川地区となっている。



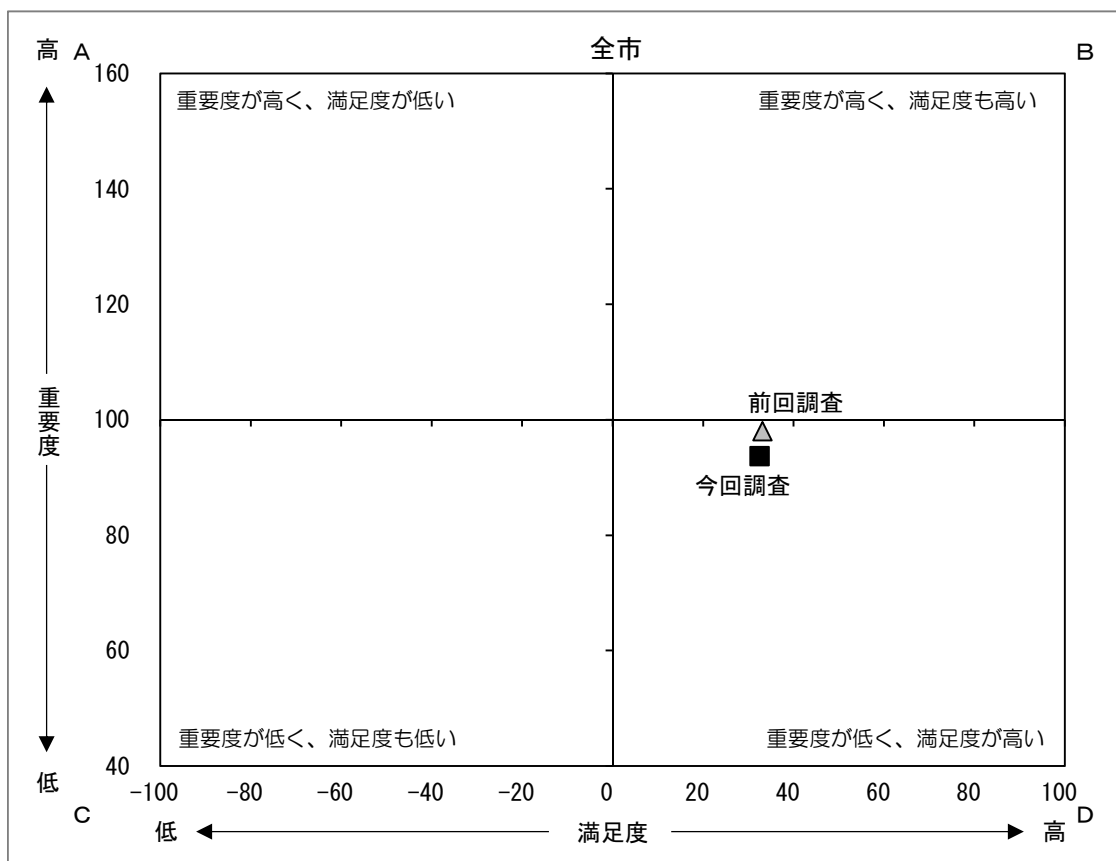
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”が最も高く、次いで“1年以上5年未満”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

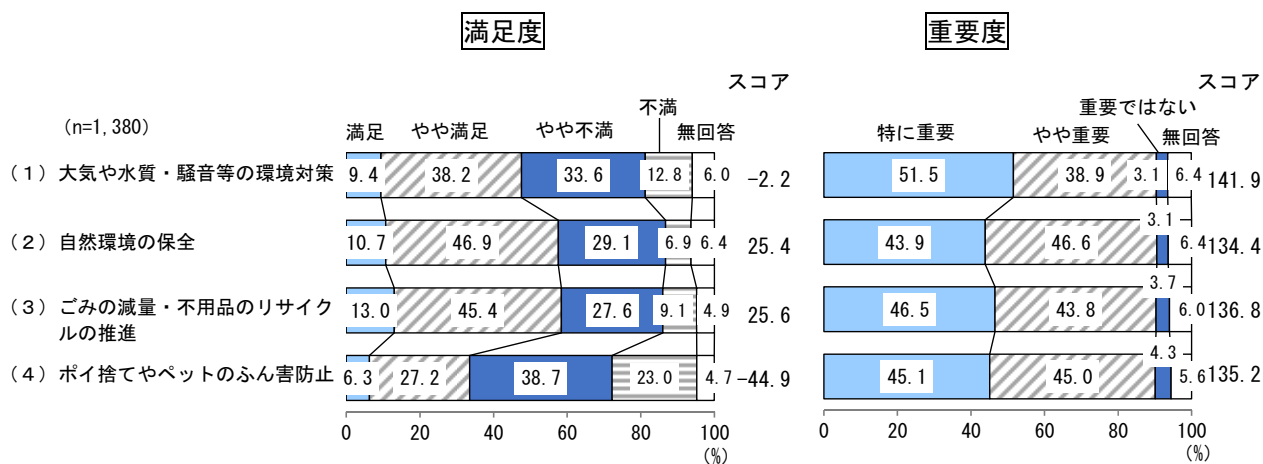
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度もやや低くなっている。



3-3 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(3) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進”で、最も低い項目は“(4) ポイ捨てやペットのふん害防止”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(1) 大気や水質・騒音等の環境対策”で、最も低い項目は“(2) 自然環境の保全”となっている。

《全体》



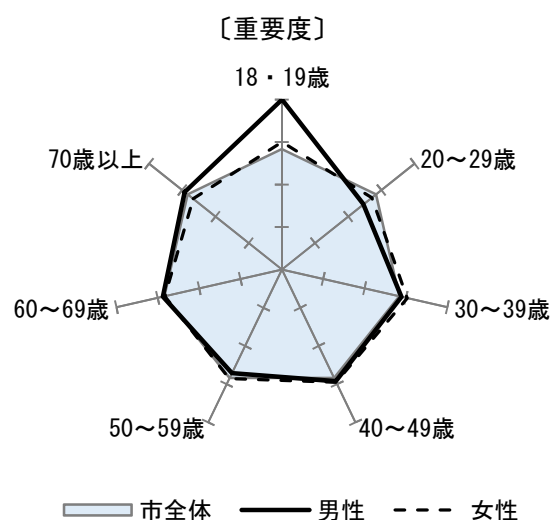
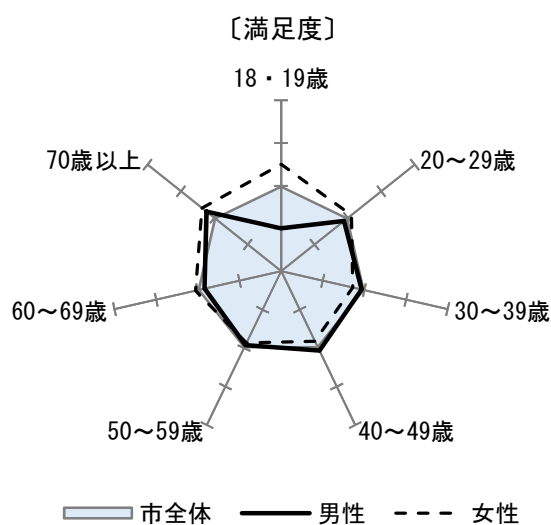
地球環境と地域の環境を保全する

〔環境保全を実践する〕

(1) 大気や水質・騒音等の環境対策

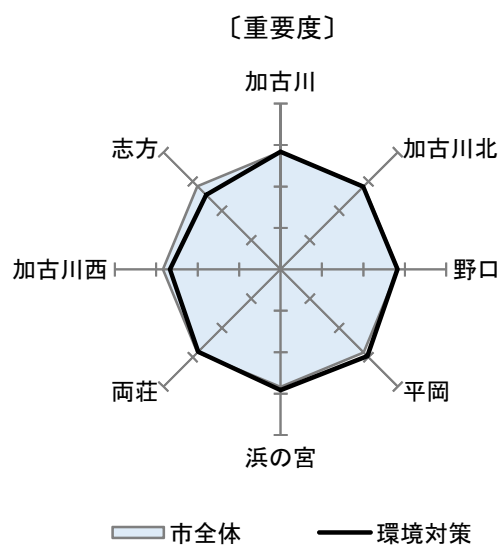
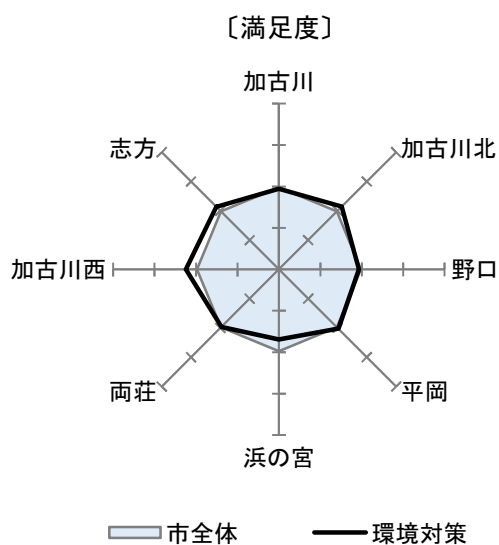
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の40歳代と70歳以上、女性の18・19歳～20歳代と60歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、30～40歳代の男女と、男性の60歳代以上、女性の50歳代で市全体平均より高くなっている。



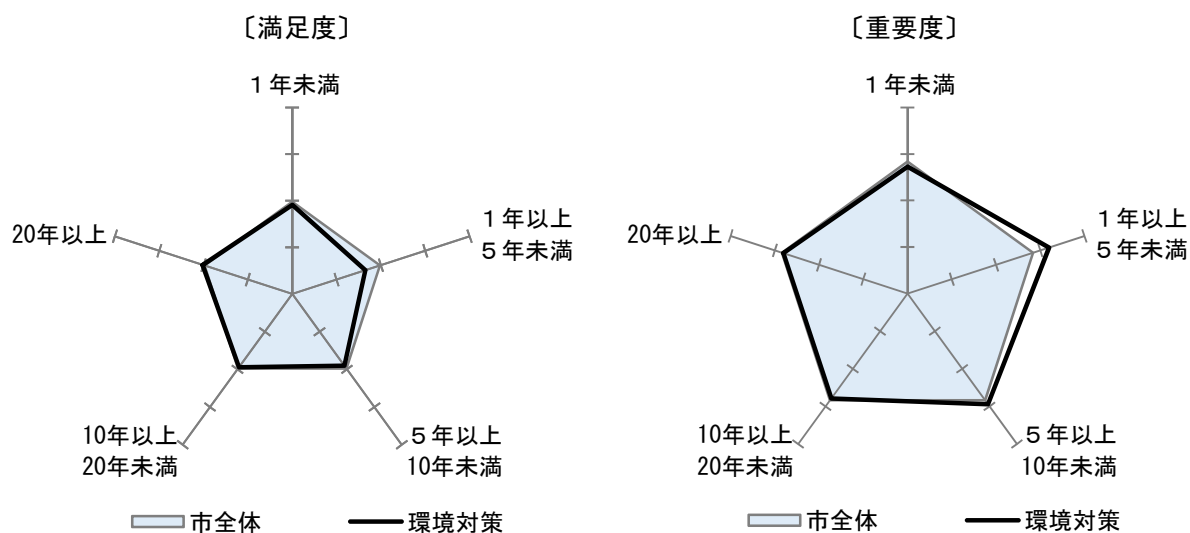
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



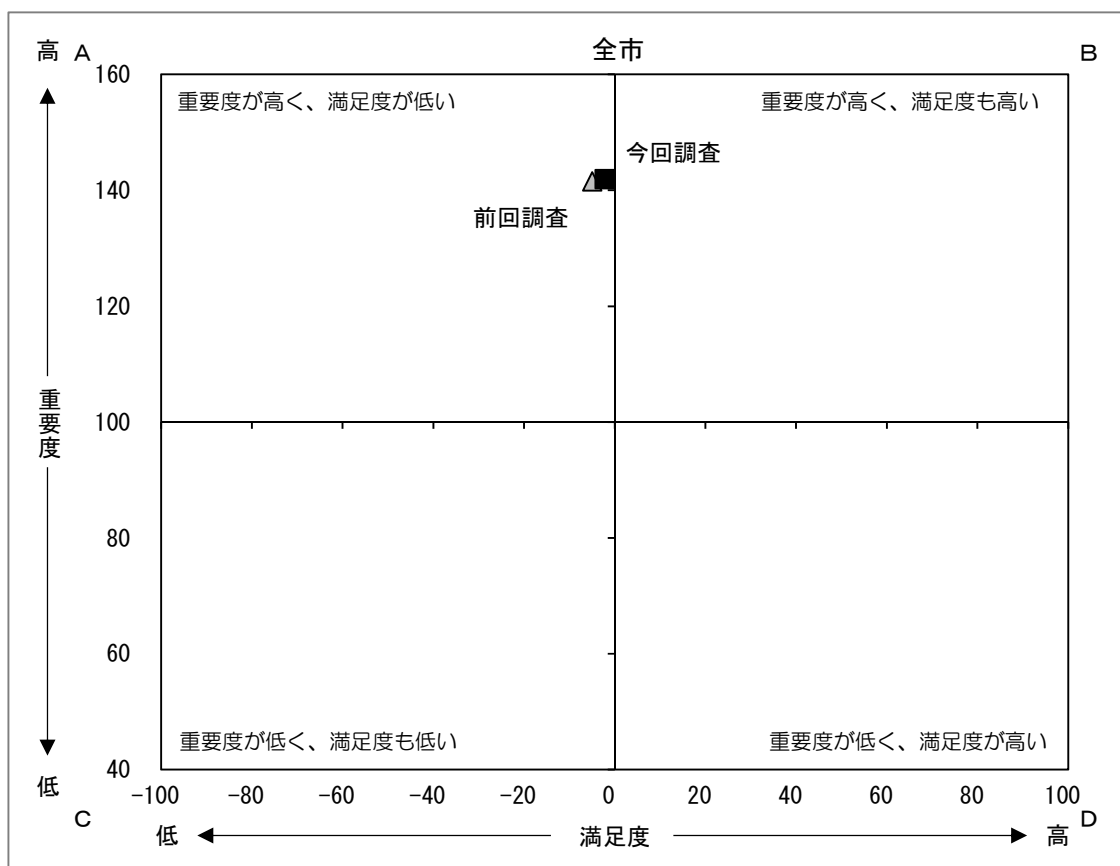
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“20年以上”が最も高く、20年未満で市全体平均より低くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“5年以上10年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、重要度は変わらないが、前回調査より満足度が高くなっている。

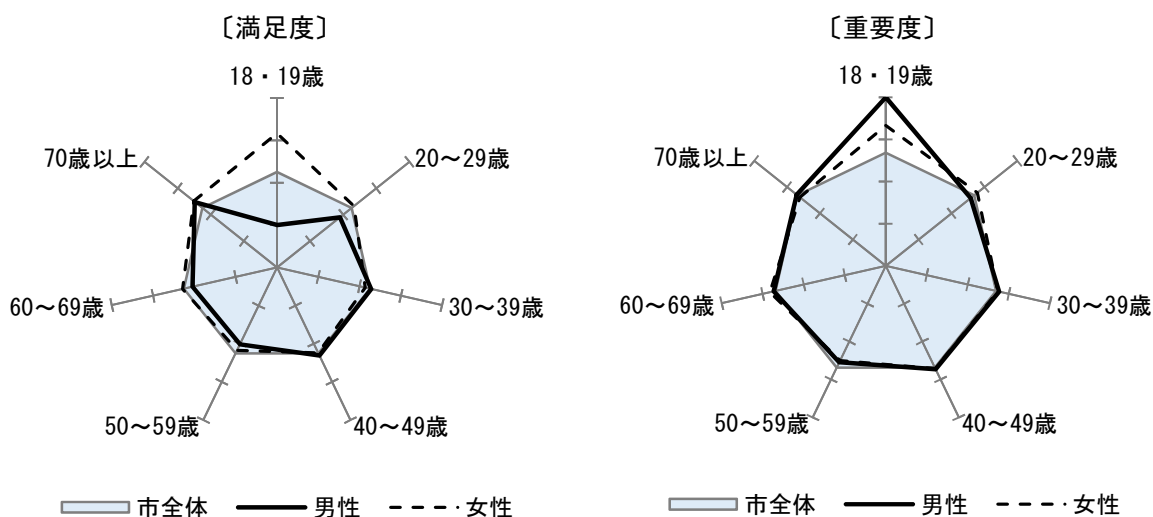


〔地域の自然環境を守る〕

（２）自然環境の保全

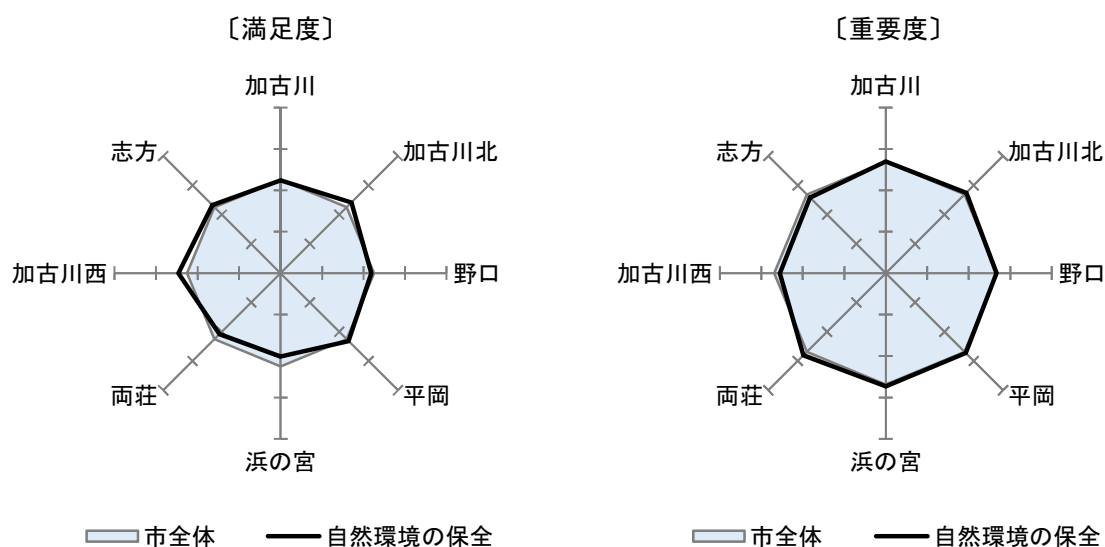
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の30～40歳代と70歳以上、女性の18・19歳～20歳代と60歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳と30～40歳代、60歳代の男女と、男性の70歳以上、女性の20歳代で市全体平均より高くなっている。



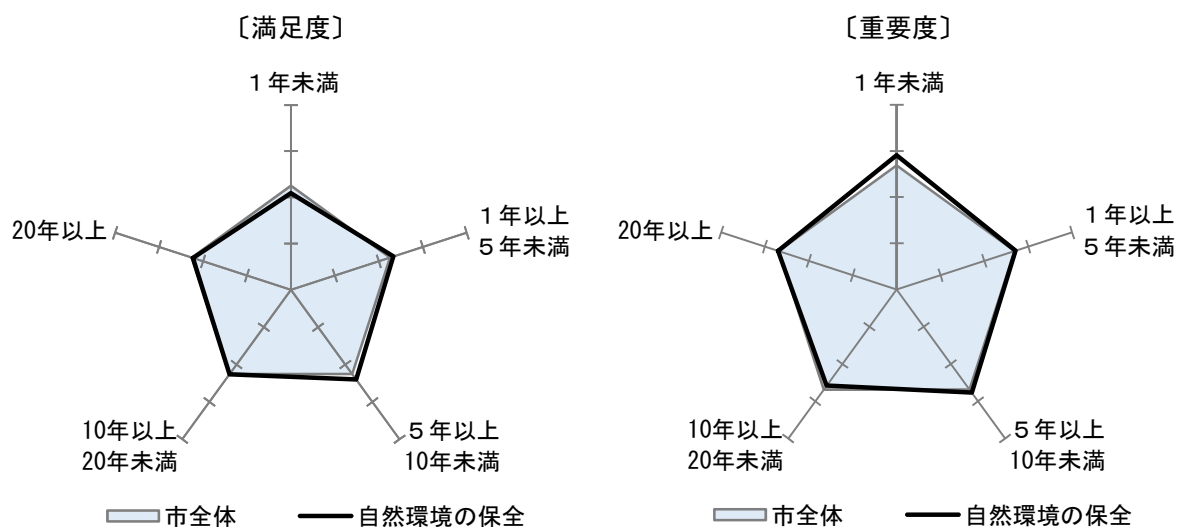
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・加古川西・志方地区では市全体平均より低い、両荘地区が最も高く、次いで加古川北地区となっている。



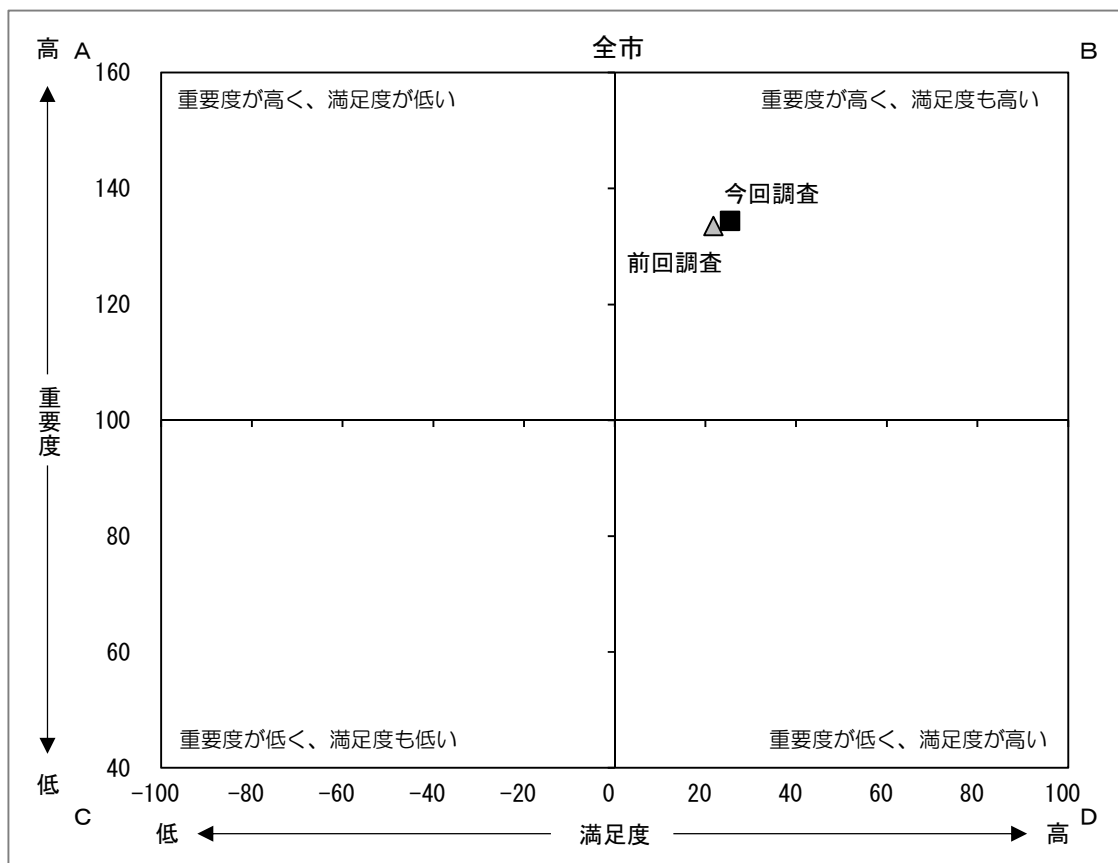
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“5年以上10年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”以外で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度が高くなり、重要度もやや高くなっている。



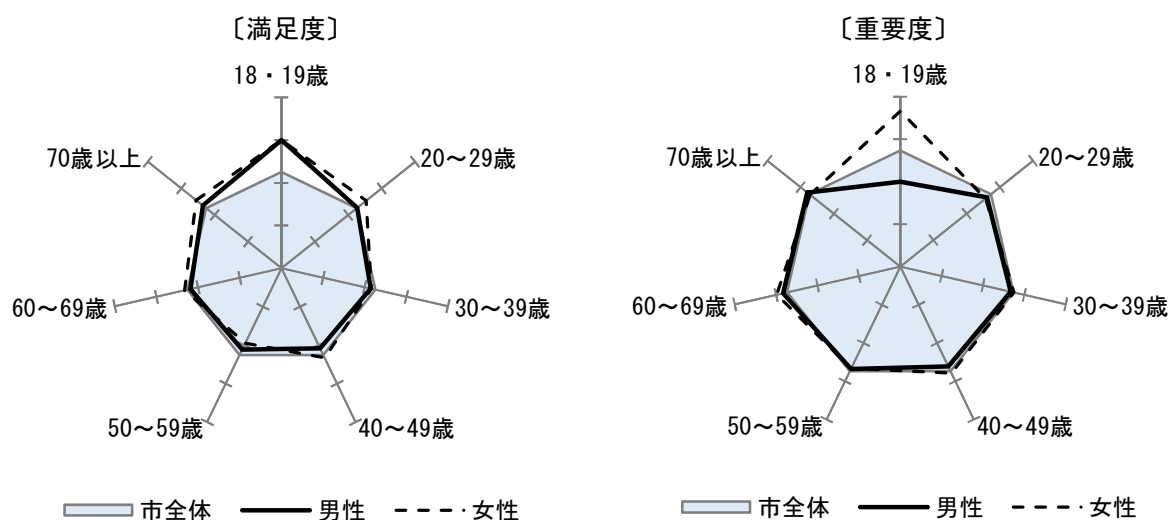
資源の循環と環境美化を推進する

〔ごみを減らし、リサイクルを進める〕

(3) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進

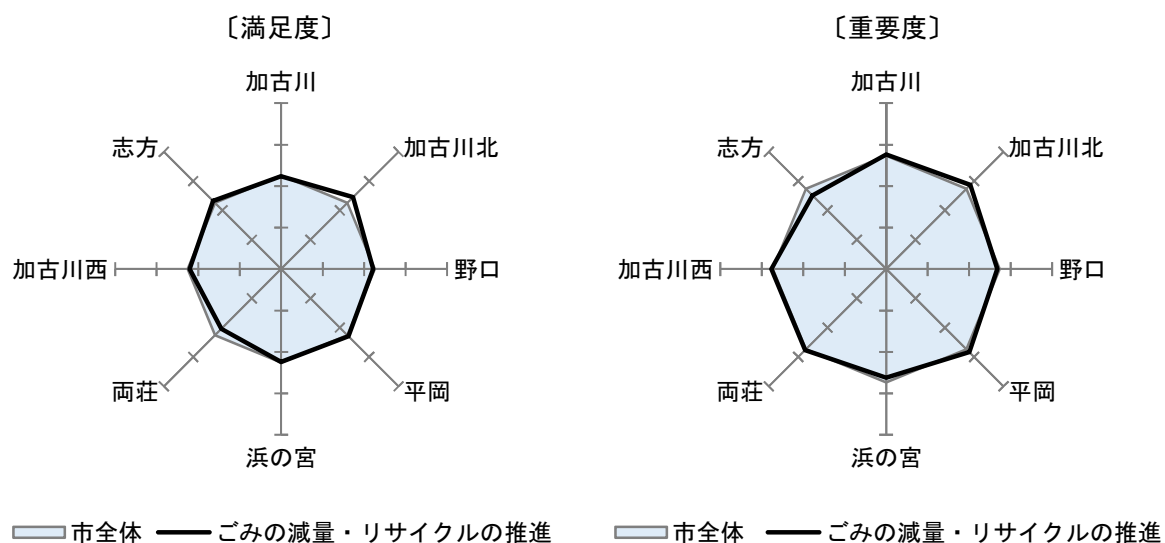
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、女性の50歳代が最も低く、18・19歳～20歳代、70歳以上の男女と、女性の40歳代と60歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の60歳代以上、女性の18・19歳と30～40歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



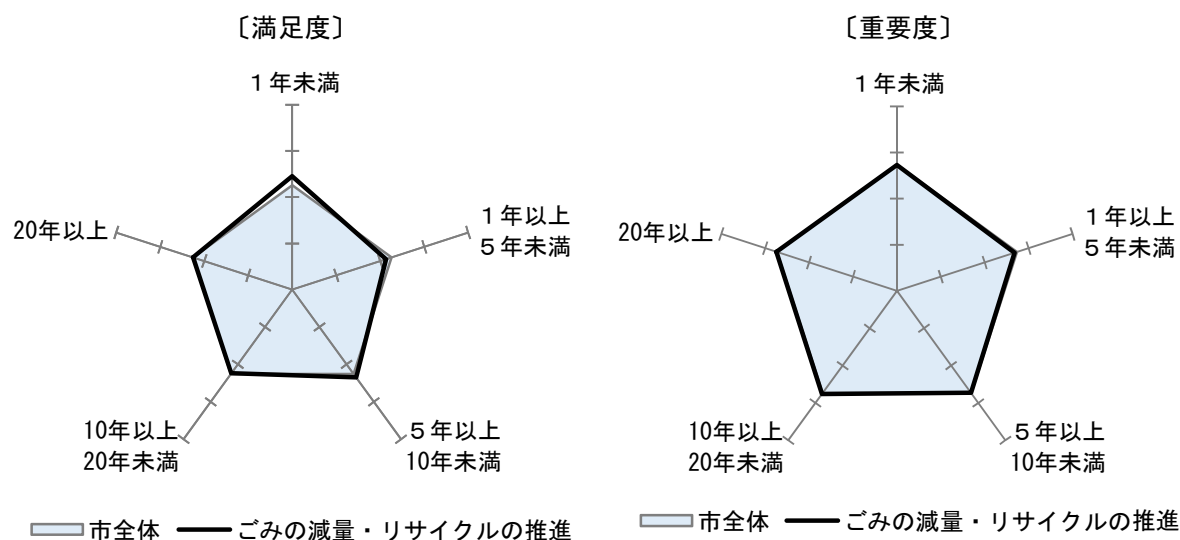
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・志方地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・浜の宮・志方地区では市全体平均より低い、加古川北地区が最も高く、次いで平岡地区となっている。



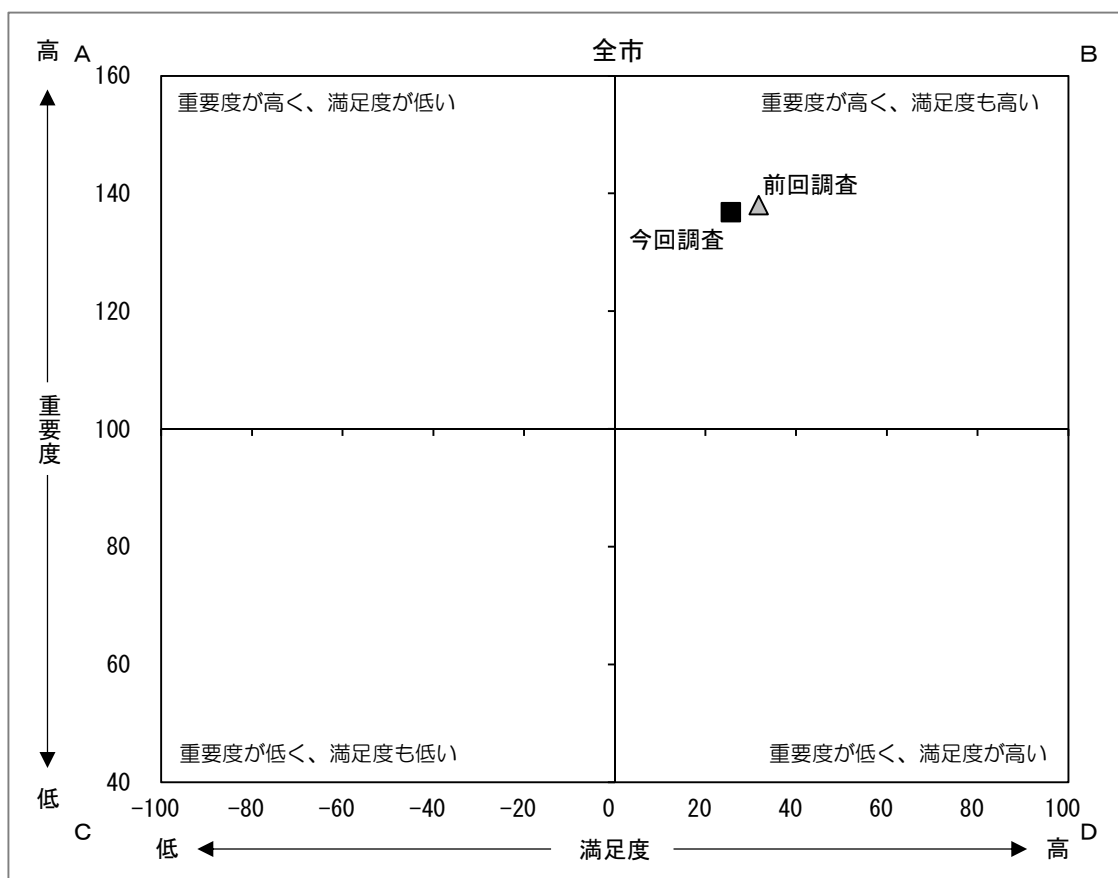
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”が最も高く、次いで“5年以上10年未満”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度・満足度とも低くなっている。

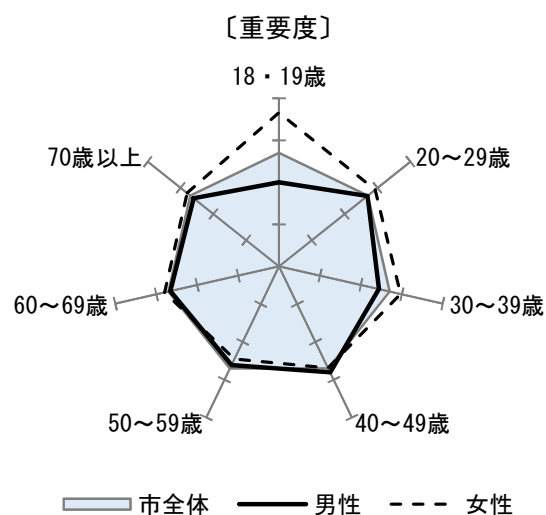
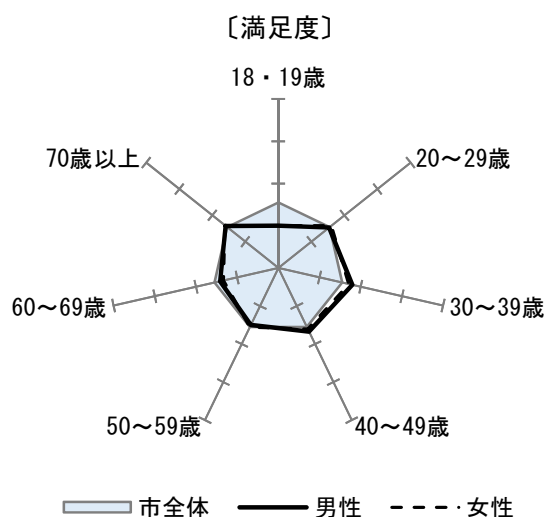


〔清潔で美しい環境をつくる〕

（４）ポイ捨てやペットのふん害防止

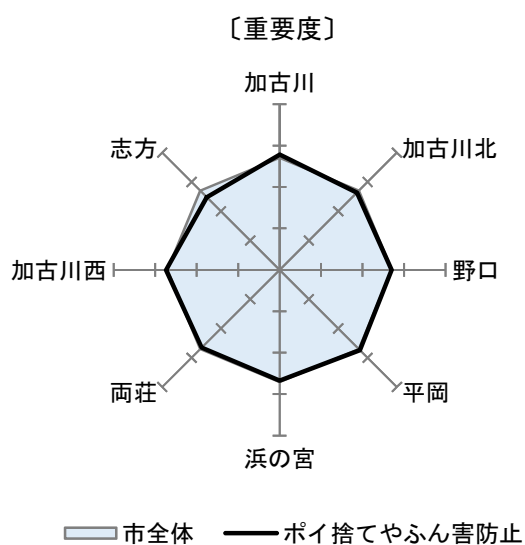
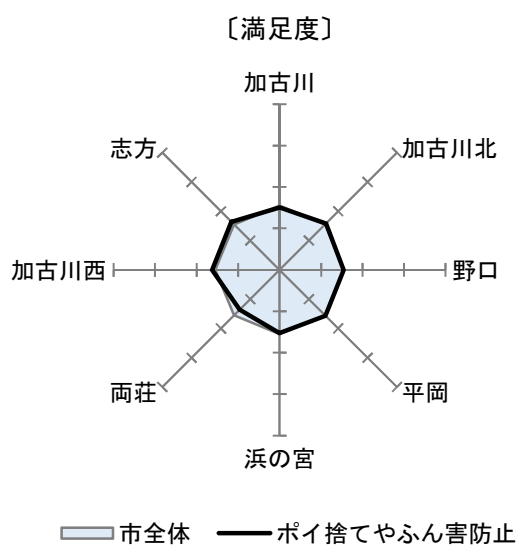
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、30～40歳代と70歳以上の男女と、女性の20歳代と50歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、男性の40歳代と女性の18・19歳～30歳代、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



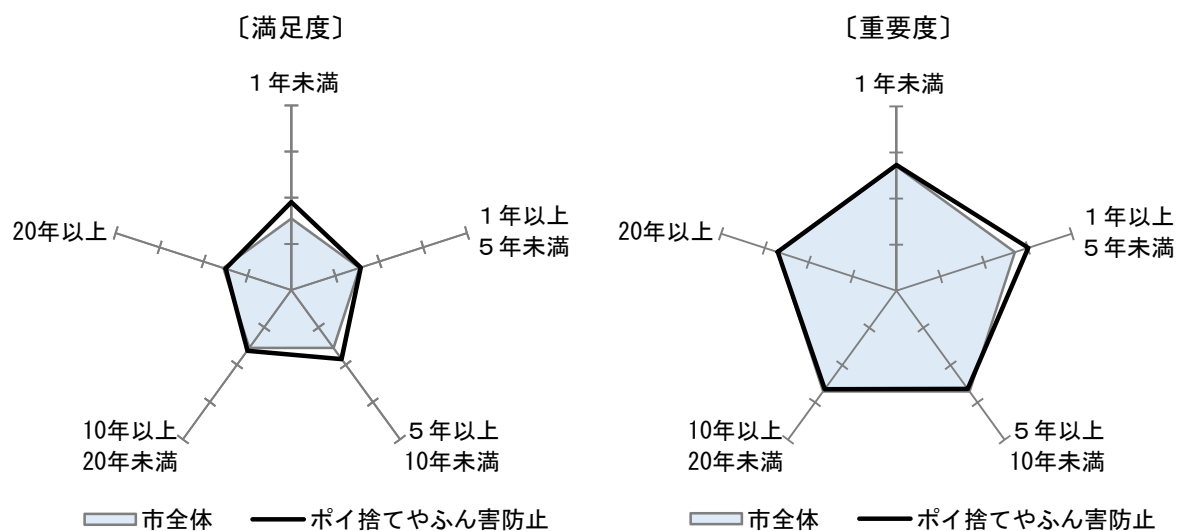
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川北・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも志方地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川地区が最も高くなっている。



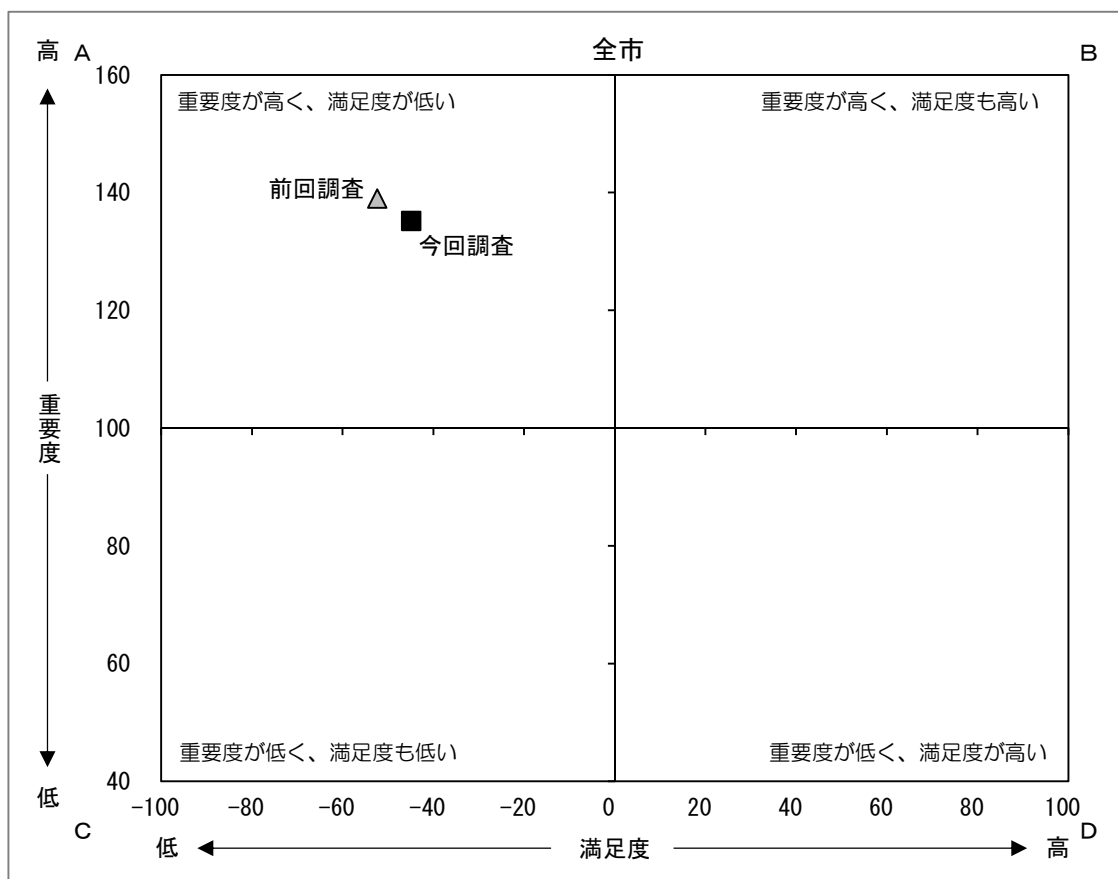
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

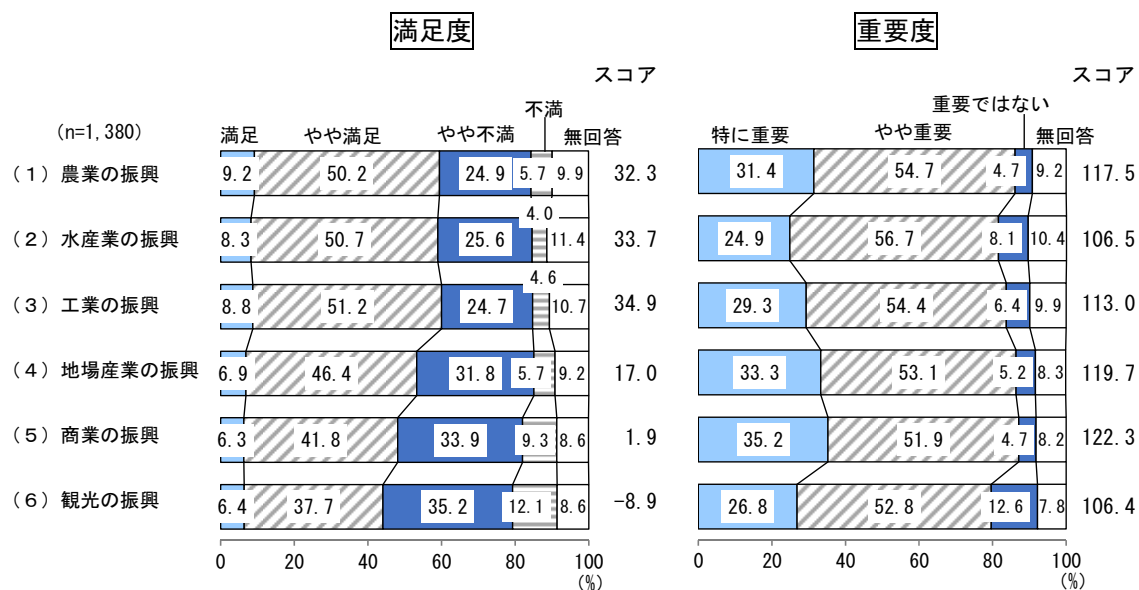
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。



3-4 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(3) 工業の振興”、次いで“(2) 水産業の振興”となっている。一方、最も低いのは“(6) 観光の振興”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(5) 商業の振興”、次いで“(4) 地場産業の振興”となっている。一方、最も低い項目は“(6) 観光の振興”、次いで“(2) 水産業の振興”となっている。

《全体》



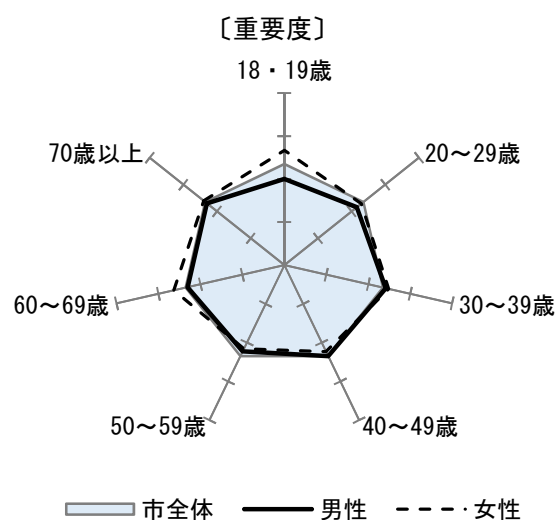
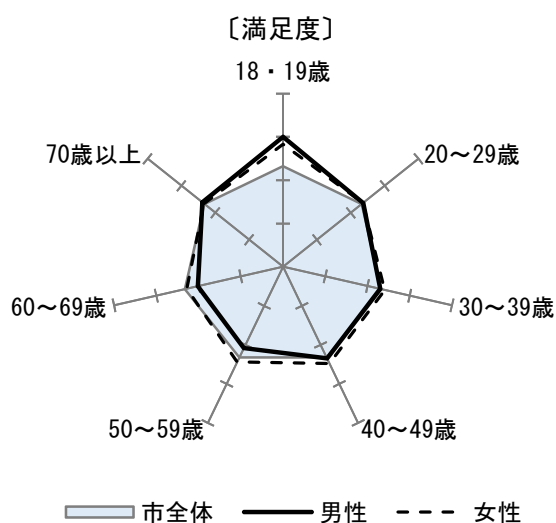
農業・水産業を振興する

〔農業を振興する〕

(1) 農業の振興

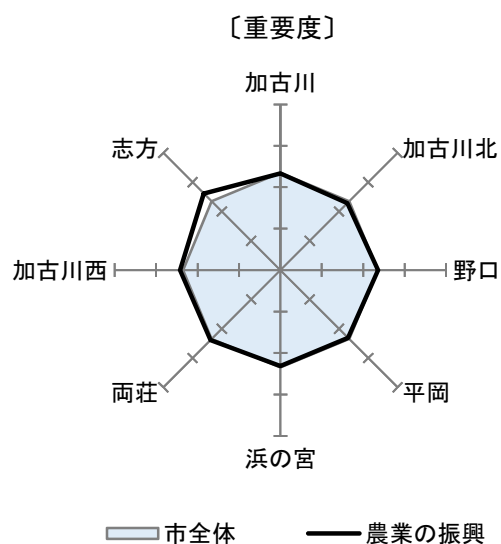
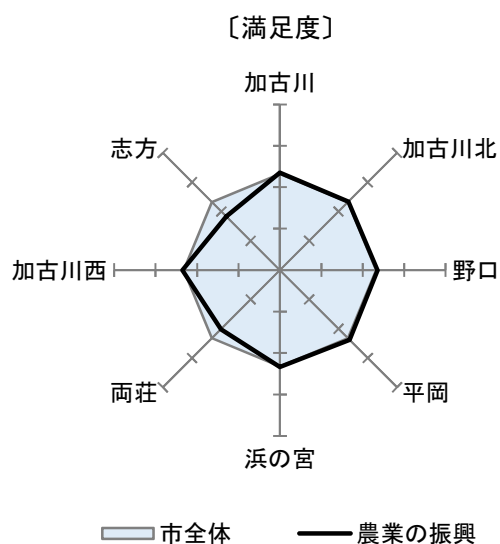
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳～20歳代、40歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～50歳代と70歳以上では市全体平均より高いが、60歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、30歳代の男女と、女性の18・19歳、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



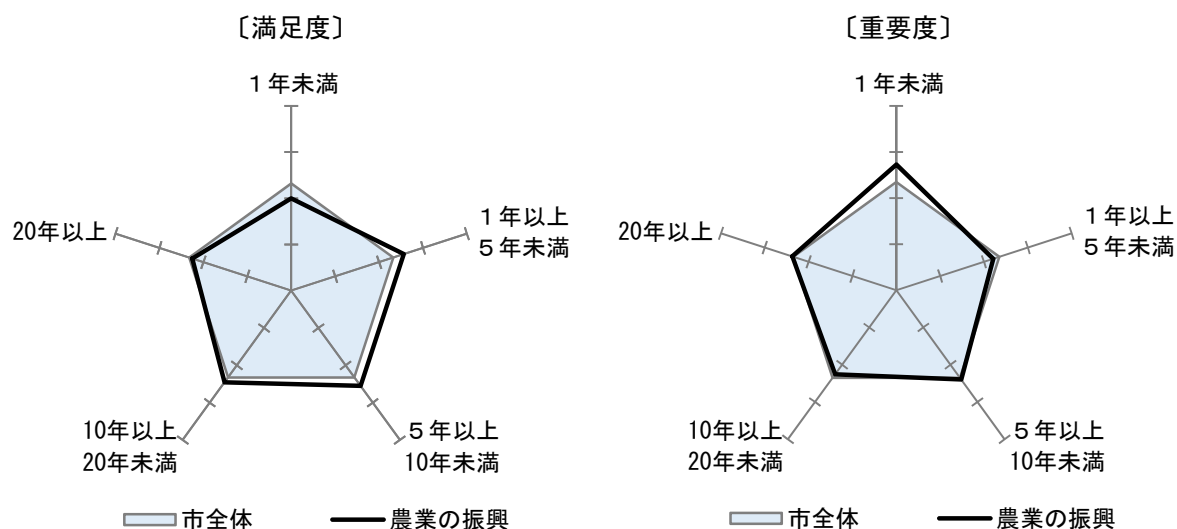
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、両荘・志方地区では市全体平均より低い、平岡地区が最も高く、次いで野口地区となっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも志方地区が最も高くなっている。



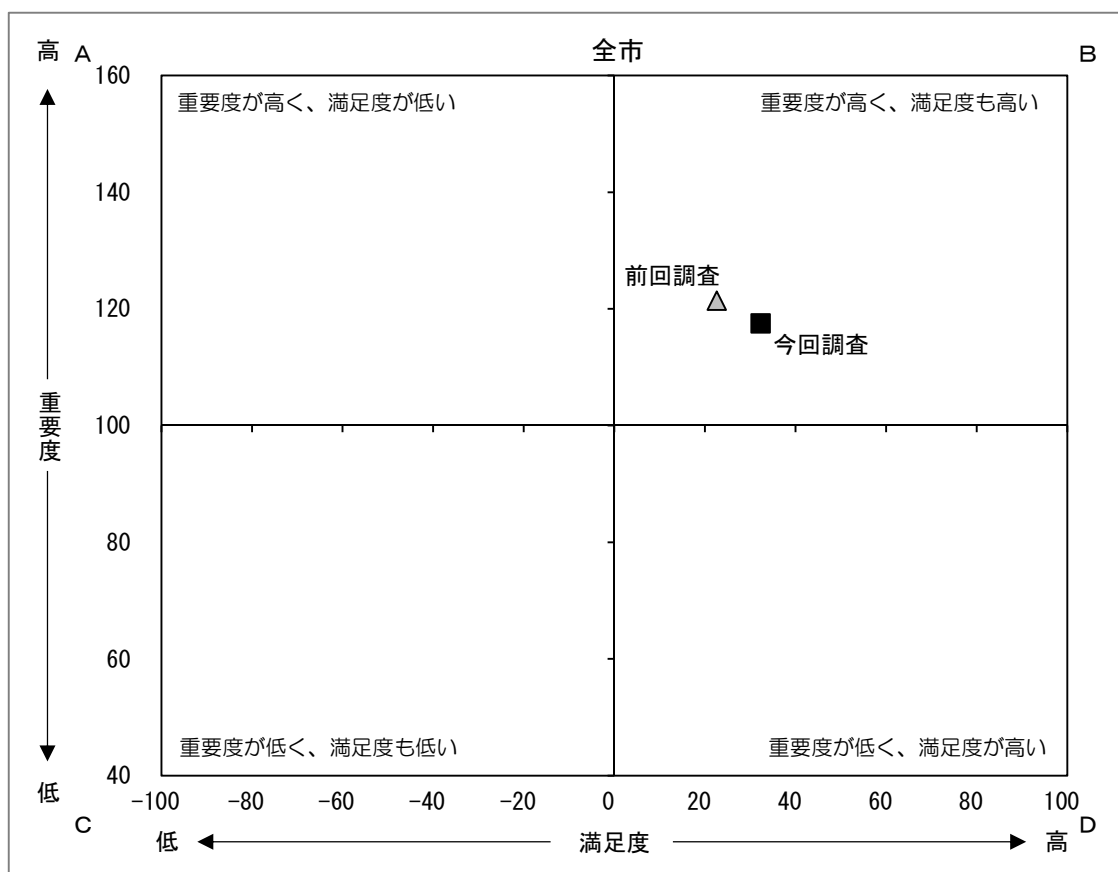
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。

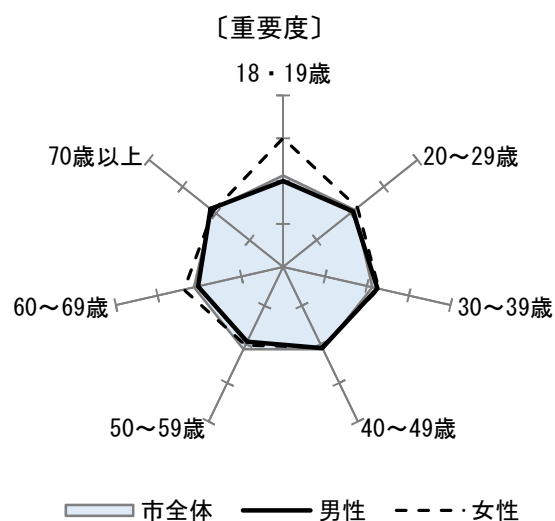
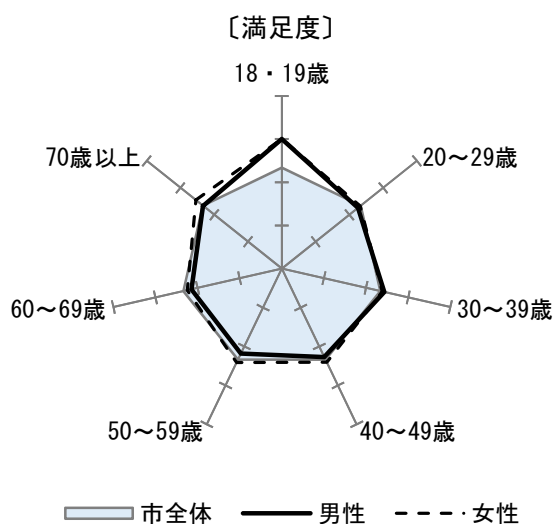


〔水産業を振興する〕

（２）水産業の振興

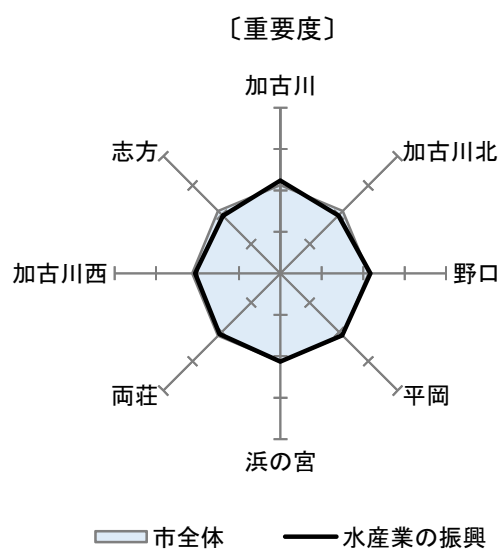
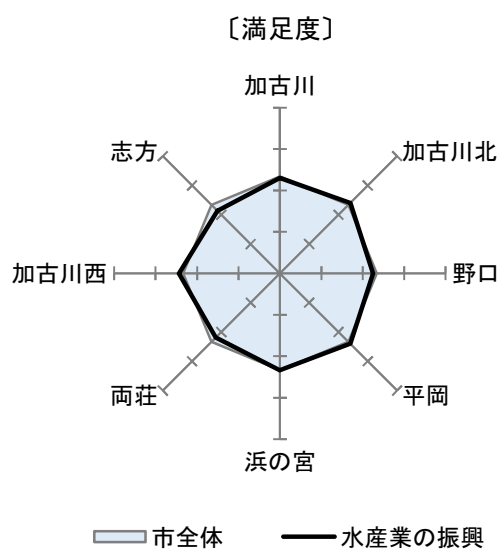
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、18・19歳、30歳代の男女と、女性の40～50歳代、70歳以上では市全体平均より高いが、60歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、男性の30歳代と70歳以上、女性の18・19歳～30歳代、60歳代では市全体平均より高いが、50歳代では男女とも最も低くなっている。



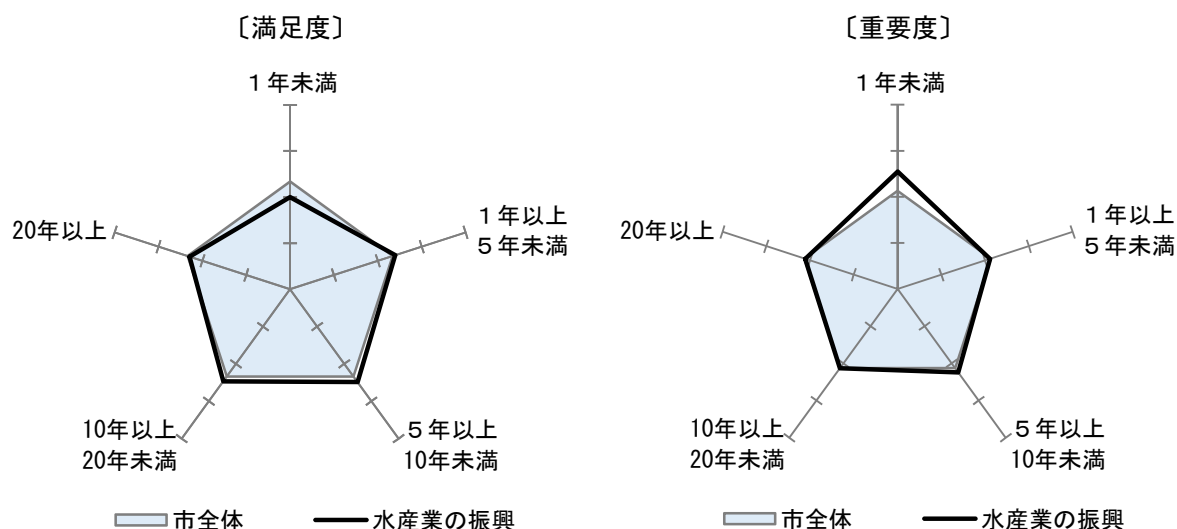
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川北・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川地区が最も高く、次いで野口地区で、市全体平均より高くなっている。



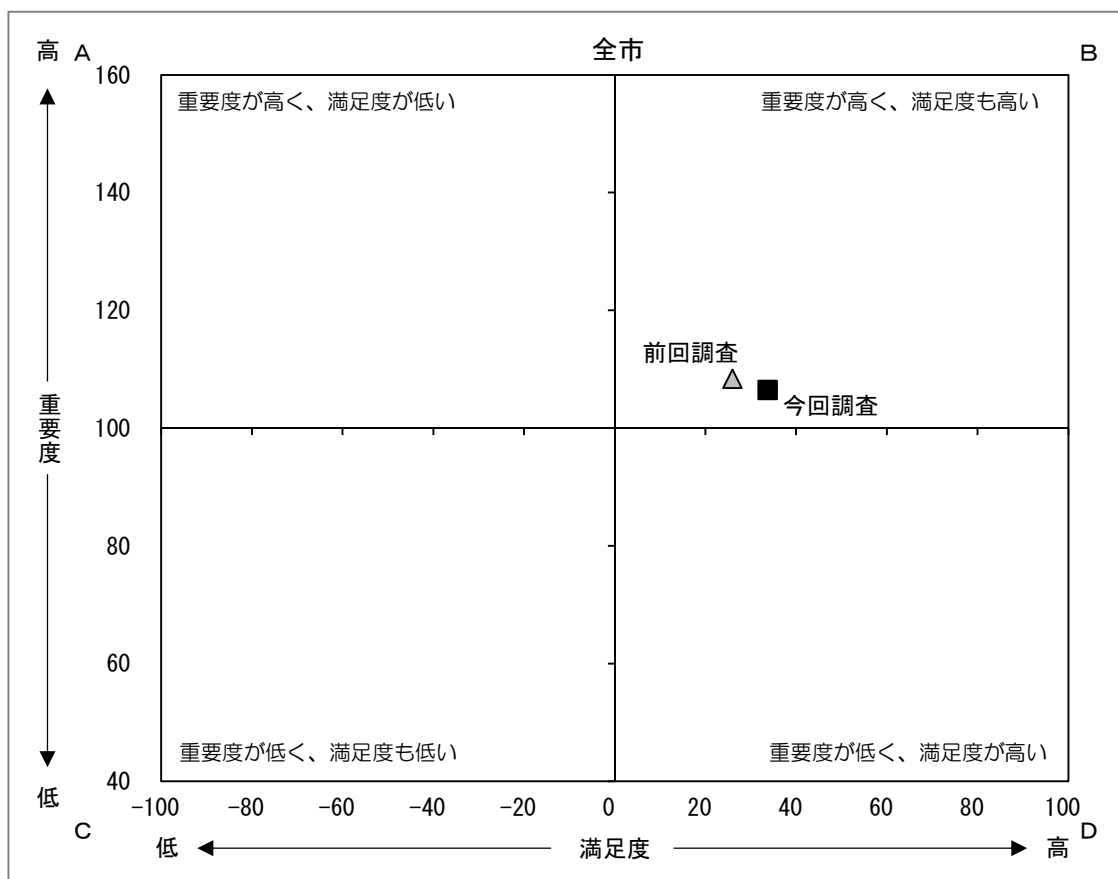
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“5年以上10年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。



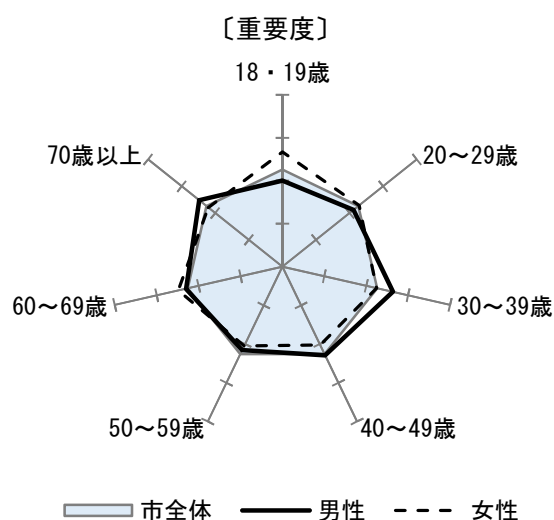
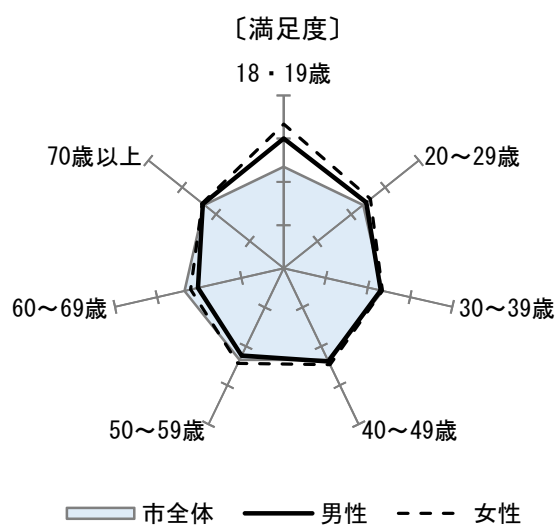
工業・地場産業を振興する

〔工業を振興する〕

（３）工業の振興

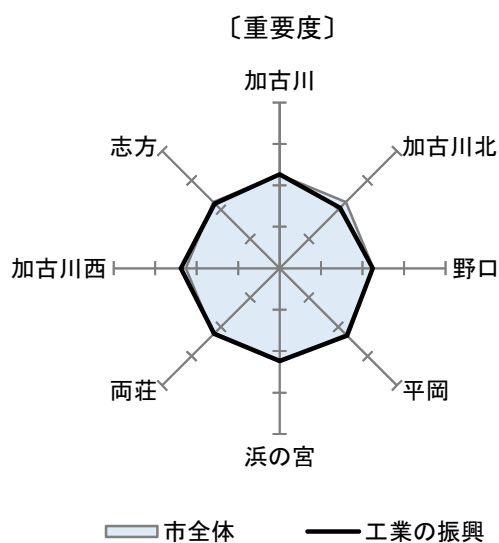
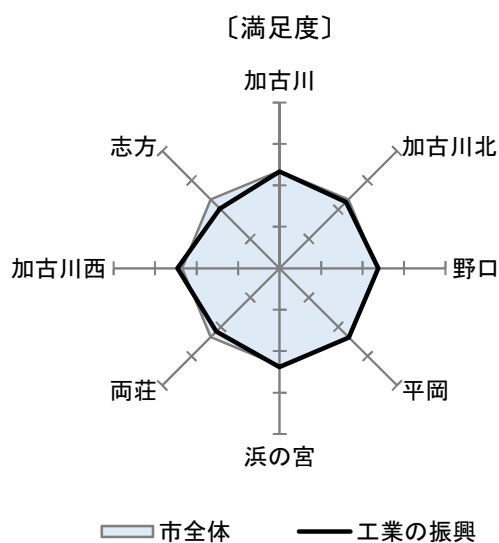
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳～20歳代と40歳代、70歳以上の男女と、女性の50歳代で市全体平均より高く、いずれの年代も女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の30～40歳代、60歳代以上と、女性の18・19歳～20歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



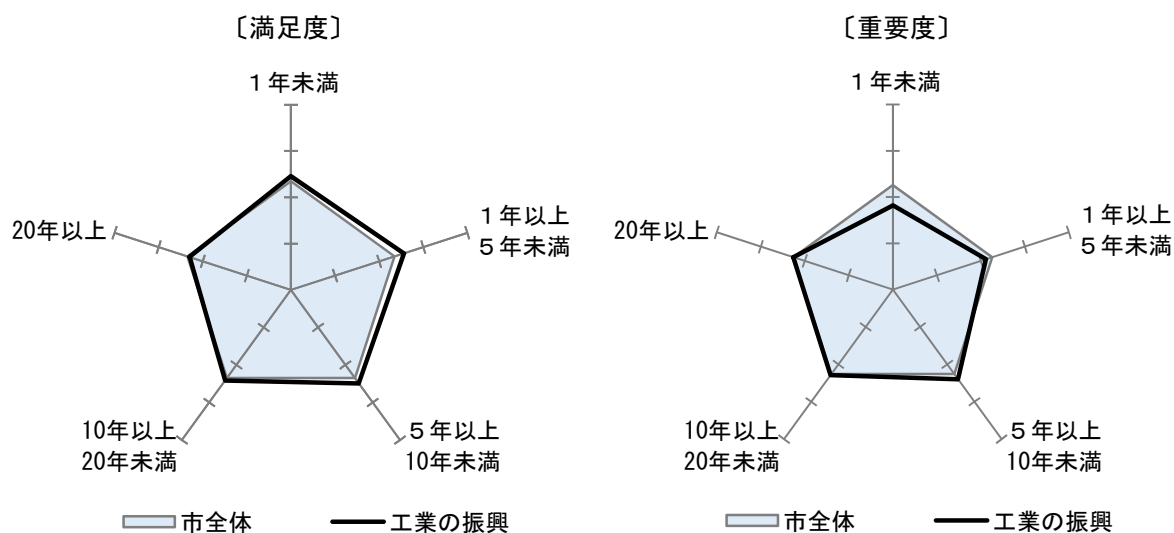
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。



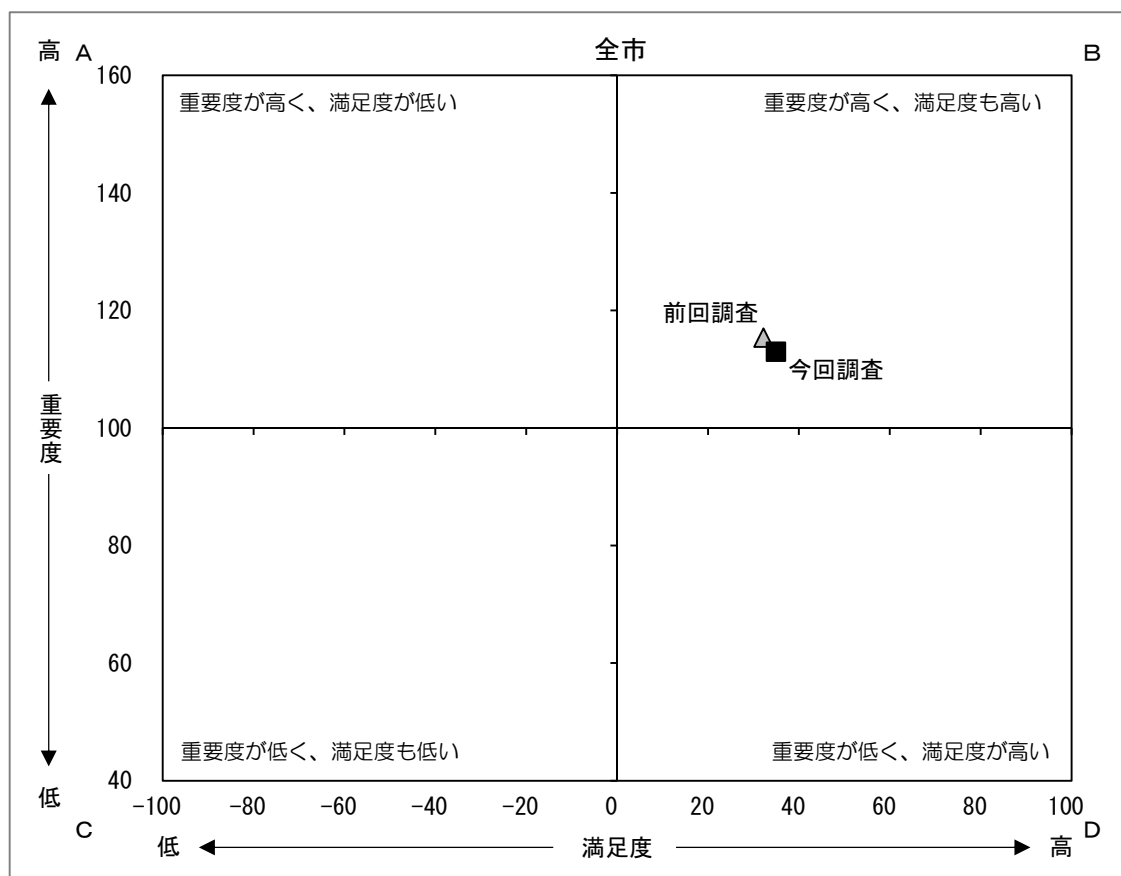
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が低くなり、満足度が高くなっている。

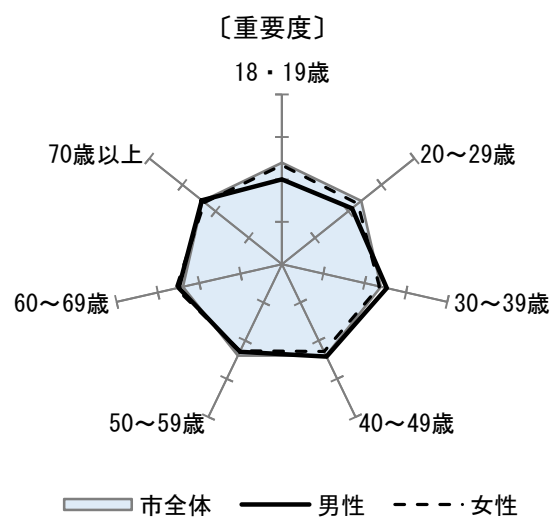
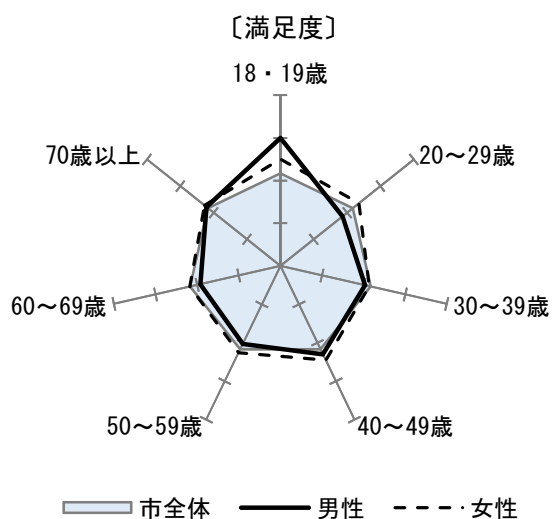


〔地場産業を振興する〕

（４）地場産業の振興

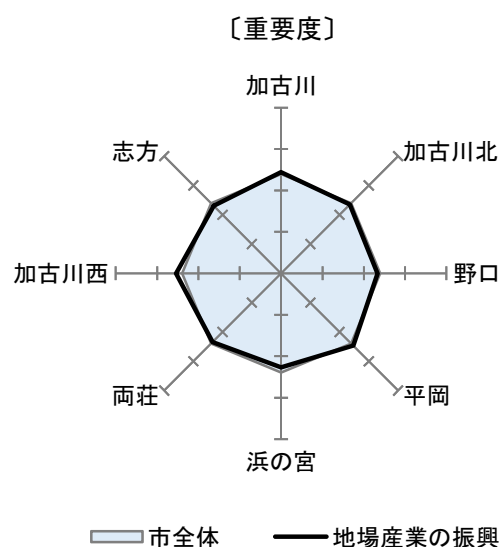
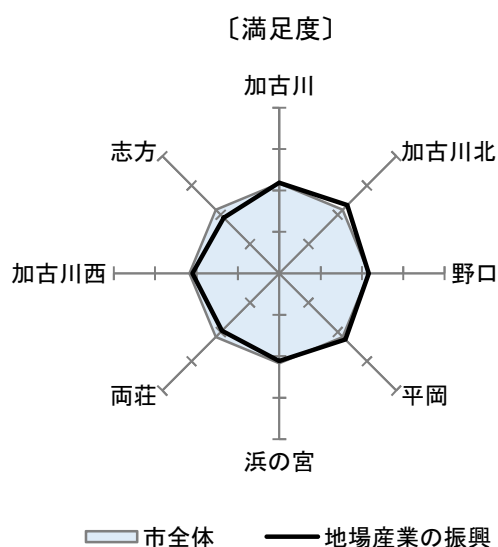
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と40歳代、70歳以上の男女と、女性の20歳代、50～60歳代で市全体平均より高く、20歳代以上では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、60歳代の男女と、男性の30～40歳代、70歳以上で市全体平均より高くなっている。



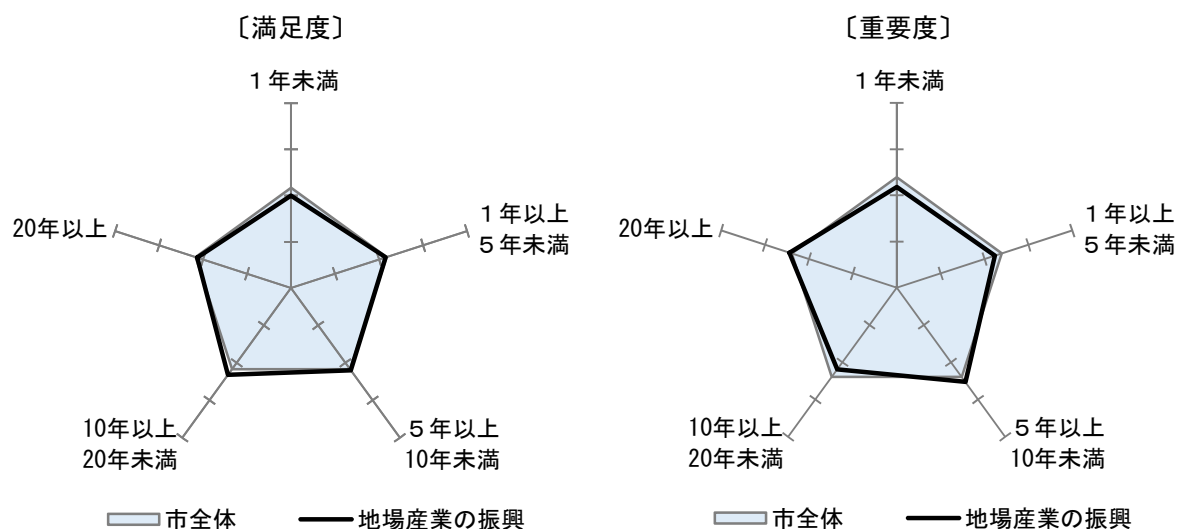
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・平岡地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。



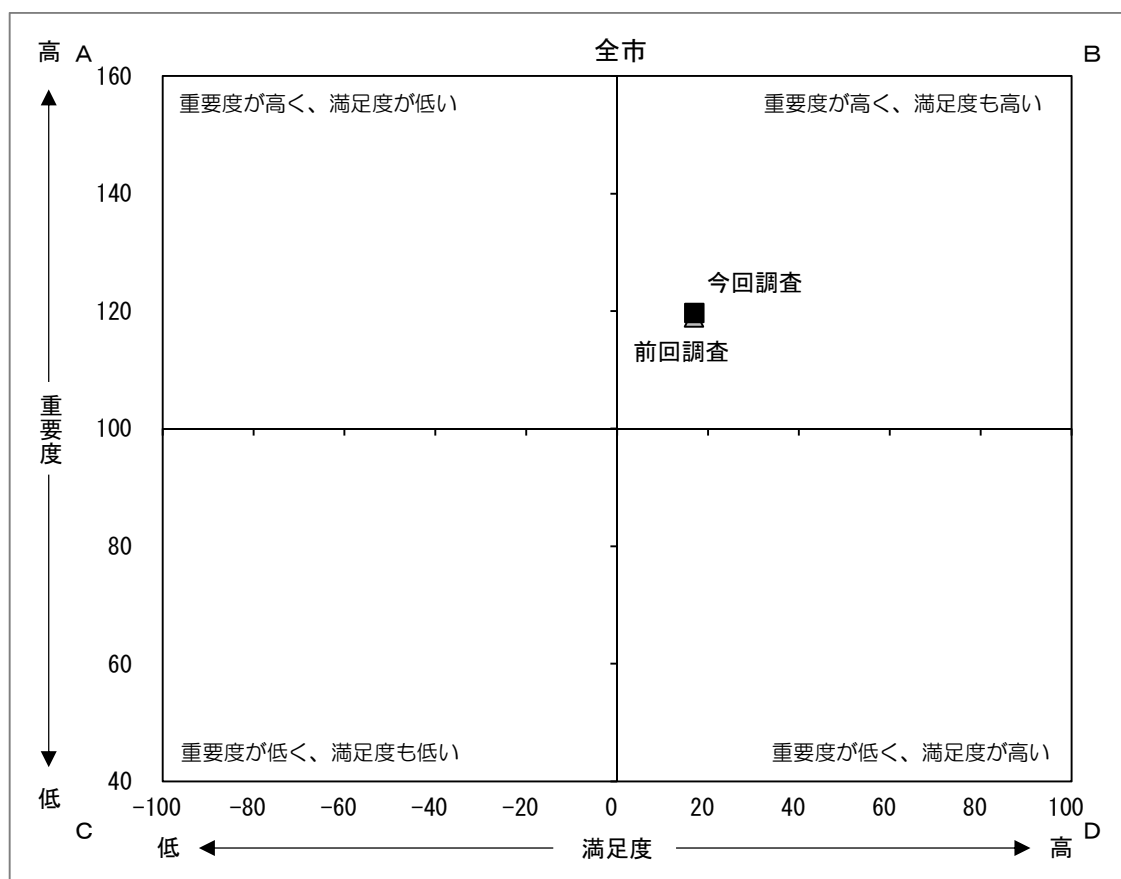
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”が最も高く、次いで“5年以上10年未満”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、満足度は変わらないが、前回調査より重要度がやや高くなっている。



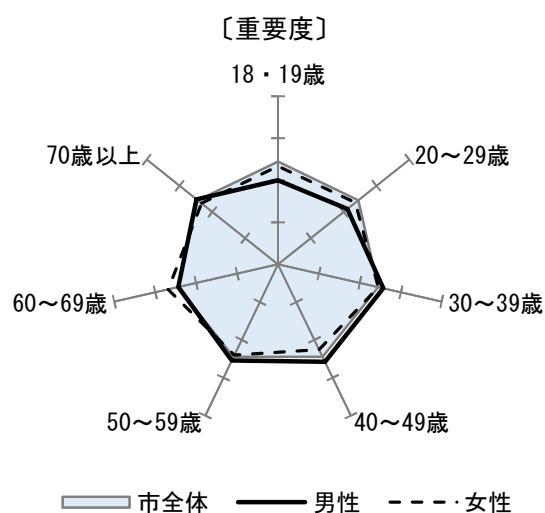
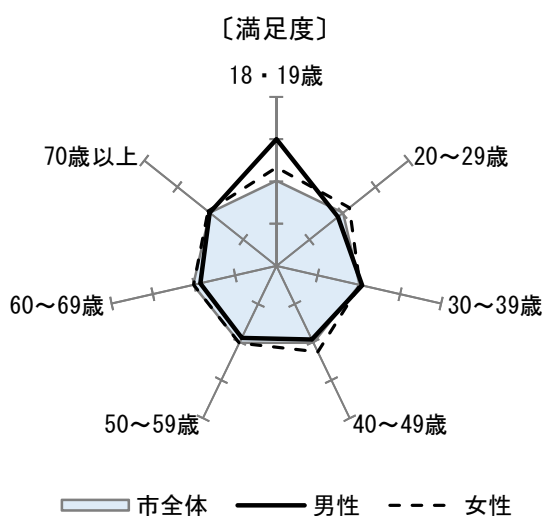
商業・観光を振興する

〔商業・サービス業を振興する〕

（５）商業の振興

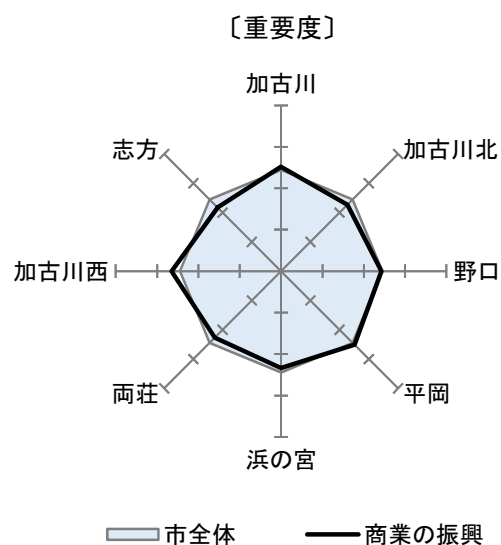
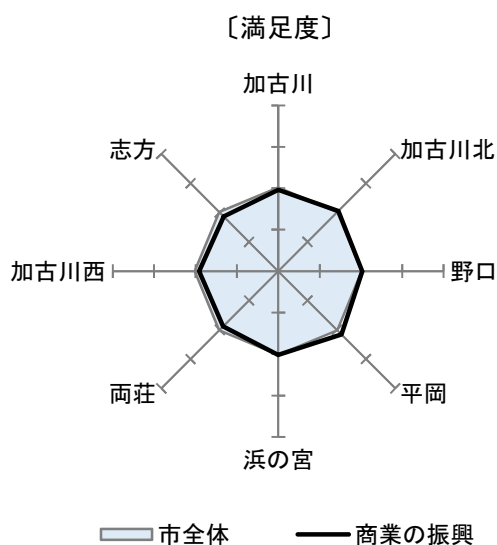
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳と30歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～50歳代、70歳以上では市全体平均より高いが、60歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の30～50歳代と70歳以上、女性の30歳代と60歳代で市全体平均より高くなっている。



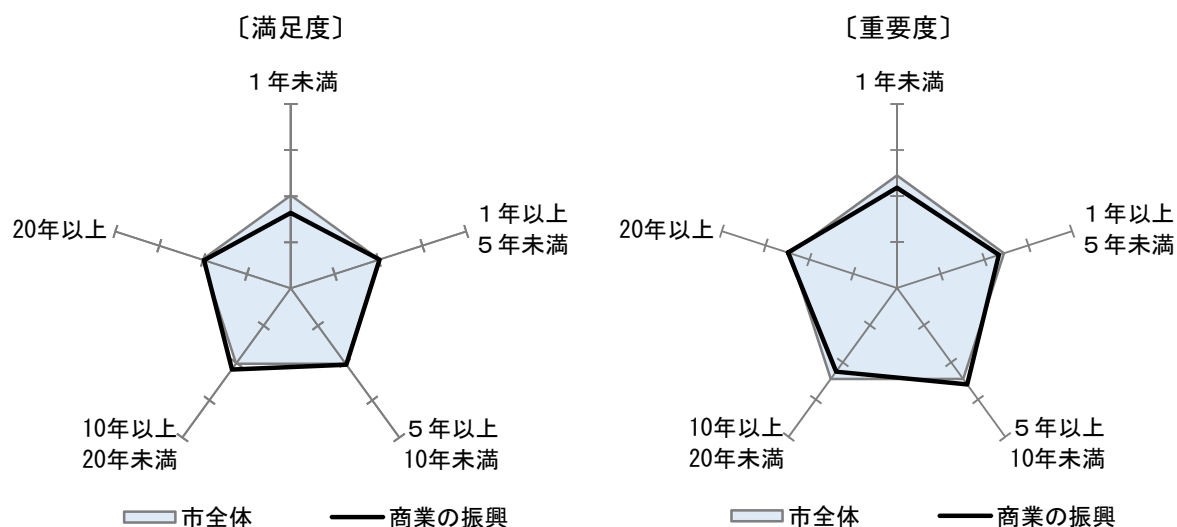
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・野口・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。



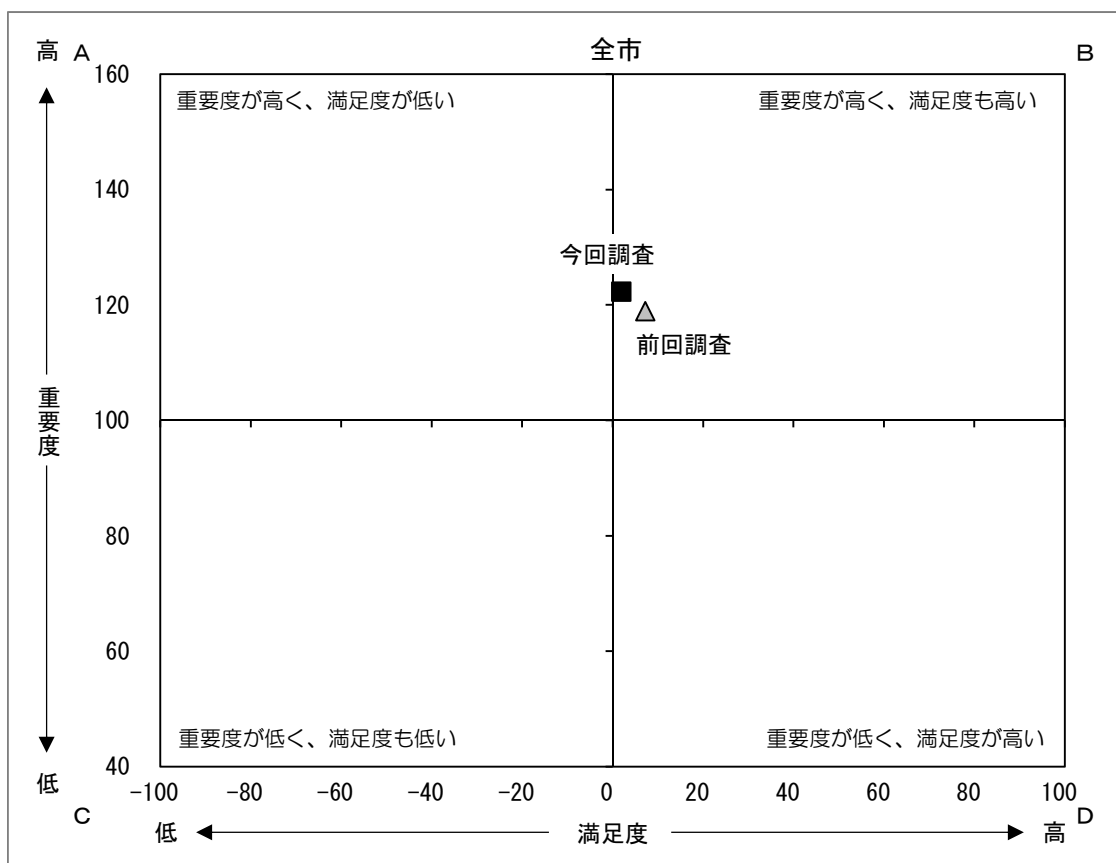
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“10年以上20年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。

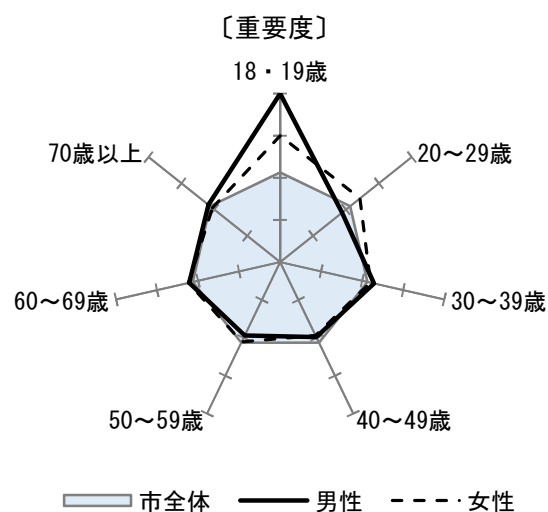
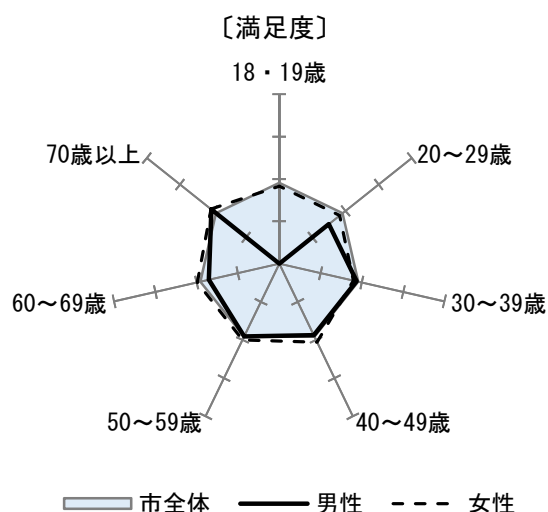


〔観光を振興する〕

（６）観光の振興

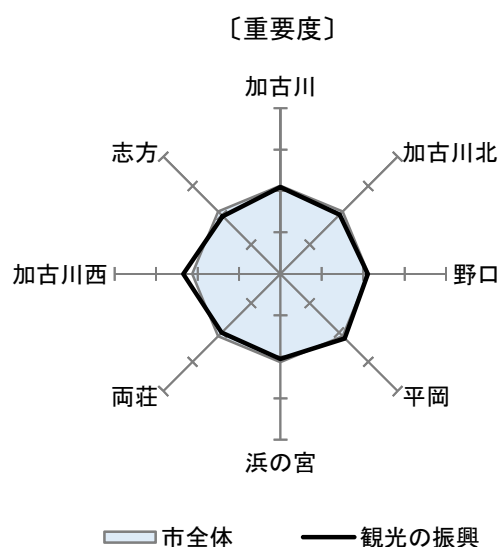
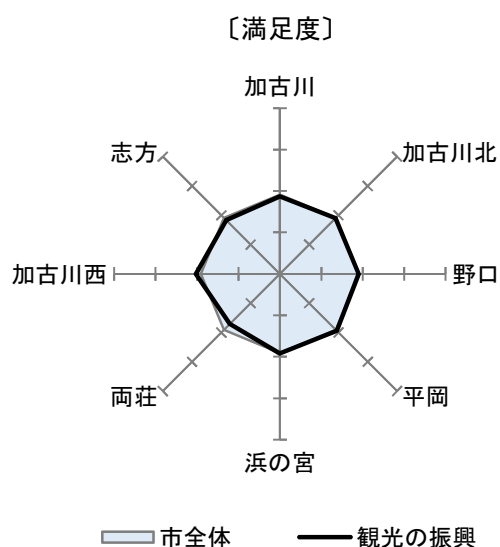
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の70歳以上と女性の40歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳と30歳代、60歳代の男女と、男性の70歳代、女性の20歳代で市全体平均より高くなっている。



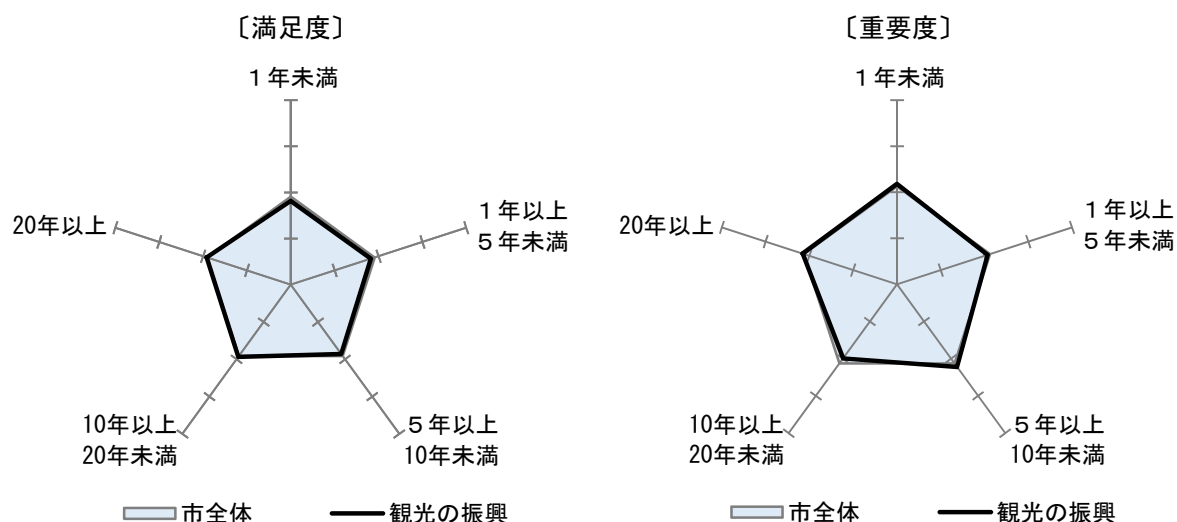
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川西地区が最も高く、次いで平岡地区で、市全体平均より高くなっている。



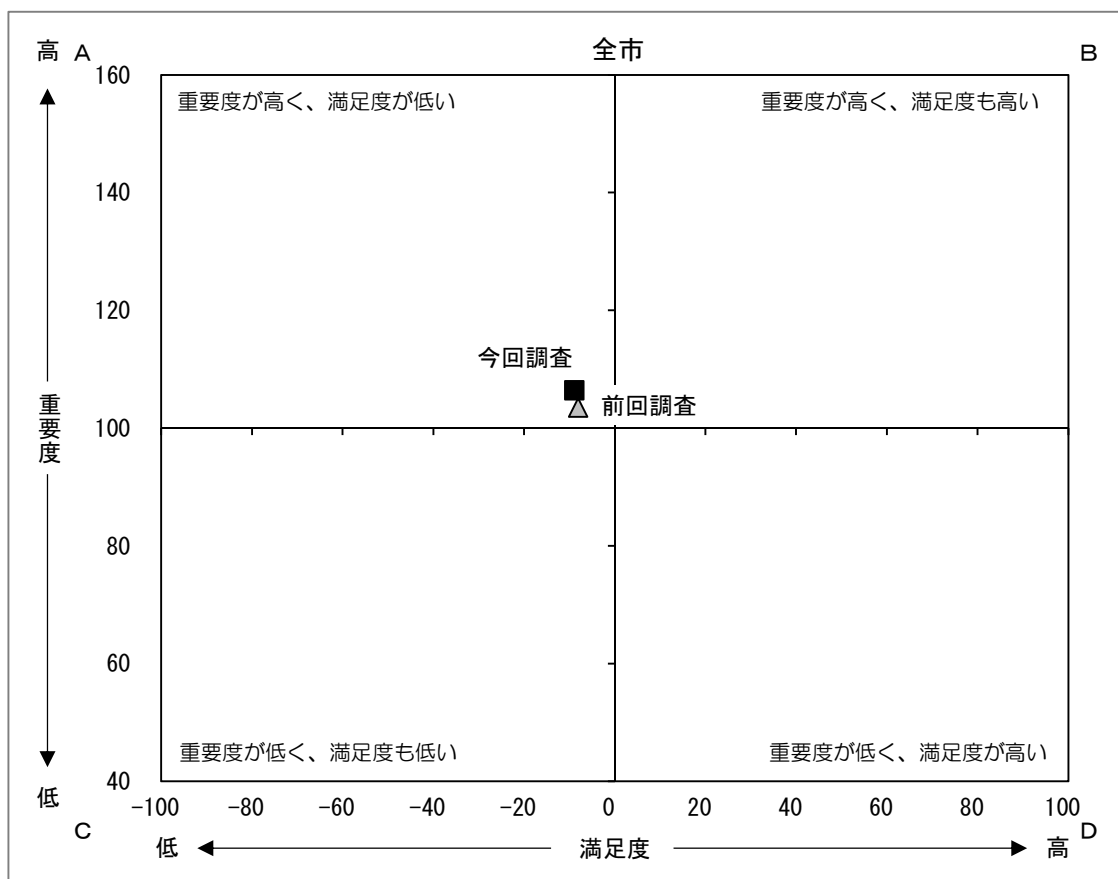
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“5年以上10年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

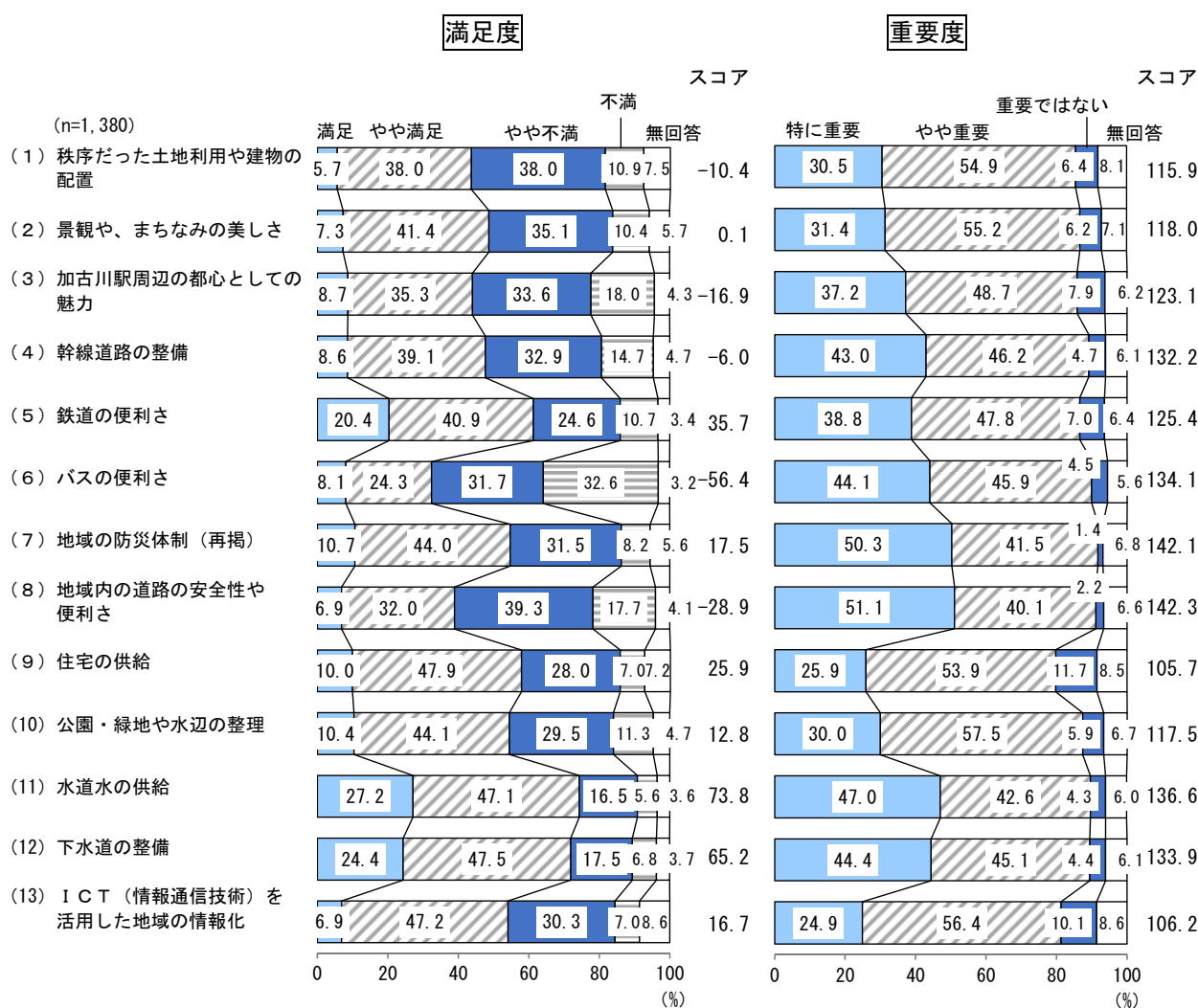
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度がやや低くなっている。



3-5 快適に暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(11) 水道水の供給”、次いで“(12) 下水道の整備”となっている。一方、最も低い項目は“(6) バスの便利さ”、次いで“(8) 地域内の道路の安全性や便利さ”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(8) 地域内の道路の安全性や便利さ”、次いで“(7) 地域の防災体制（再掲）”となっている。一方、最も低い項目は“(9) 住宅の供給”、次いで“(13) ICT（情報通信技術）を活用した地域の情報化”となっている。

《全体》



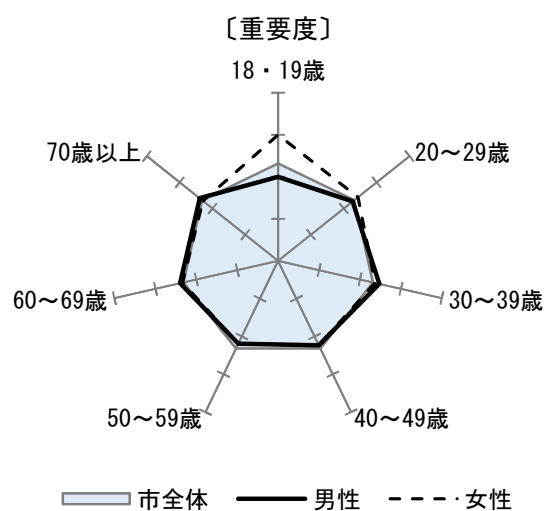
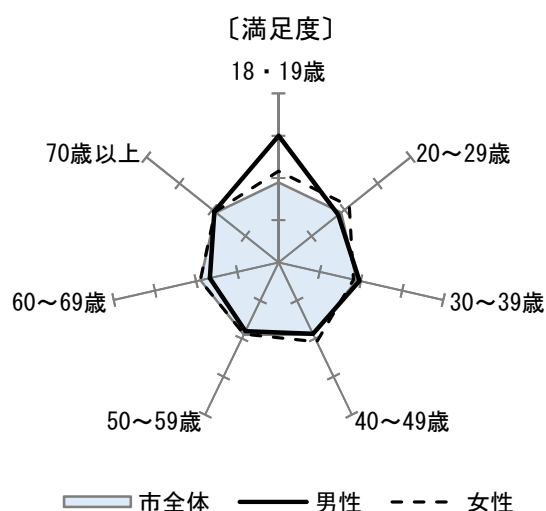
機能的・効率的なまちを形成する

〔計画的な土地利用を進める〕

（１）秩序だった土地利用や建物の配置

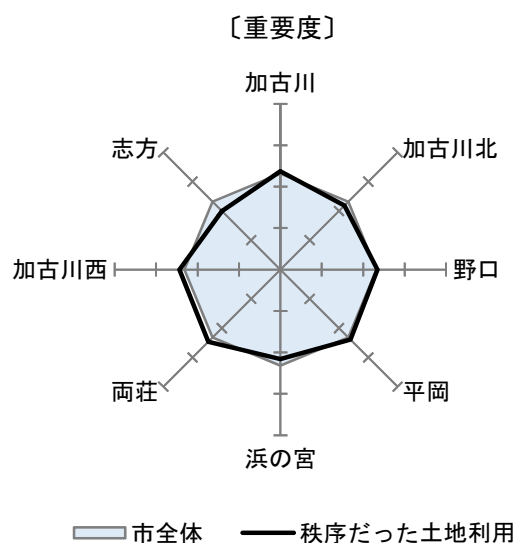
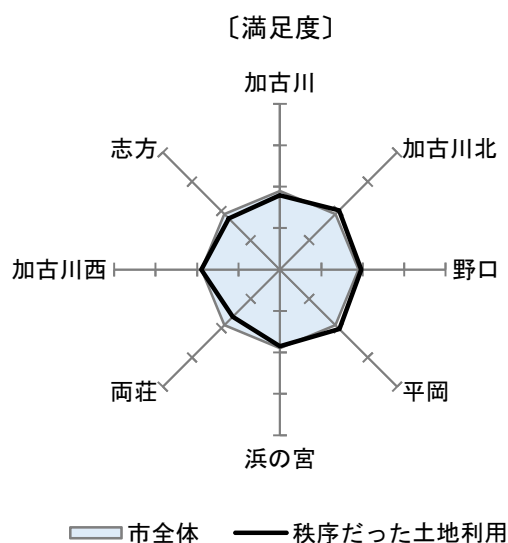
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳、30歳代、70歳以上と、女性では30歳代と50歳代以外の年代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の30歳代と60歳代以上、女性の18・19歳～30歳代と60歳代で市全体平均より高くなっている。



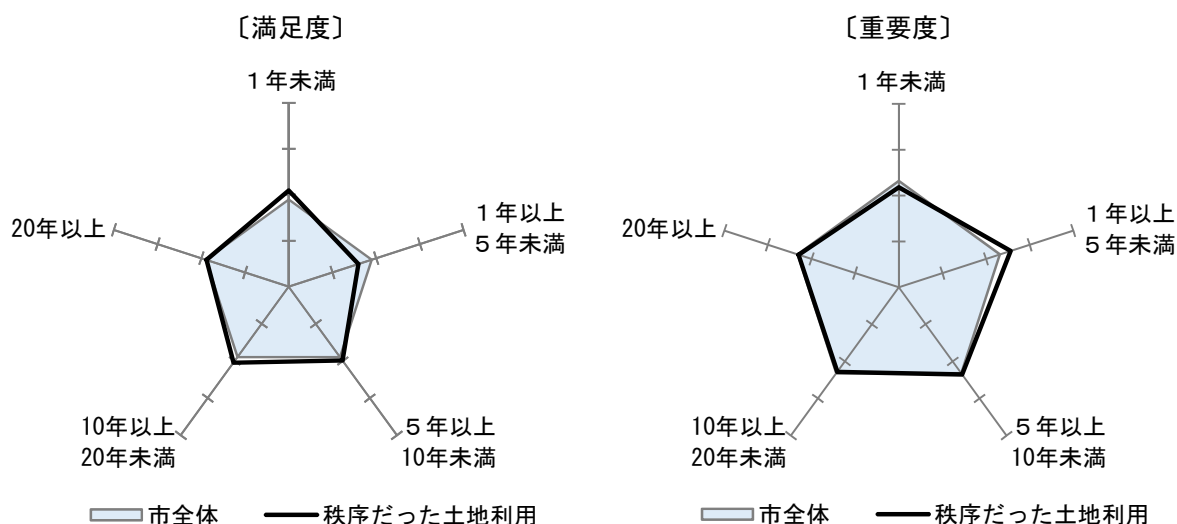
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・浜の宮・志方地区では市全体平均より低い、両荘地区が最も高く、次いで加古川西地区となっている。



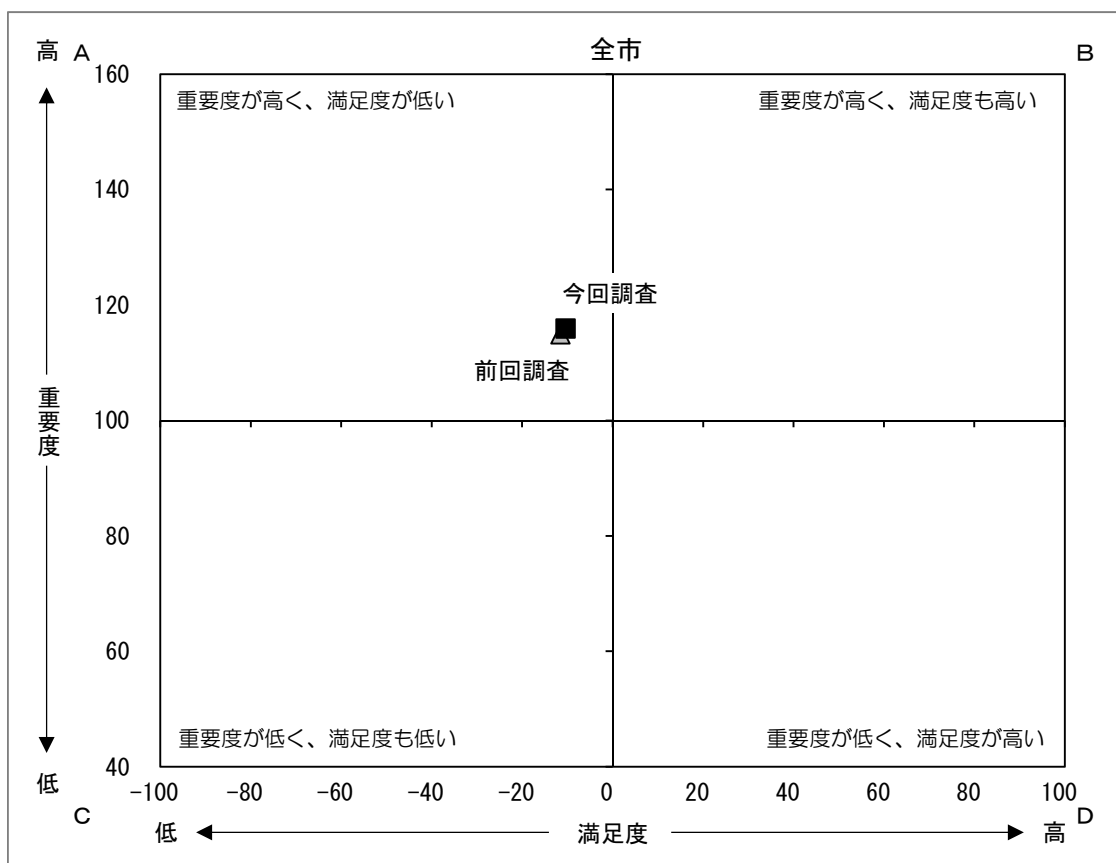
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“5年以上10年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度・満足度ともやや高くなっている。

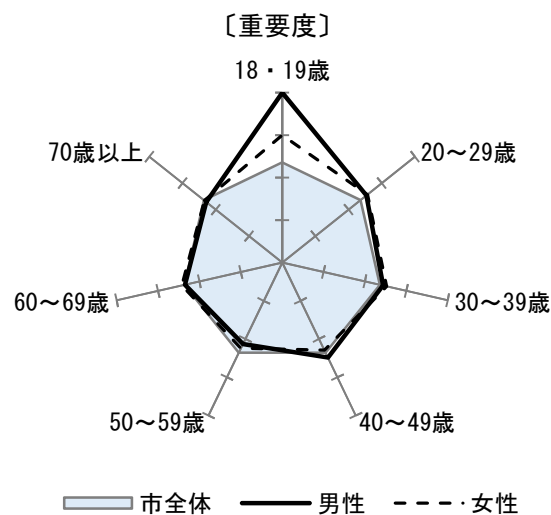
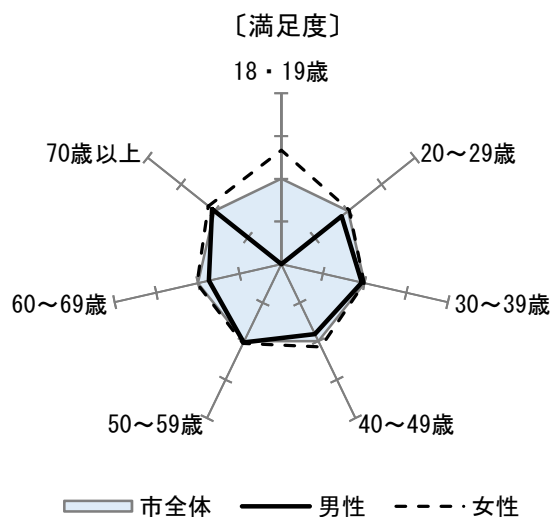


〔秩序あるまちなみを形成する〕

（２）景観や、まちなみの美しさ

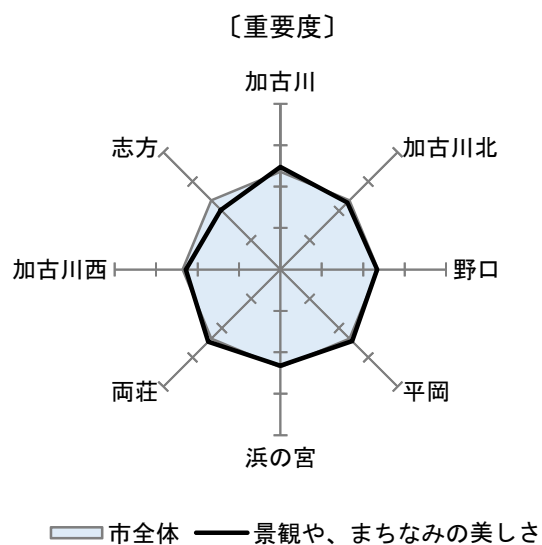
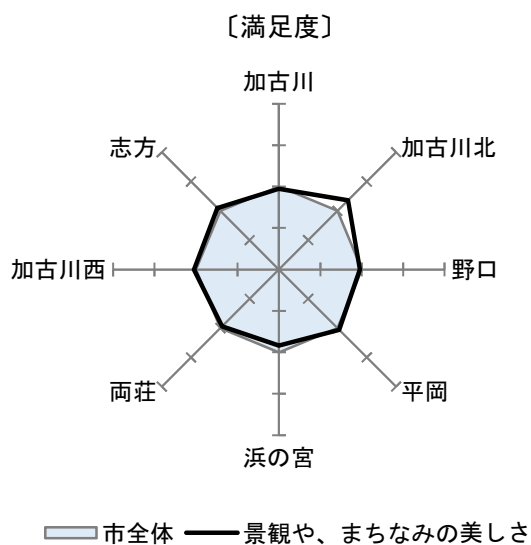
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の50歳代と70歳以上、女性の18・19歳～20歳代、40歳代以上で市全体平均より高く、いずれの年代も女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の18・19歳～40歳代と、女性の18・19歳～30歳代、60歳代では市全体平均より高いが、50歳代では男女とも最も低くなっている。



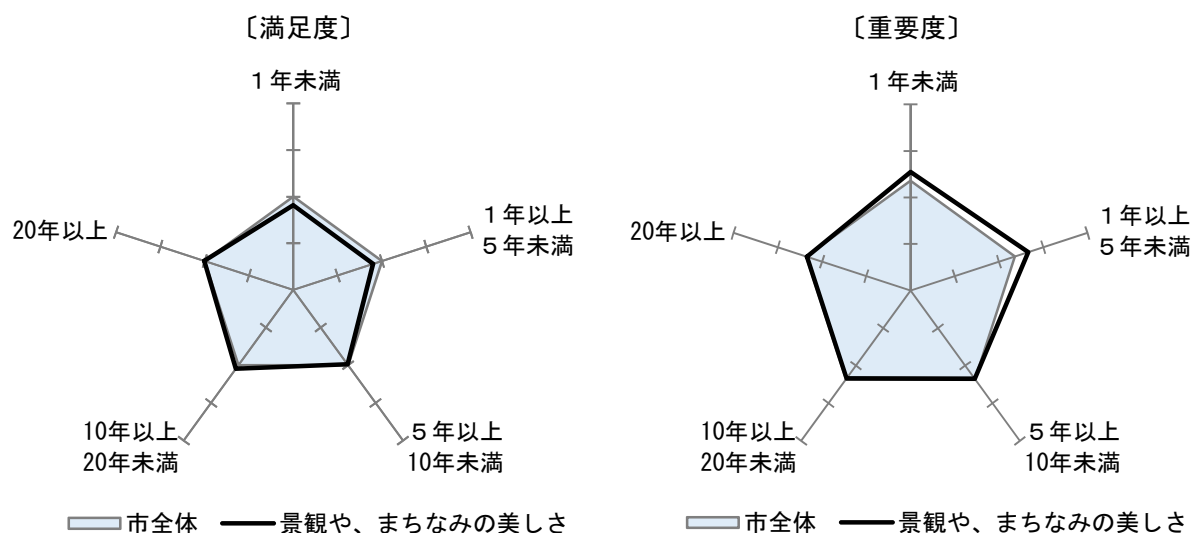
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・両荘地区で市全体平均より高く、なかでも加古川地区が最も高くなっている。



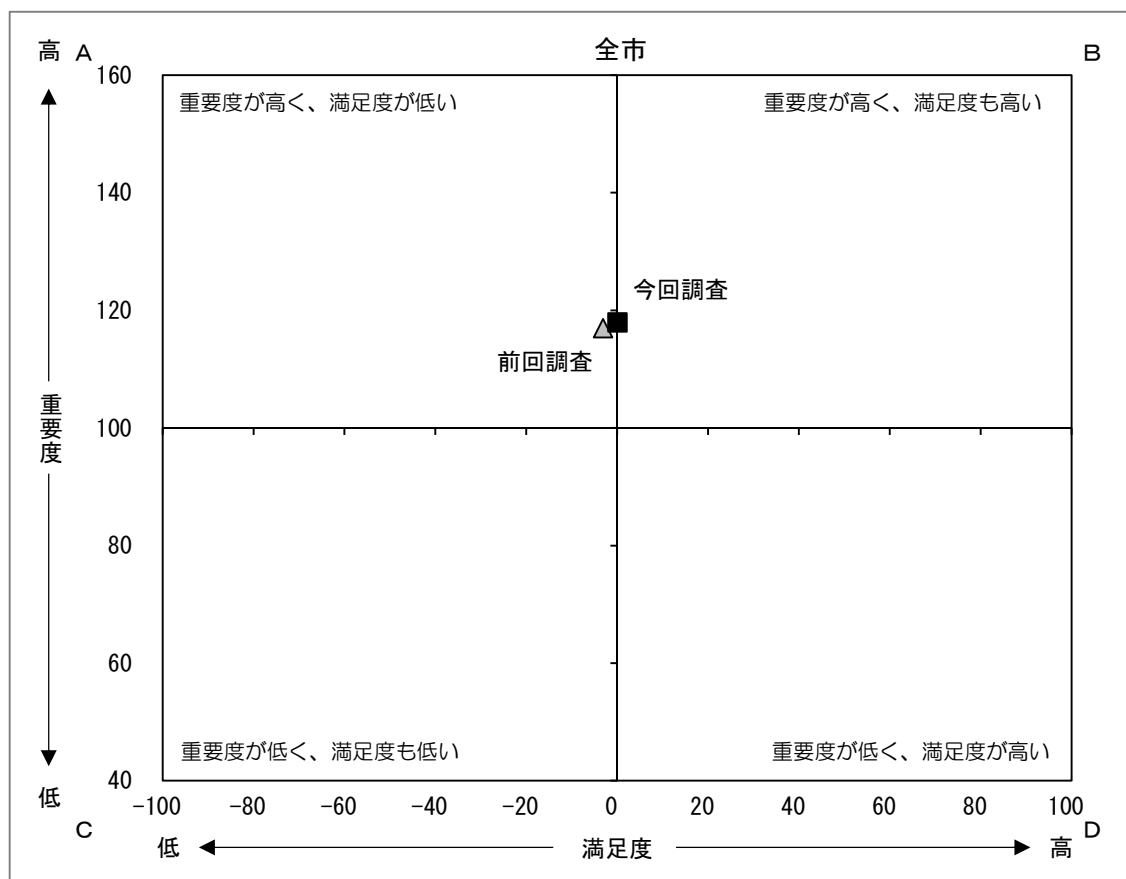
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“1年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度が高くなり、重要度もやや高くなっている。

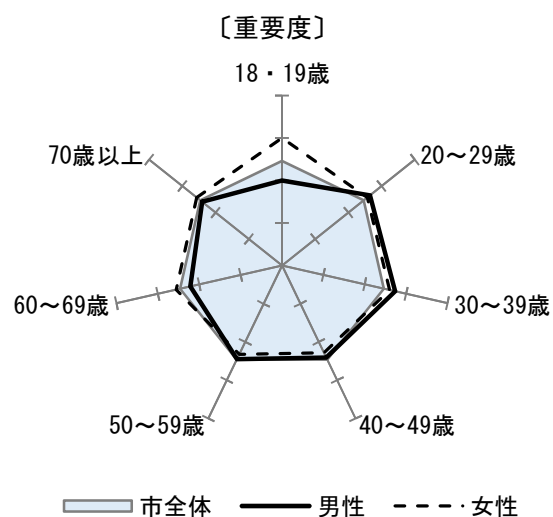
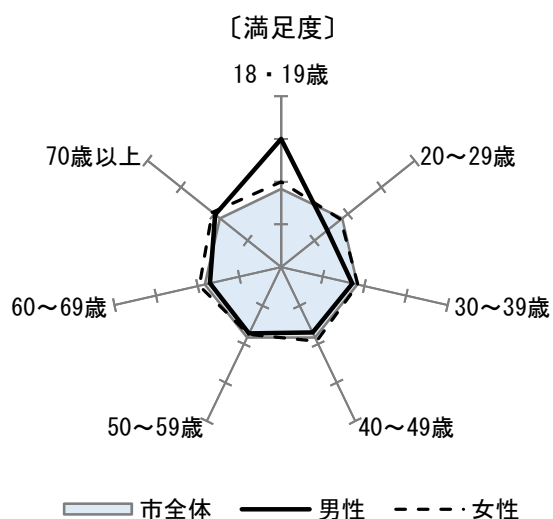


〔都市拠点の機能を充実する〕

（３）加古川駅周辺の都心としての魅力

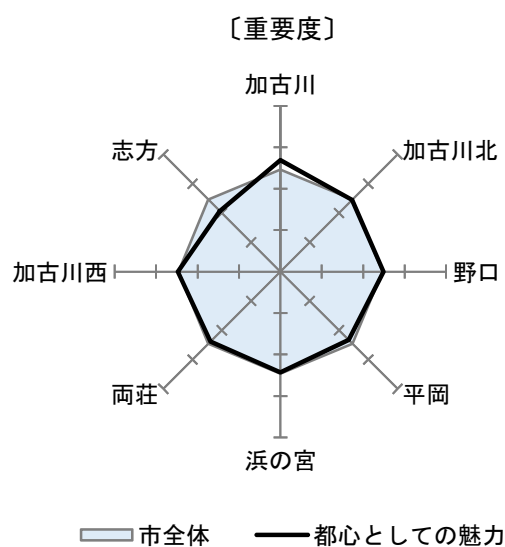
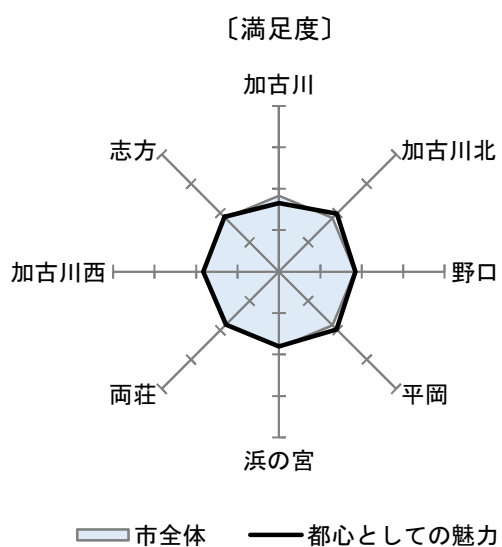
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と70歳以上の男女と、女性の30～40歳代、60歳代で市全体平均より高く、20歳代以上では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～30歳代と、女性の18・19歳～30歳代と60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



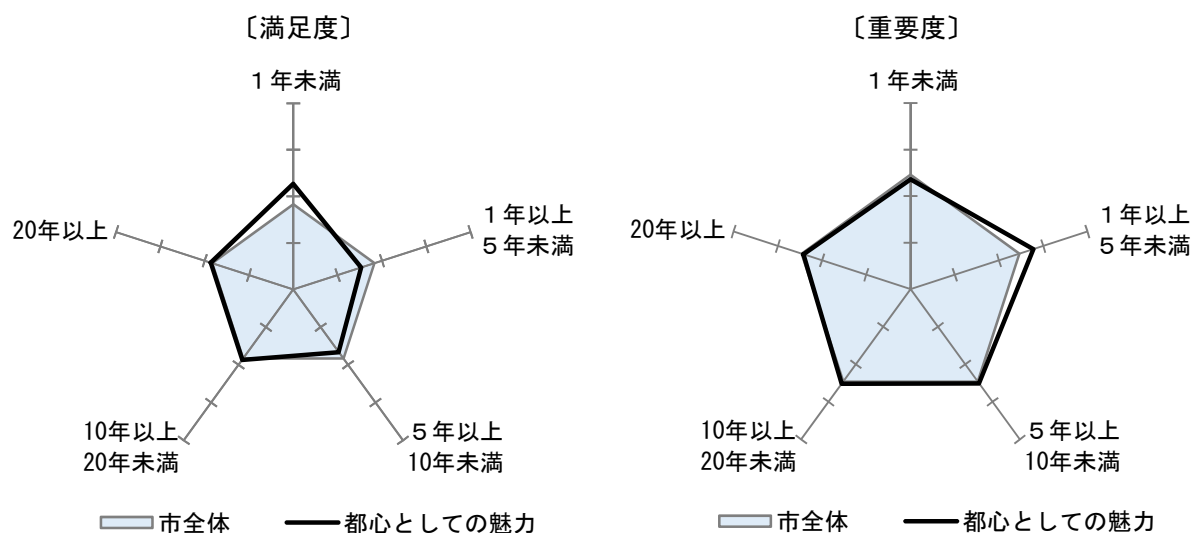
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・野口・平岡・志方地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川地区が最も高くなっている。



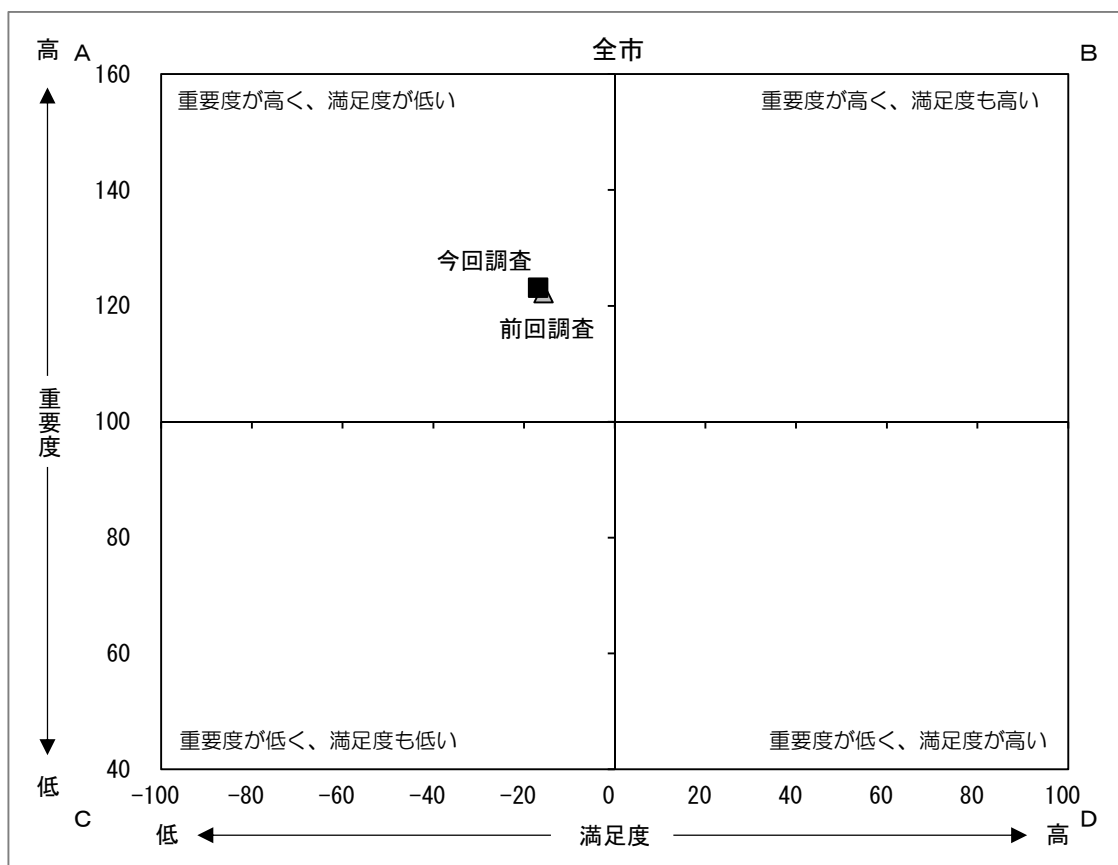
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度がやや高くなり、満足度が低くなっている。

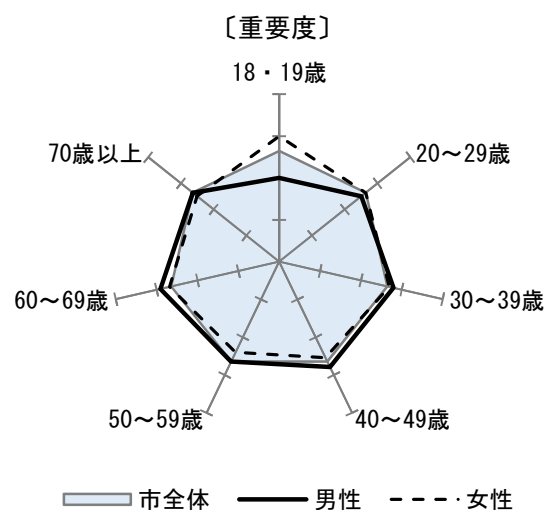
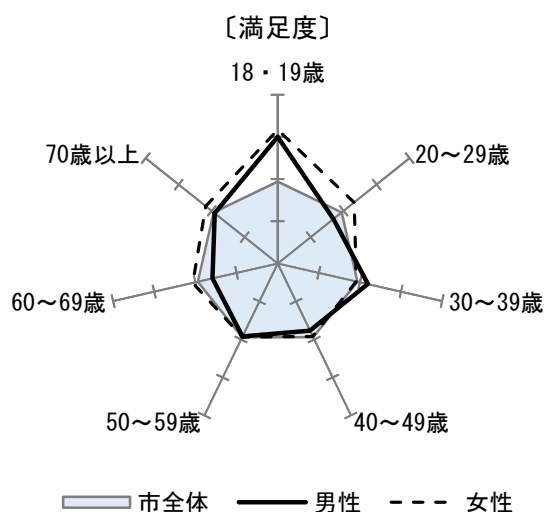


〔幹線道路・港湾機能を充実する〕

（４）幹線道路の整備

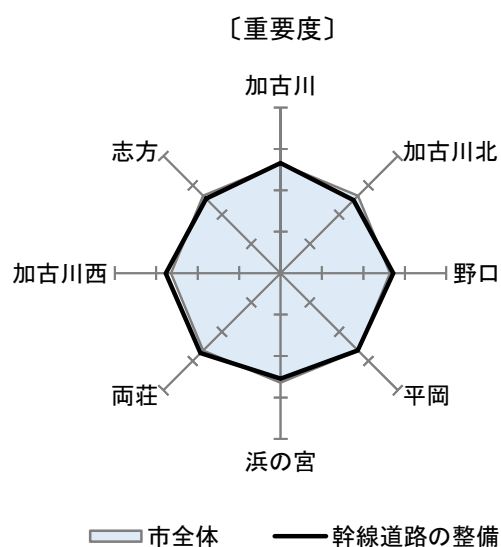
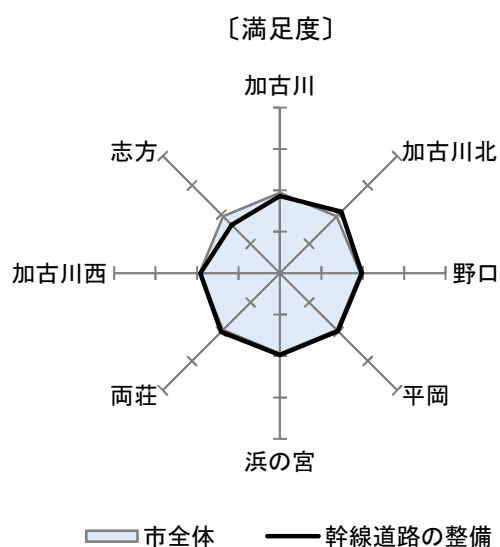
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳と30歳代、女性の18・19歳～20歳代と60歳代以上で市全体平均より高く、30歳代以外の年代では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、30歳代と60歳代の男女と、男性の40歳代、女性の18・19歳で市全体平均より高く、30歳代以上では男性の方が高くなっている。



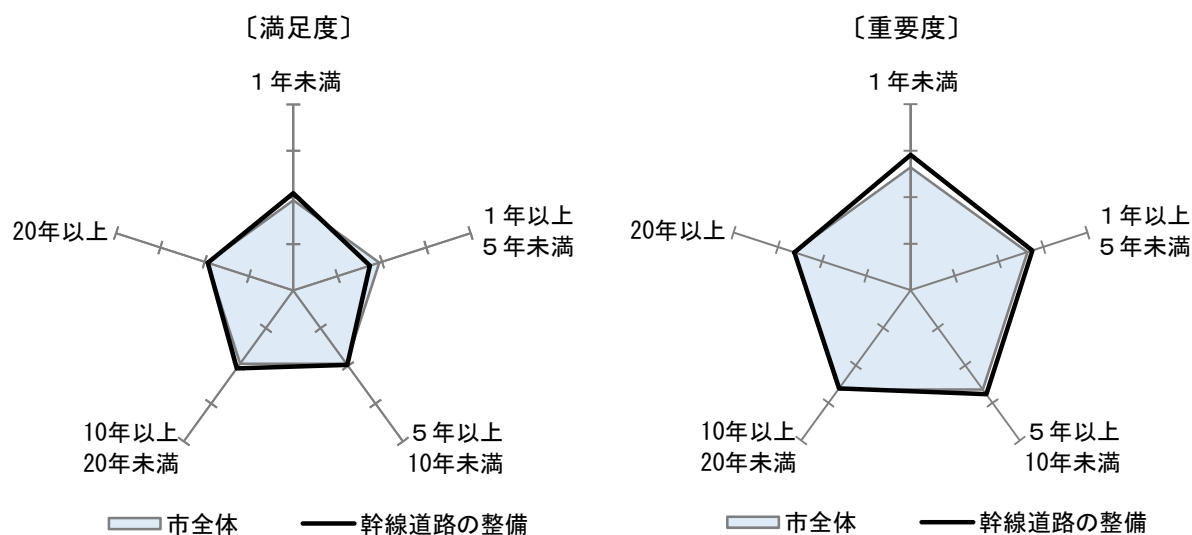
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川西・志方地区では市全体平均より低い、加古川北地区が最も高く、次いで両荘地区となっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口・両荘・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。



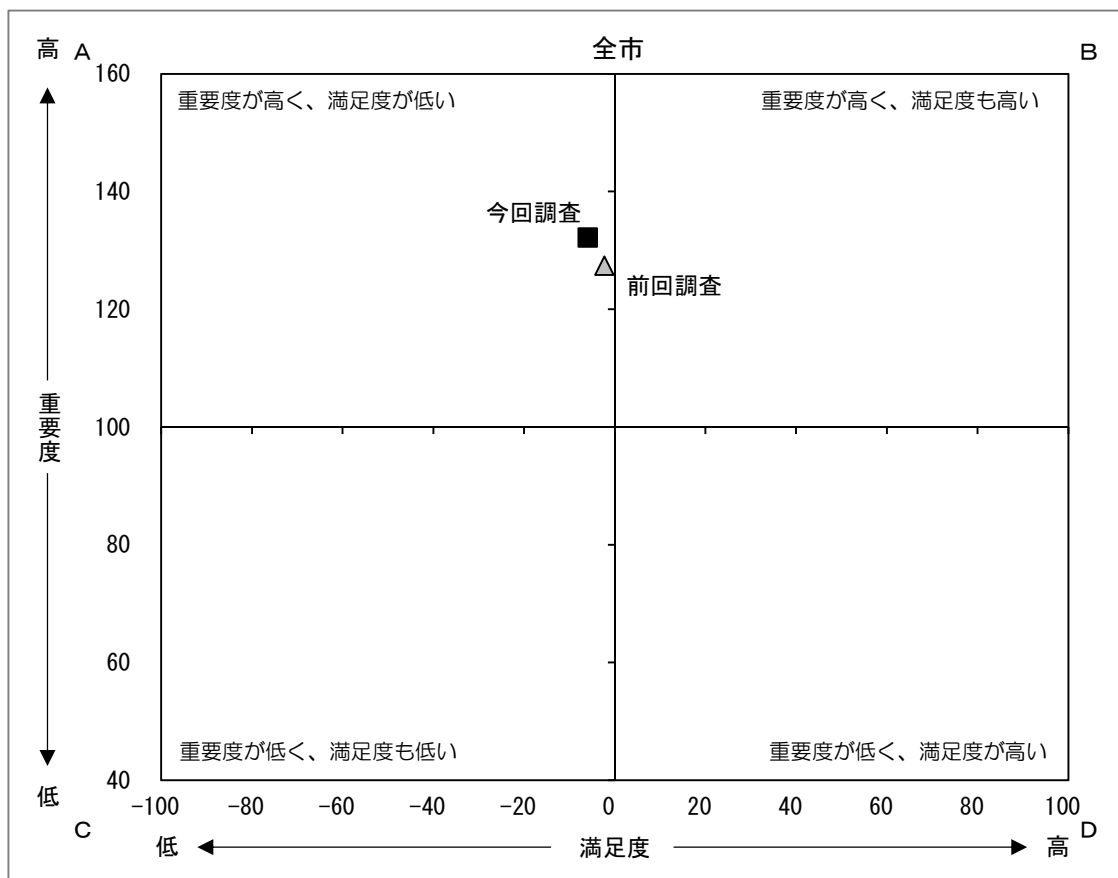
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、10年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。

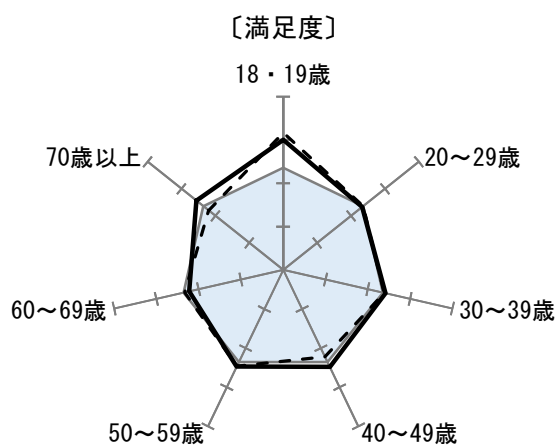


〔公共交通機能を充実する〕

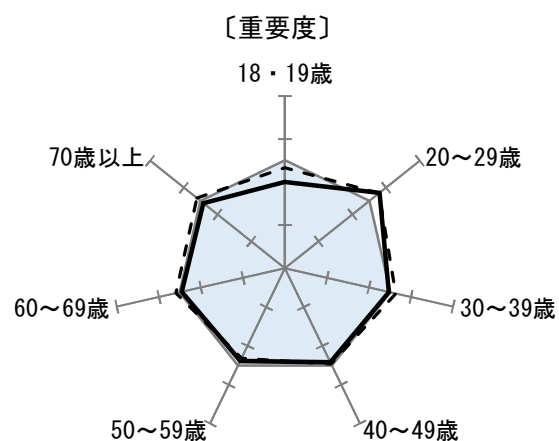
（５）鉄道の便利さ

《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の20歳代、60歳代以外の年代と、女性の18・19歳～30歳代、50歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代の男女と、女性の30歳代、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



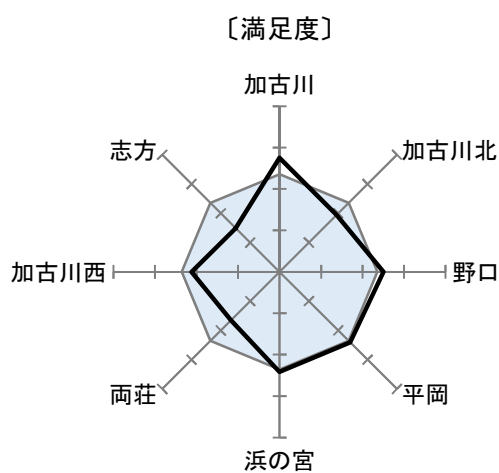
市全体 男性 女性



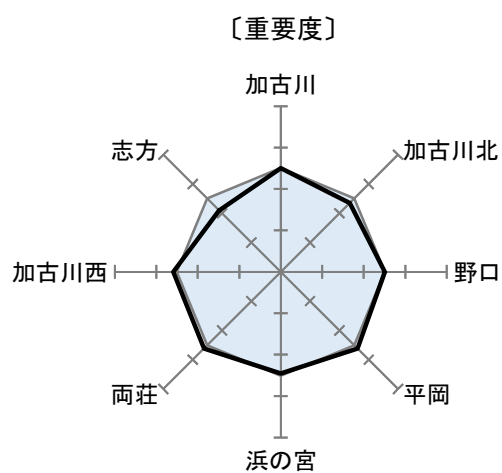
市全体 男性 女性

《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高く、なかでも加古川地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、平岡・両荘・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡・両荘地区が同率で最も高くなっている。



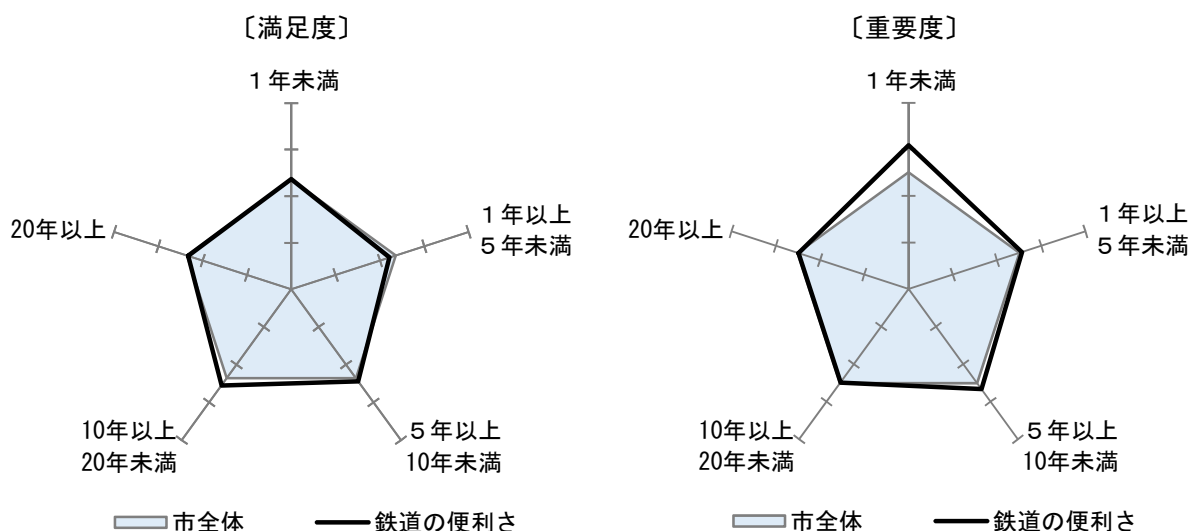
市全体 鉄道の便利さ



市全体 鉄道の便利さ

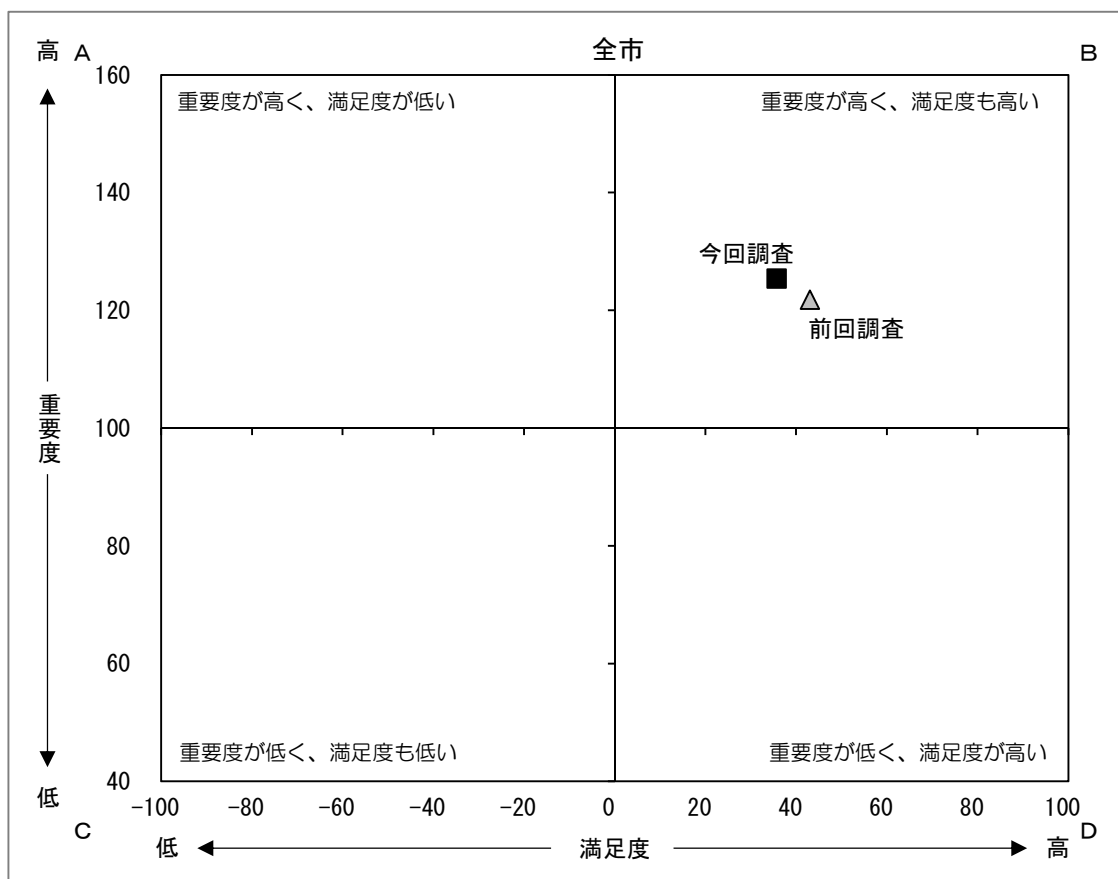
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均よりも高く、なかでも“10年以上20年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、10年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。

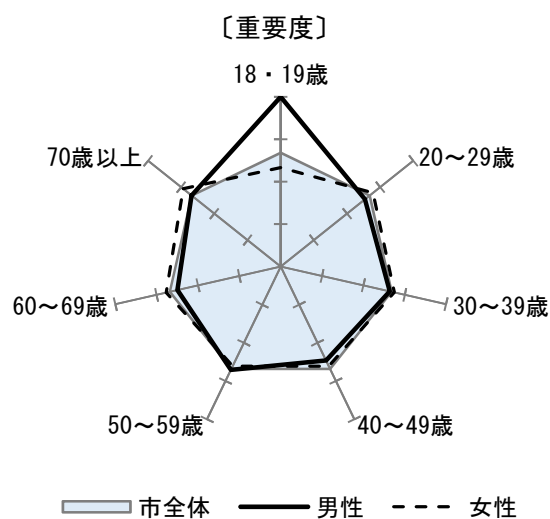
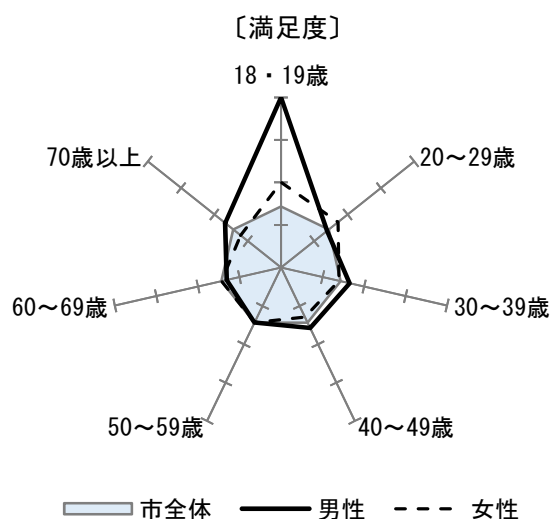


〔公共交通機能を充実する〕

（６）バスの便利さ

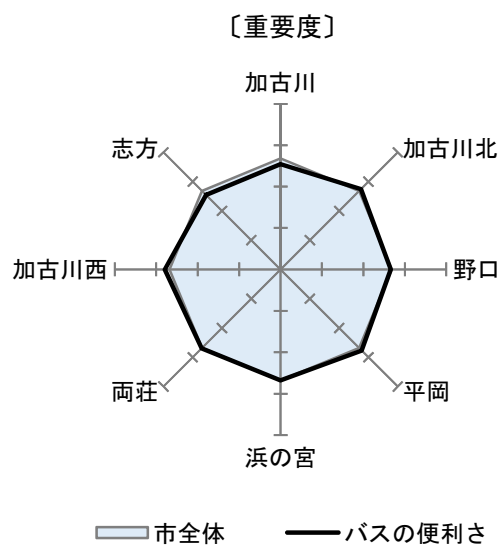
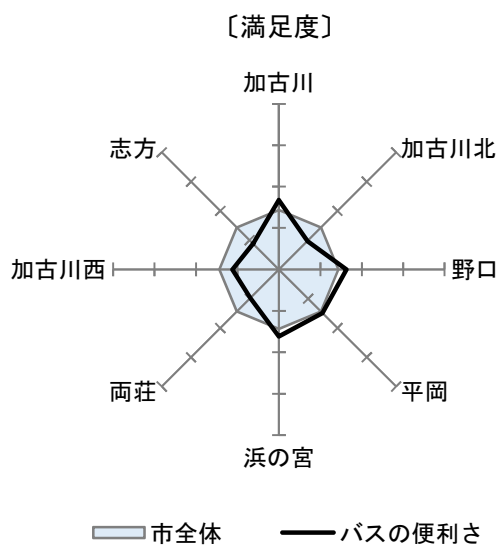
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳、30～40歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～20歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の18・19歳、50歳代、70歳以上と、女性の20～30歳代、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



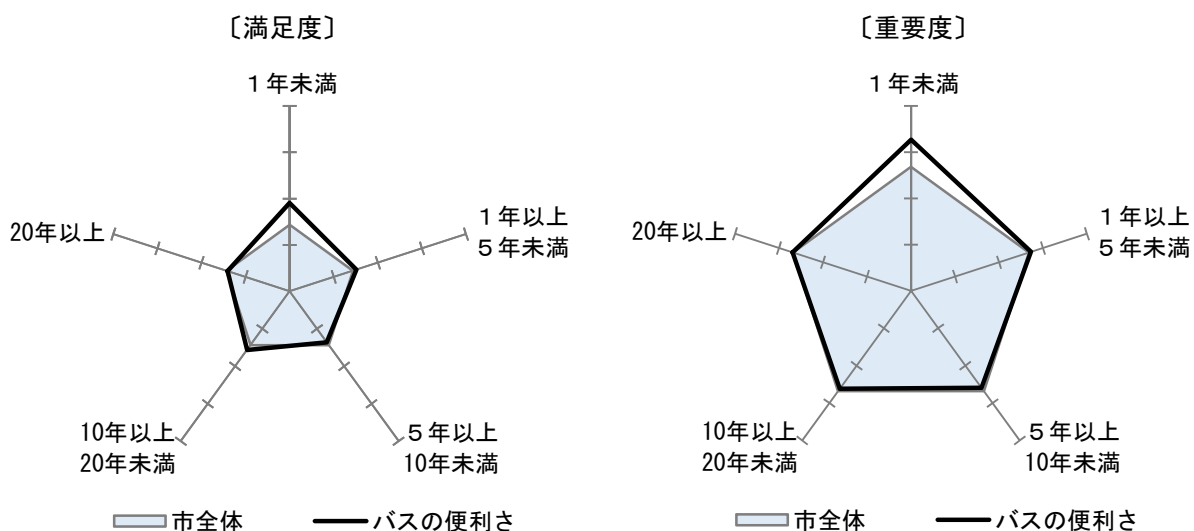
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高く、なかでも加古川地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・両荘・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。



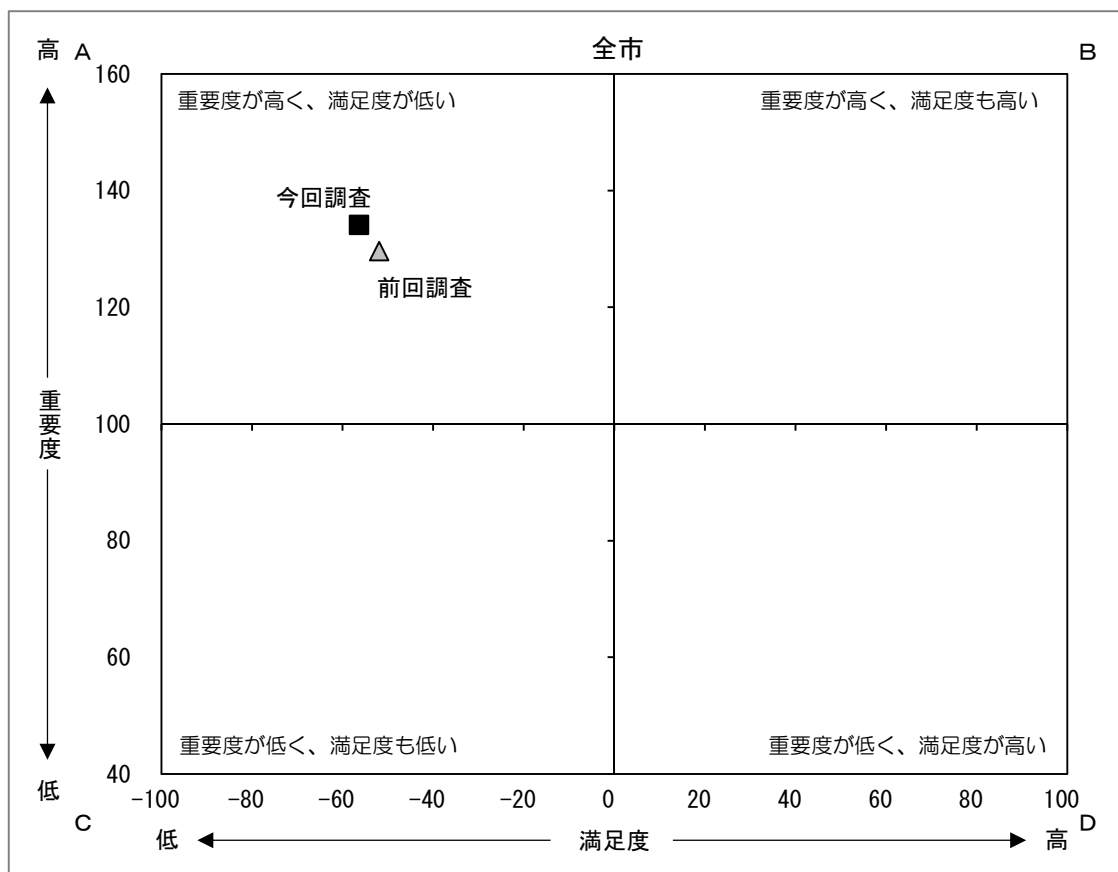
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度が低くなり、重要度が高くなっている。

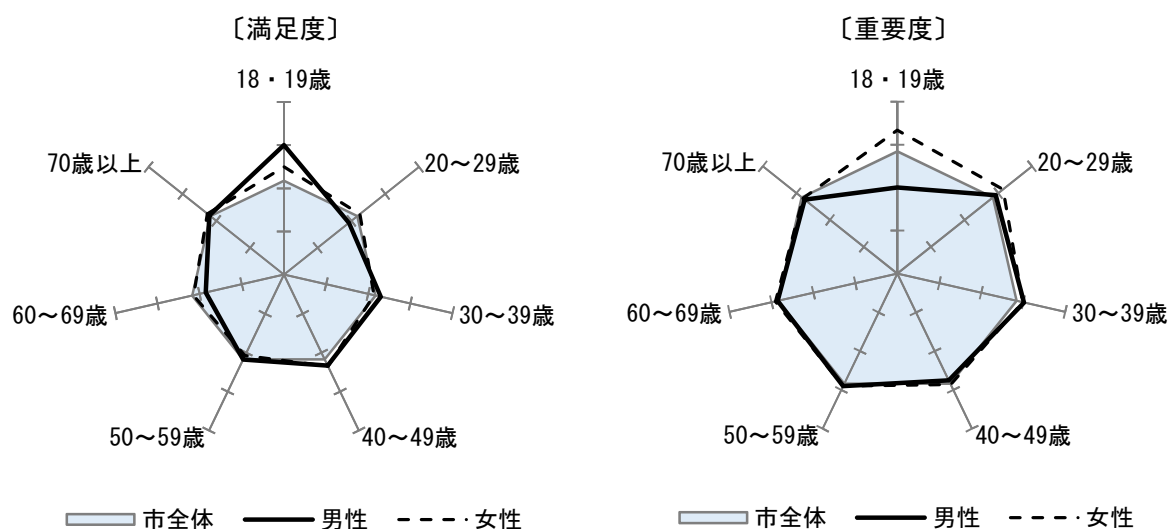


安全で快適な暮らしの基盤を整備する
〔防災・防犯のための基盤を整備する〕

(7) 地域の防災体制（再掲）

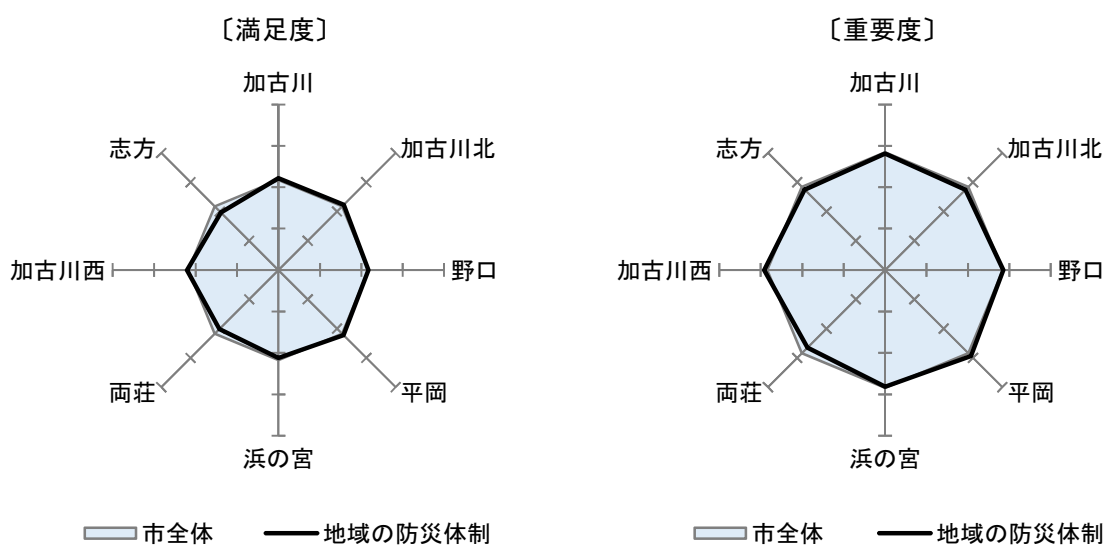
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の60歳代が最も低く、18・19歳と40歳代、70歳以上の男女と、男性の30歳代、50歳代、女性の20歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～30歳代、50～60歳代と、女性の18・19歳～60歳代で市全体平均より高く、30歳代以外の年代では女性の方が高くなっている。



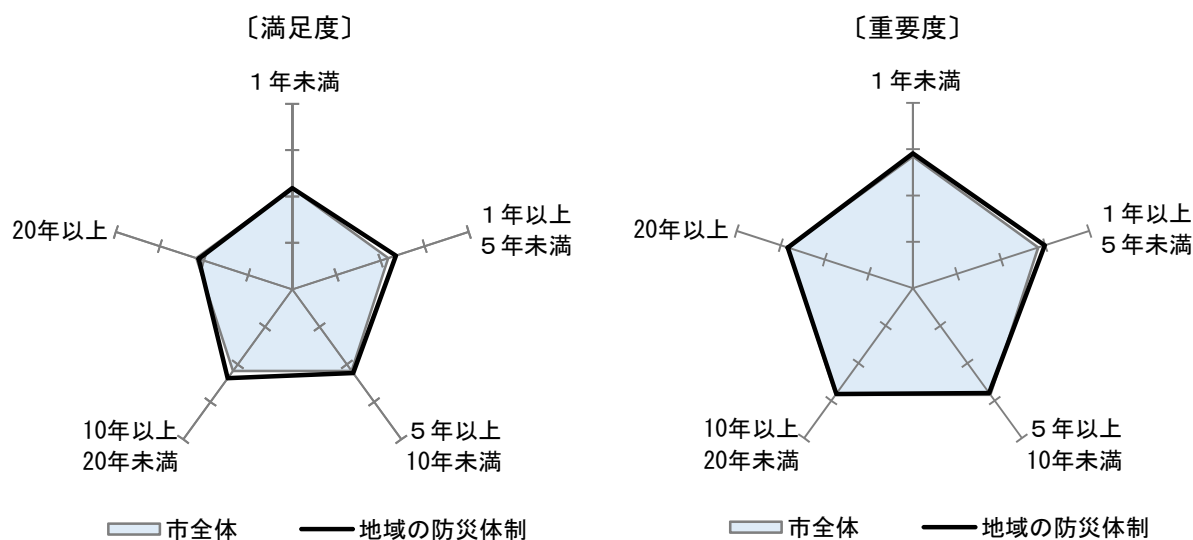
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



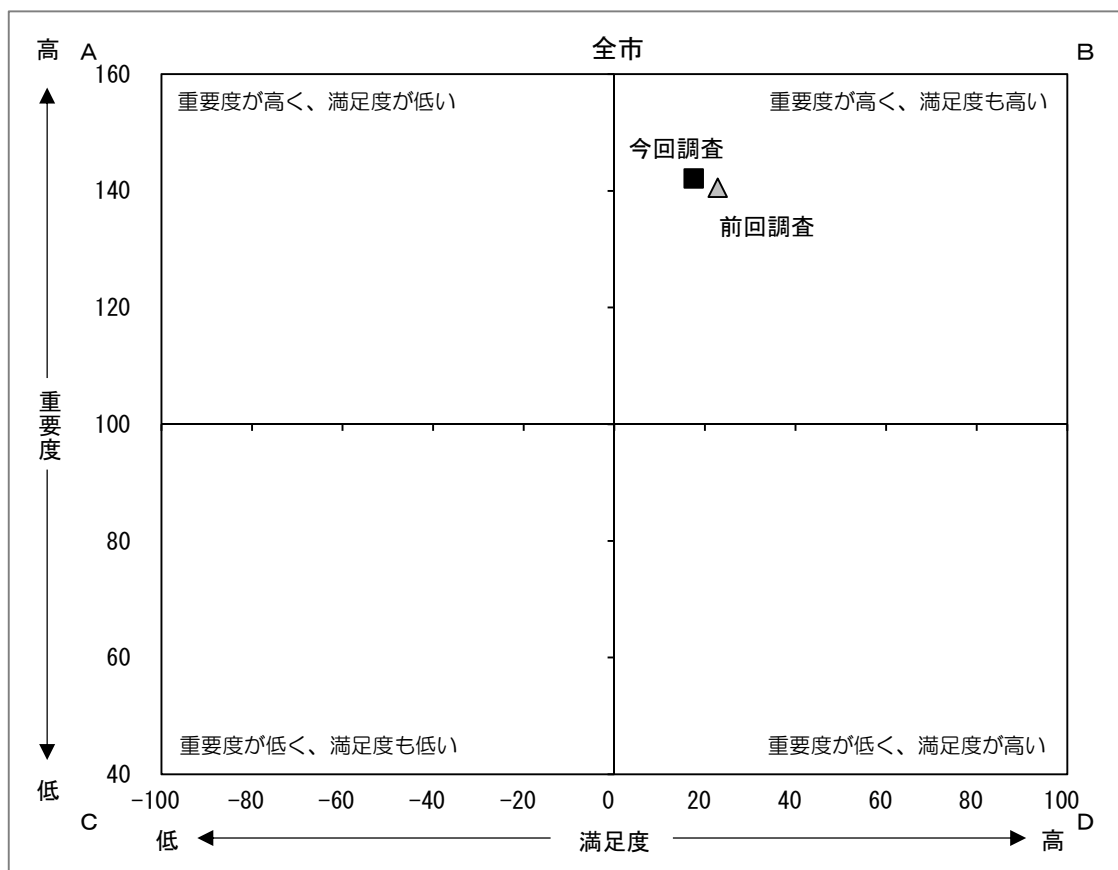
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“10年以上20年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“1年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。

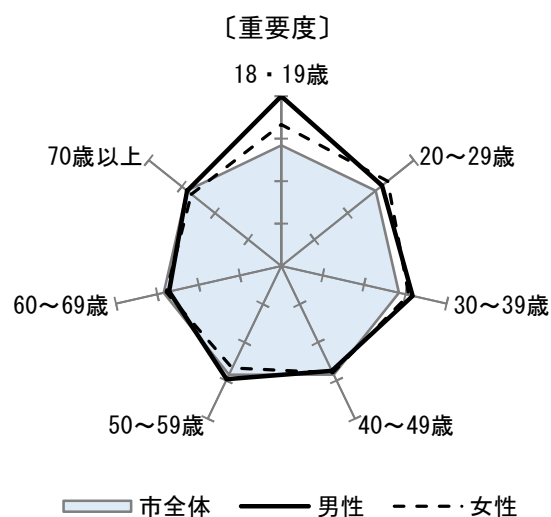
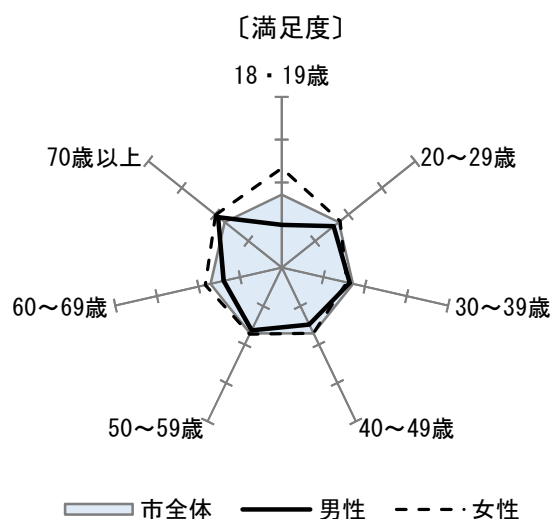


〔生活に身近な道路を整備する〕

（８）地域内の道路の安全性や便利さ

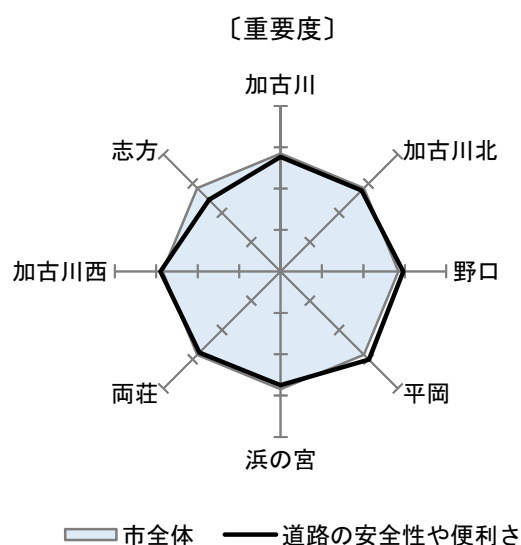
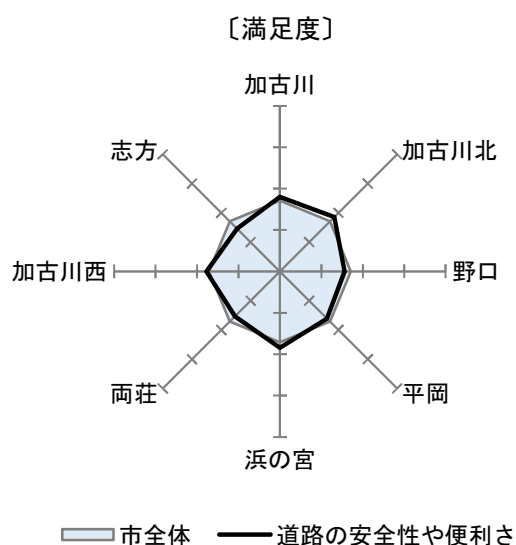
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の70歳以上と、女性の18・19歳～20歳代、50歳代以上で市全体平均より高く、30歳代以外の年代では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳～30歳代の男女と、男性の50歳代で市全体平均より高くなっている。



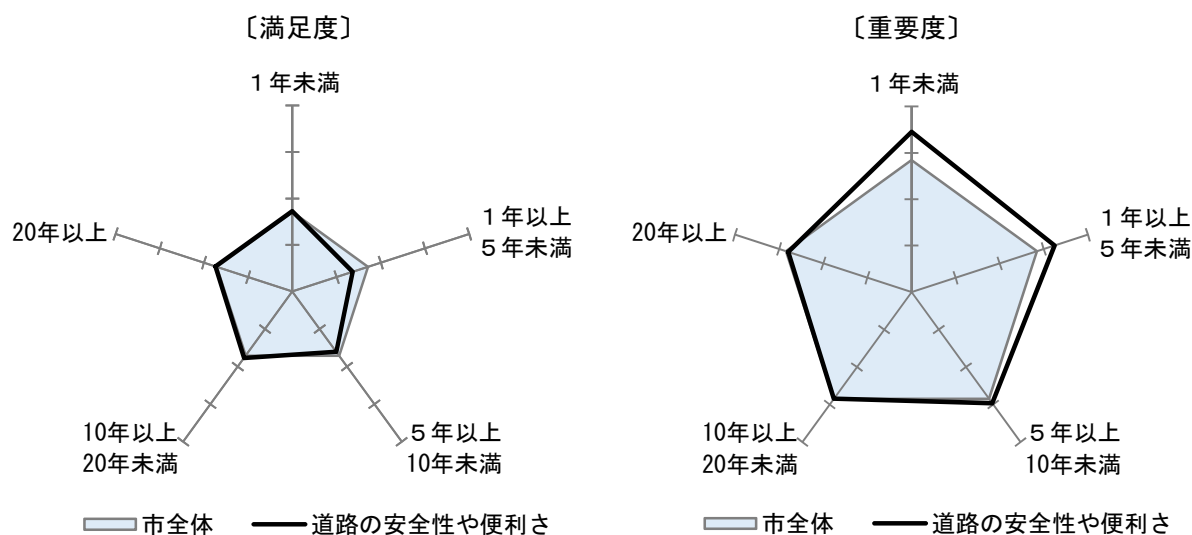
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



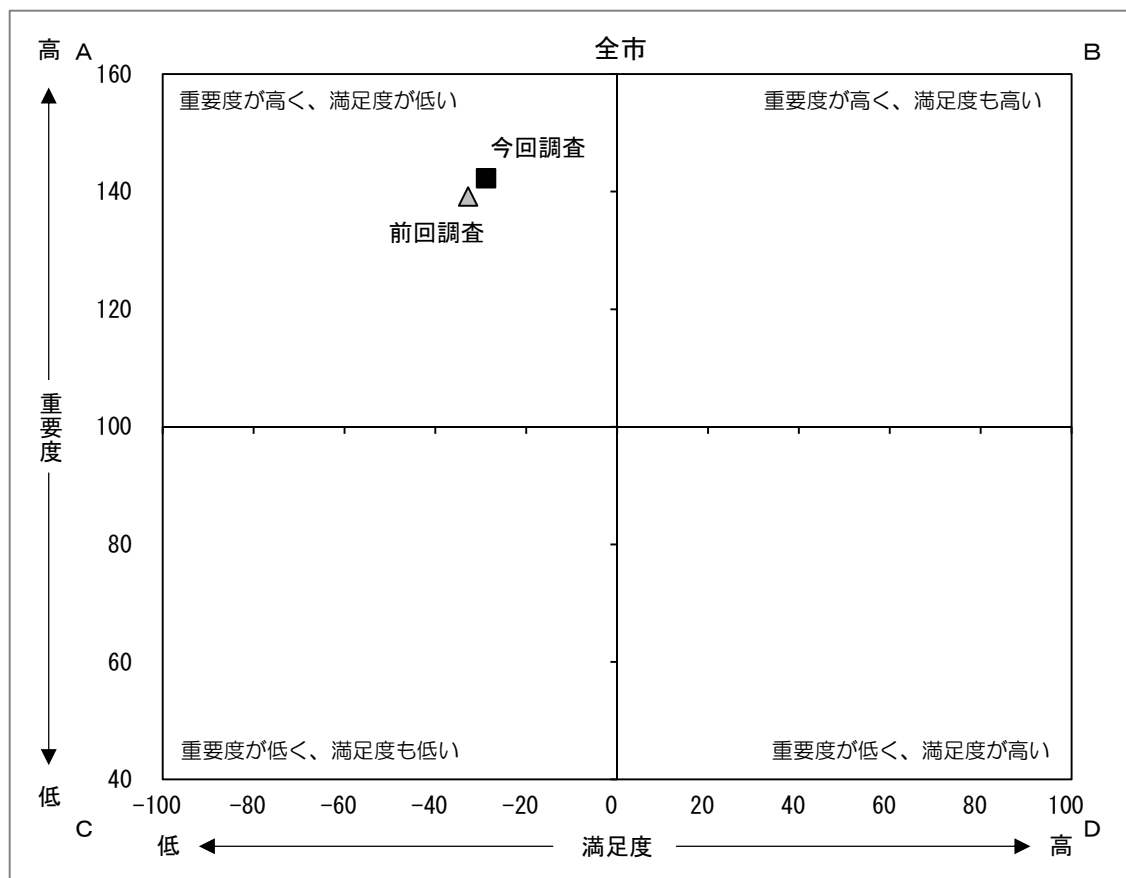
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“10年以上20年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度・満足度とも高くなっている。

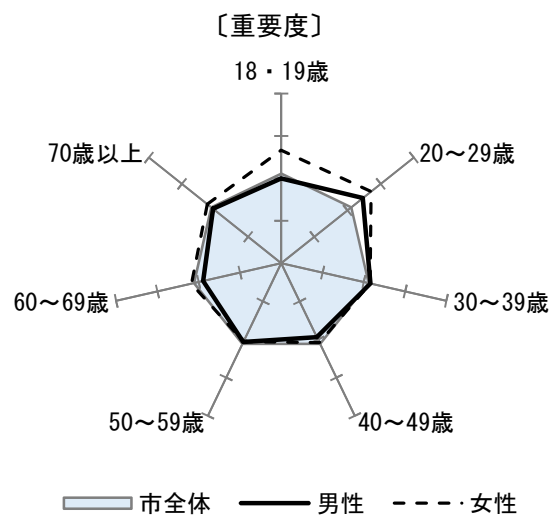
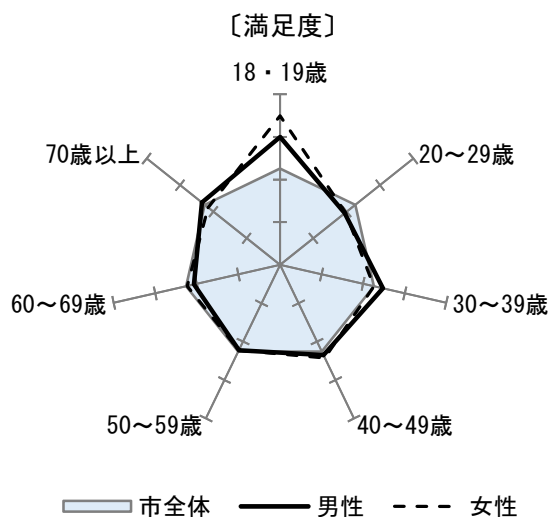


〔良質な住宅供給を促進する〕

（９）住宅の供給

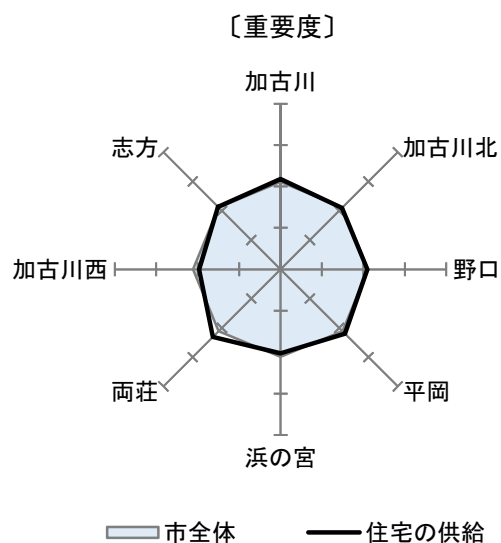
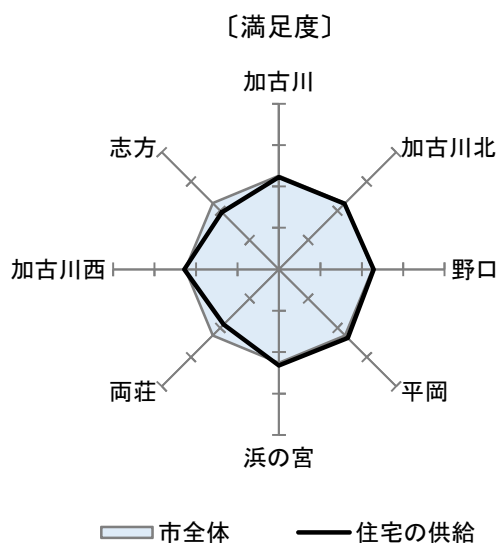
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と30～40歳代の男女と、男性の70歳以上では市全体平均より高いが、20歳代では男女とも最も低くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～30歳代と、女性の18・19歳～30歳代、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



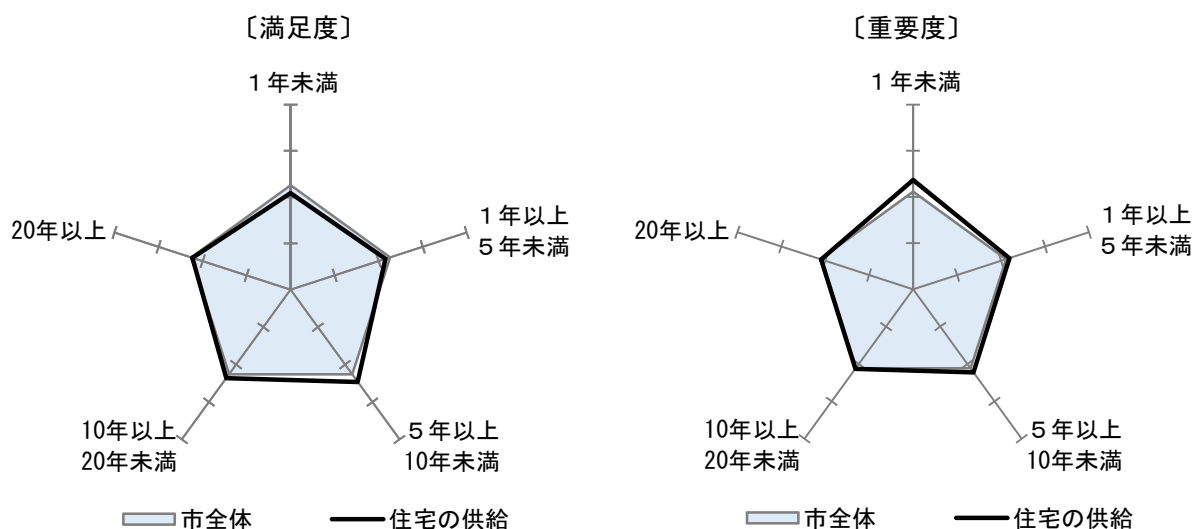
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・両荘・志方地区で市全体平均より高く、なかでも両荘地区が最も高くなっている。



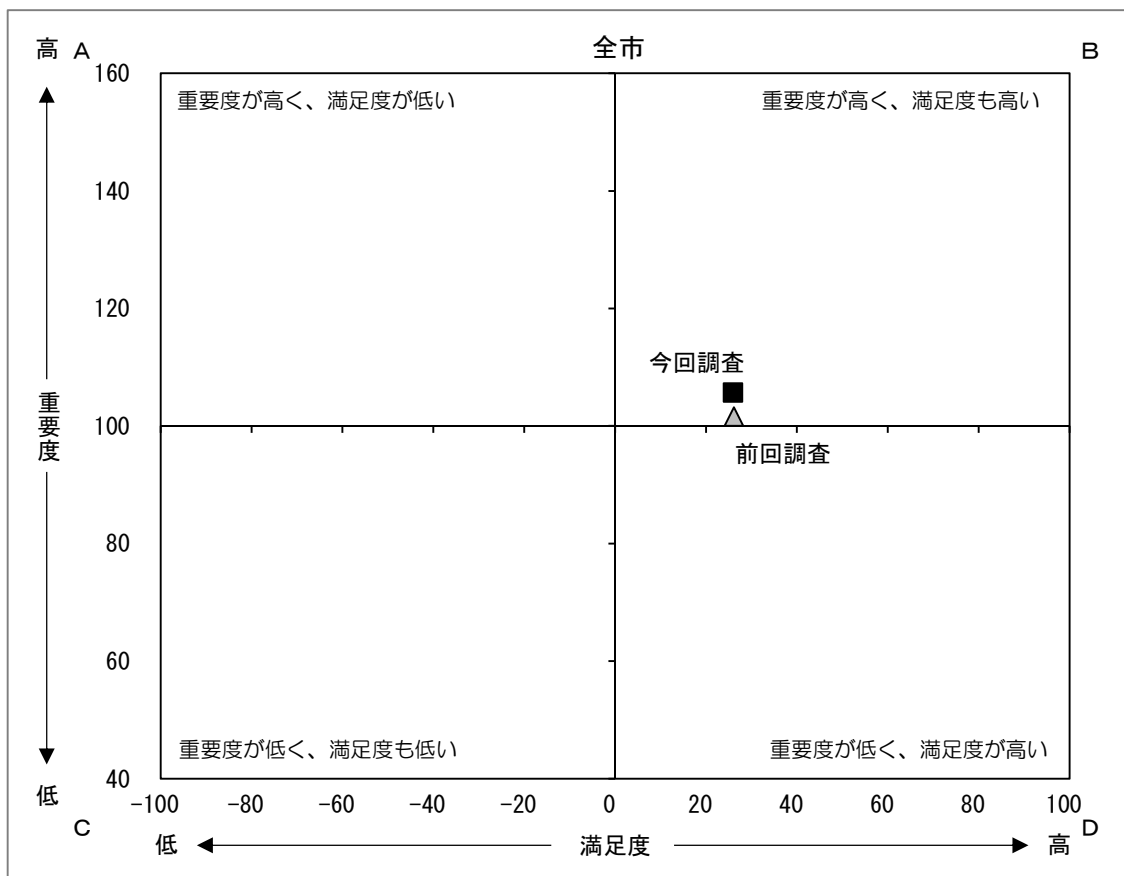
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、満足度は変わらないが、前回調査より重要度が高くなっている。

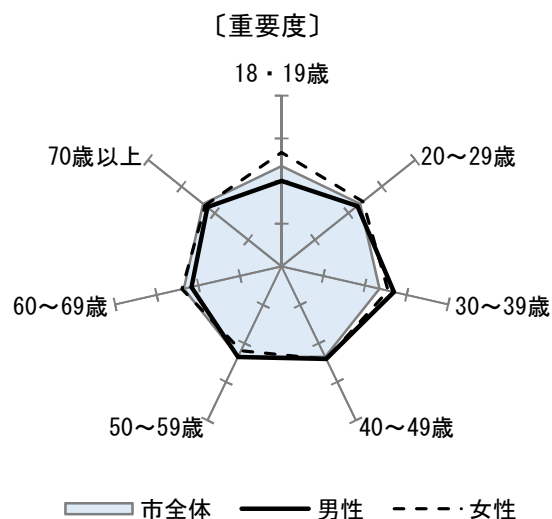
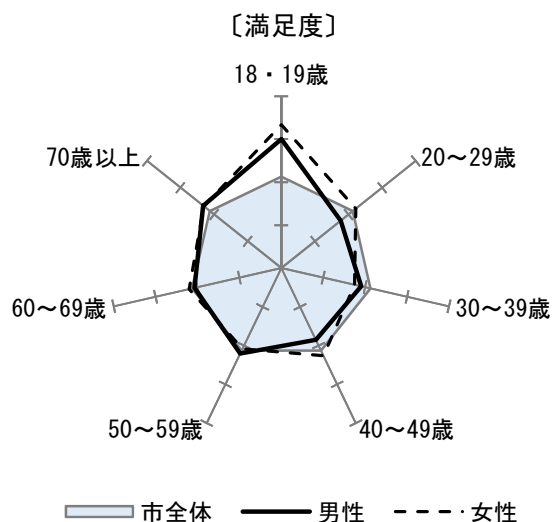


〔水と緑の空間を形成する〕

(10) 公園・緑地や水辺の整備

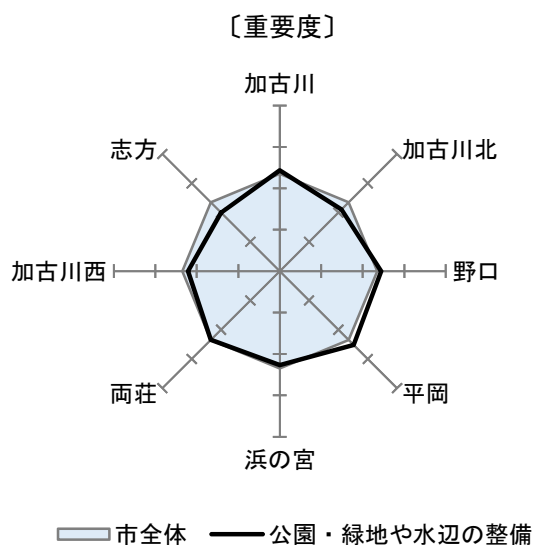
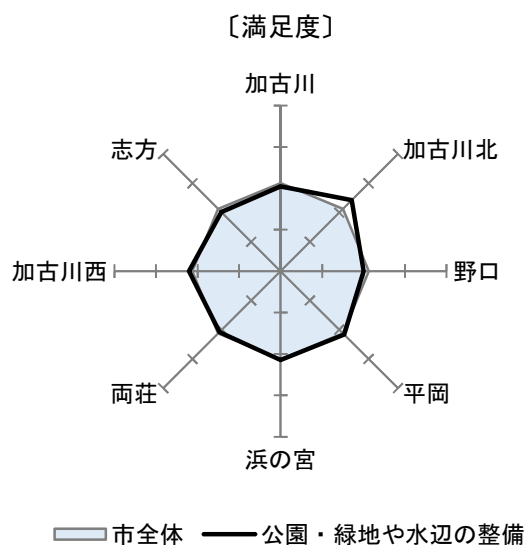
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳、50歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～20歳代、40歳代、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の30～50歳代と、女性の18・19歳～40歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



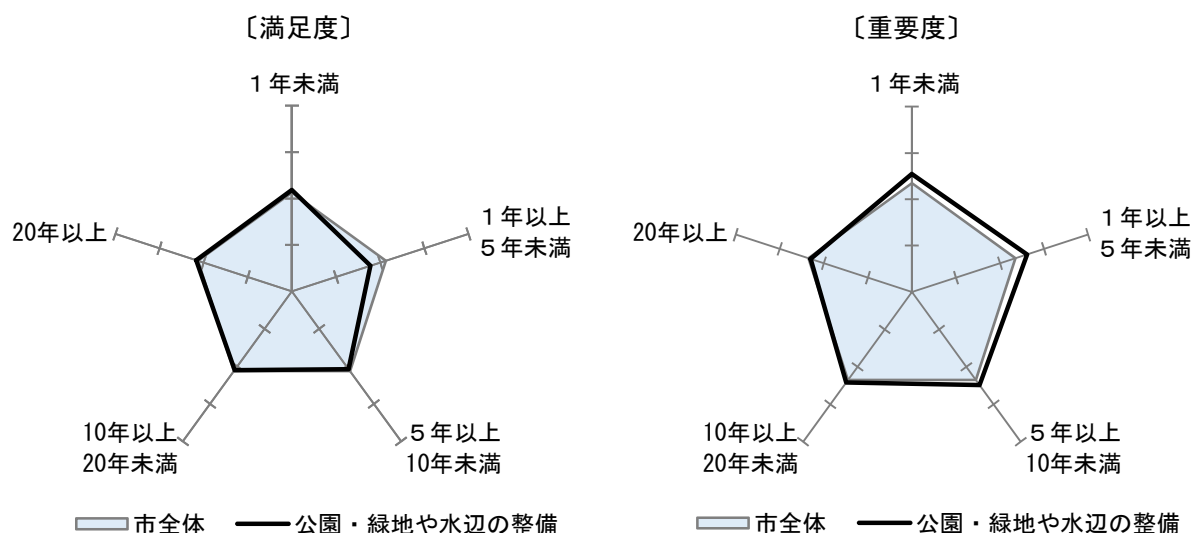
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



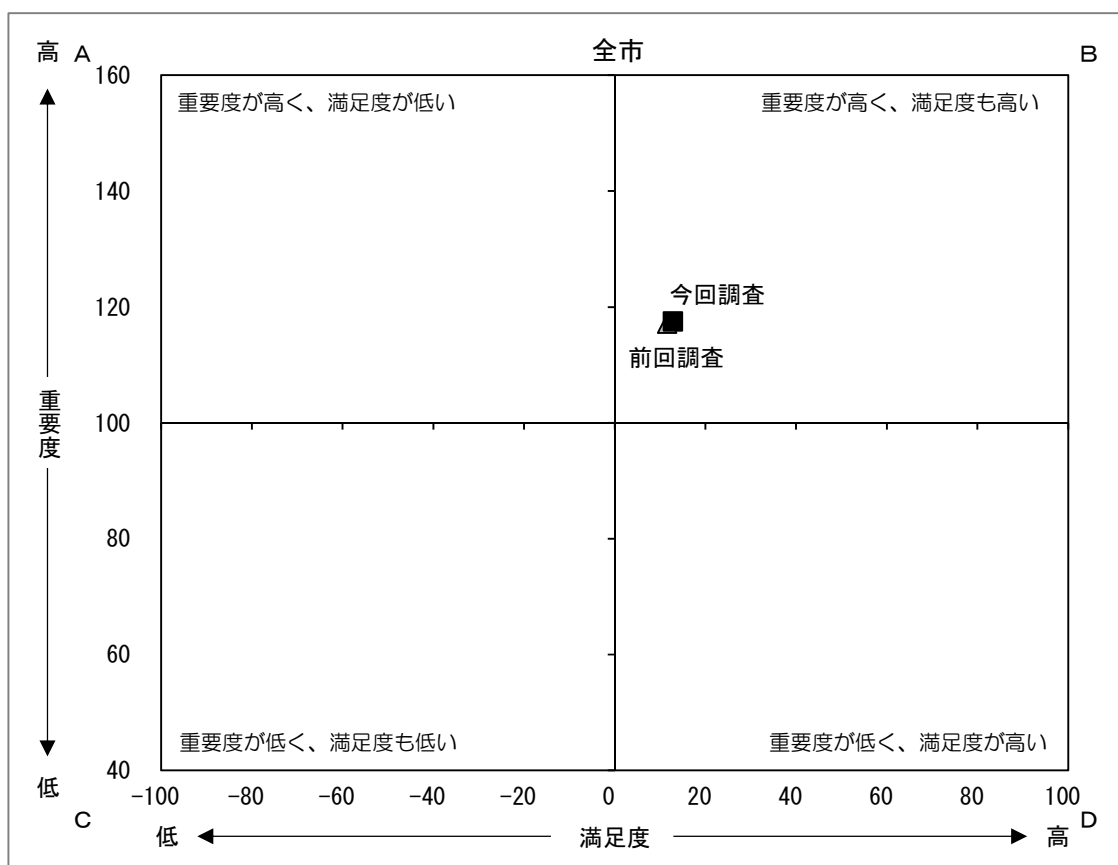
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、20年未満で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、重要度は変わらないが、前回調査より満足度が高くなっている。

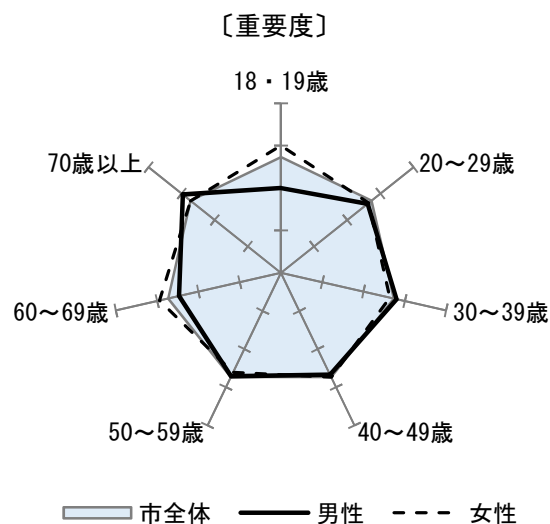
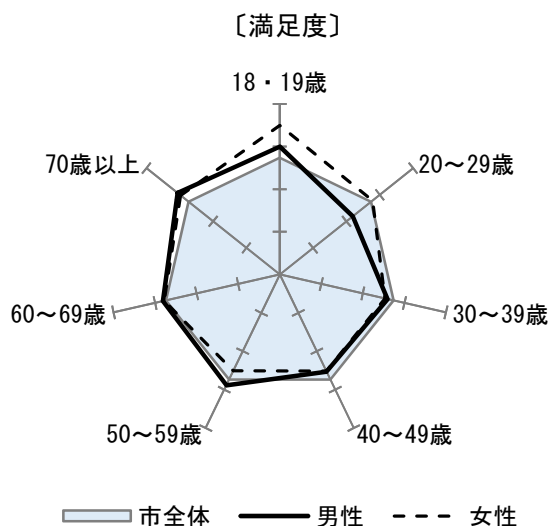


〔安全で良質な水道水を供給する〕

(11) 水道水の供給

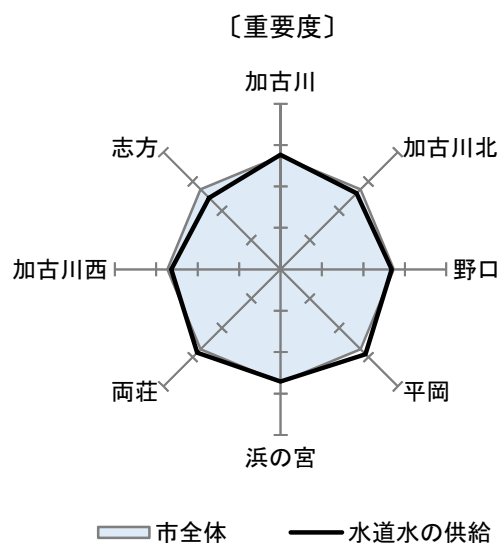
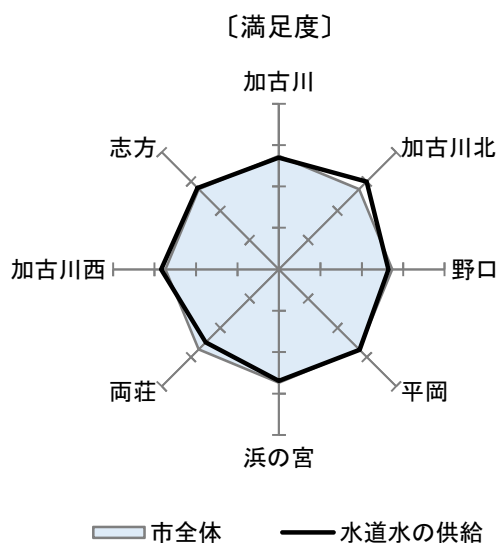
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳と50歳代以上、女性の18・19歳～20歳代、60歳代以上で市全体平均より高く、30歳代以上では男性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の30歳代と70歳以上、女性の18・19歳と40歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



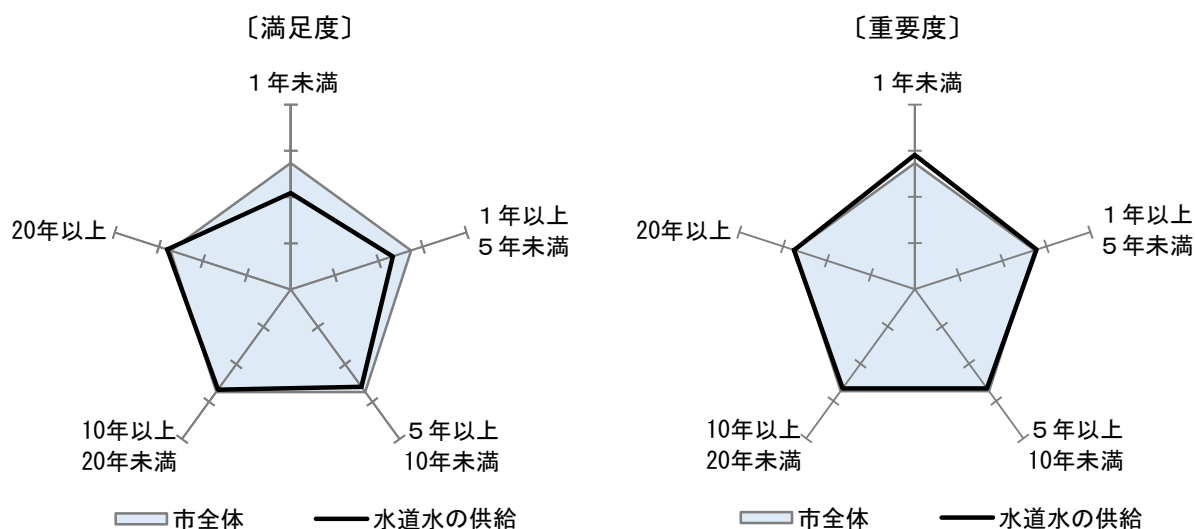
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・加古川西・志方地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・両荘地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



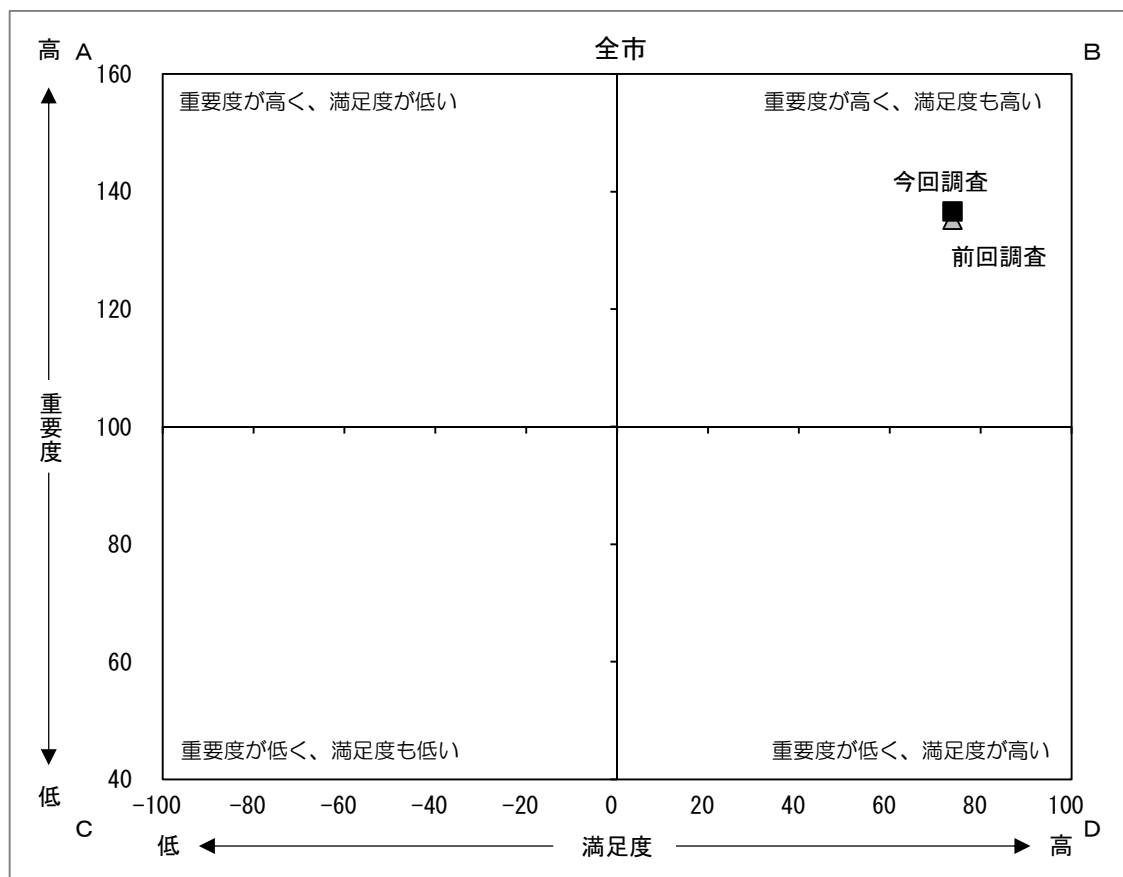
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“20年以上”が最も高く、20年未満で市全体平均より低くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、満足度は変わらないが、前回調査より重要度が高くなっている。

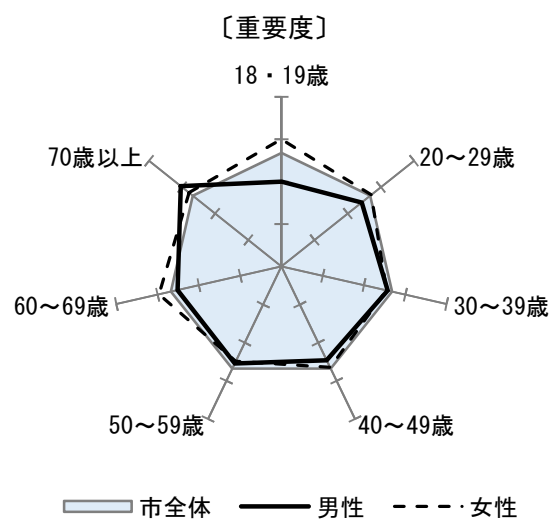
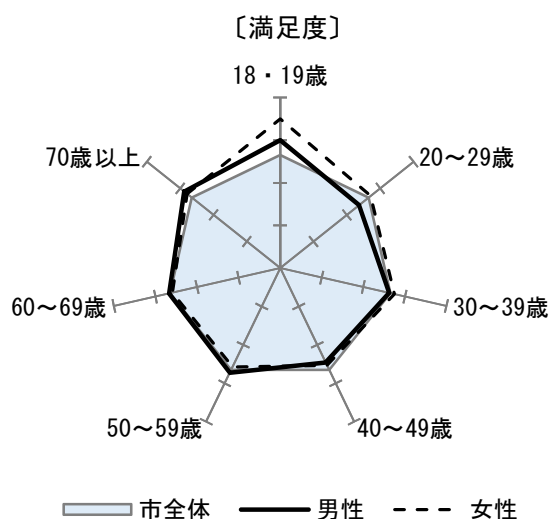


〔雨水・汚水を適切に処理する〕

(12) 下水道の整備

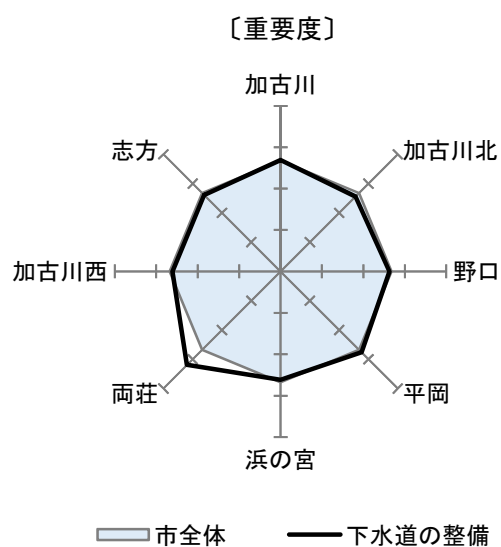
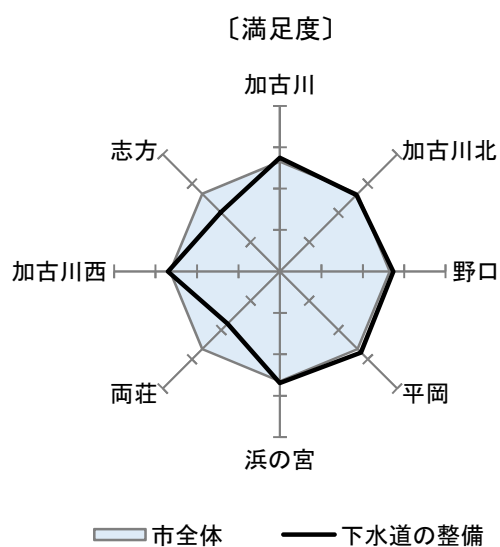
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳と50歳代以上、女性の18・19歳～30歳代と70歳以上で市全体平均より高く、40歳代以下では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の70歳以上と、女性の18・19歳～20歳代と60歳代以上で市全体平均より高くなっている。



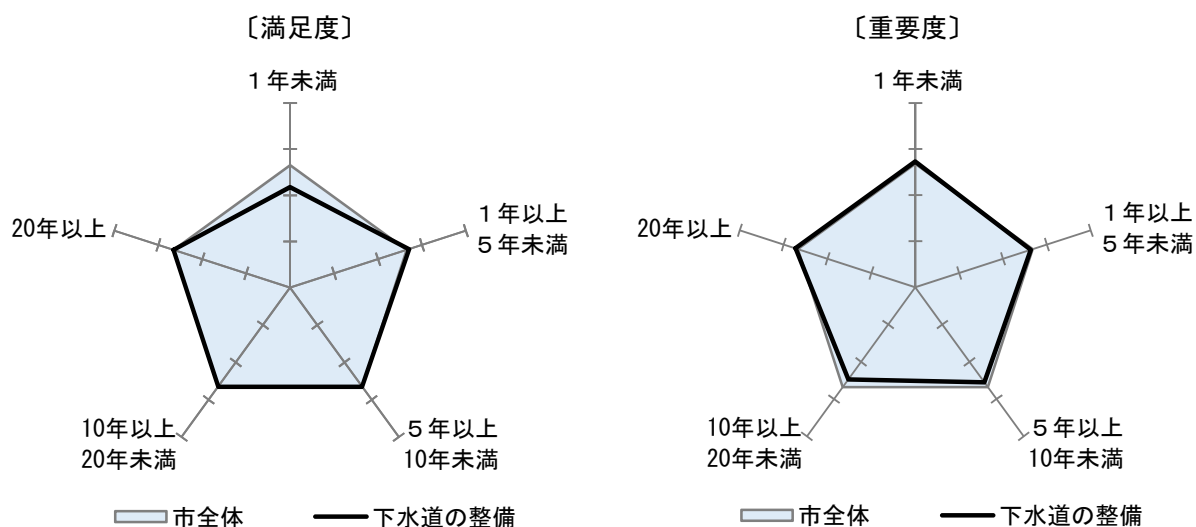
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・両荘・志方地区では市全体平均より低い、平岡地区が最も高く、次いで加古川地区となっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・平岡・両荘地区で市全体平均より高く、なかでも両荘地区が最も高くなっている。



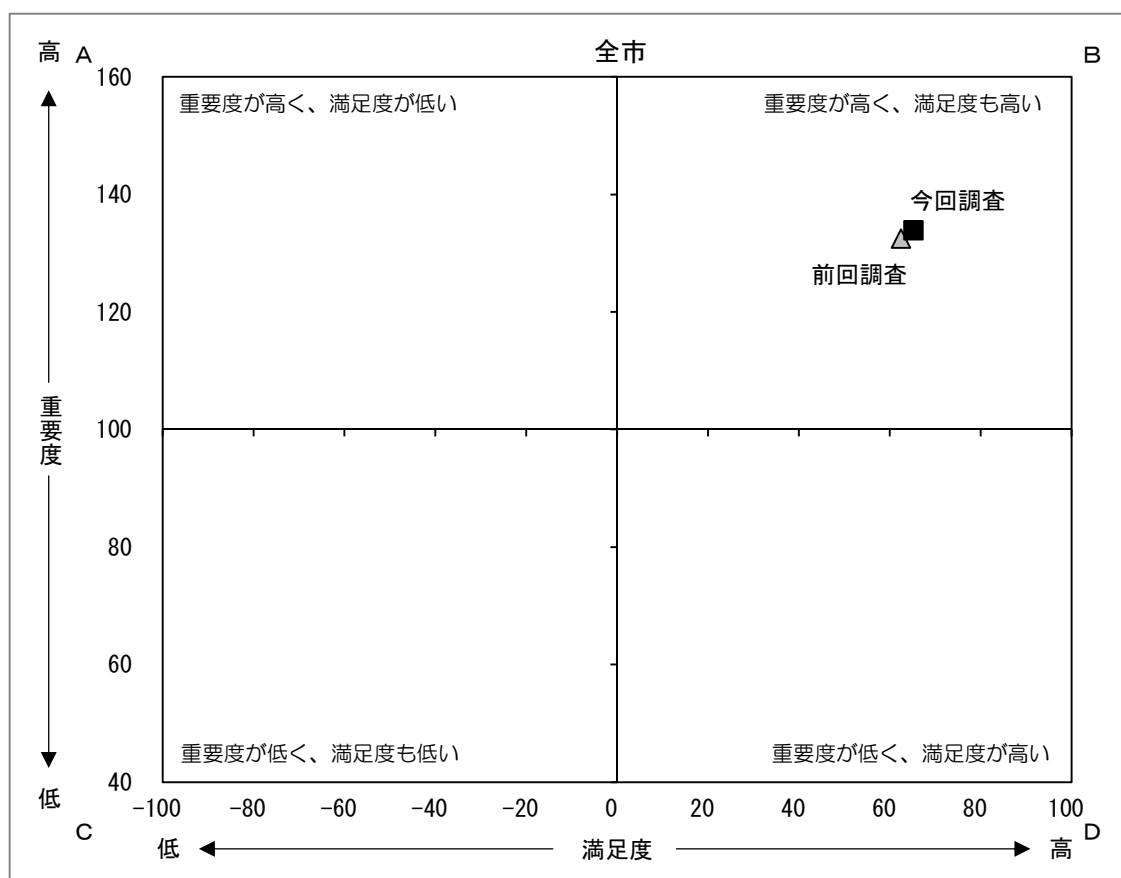
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”が最も高く、次いで“1年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度・満足度とも高くなっている。

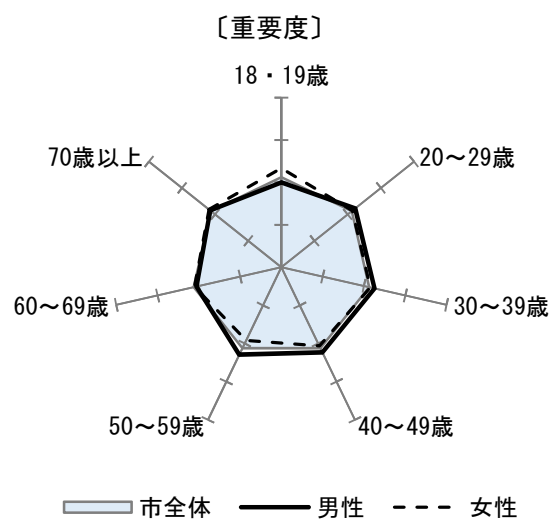
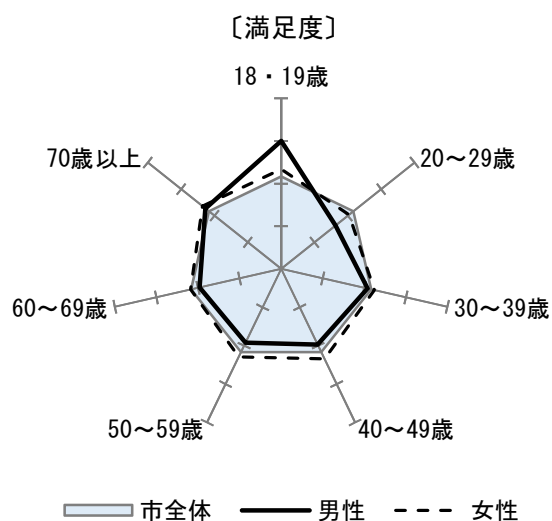


〔地域の情報化を推進する〕

(13) ICT（情報通信技術）を活用した地域の情報化

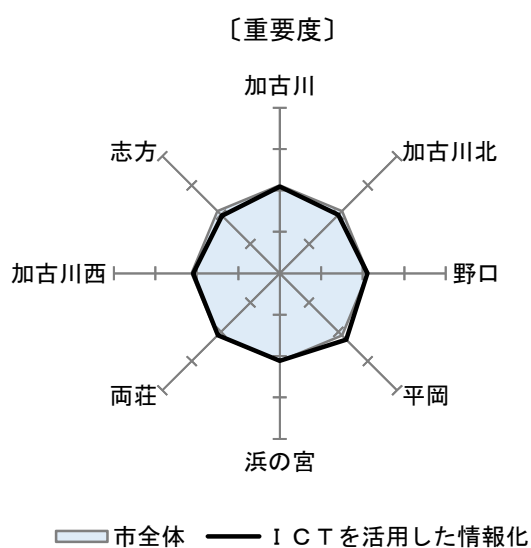
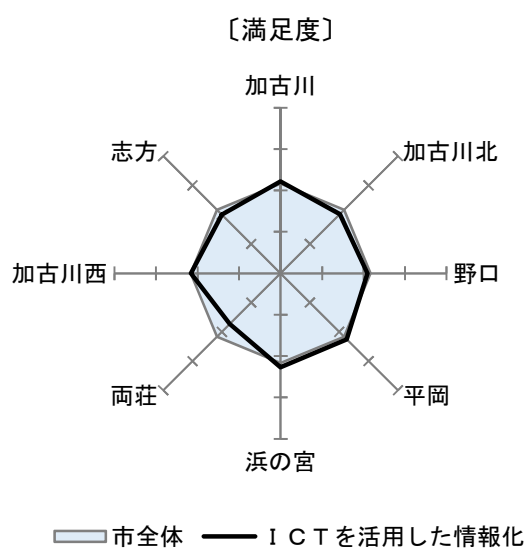
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳と70歳以上、女性の18・19歳と30歳代以上で市全体平均より高く、20歳代以上では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～50歳代と70歳以上、女性の18・19歳～30歳代と70歳以上で市全体平均より高くなっている。



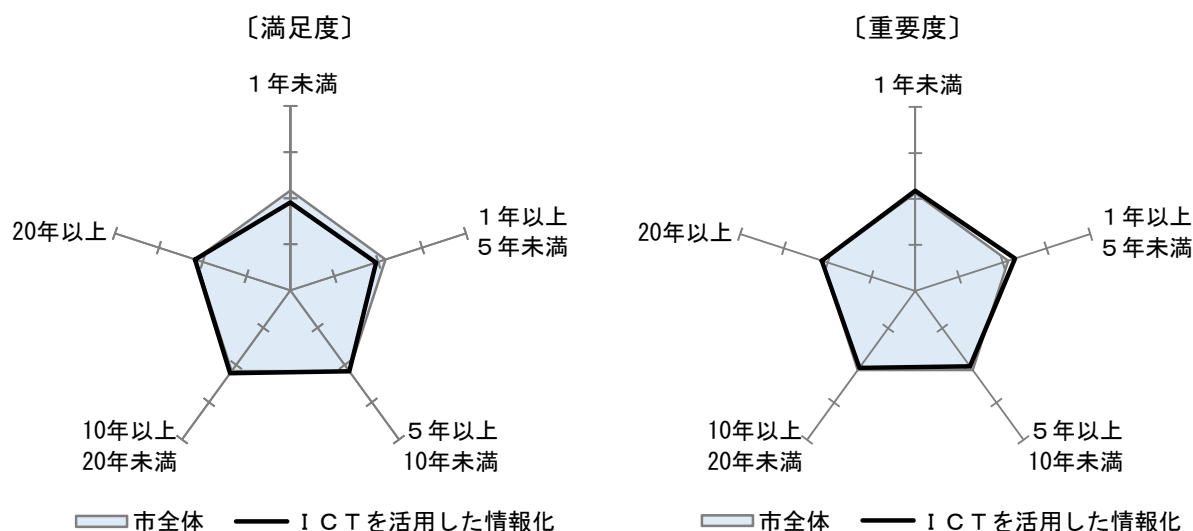
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高く、なかでも浜の宮地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、平岡地区で市全体平均より高くなっている。



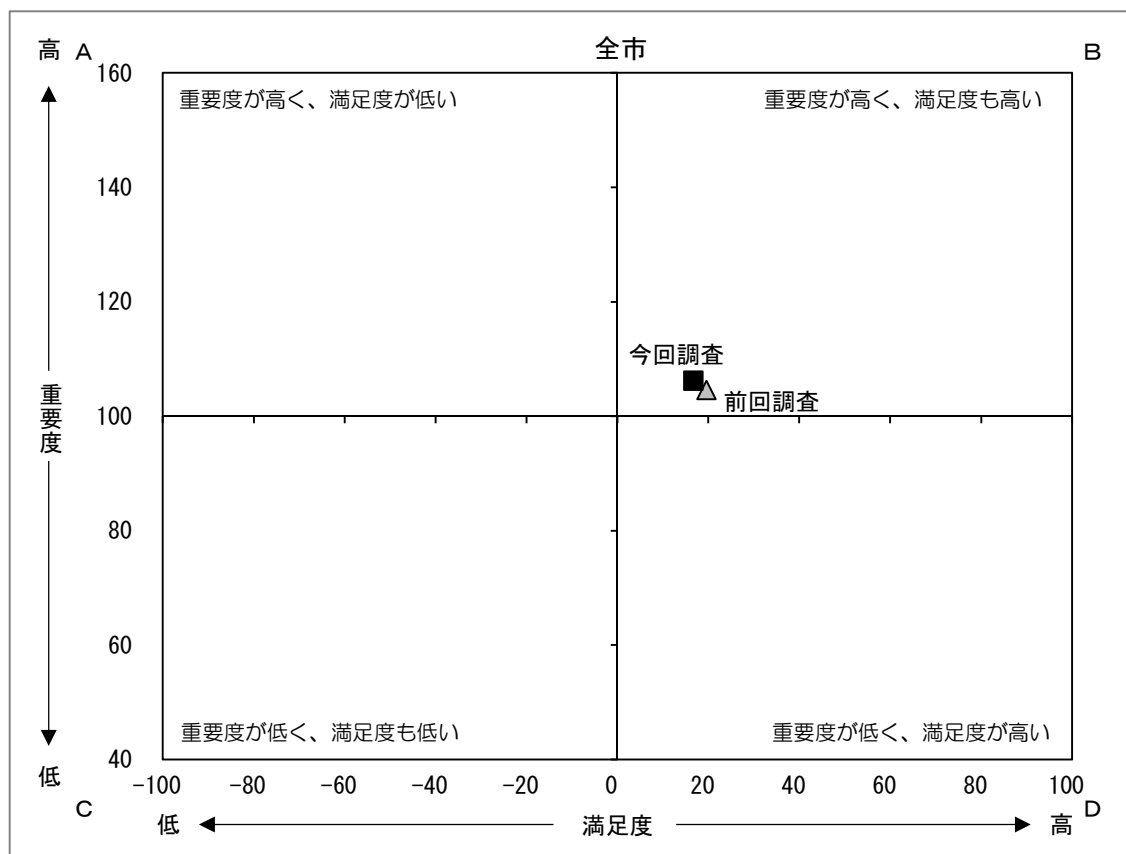
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、5年以上で市全体平均より高く、なかでも“10年以上20年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

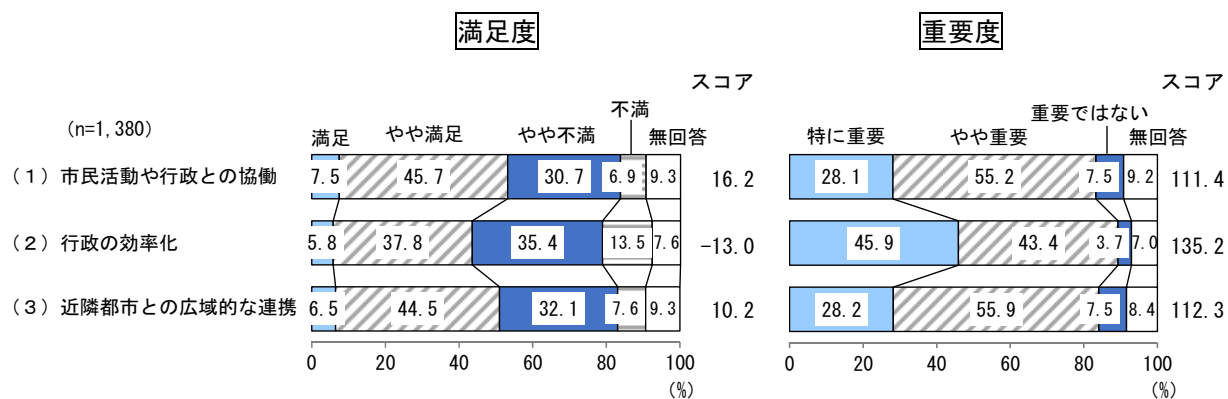
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。



3-6 まちづくりの進め方

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(1) 市民活動や行政との協働”、次いで“(3) 近隣都市との広域的な連携”、“(2) 行政の効率化”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(2) 行政の効率化”、次いで“(3) 近隣都市との広域的な連携”、“(1) 市民活動や行政との協働”となっている。

《全体》



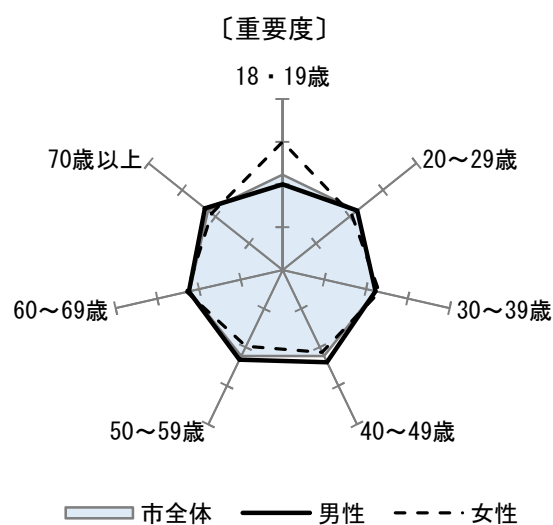
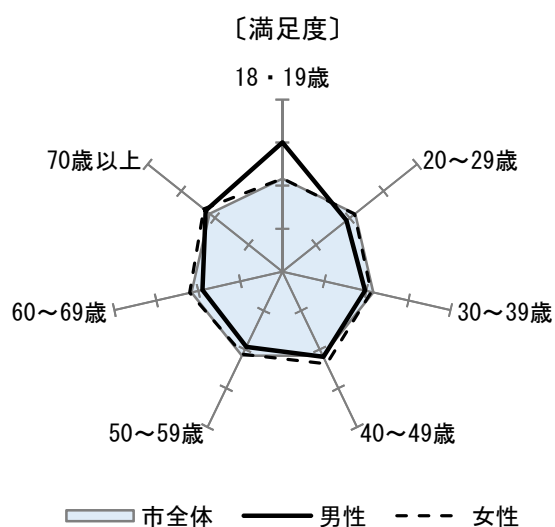
まちづくりの進め方

〔市民と行政との協働によるまちづくり〕

（１）市民活動や行政との協働

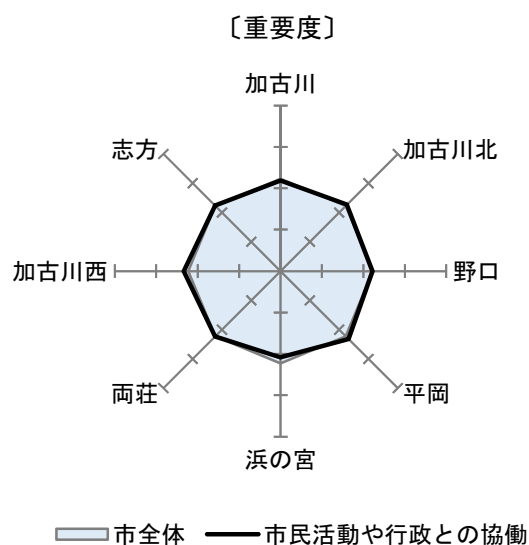
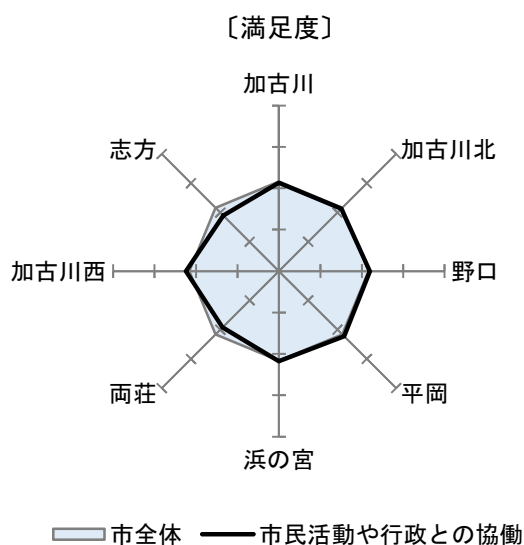
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と40歳代、70歳以上の男女と、女性の60歳代で市全体平均より高く、20歳代以上では女性の方が高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20歳代と40歳代以上、女性の18・19歳、30歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



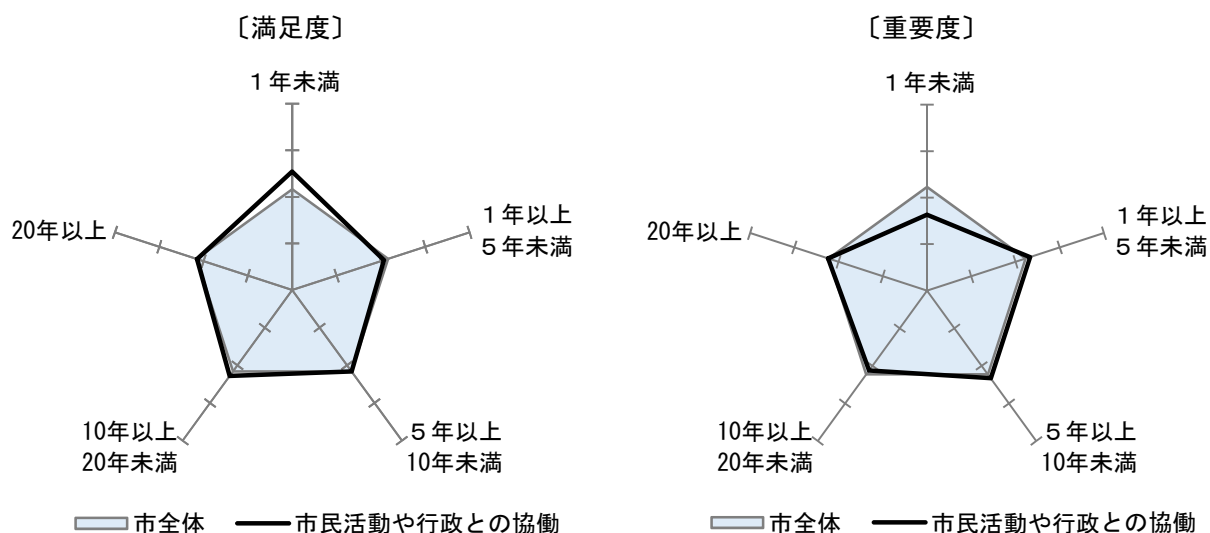
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口・浜の宮地区では市全体平均より低い、加古川西地区が最も高く、次いで平岡地区となっている。



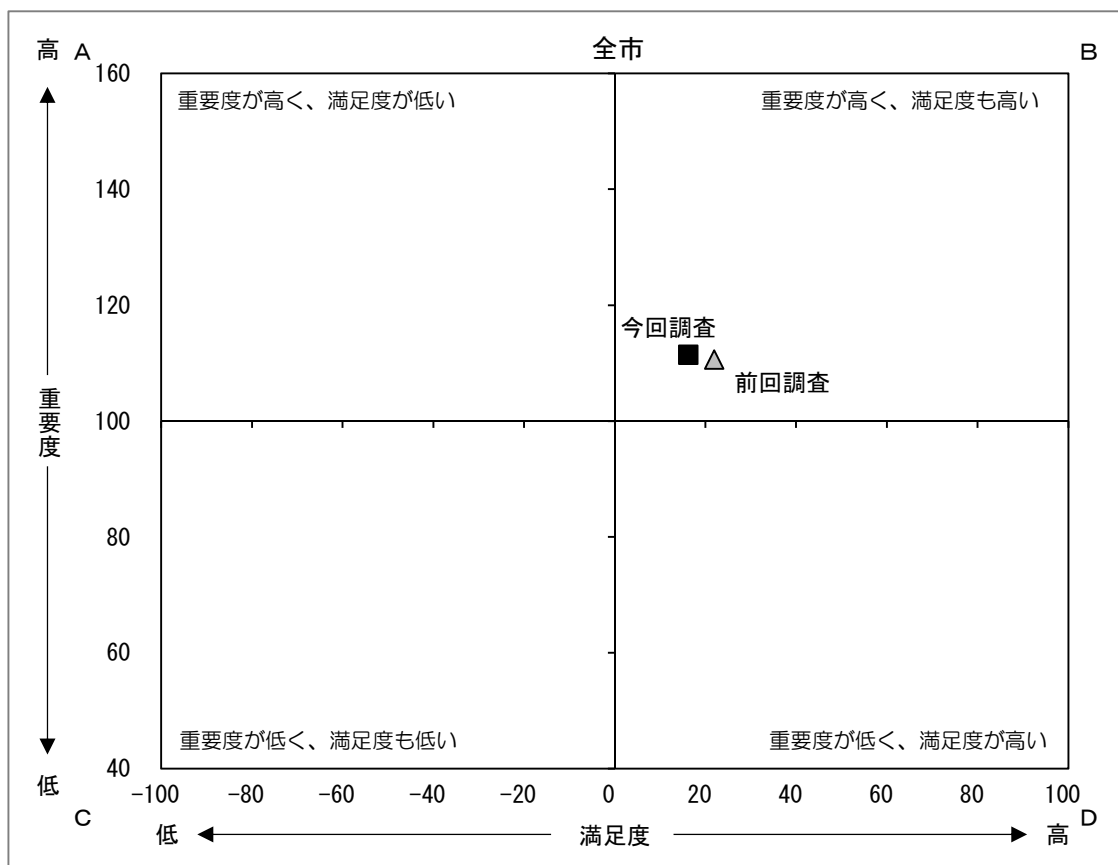
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高く、なかでも“1年以上5年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度がやや高くなり、満足度が低くなっている。

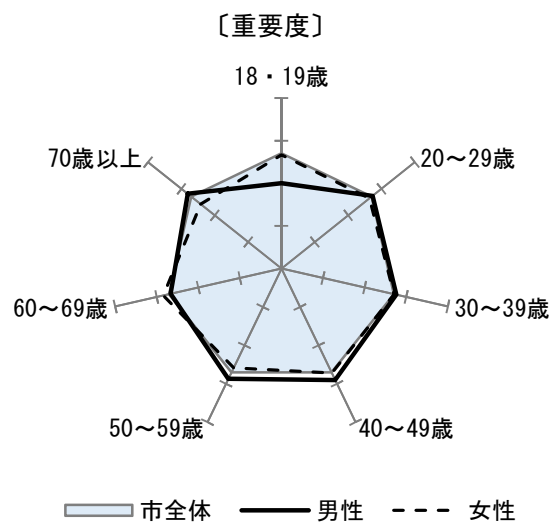
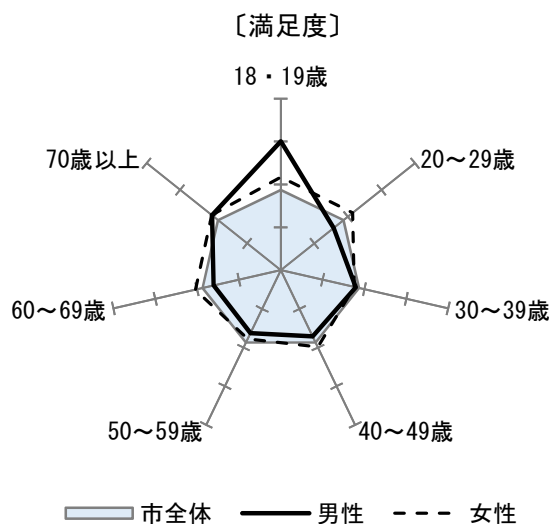


〔効果的・効率的に進めるまちづくり〕

（２）行政の効率化

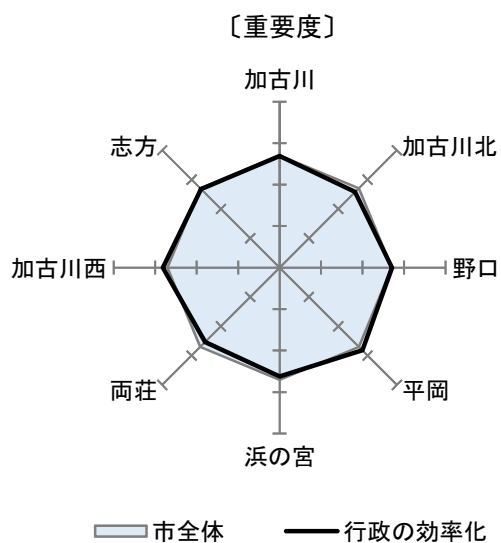
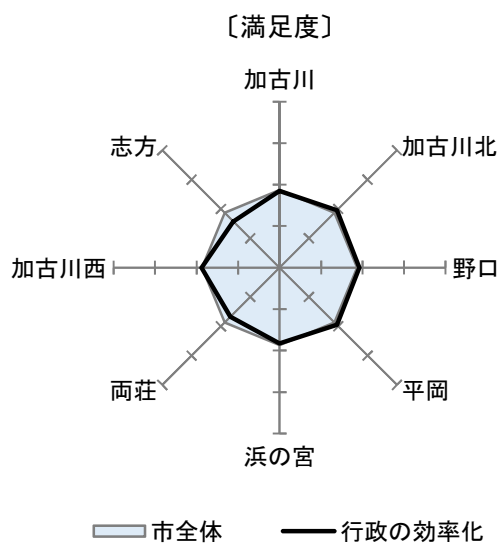
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と70歳以上の男女と、女性の20歳代、40歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～50歳代と70歳以上、女性の30～40歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



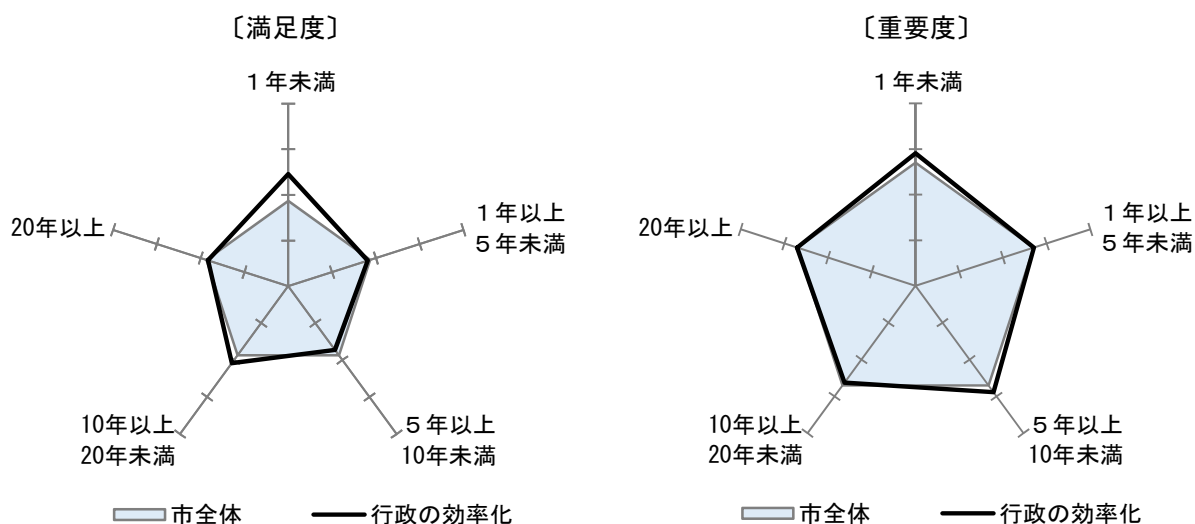
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川北地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



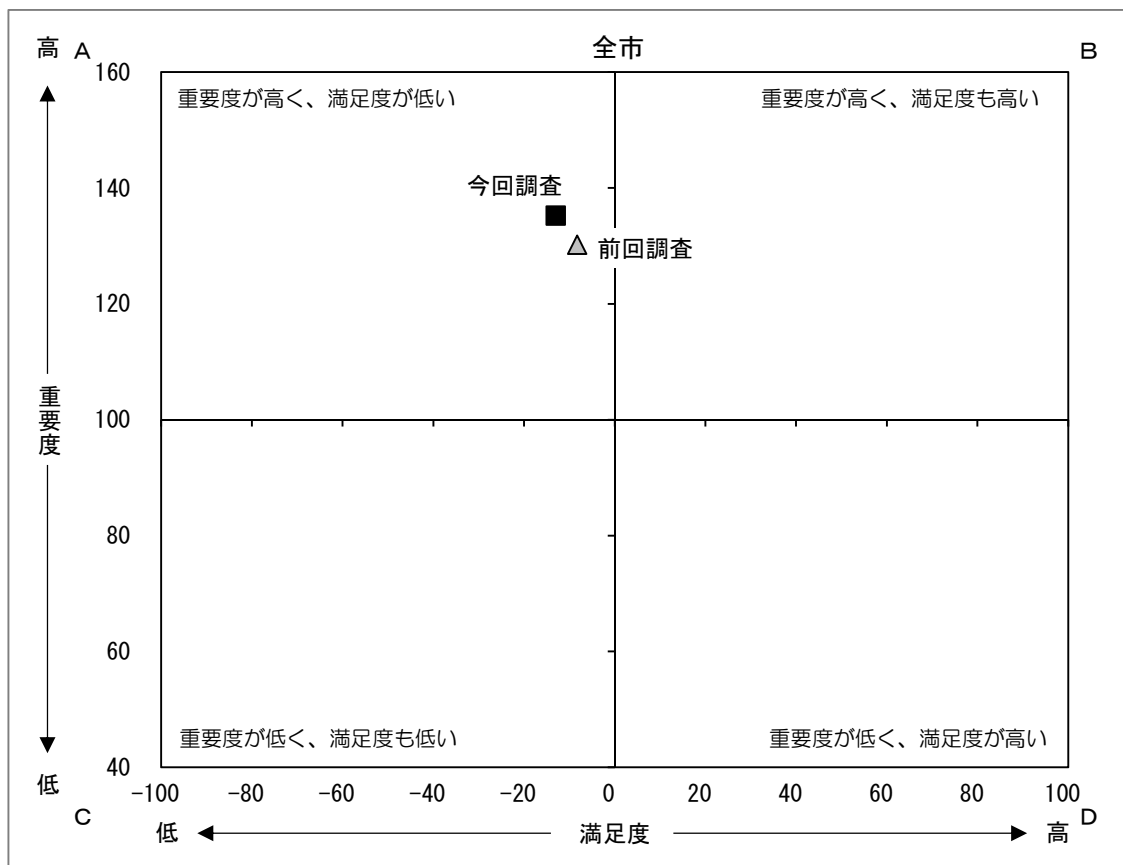
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”が最も高く、次いで“10年以上20年未満”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”以外で市全体平均より高く、なかでも“1年未満”が最も高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度が高くなり、満足度が低くなっている。

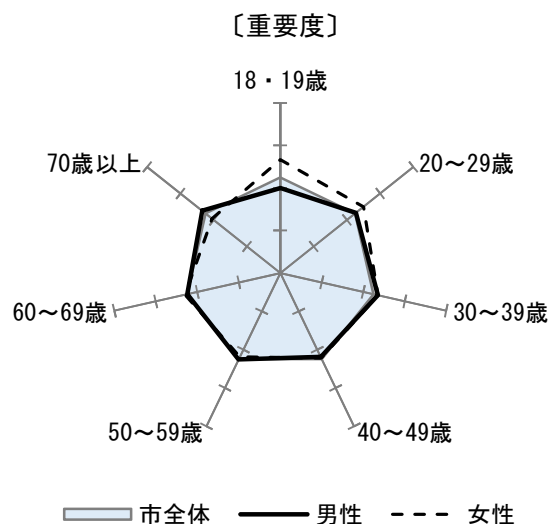
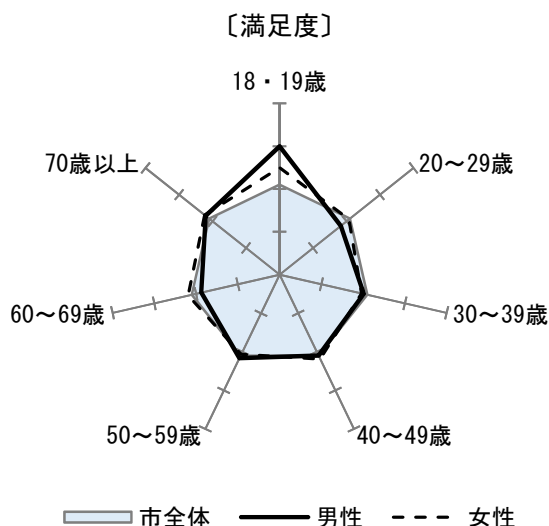


〔広域的な都市間連携によるまちづくり〕

（３）近隣都市との広域的な連携

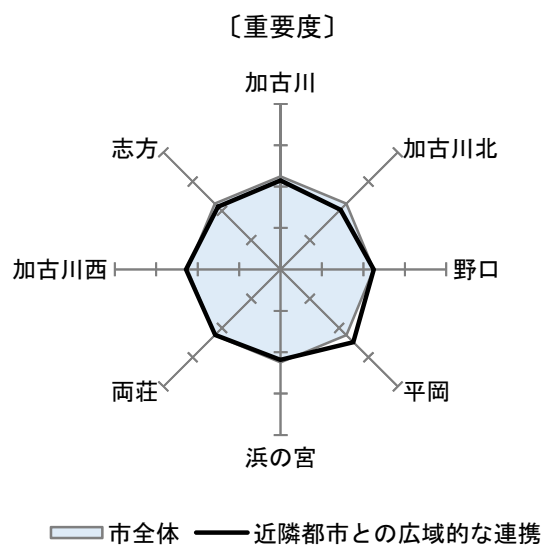
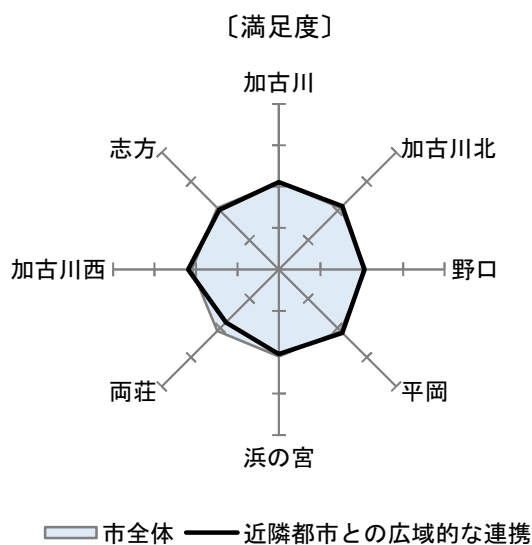
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、男性の18・19歳、50歳代、70歳以上と、女性の18・19歳、40歳代、60歳代以上で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、男性の20～30歳代、50歳代、70歳以上と、女性の18・19歳～30歳代、60歳代で市全体平均より高くなっている。



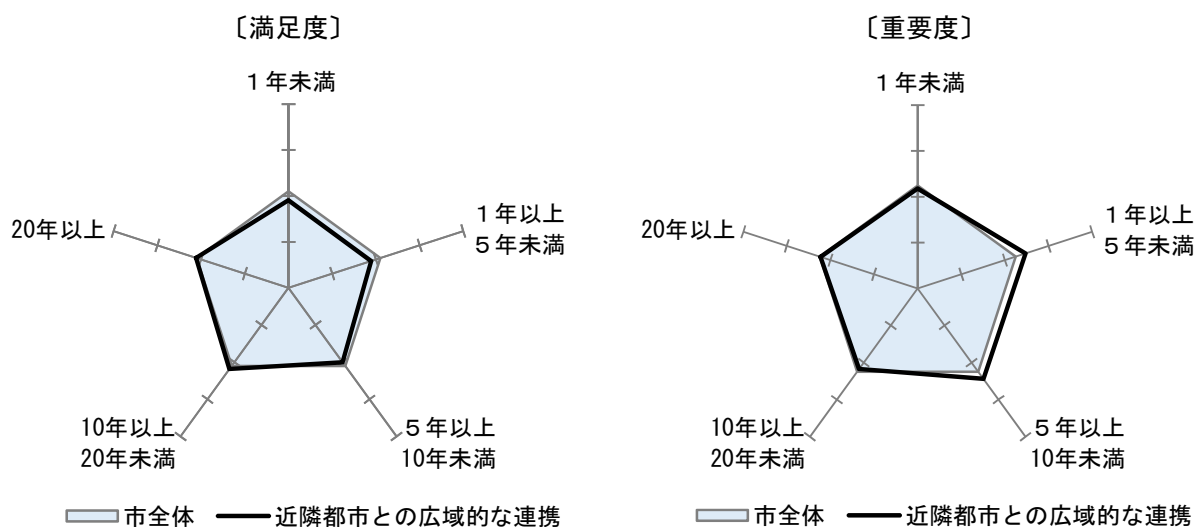
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも加古川西地区が最も高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高く、なかでも平岡地区が最も高くなっている。



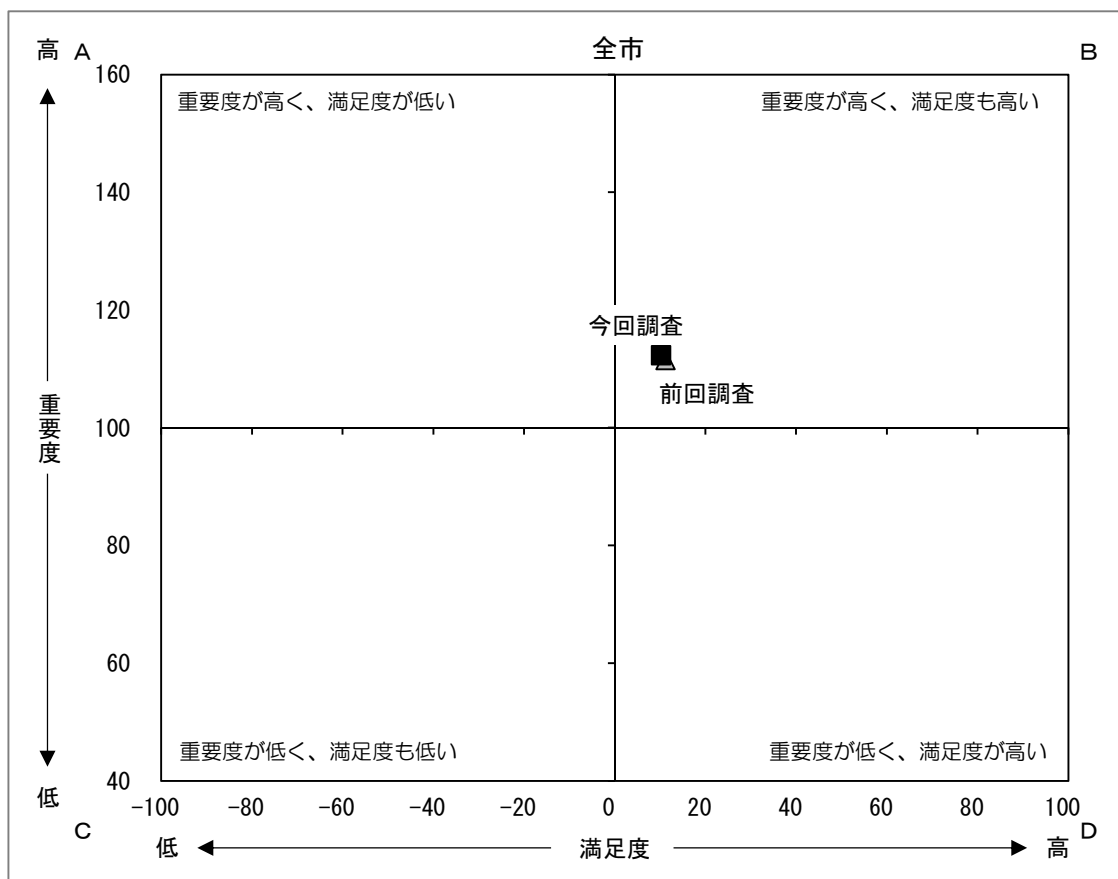
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”が最も高く、次いで“20年以上”で、市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”が最も高く、次いで“5年以上10年未満”で、市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

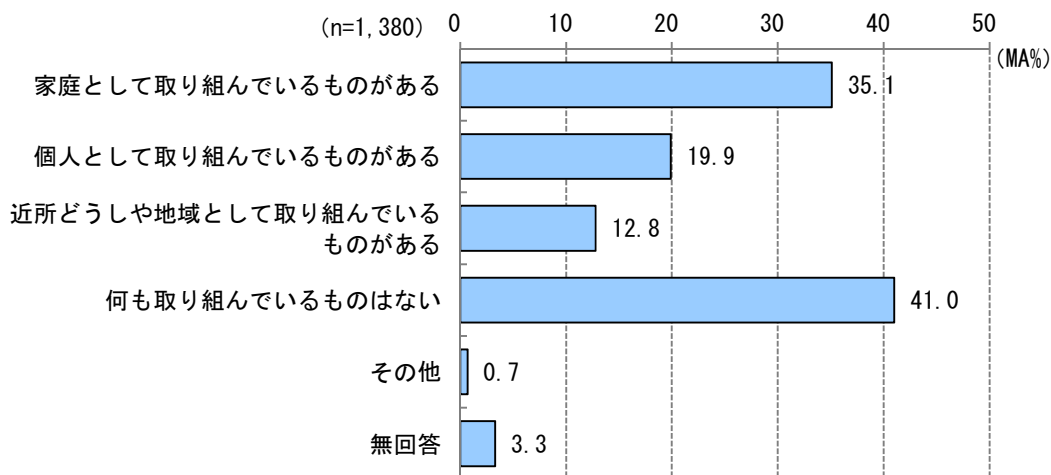
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度がやや高くなり、満足度がやや低くなっている。



4. 「防災」対策として地域等で取り組んでいること

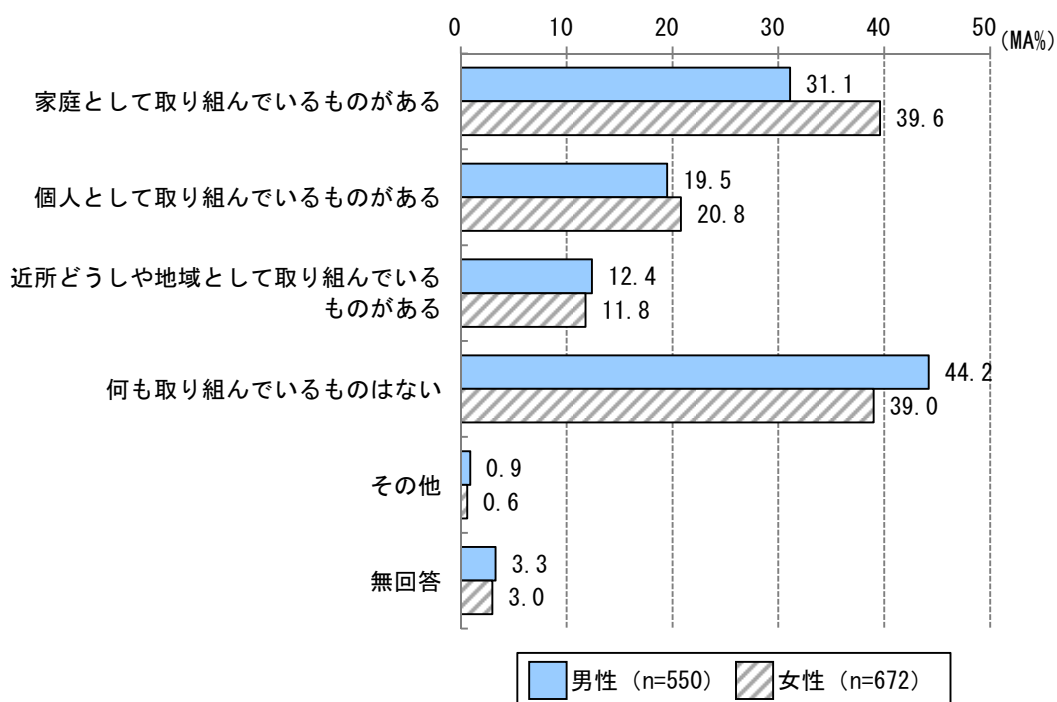
問4 「防災」対策として、あなた自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【図4 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



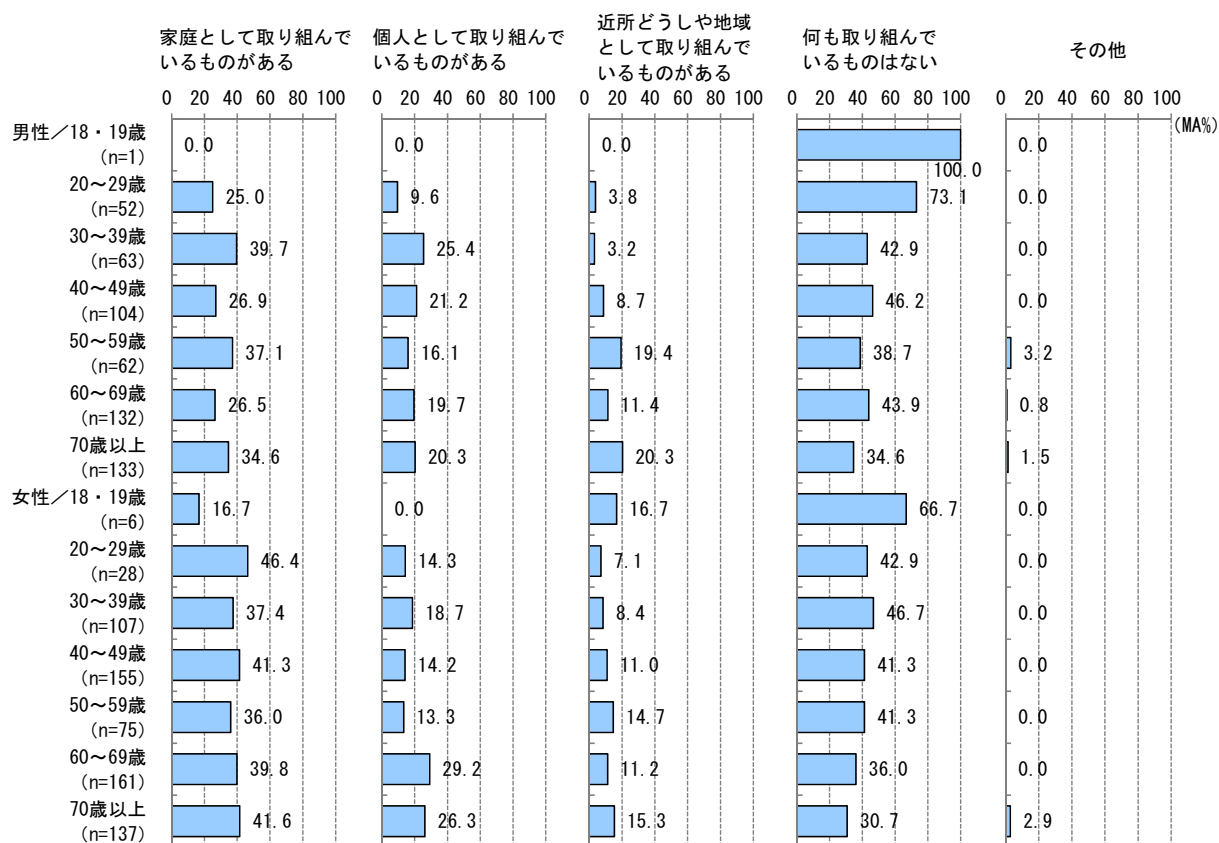
- 「防災」対策として地域等で取り組んでいることがあるかについては、「何も取り組んでいるものはない」が41.0%で最も多く、次いで「家庭として取り組んでいるものがある」が35.1%、「個人として取り組んでいるものがある」が19.9%となっている。(図4)
- 性別でみると、男性は「何も取り組んでいるものはない」(44.2%)が最も多いが、女性は「家庭として取り組んでいるものがある」(39.6%)が最も多く、防災対策に取り組んでいる割合は、家庭と個人においては女性の方が高くなっている。(図4-1)

【図4-1 性別 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



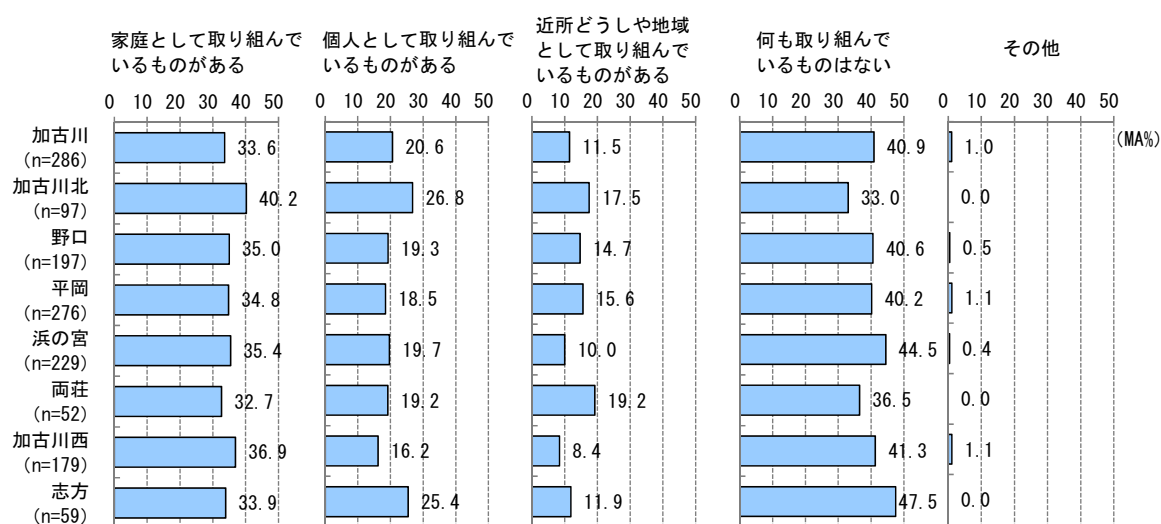
- 性年代別でみると、男性は70歳以上では「家庭として取り組んでいるものがある」「何も取り組んでいるものはない」が同率（34.6%）で最も多いが、それ以外の年代では「何も取り組んでいるものはない」が最も多くなっている。女性では20歳代、60歳代以上では「家庭として取り組んでいるものがある」が最も多くなっているが、18・19歳、30歳代、50歳代では「何も取り組んでいるものはない」が最も多くなっている。（図4-2）

【図4-2 性年代別 「防災」対策として地域等に取り組んでいること】



- 居住地区別でみると、加古川北地区では「家庭として取り組んでいるものがある」が最も多くなっている。（図4-3）

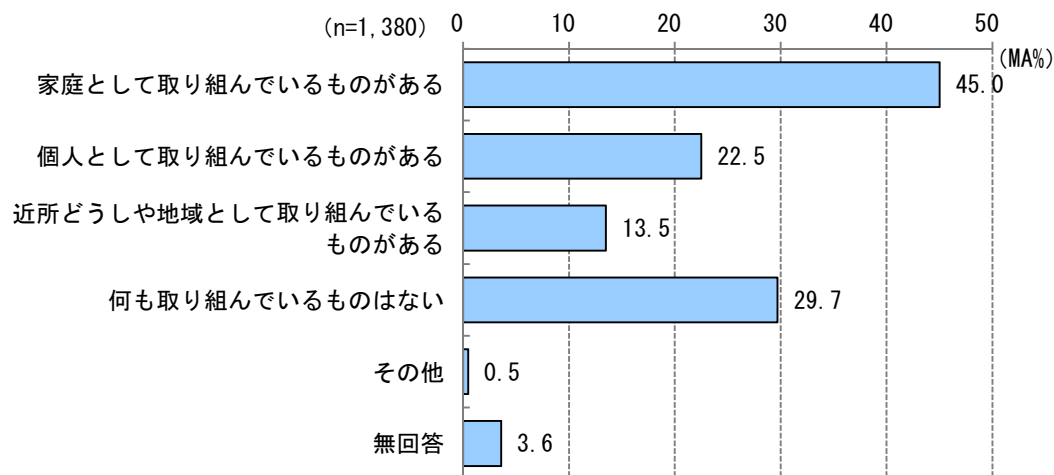
【図4-3 居住地区別 「防災」対策として地域等に取り組んでいること】



5. 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること

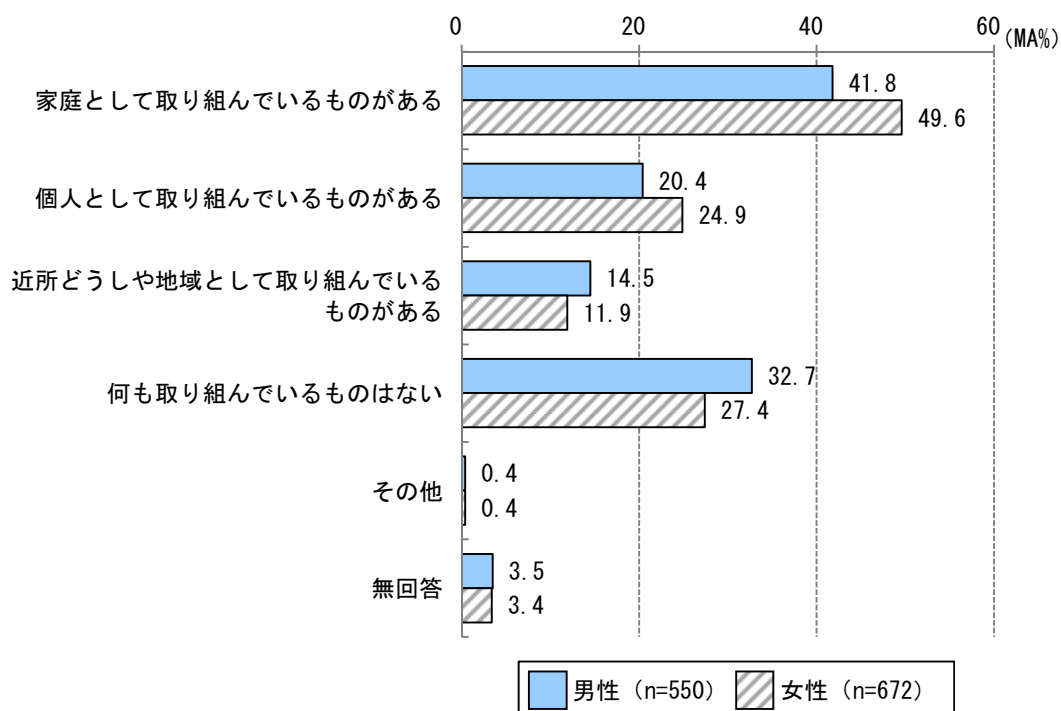
問5 「防犯」対策として、あなた自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【図5 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



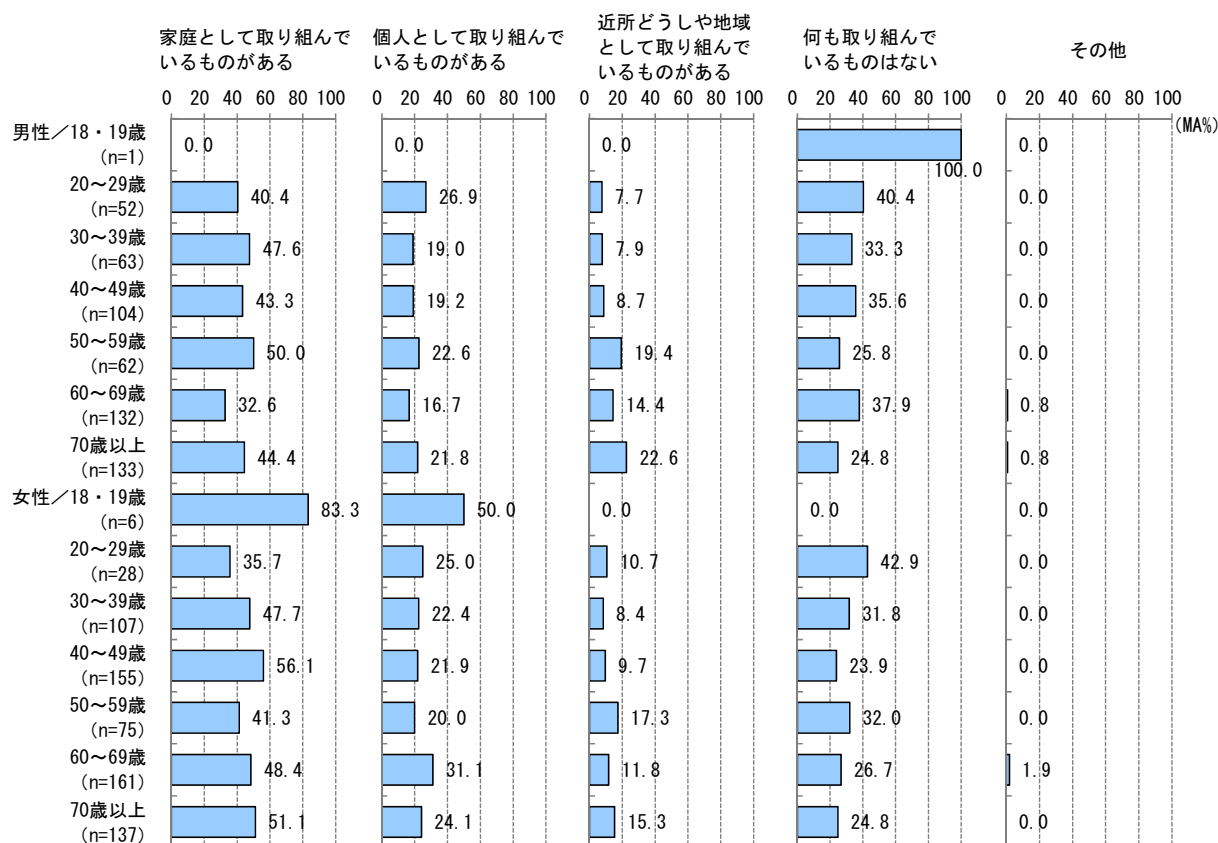
- 「防犯」対策として地域等で取り組んでいることがあるかについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が45.0%で最も多く、次いで「何も取り組んでいるものはない」が29.7%、「個人として取り組んでいるものがある」が22.5%となっている。(図5)
- 性別でみると、男女とも「家庭として取り組んでいるものがある」が最も多く、4割台を占めている。防犯対策に取り組んでいる割合は、家庭・個人において女性の方が高くなっている。(図5-1)

【図5-1 性別 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



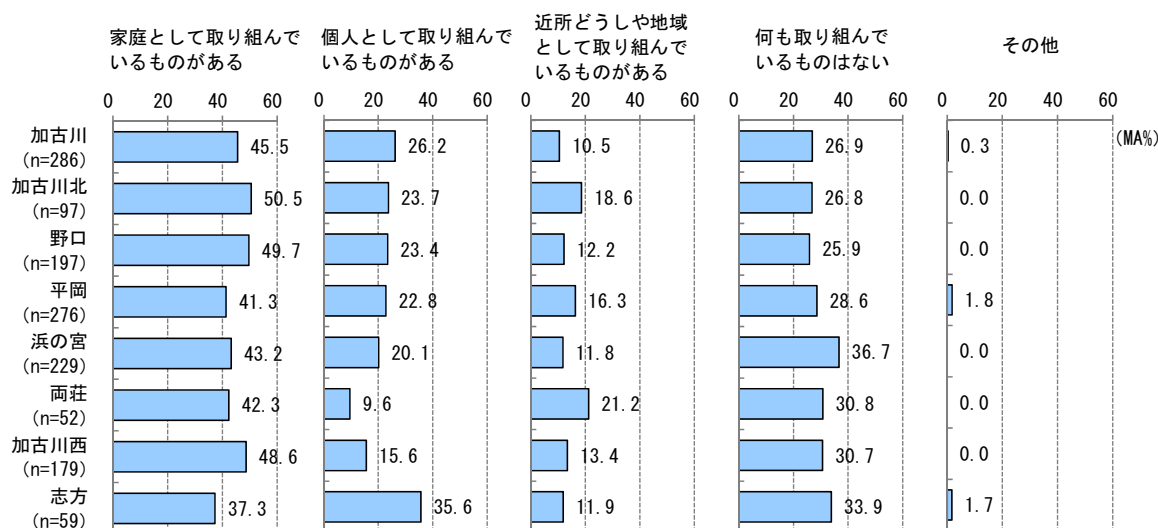
- 性年代別でみると、男性では60歳代で「何も取り組んでいるものはない」が最も多く、20歳代では「家庭として取り組んでいるものがある」「何も取り組んでいるものはない」が同率で最も多くなっている。女性では20歳代を除いた各年代で「家庭として取り組んでいるものがある」が最も多くなっている。(図5-2)

【図5-2 性年代別 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



- 居住地区別でみると、いずれの地区も「家庭として取り組んでいるものがある」が最も多くなっている。「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」は加古川北・両荘地区で2割前後と他の地域より高くなっている。(図5-3)

【図5-3 居住地区別 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】

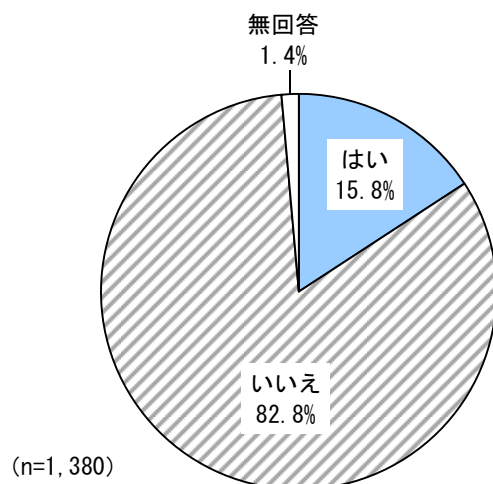


6. 家族等の介護状況

(1) 家族等の介護をしているか

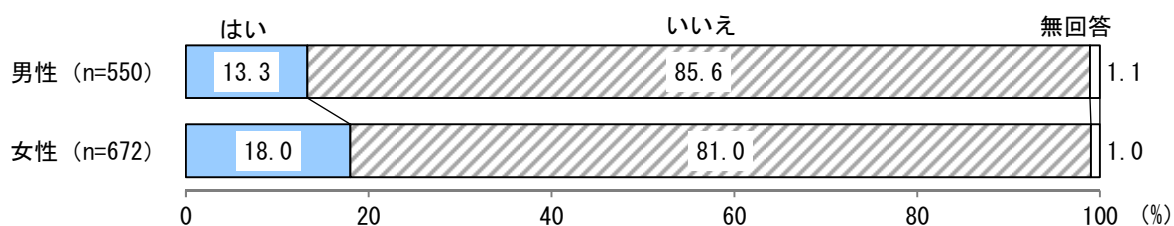
問6 あなたは、ご家族等（同居・別居の親族を含む）の介護をしていますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図6-1 家族等の介護をしているか】



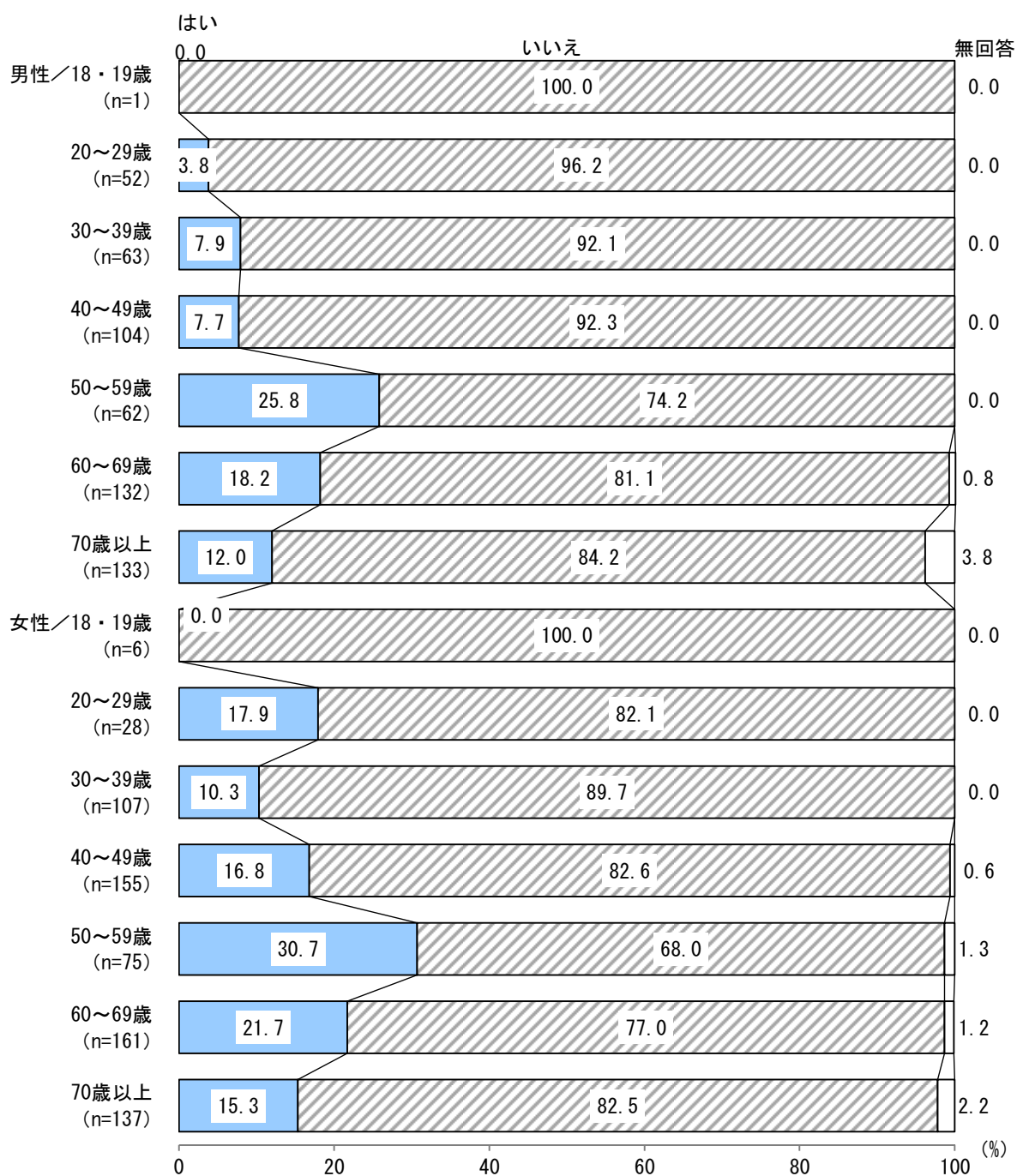
- 家族等の介護をしているかについては、「はい」（介護をしている）が15.8%に対し、「いいえ」（介護をしていない）が82.8%となっている。（図6-1）
- 性別でみると、「はい」（介護をしている）は、男性（13.3%）より女性（18.0%）の方が4.7ポイント高くなっている。（図6-1-1）

【図6-1-1 性別 家族等の介護をしているか】

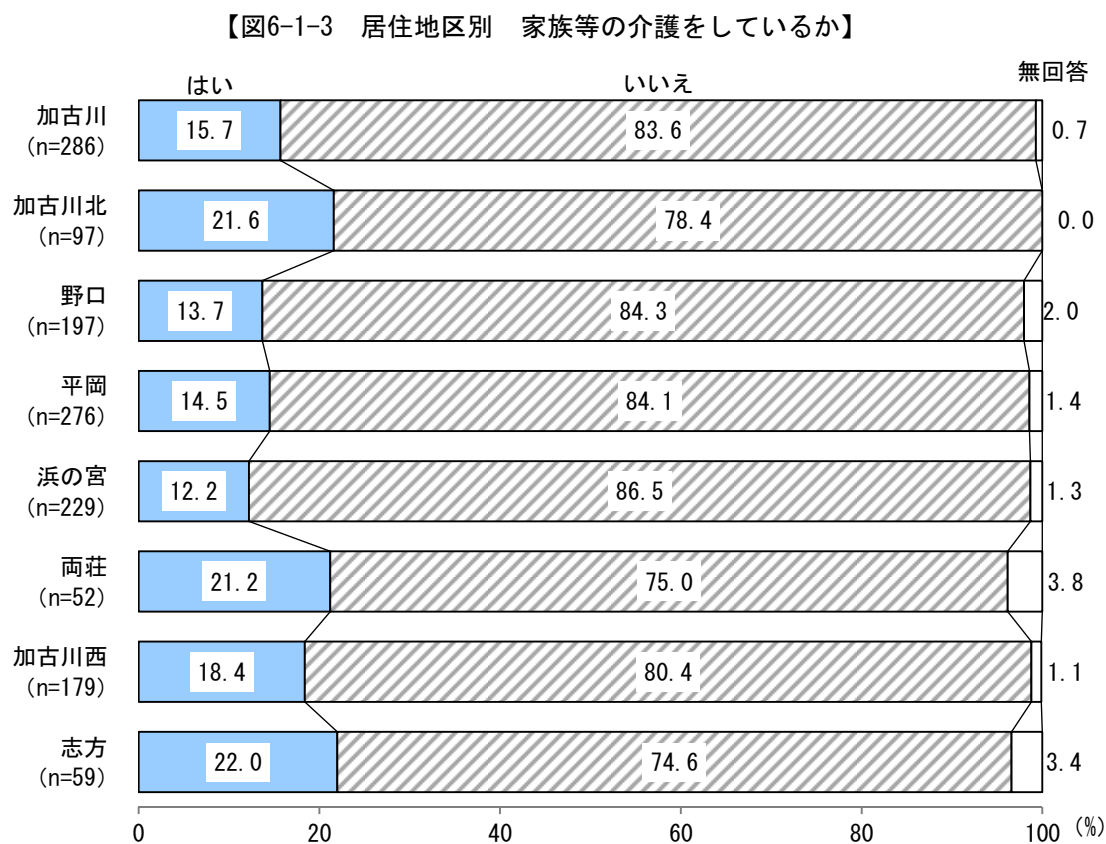


- 性年代別でみると、「はい」（介護をしている）は男女ともに50歳代で最も高く、いずれの年代においても男性より女性の方が高くなっている。（図6-1-2）

【図6-1-2 性年代別 家族等の介護をしているか】

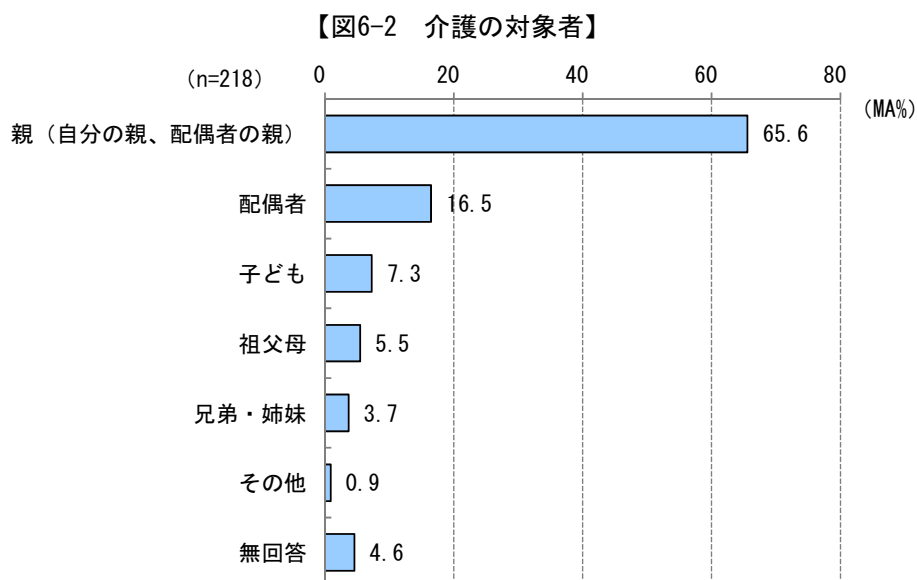


- 居住地区別でみると、「はい」（介護をしている）は加古川北地区（21.6%）、両荘地区（21.2%）、志方地区（22.0%）で2割台となっている。（図6-1-3）

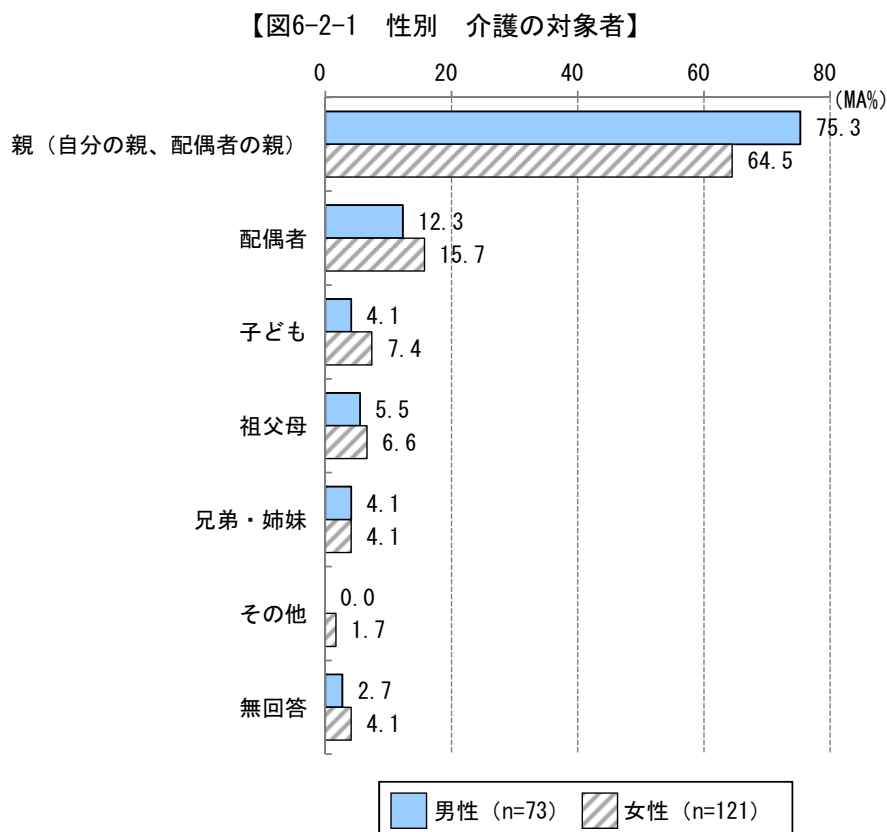


(2) 介護の対象者

問6-① 問6で「1. はい」を選ばれた方におたずねします。あなたは、どなたの介護をしていますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

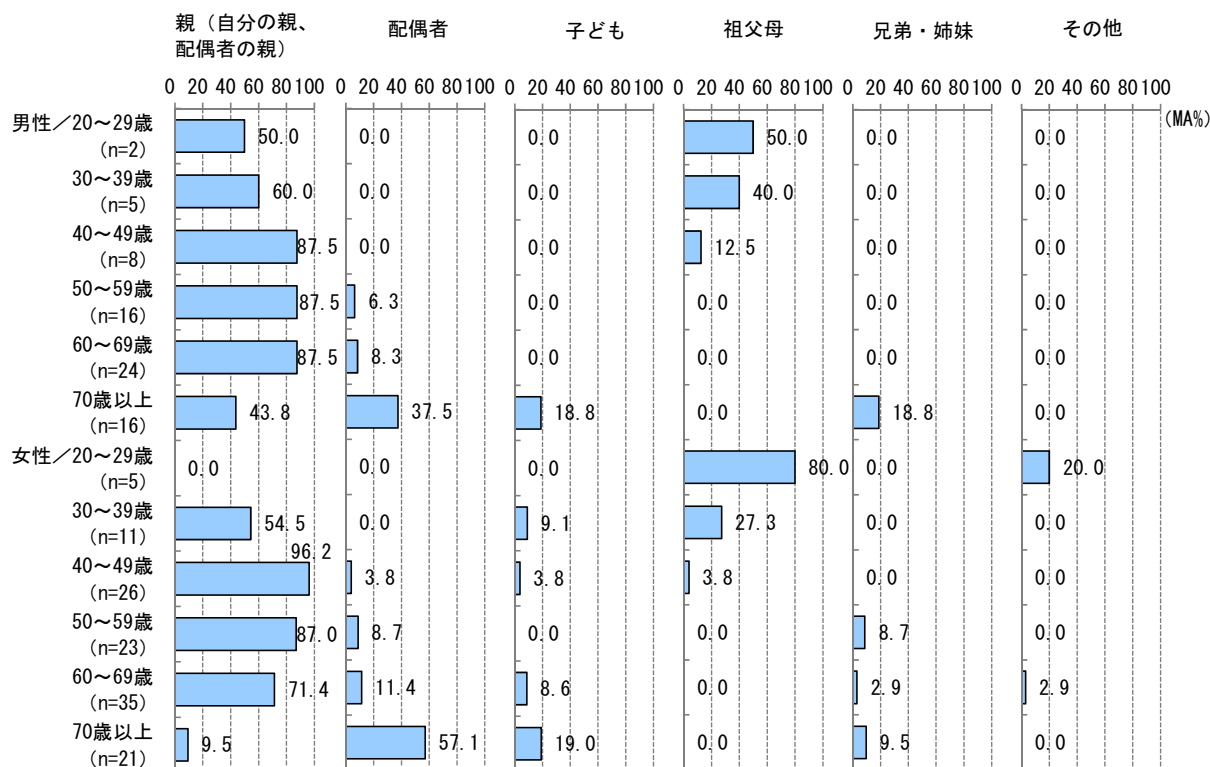


- 介護をしていると回答した人の介護の対象者としては、「親（自分の親、配偶者の親）」が65.6%で最も多く、次いで「配偶者」が16.5%、「子ども」が7.3%となっている。(図6-2)
- 性別でみると、男女ともに「親（自分の親、配偶者の親）」が最も多く、女性（64.5%）より男性（75.3%）の方が10.8ポイント高くなっている。(図6-2-1)



- 性年代別でみると、男性では30歳代以上で「親（自分の親、配偶者の親）」が最も多く、特に40～60歳代では8割台となっている。女性では、20歳代で「祖父母」、30～60歳代で「親（自分の親、配偶者の親）」、70歳以上で「配偶者」が最も多くなっている。（図6-2-2）

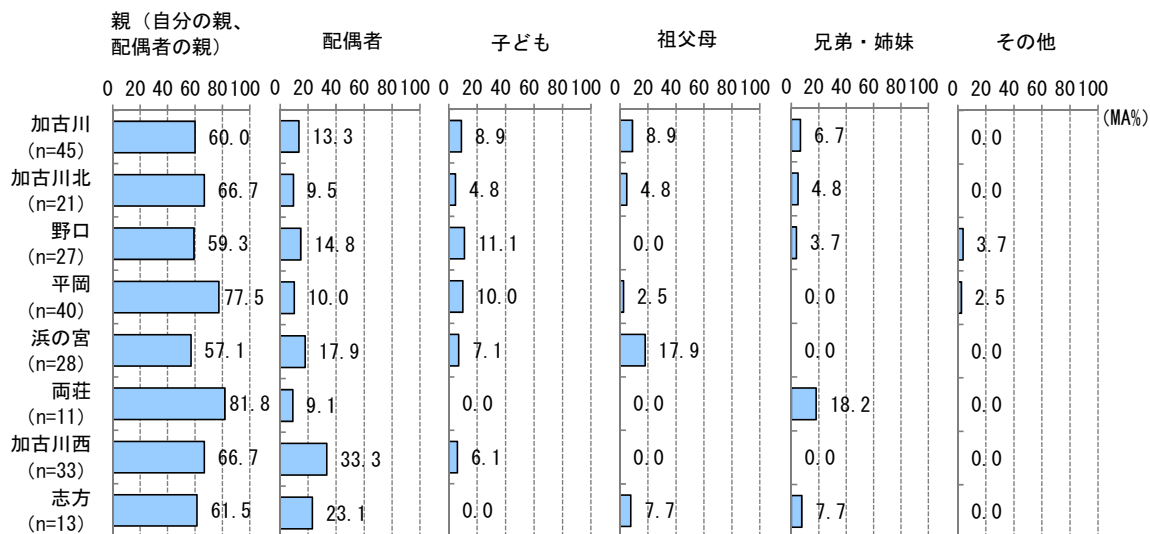
【図6-2-2 性年代別 介護の対象者】



* 「男性18・19歳」、「女性18・19歳」は回答者なし

- 居住地区別でみると、いずれの地区で「親（自分の親、配偶者の親）」が最も多く、特に平岡・両荘地区で7割以上となっている。また、加古川西地区では「配偶者」、浜の宮地区では「祖父母」、両荘地区では「兄弟・姉妹」が他の地区よりも高くなっている。（図6-2-3）

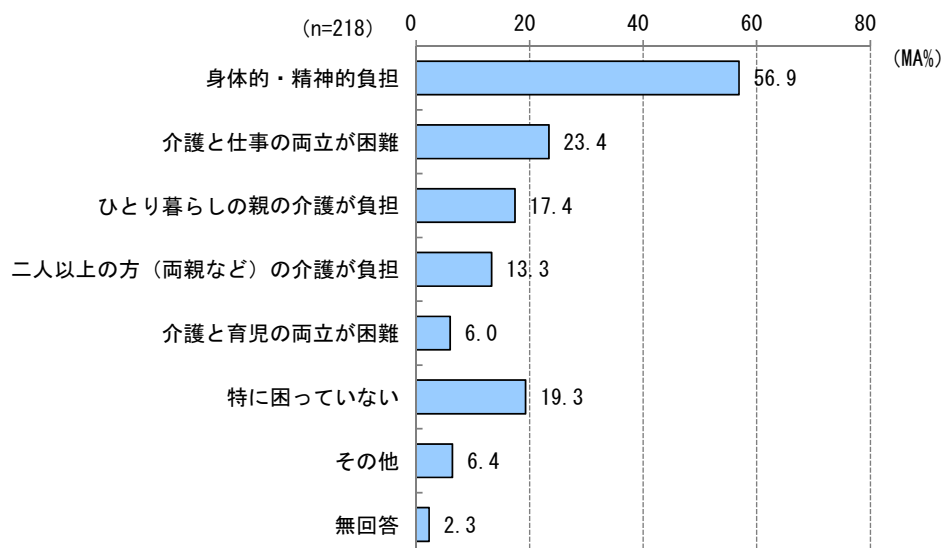
【図6-2-3 居住地区別 介護の対象者】



(3) 介護で困っていること

問6-② 問6で「1. はい」を選ばれた方におたずねします。あなたが、介護において困っていることは何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

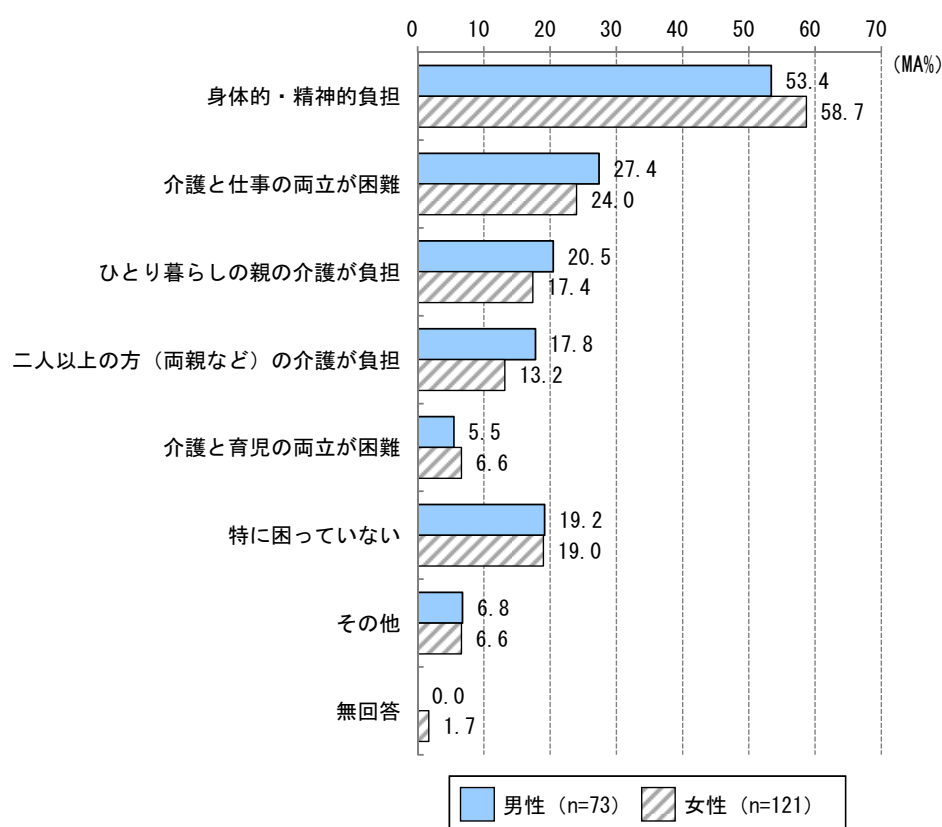
【図6-3 介護で困っていること】



●介護をしていると回答した人の介護で困っていることとしては、「身体的・精神的負担」が56.9%で最も多く、次いで「介護と仕事の両立が困難」が23.4%、「特に困っていない」が19.3%となっている。（図6-3）

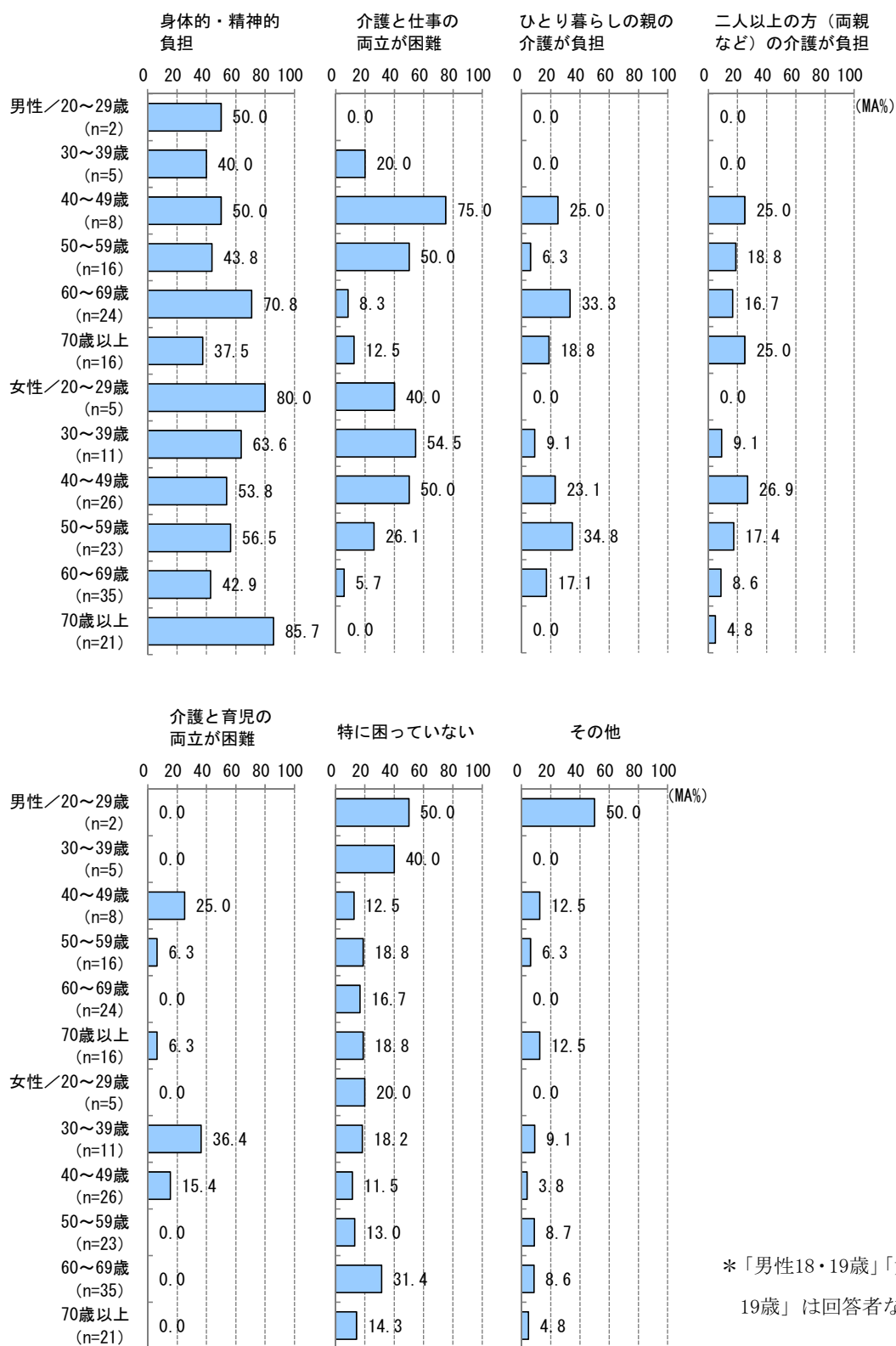
●性別でみると、男女ともに「身体的・精神的負担」が最も多く、男性（53.4%）より女性（58.7%）の方が5.3ポイント高くなっている。（図6-3-1）

【図6-3-1 性別 介護で困っていること】



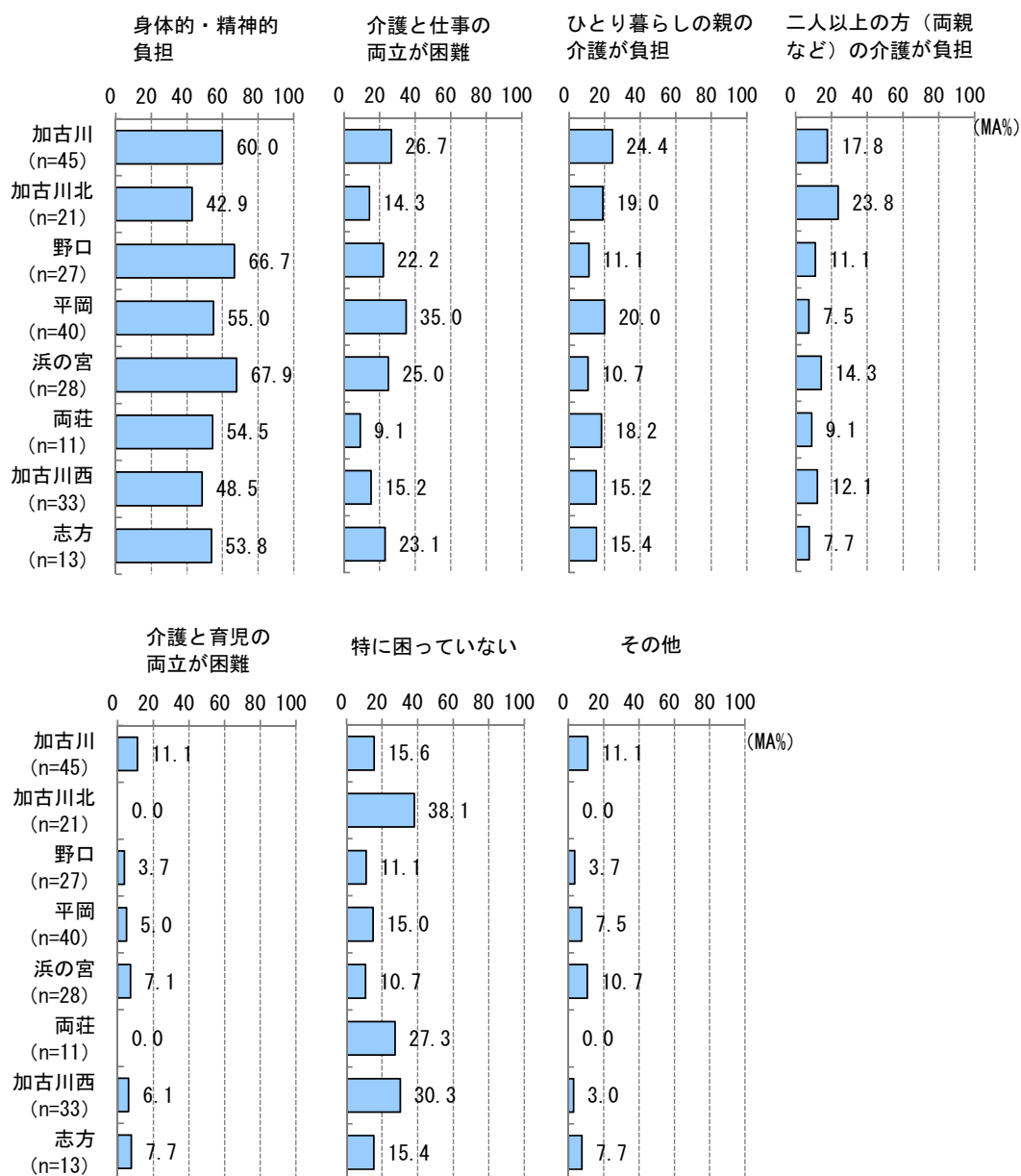
- 性年代別でみると、男性では40～50歳代で「介護と仕事の両立が困難」、60歳代以上で「身体的・精神的負担」が最も多くなっている。女性ではいずれの年代とも「身体的・精神的負担」が最も多く、特に20歳代、70歳以上で8割台と高くなっている。また、「介護と仕事の両立が困難」が30～40歳代で5割台となっている。(図6-3-2)

【図6-3-2 性年代別 介護で困っていること】



- 居住地区別でみると、いずれの地区とも「身体的・精神的負担」が最も多く、特に加古川・野口・浜の宮地区で6割台となっている。また、「特に困っていない」は加古川北地区で38.1%と最も高くなっている。(図6-3-3)

【図6-3-3 居住地区別 介護で困っていること】



7. 介護について思うこと

有効回答数1,380件のうち、記述があったのは338件で、カテゴリごとに分類して集計した結果、意見の延べ件数は344件となった。分類した結果は以下のとおりである。(主な意見を掲載)

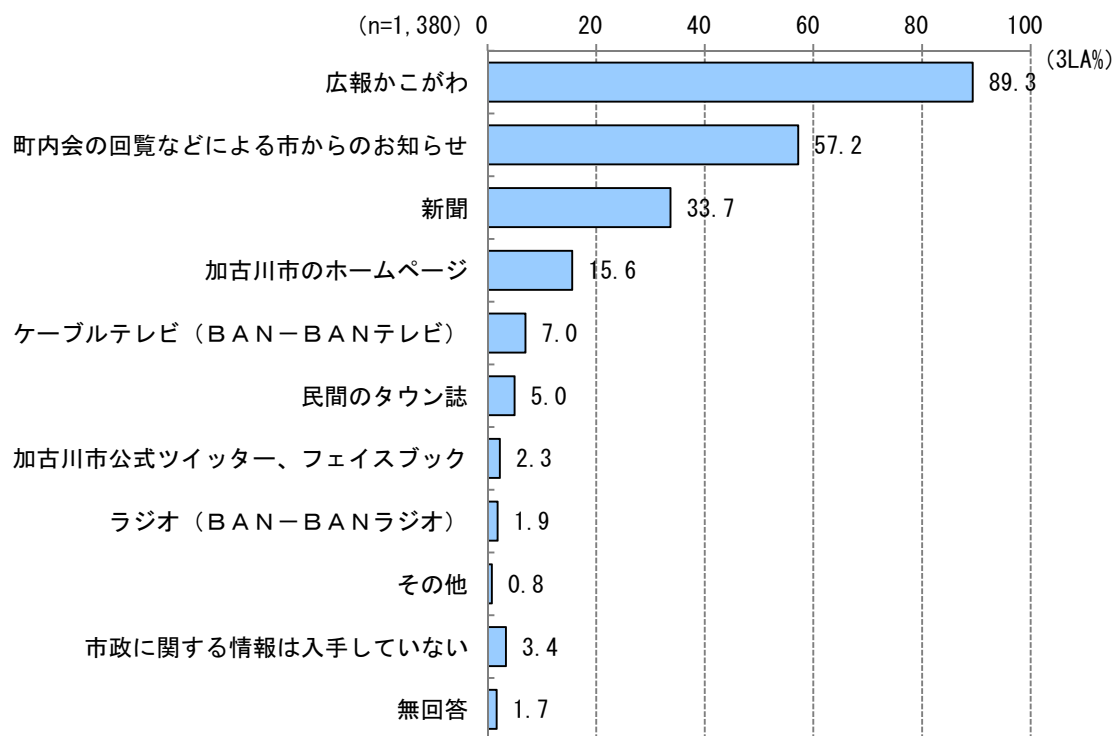
1	介護施設の充実について	54件
	・介護施設を増やしてほしい。 ・介護施設を安心して利用できるようにしてほしい。 ・介護や介助が必要になったときに、すぐに施設へ入所できるようにしてほしい。 ・24時間介護は体力的・精神的にも負担が大きいため、特別養護老人ホームや介護老人保健施設の充実を願う。	
2	介護職について	13件
	・介護は非常に大変な仕事であるため、介護士などの待遇改善をしてあげてほしい。 ・ケアマネージャーの研修を充実させてほしい。	
3	情報提供について	15件
	・介護に関する情報はケアマネージャーから入手しているが、行政からも分かりやすく情報発信してほしい。 ・介護で困ったことやストレスになった事等を気軽に相談できる場所がほしい。	
4	相談支援について	21件
	・介護者が気軽に相談ができる場所がほしい。 ・高齢者が介護や介助が必要になったとき、すぐに相談できる窓口が必要だと思う。 ・家族に介護・介助が必要になった場合、誰に相談したらよいのかわからず不安になる。	
5	介護予防について	14件
	・介護の世話にならないように体力づくりを心がけている。 ・健康寿命を延ばす施策に取り組んでほしい。自身も寝たきりの時期を少なくするために、日々努力したい。 ・高齢者の健康増進を充実させ、介護・介助に至らぬ努力を行政が中心となり行ってほしい。	
6	仕事と介護の両立について	17件
	・将来、介護と日々の生活との両立ができるのか不安である。 ・仕事と介護の両立は難しいと思う。 ・介護・介助で仕事に行けない場合、職場の配慮や介護補助があればいい。 ・仕事をもちながらの介護は難しく、行政に助けが必要な人は多いと思う。	
7	介護支援について	43件
	・介護の助けが必要なときに、早期発見できるシステムを確立してほしい。 ・介護には周りの協力が必要だと思う。 ・老老介護についての対策を行ってほしい。 ・介護負担が軽くなればと思う。 ・自宅介護が容易にできるようにしてほしい。	
8	介護保険制度について	23件
	・介護認定の手続きを早くしてほしい。 ・介護保険サービスが適切に利用されていないと思う。 ・低所得者として、費用面で不満を感じる。	

9	サービスの充実について	18件
	・短期間で預かってもらえるデイケアがほしい。 ・在宅でひとり暮らしの高齢者が増えている。訪問介護職の充実と、地域ボランティアを統合できれば素晴らしい。 ・子どものいない世帯は、一人で何とかしなければならないため、公的サービスを質量ともに充実することを希望する。	
10	高齢者支援について	11件
	・ひとり暮らしの高齢者の見守り活動を積極的に行ってほしい。 ・安心して暮らせるように、高齢者に対しての支援を地域として取り組んでほしい。	
11	生活環境について	20件
	・整備されていない道があり、車椅子や歩行器では危険。(バリアフリーを進めてほしい) ・高齢者の交通手段を確保してほしい。 ・交通機関の利便性を高めてほしい。	
12	経済的支援について	7件
	・遠方への介護のため、経済的にしんどい。補助金等の制度があればいい。 ・妻の介護をしてきたが、介護保険の制度も薄く、市の補助もない。オムツの補助や介護にかかる費用を援助してほしい。	
13	将来の不安について	33件
	・資金にゆとりがないので、老後に満足な介護が受けられるのか不安である。 ・自分が介護されるとき、経済的なことや家族の負担を考えると不安になる。 ・独身なので両親の老後の介護に不安がある。 ・ひとり暮らしなので将来のことを考えると不安である。 ・入所が叶わない現状があると聞き、不安を感じる。 ・遠方に住む両親に介護が必要になった場合、不安がある。	
14	その他について	55件
	・近所同士でお互いに助け合うことができれば良いと思う。(近年、近所付き合いが少なくなった。) ・介護が必要になったとき、どのようにしたら良いのかわからない。 ・介助・介護について、まだ考えたことはない。 ・介護する人や介護される人に関わらず、人間らしく生きられるようにしてほしい。 ・介護する側・される側ともに気持ちを理解しつつ、相互に協力する事が重要。 ・一人で全部できると思わず、他人に頼る意識を持つべき。頼る事を恥ずかしいと思っはいけない。	

8. 市政に関する情報の入手方法

問8 あなたは市政に関する情報について、どのような方法で入手していますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

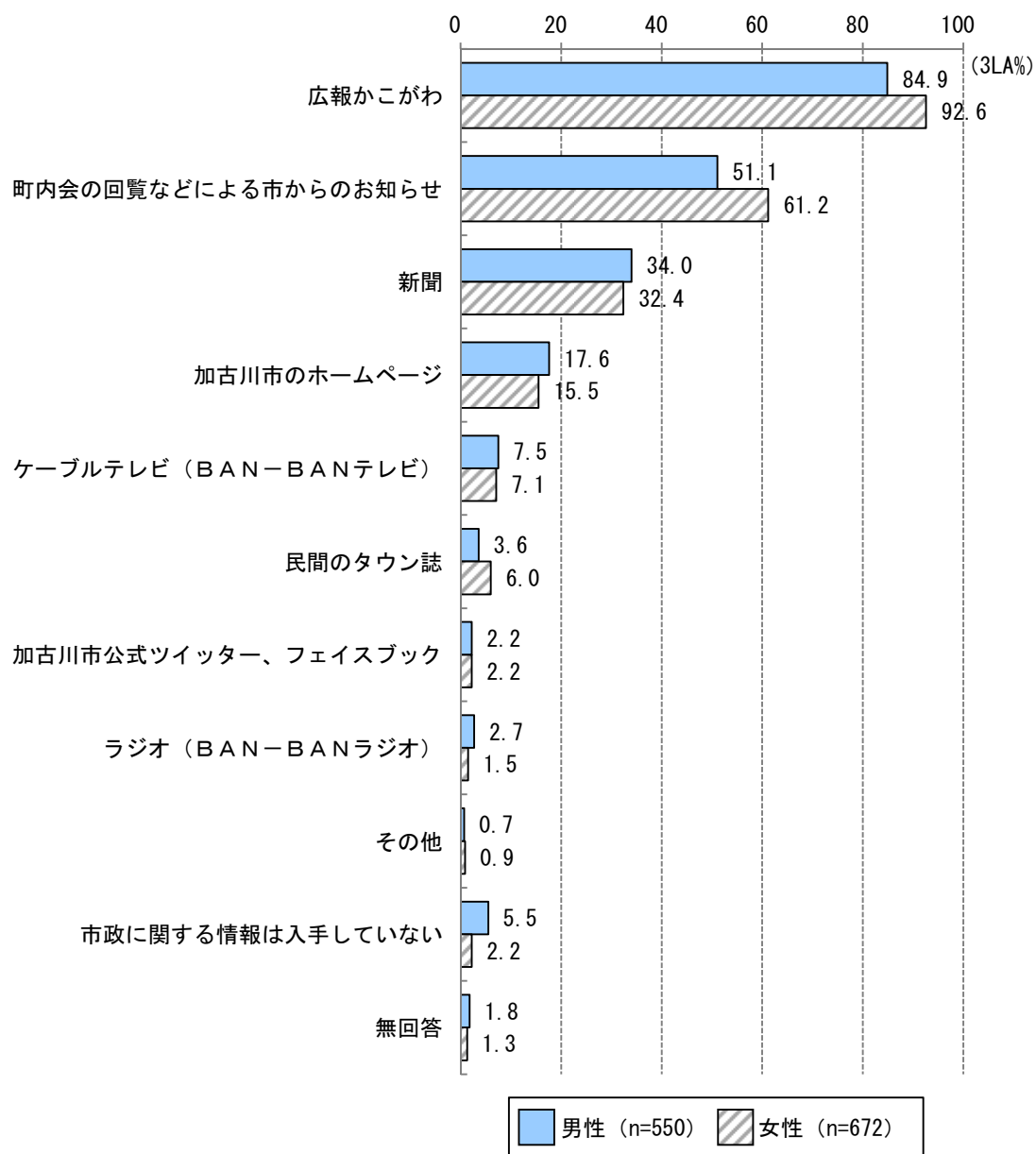
【図8 市政に関する情報の入手方法】



- 市政に関する情報の入手方法については、「広報かこがわ」が89.3%で最も多く、次いで「町内会の回覧などによる市からのお知らせ」が57.2%、「新聞」が33.7%となっている。(図8)

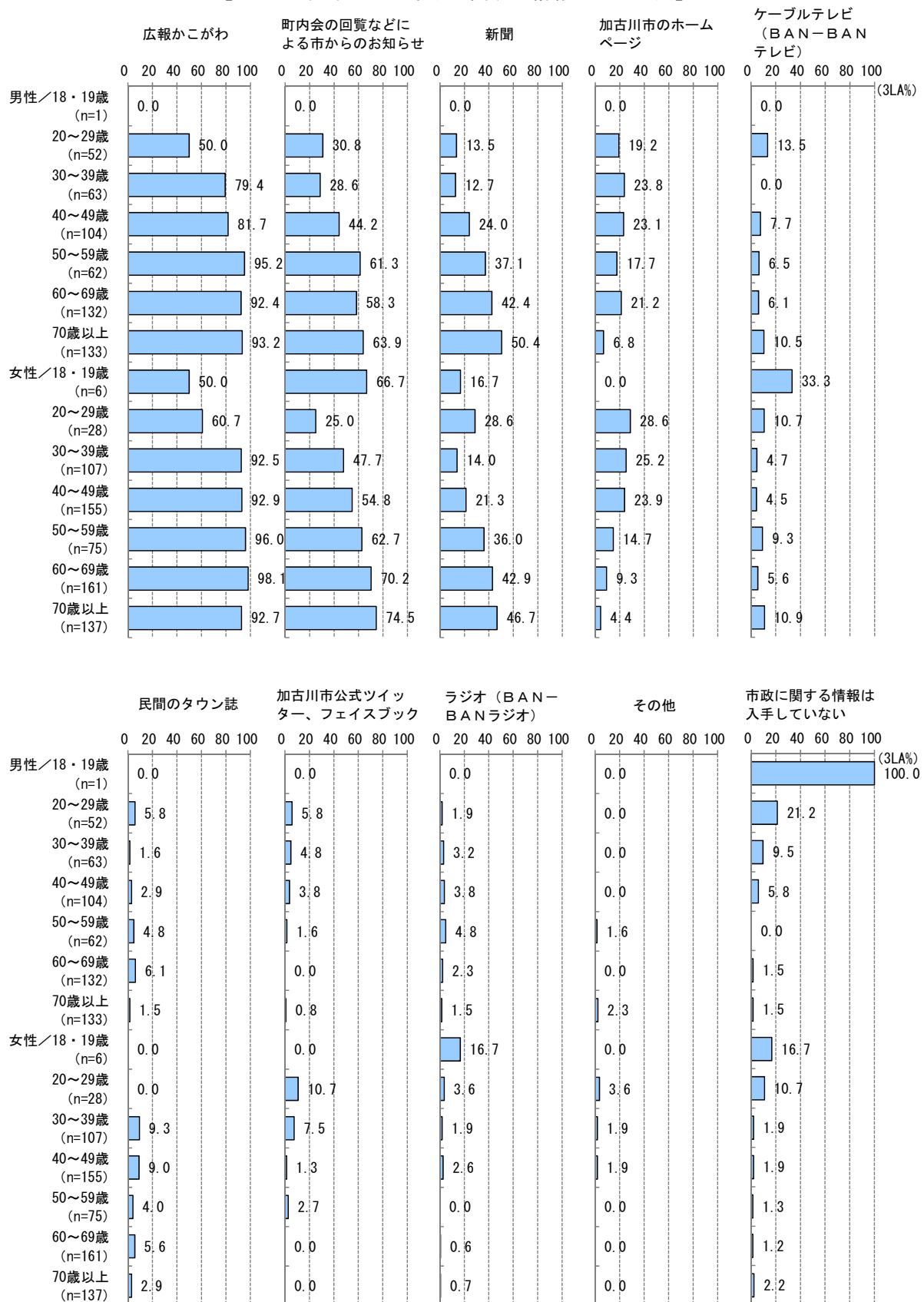
- 性別でみると、男女とも「広報かこがわ」が最も多く、次いで「町内会の回覧などによる市からののお知らせ」となっており、男性より女性の方がそれぞれ7.7ポイント、10.1ポイント高くなっている。（図8-1）

【図8-1 性別 市政に関する情報の入手方法】



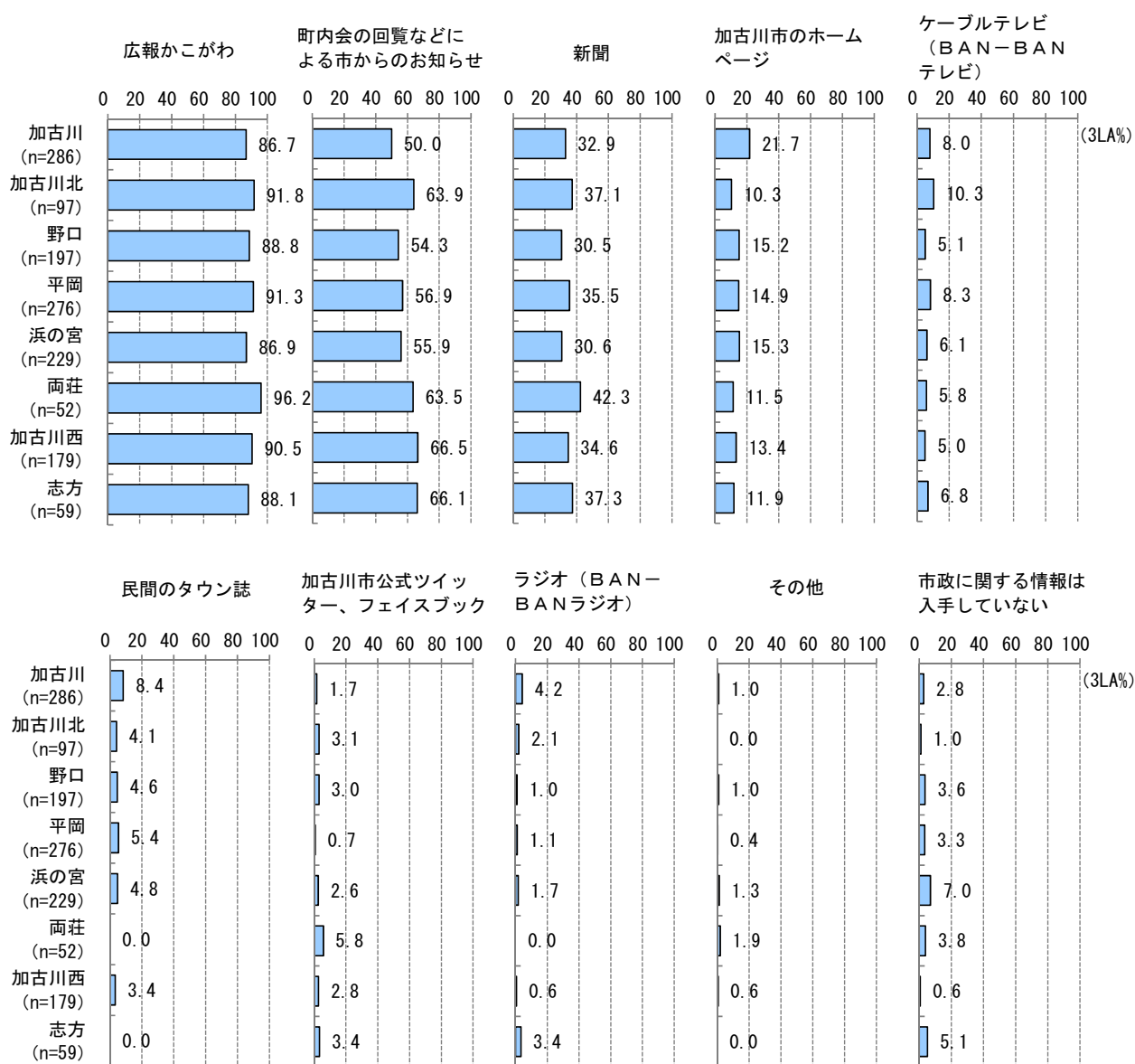
- 性年代別でみると、男女とも「広報かこがわ」、「町内会の回覧などによる市からのお知らせ」、「新聞」では、多少の増減はあるものの、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。(図8-2)

【図8-2 性年代別 市政に関する情報の入手方法】



●居住地区別でみると、いずれの地区とも「広報かこがわ」が最も多く、8割以上を占めている。(図8-3)

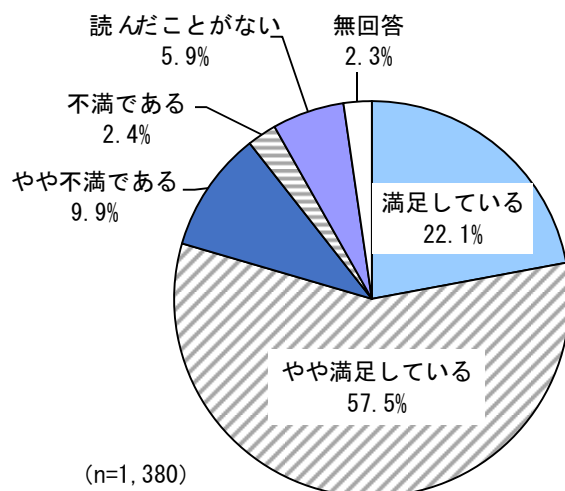
【図8-3 居住地区別 市政に関する情報の入手方法】



9. 「広報かこがわ」に対する満足度

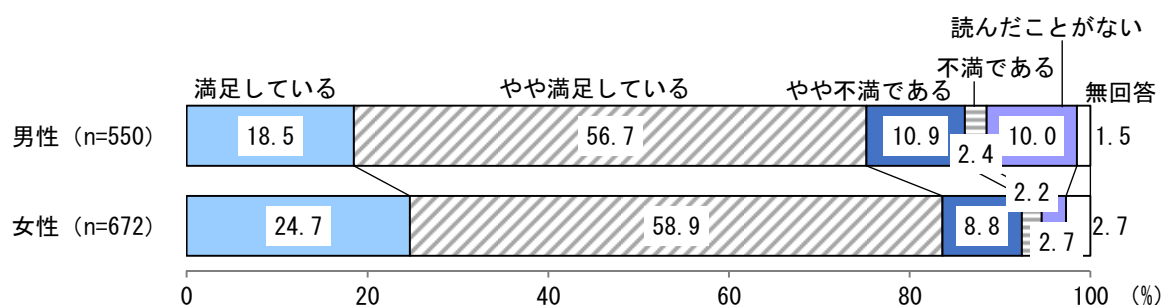
問9 「広報かこがわ」について、あなたは、どの程度満足していますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図9 「広報かこがわ」に対する満足度】



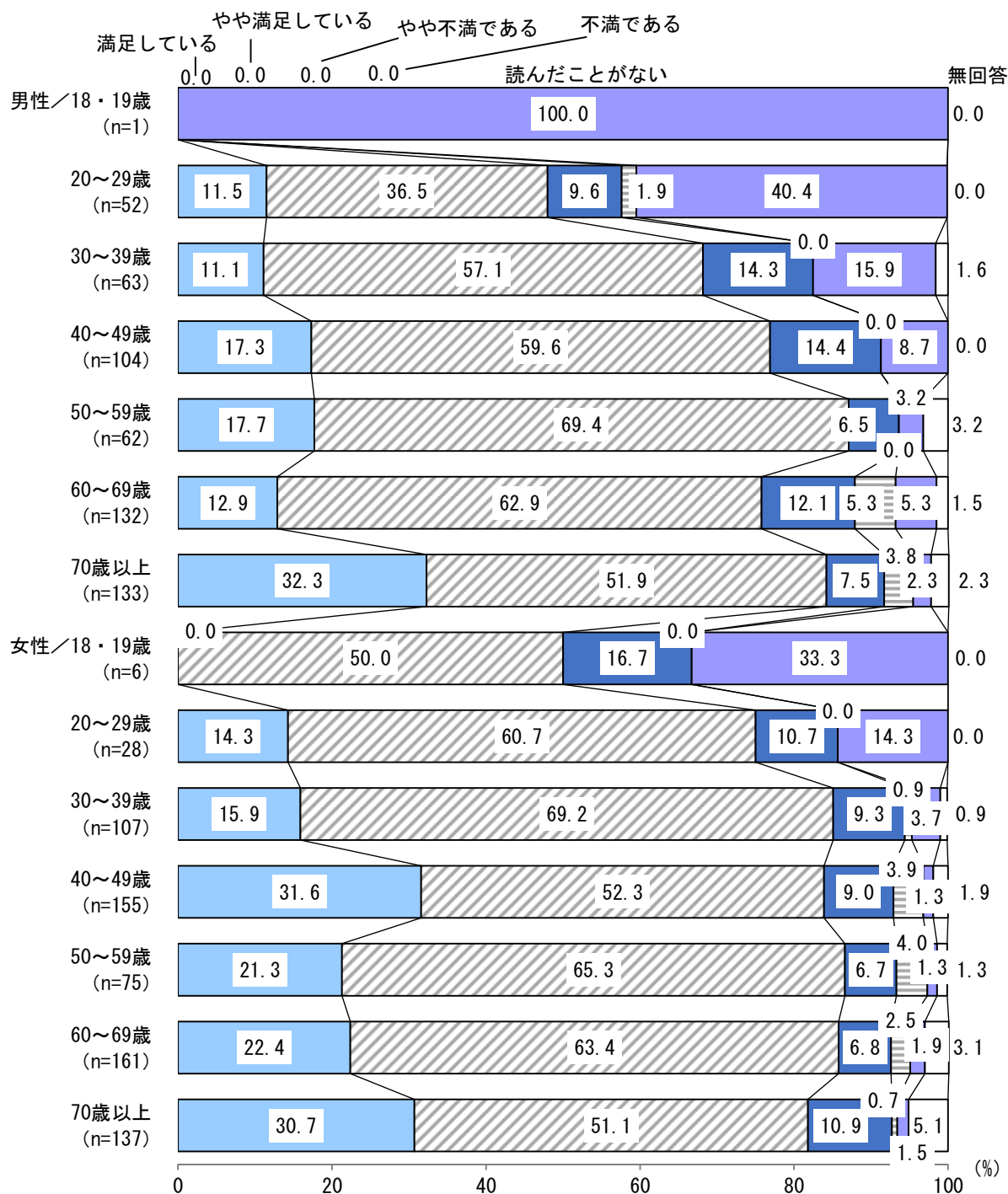
- 「広報かこがわ」に対する満足度については、「やや満足している」が57.5%で最も多く、次いで「満足している」が22.1%で、両者をあわせた『満足』は79.6%となっている。一方、『不満』（「やや不満である」と「不満である」をあわせた割合）は12.3%となっている。（図9）
- 性別でみると、『満足』は男性（75.2%）より女性（83.6%）の方が8.4ポイント高くなっている。一方、「読んだことがない」は女性（2.7%）より男性（10.0%）の方が7.3ポイント高くなっている。（図9-1）

【図9-1 性別 「広報かこがわ」に対する満足度】



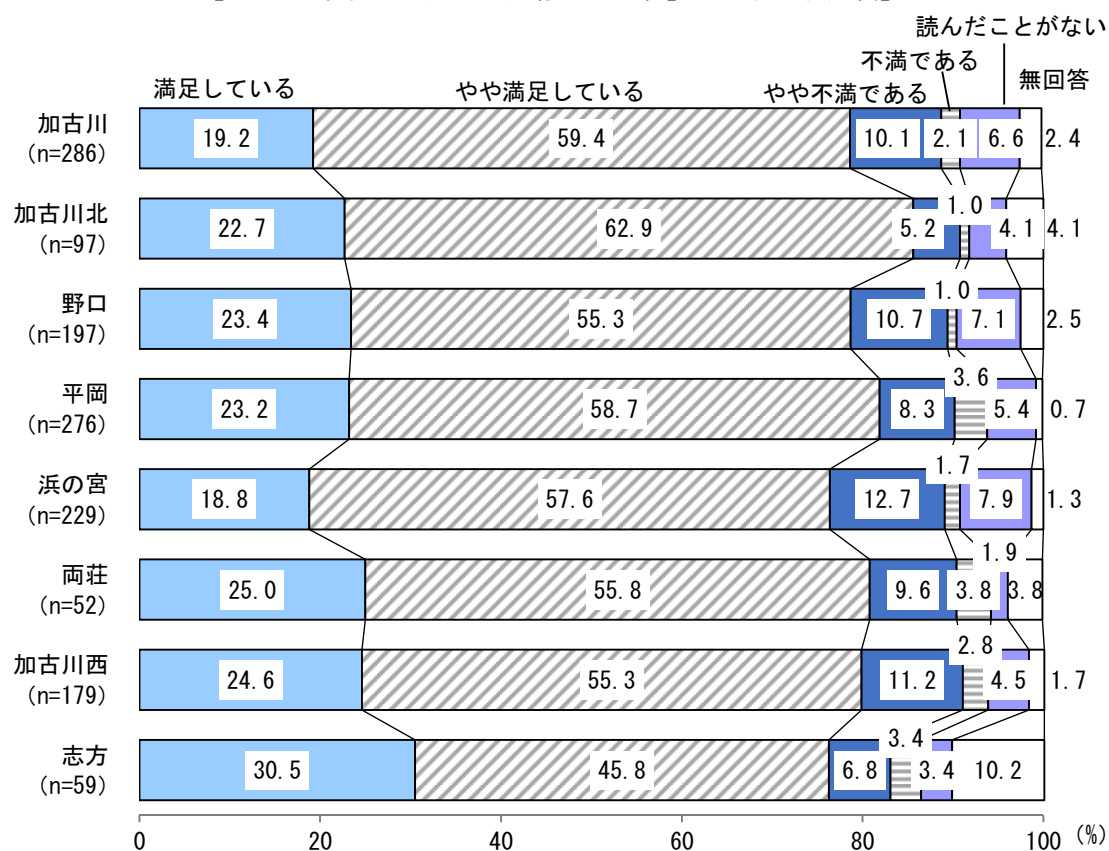
- 性年代別でみると、『満足』は、男性では50歳代と70歳以上、女性では30歳代以上で8割台となっている。また、男性の30歳代以下、女性の20歳代以下で「読んだことがない」が1割以上となっている。(図9-2)

【図9-2 性年代別 「広報かこがわ」に対する満足度】



- 居住地区別でみると、『満足』は加古川北地区（85.6%）が最も高く、次いで平岡地区（81.9%）となっている。（図9-3）

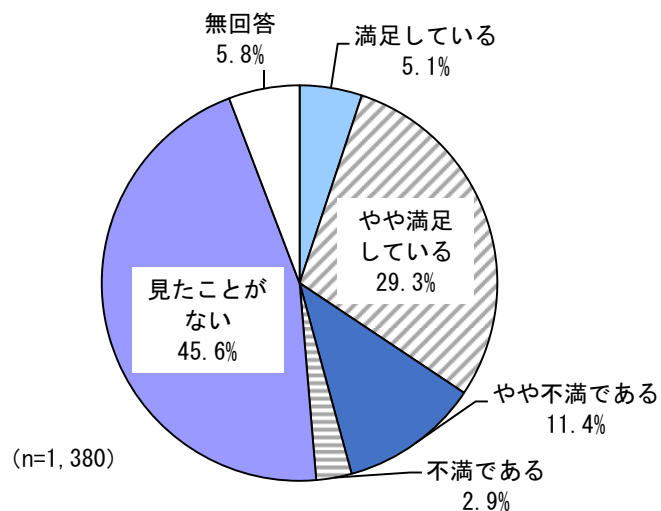
【図9-3 居住地区別 「広報かこがわ」に対する満足度】



10. 「加古川市のホームページ」に対する満足度

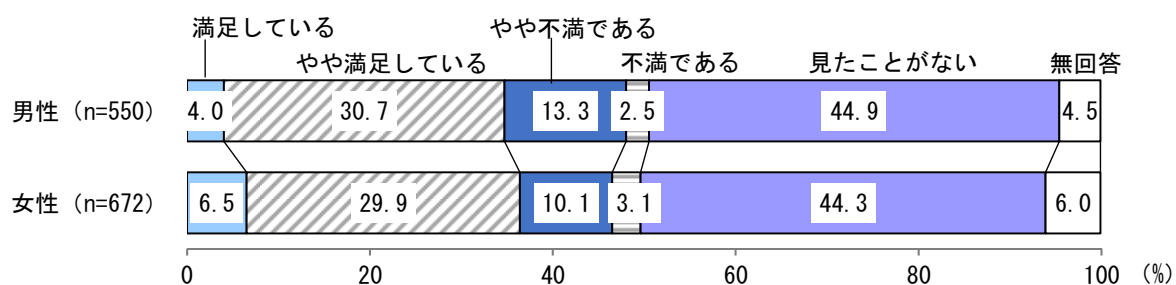
問10 「加古川市のホームページ」について、あなたは、どの程度満足していますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図10 「加古川市のホームページ」に対する満足度】



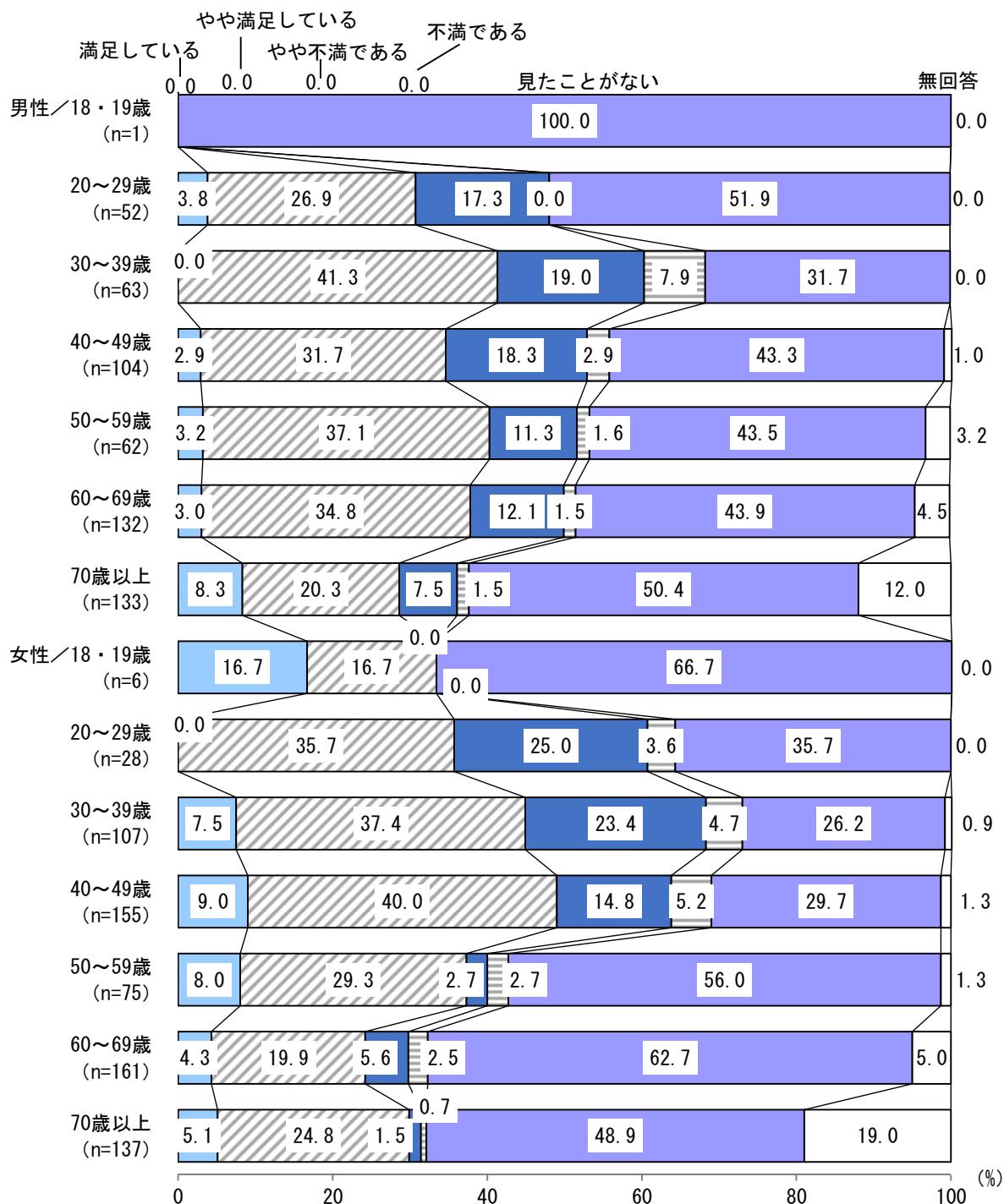
- 「加古川市のホームページ」に対する満足度については、「見たことがない」が45.6%で最も多く、次いで「やや満足している」が29.3%、「やや不満である」が11.4%となっている。「満足している」(5.1%)と「やや満足している」をあわせた『満足』は34.4%で、「やや不満である」と「不満である」(2.9%)をあわせた『不満』は14.3%となっている。(図10)
- 性別でみると、『不満』は女性(13.2%)より男性(15.8%)の方が2.6ポイント高くなっている。(図10-1)

【図10-1 性別 「加古川市のホームページ」に対する満足度】



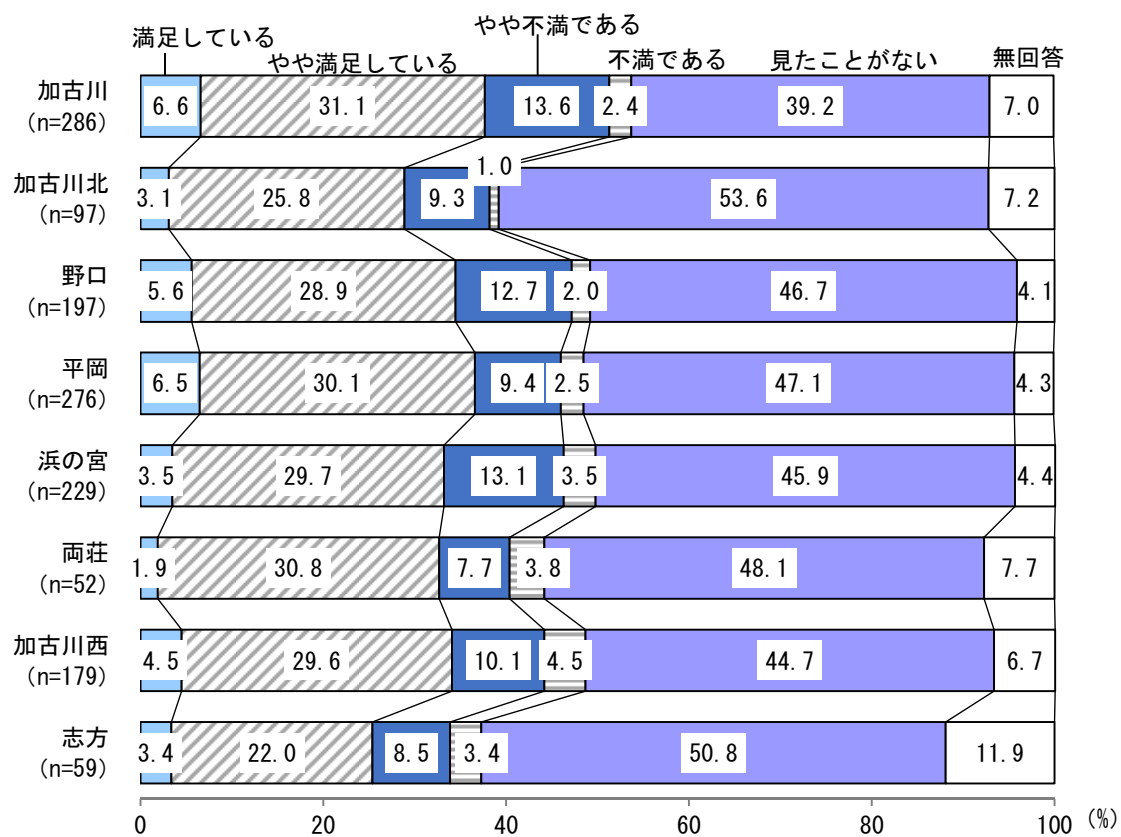
●性年代別でみると、男性の30～40歳代、女性の20～40歳代で『不満』が2割台と高くなっている。また、女性の18・19歳、60歳代では「見たことがない」が6割台と高くなっている。(図10-2)

【図10-2 性年代別 「加古川市のホームページ」に対する満足度】



- 居住地区別でみると、『満足』は加古川地区（37.7%）が最も高くなっている。「見たことがない」は、加古川北地区（53.6%）で最も高く、次いで志方地区（50.8%）となっている。（図10-3）

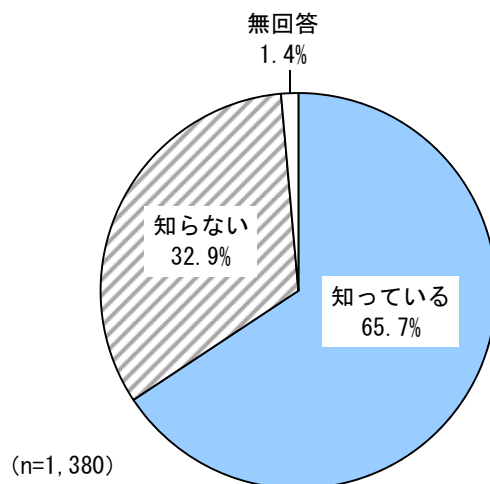
【図10-3 居住地区別 「加古川市のホームページ」に対する満足度】



11. 「棋士のまち 加古川」の認知度

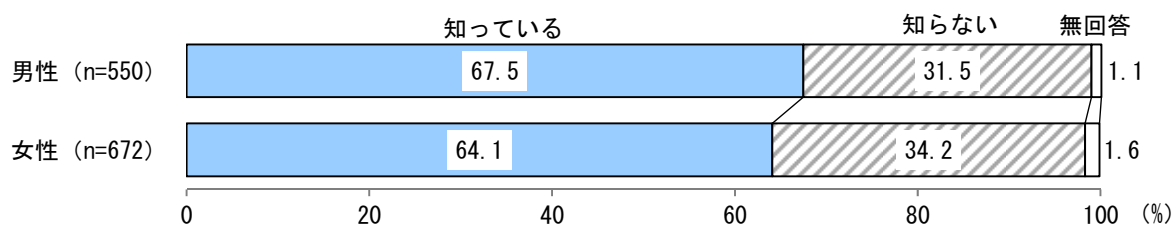
問11 あなたは「棋士のまち 加古川」を知っていますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図11 「棋士のまち 加古川」の認知度】



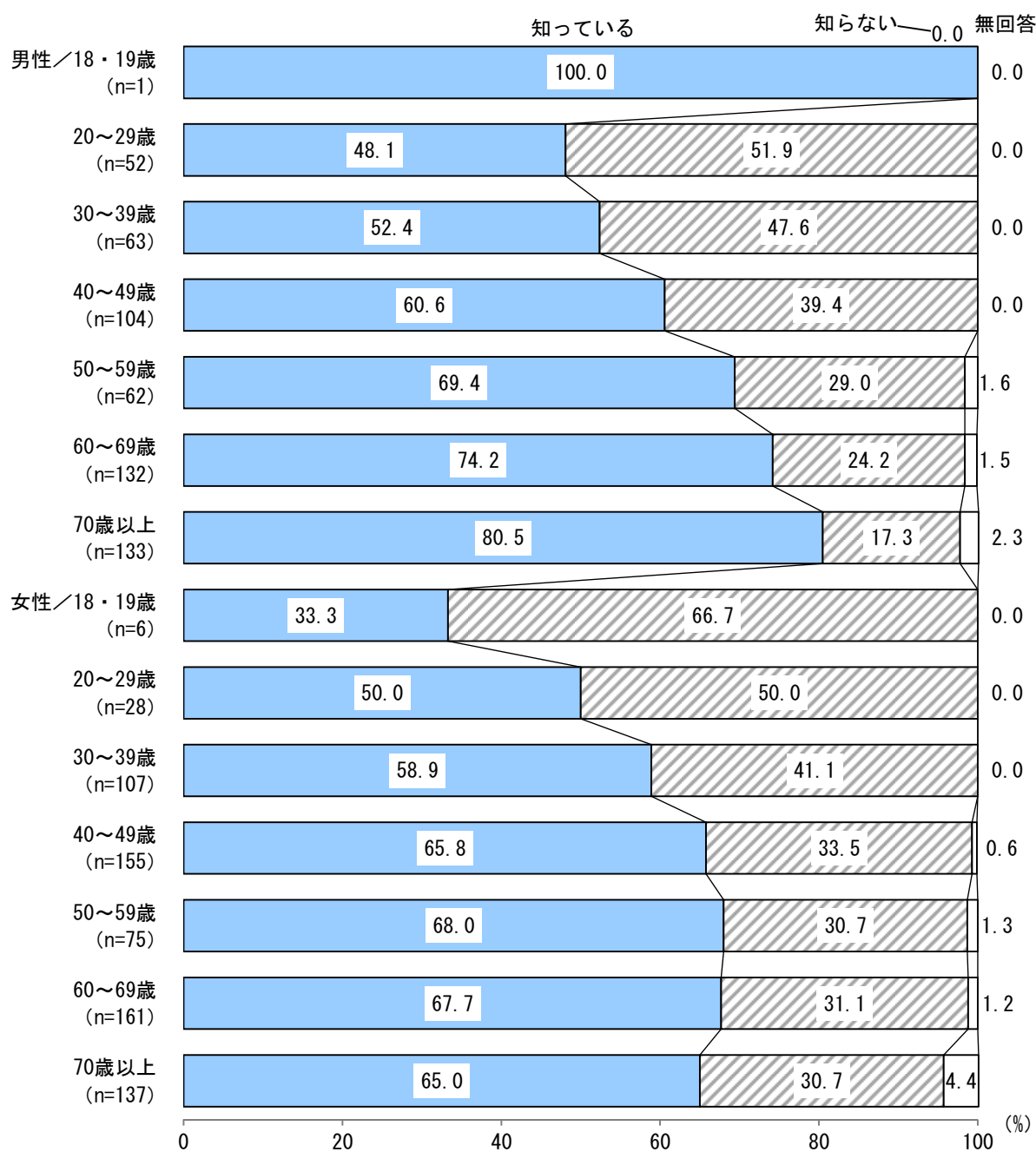
- 「棋士のまち 加古川」の認知度については、「知っている」が65.7%に対し、「知らない」が32.9%となっている。(図11)
- 性別でみると、「知っている」は女性（64.1%）より男性（67.5%）の方が3.4ポイント高くなっている。(図11-1)

【図11-1 性別 「棋士のまち 加古川」の認知度】



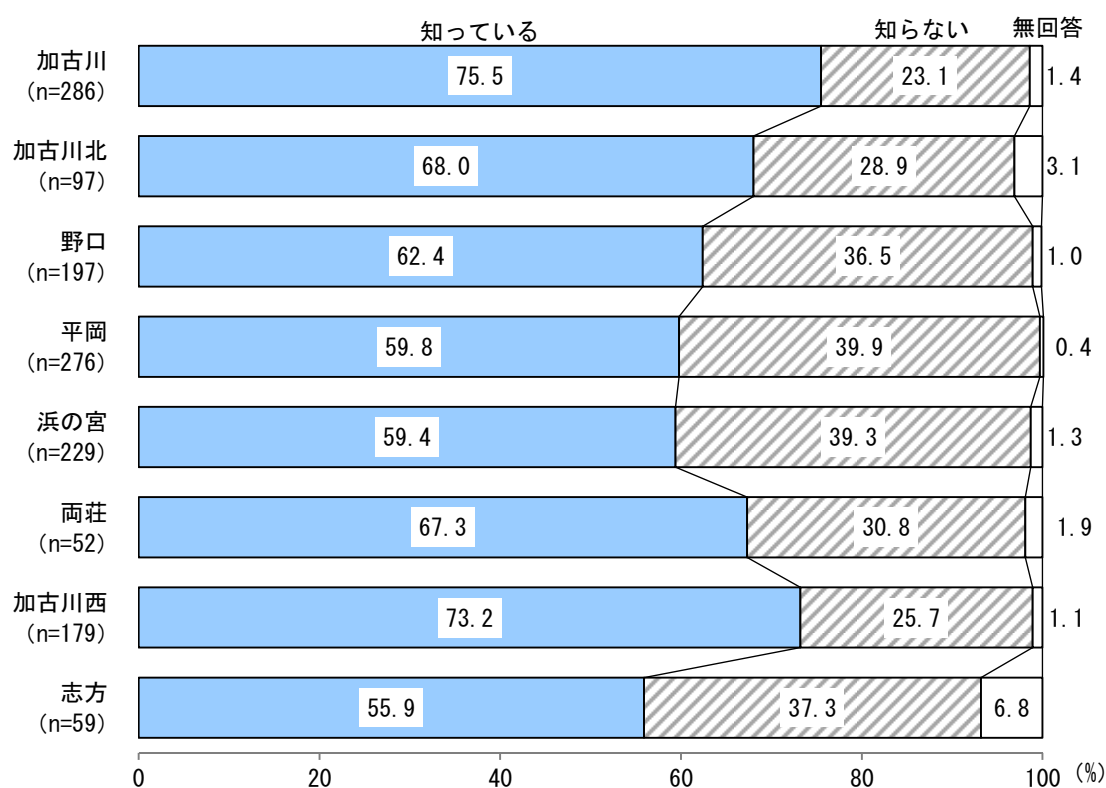
- 性年代別でみると、「知っている」は男性で年代が上がるにつれて割合が高くなっており、60歳代以上では7割以上となっている。(図9-1-2)

【図11-2 性年代別 「棋士のまち 加古川」の認知度】



- 居住地区別でみると、いずれの地区とも「知っている」が5割以上となっており、加古川地区（75.5%）、加古川西地区（73.2%）で7割台と高くなっている。（図11-3）

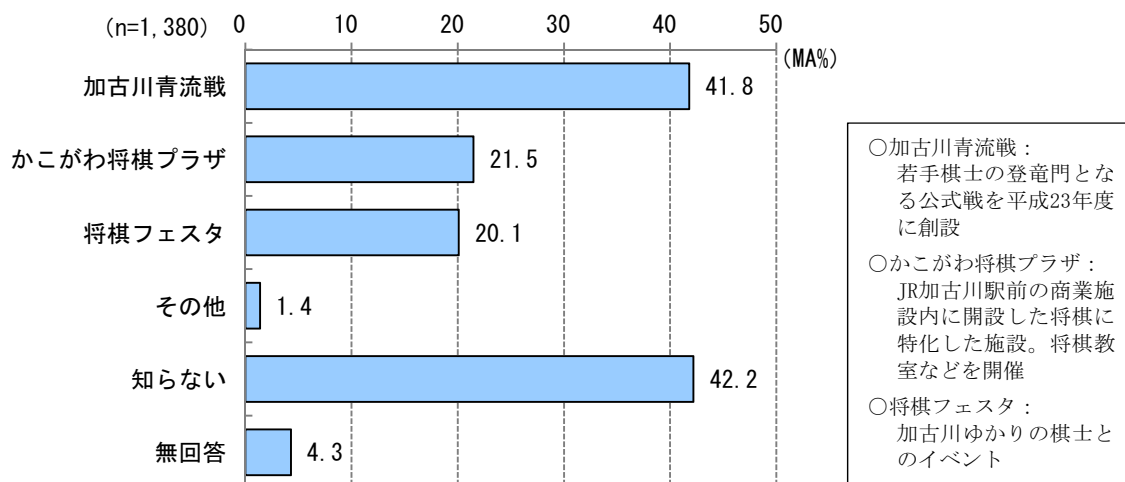
【図11-3 居住地区別 「棋士のまち 加古川」の認知度】



12. 「棋士のまち 加古川」に関する取組の認知度

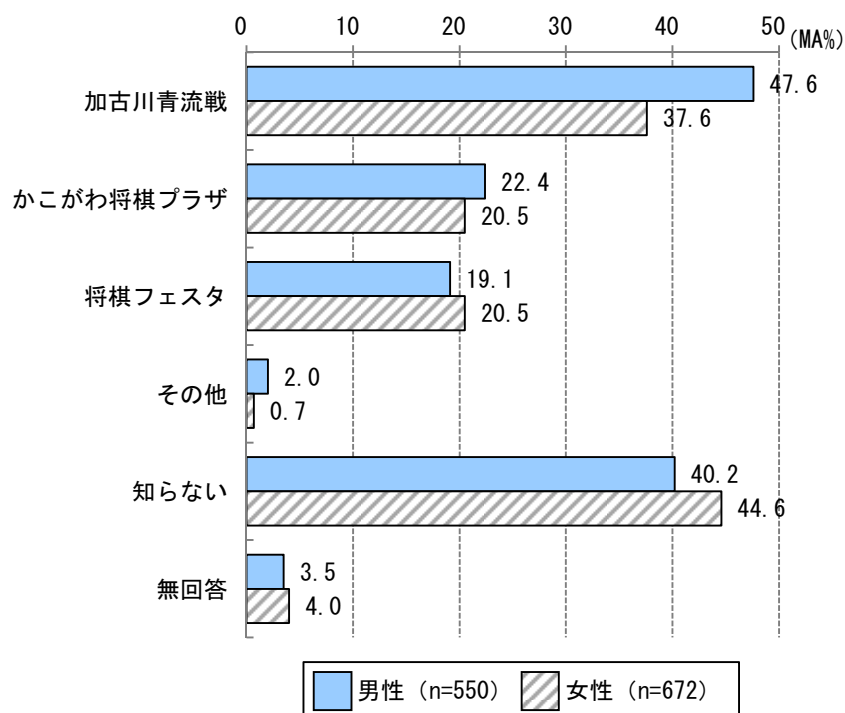
問12 あなたは、「棋士のまち 加古川」に関する以下の取組を知っていますか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【図12 「棋士のまち 加古川」に関する取組の認知度】



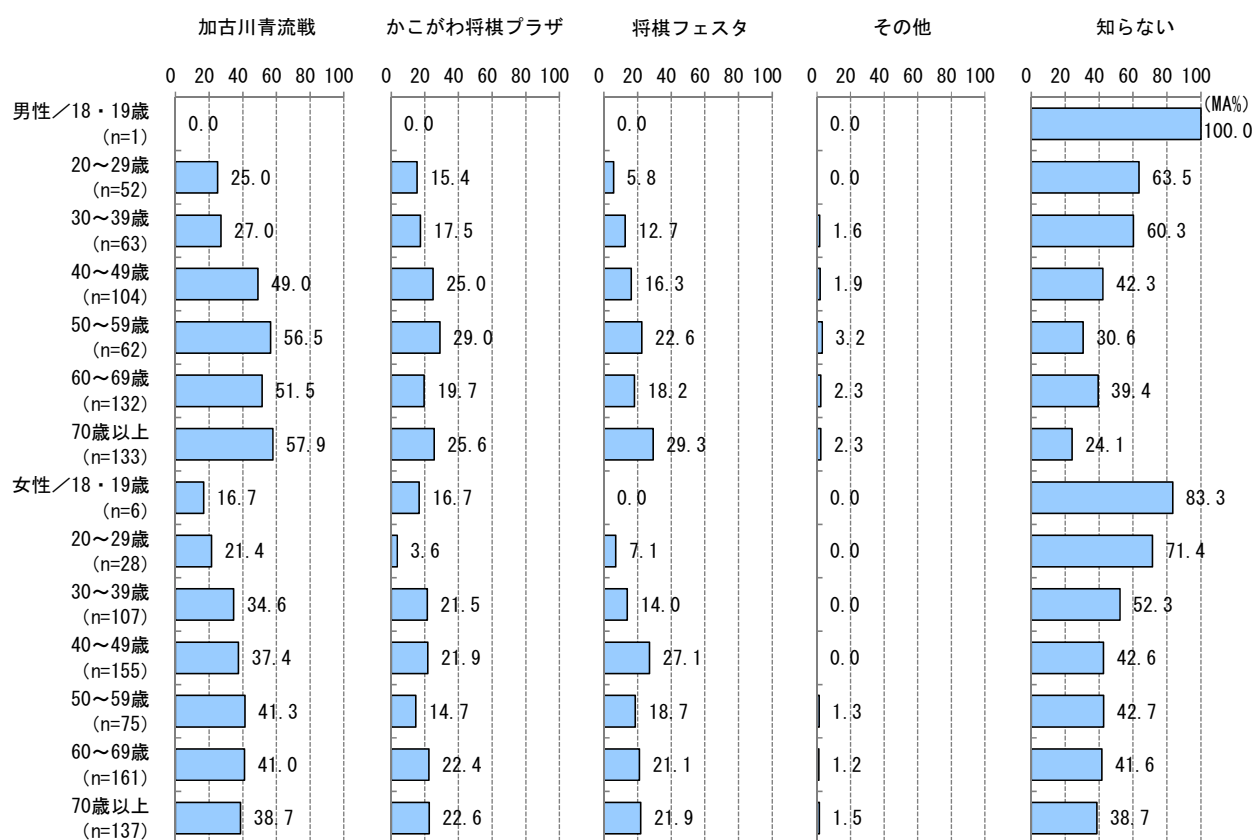
- 「棋士のまち 加古川」に関する取組の認知度については、「知らない」が42.2%で最も多く、次いで「加古川清流戦」が41.8%、「かこがわ将棋プラザ」が21.5%となっている。（図12）
- 性別でみると、「加古川清流戦」は女性（37.6%）より男性（47.6%）の方が10.0ポイント高くなっている。（図12-1）

【図12-1 性別 「棋士のまち 加古川」に関する取組の認知度】



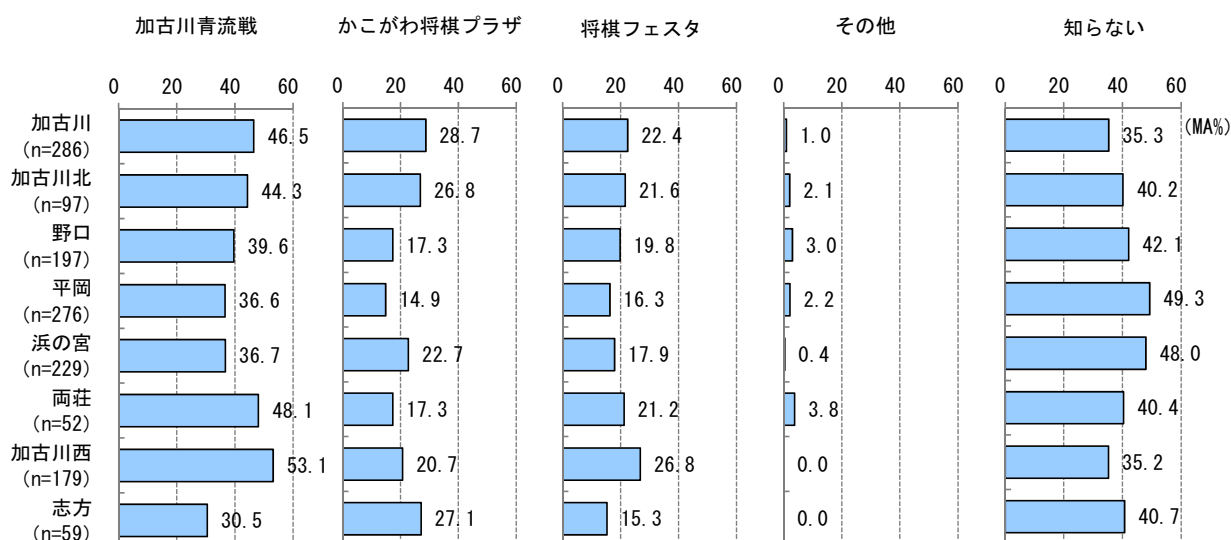
- 性年代別でみると、男女とも「加古川清流戦」「かこがわ将棋プラザ」「将棋フェスタ」では、多少の増減はあるものの年代が上がるにつれて割合が高くなっている。（図12-2）

【図12-2 性年代別 「棋士のまち 加古川」に関する取組の認知度】



- 居住地区別でみると、「加古川清流戦」「将棋フェスタ」は加古川西地区、「かこがわ将棋プラザ」は加古川地区が最も高くなっている。また、「知らない」は平岡地区（49.3%）が最も高く、次いで浜の宮地区（48.0%）となっている。（図12-3）

【図12-3 居住地区別 「棋士のまち 加古川」に関する取組の認知度】

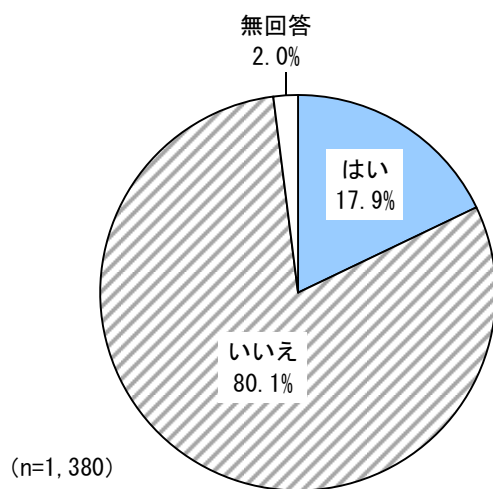


13. 市民活動の参加状況

問13 あなたは、市民活動（※）に参加していますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

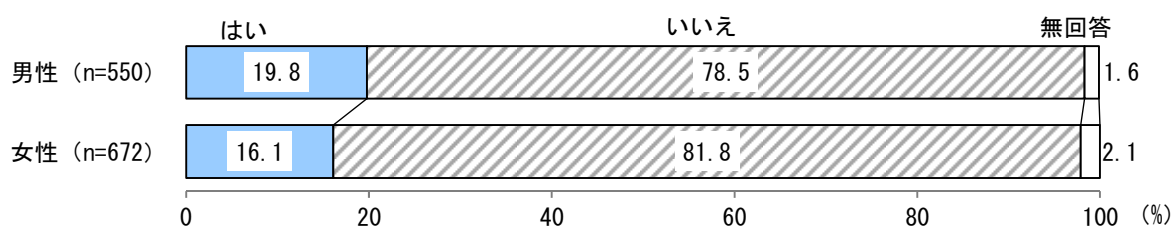
※市民活動とは、営利を目的とせず、多くの人にとって役に立つこと・ためになることを行う活動です。

【図13 市民活動の参加状況】



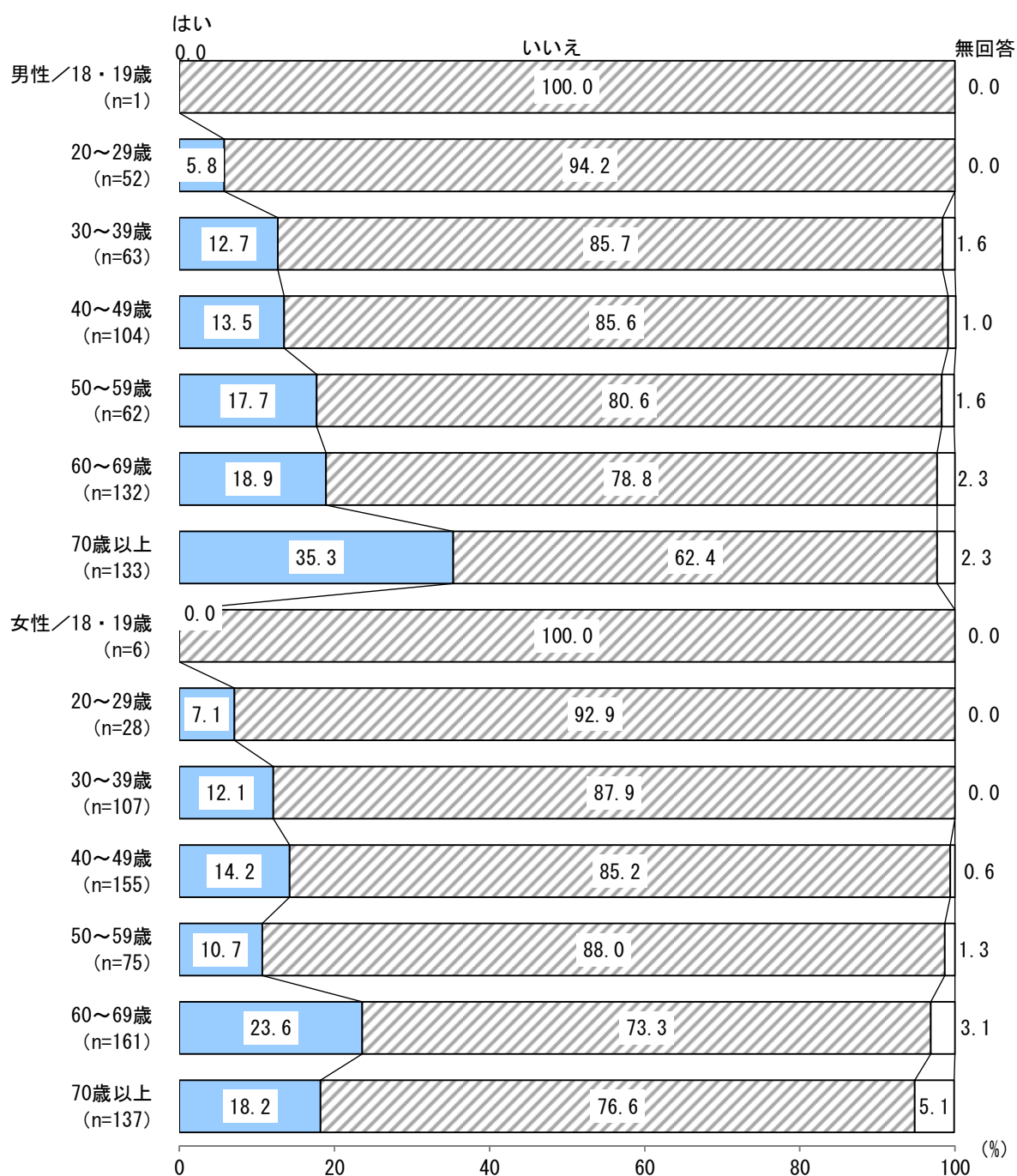
- 市民活動の参加状況については、「はい」（参加している）が17.9%に対し、「いいえ」（参加していない）が80.1%となっている。（図13）
- 性別でみると、「はい」（参加している）は、女性（16.1%）より男性（19.8%）の方が3.7ポイント高くなっている。（図13-1）

【図13-1 性別 市民活動の参加状況】



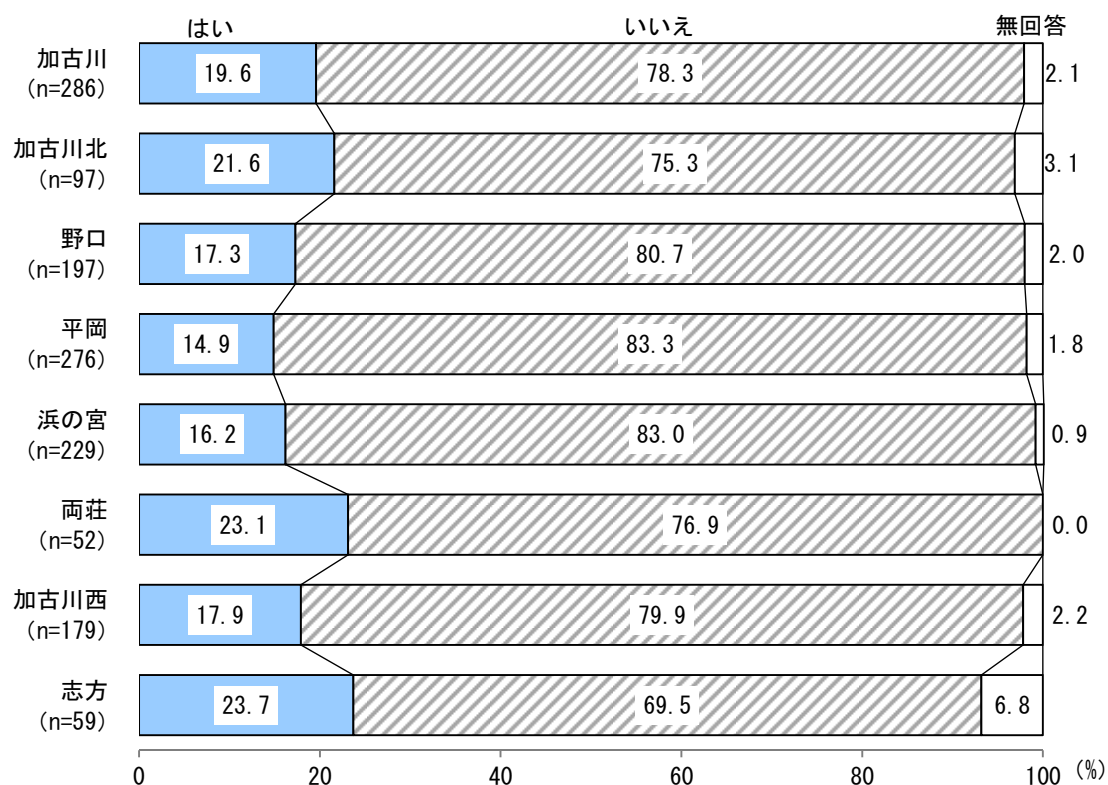
- 性年代別でみると、「はい」（参加している）は、男女とも年代が上がるにつれて割合が高くなっており、特に男性の70歳以上では3割台となっている。（図13-2）

【図13-2 性年代別 市民活動の参加状況】



- 居住地区別でみると、「はい」(参加している)は加古川北地区(21.6%)、両荘地区(23.1%)、志方地区(23.7%)で2割台となっている。(図13-3)

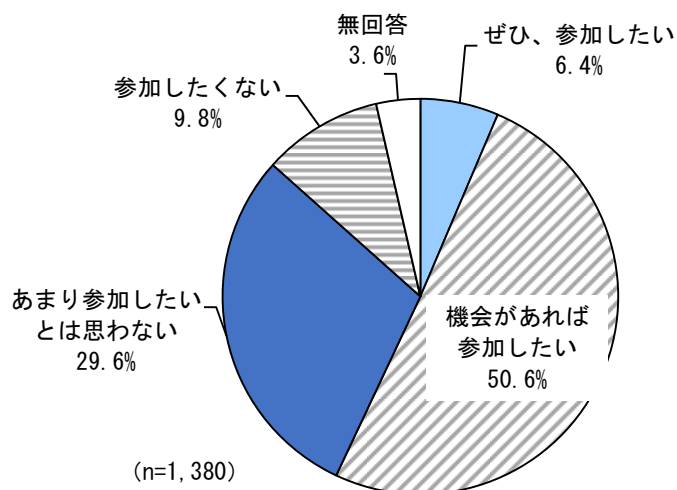
【図13-3 居住地区別 市民活動の参加状況】



14. 市民活動の参加意向

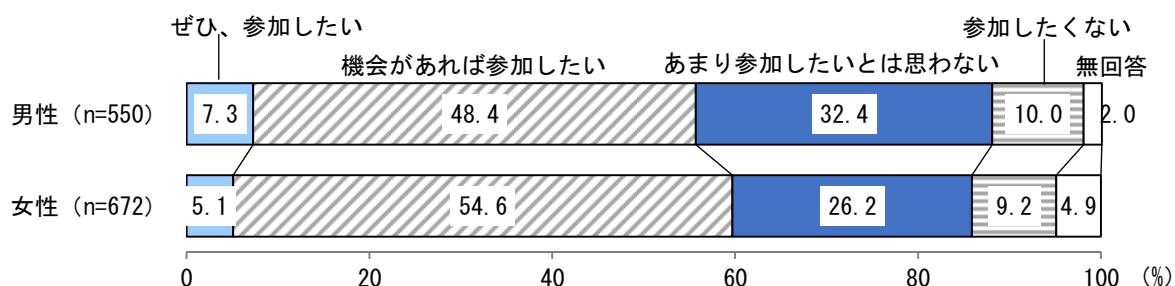
問14 あなたは、市民活動に参加したいと思いますか。現在、何らかの活動に参加されている方は、引き続き活動に参加したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図14 市民活動の参加意向】



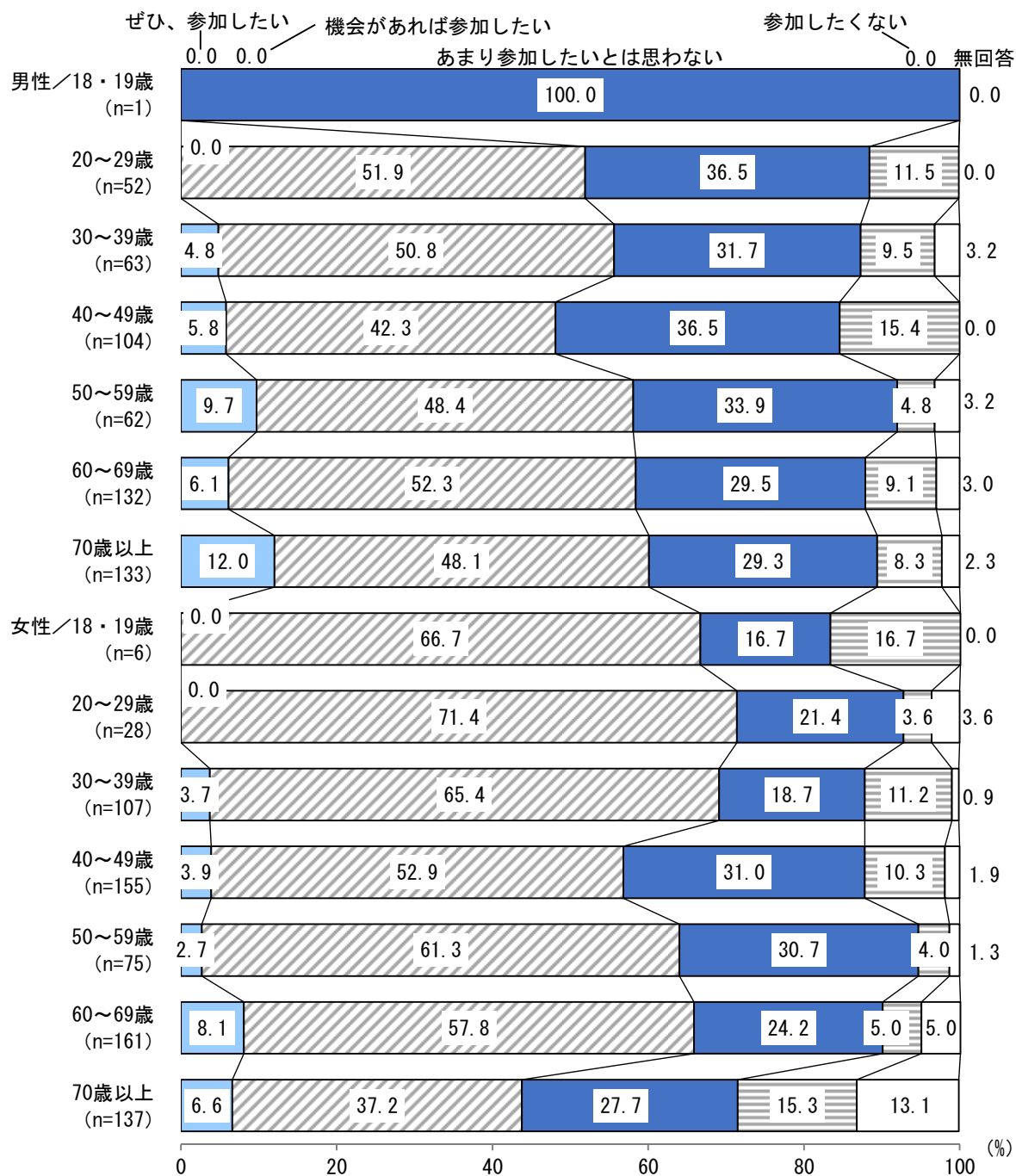
- 市民活動の参加意向については、「機会があれば参加したい」が50.6%で最も多く、次いで「あまり参加したいとは思わない」が29.6%となっている。「ぜひ、参加したい」(6.4%)と「機会があれば参加したい」をあわせた『参加したい』は57.0%、「あまり参加したいとは思わない」と「参加したくない」(9.8%)をあわせた『参加したくない』は39.4%となっている。(図14)
- 性別でみると、『参加したくない』は女性(35.4%)より男性(42.4%)の方が7.0ポイント高くなっている。(図14-1)

【図14-1 性別 市民活動の参加意向】



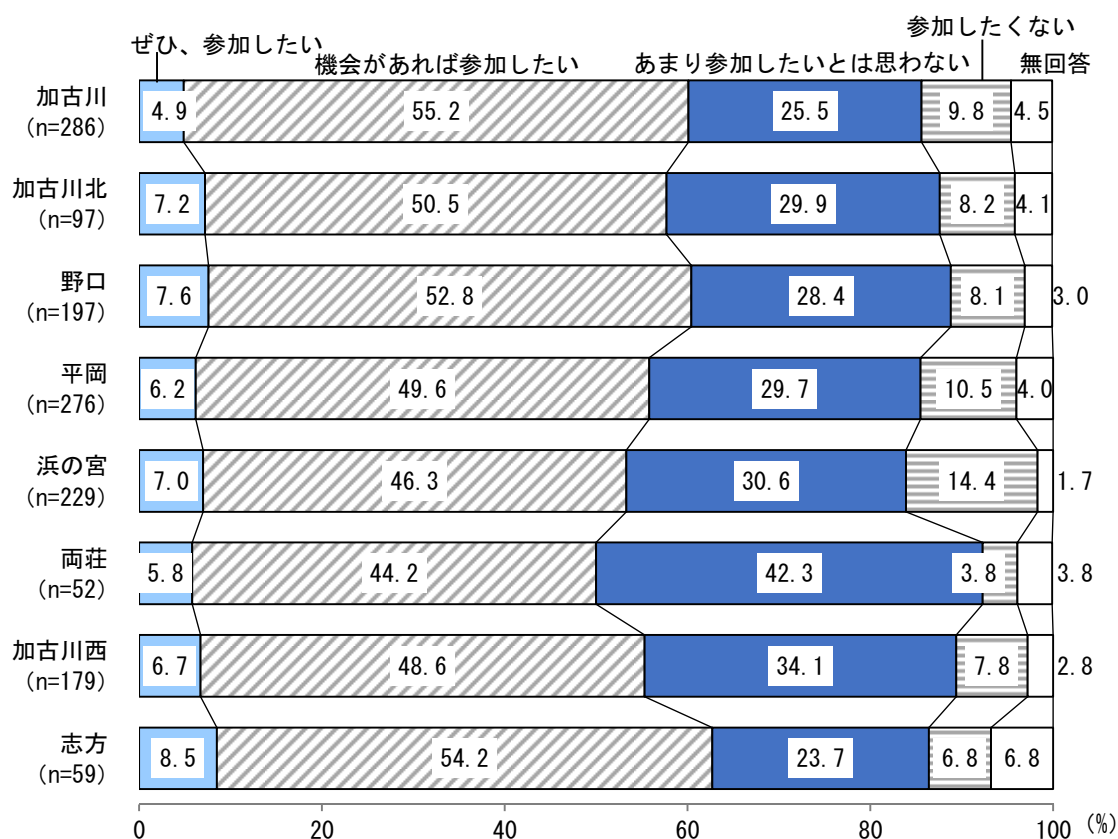
●性年代別でみると、『参加したい』は、男性では70歳以上（60.1%）が最も高くなっている一方で、女性では70歳以上（43.8%）が最も低くなっている。また、『参加したくない』は男性の40歳代（51.9%）で最も高くなっている。（図14-2）

【図14-2 性年代別 市民活動の参加意向】



- 居住地区別でみると、いずれの地区とも『参加したい』が5割以上となっているが、両荘地区では『参加したくない』とあまり差はみられない。(図10-3)

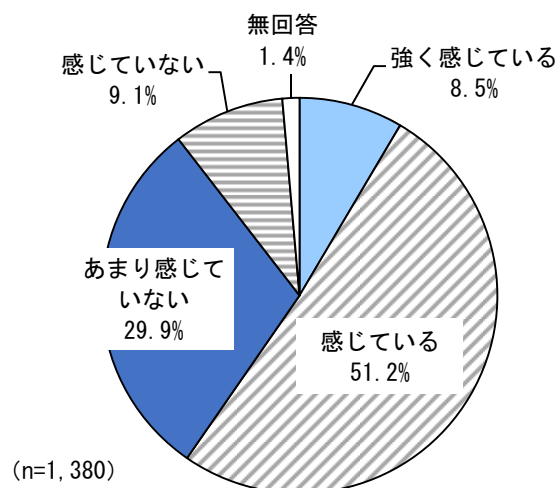
【図14-3 居住地区別 市民活動の参加意向】



15. 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度

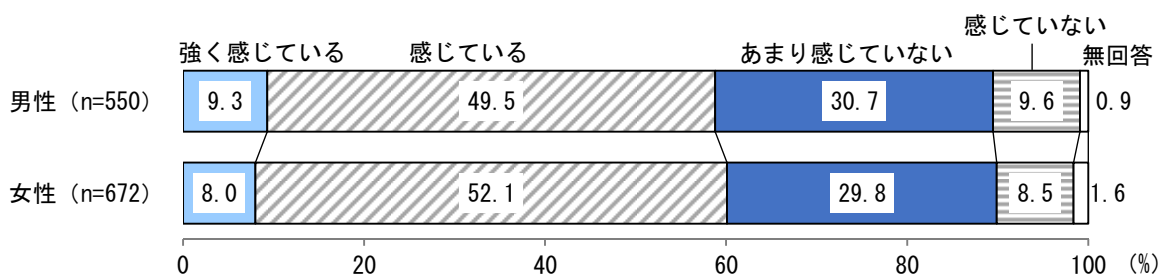
問15 あなたは、加古川市やお住まいの地域に、誇りや愛着を感じていますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図15 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



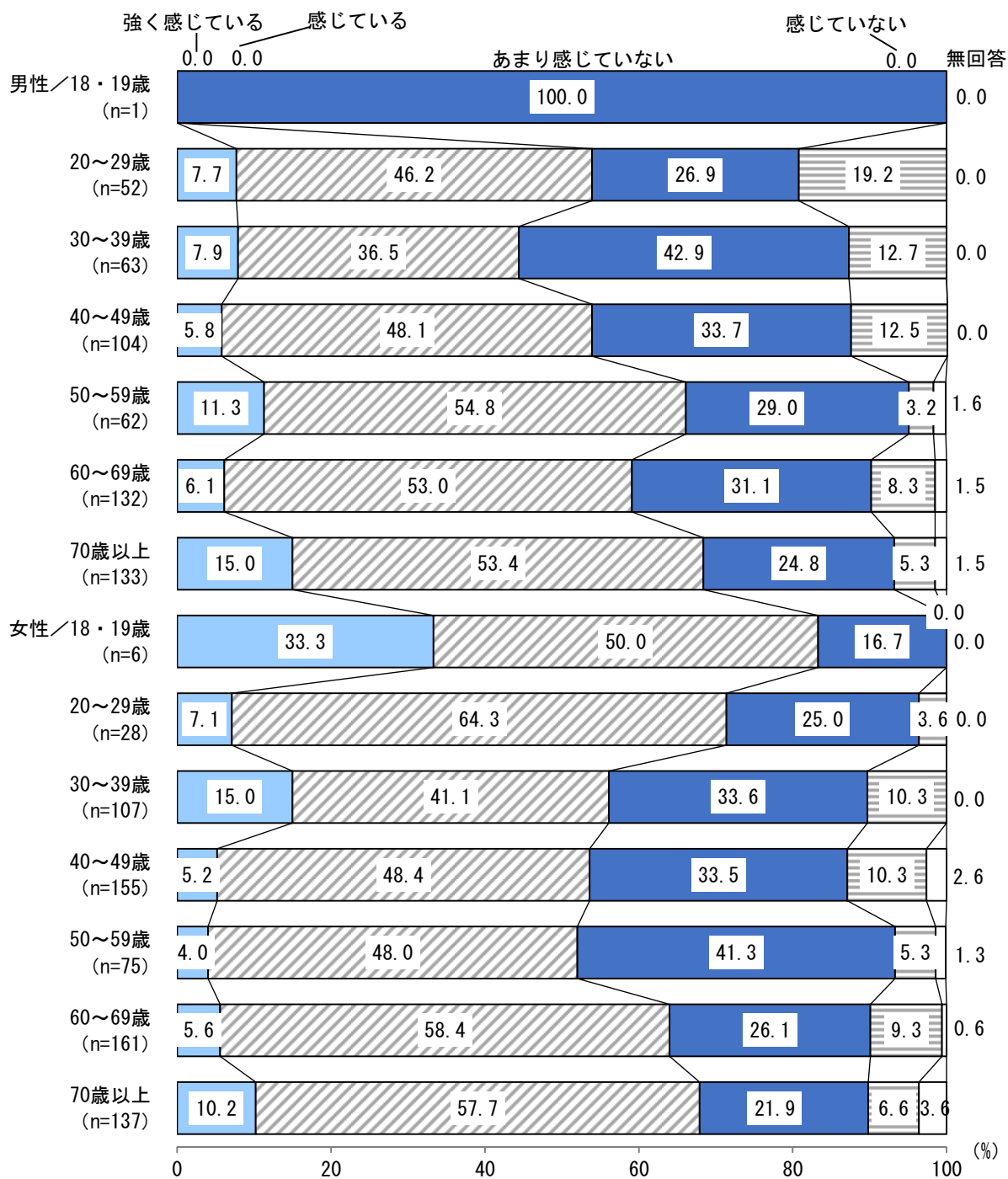
- 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度については、「感じている」が51.2%で最も多く、次いで「あまり感じていない」が29.9%となっており、「強く感じている」(8.5%)と「感じている」をあわせた『感じている』は59.7%、「あまり感じていない」と「感じていない」(9.1%)をあわせた『感じていない』は39.0%となっている。(図15)
- 性別でみると、男女で大きな差はみられない。(図15-1)

【図15-1 性別 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



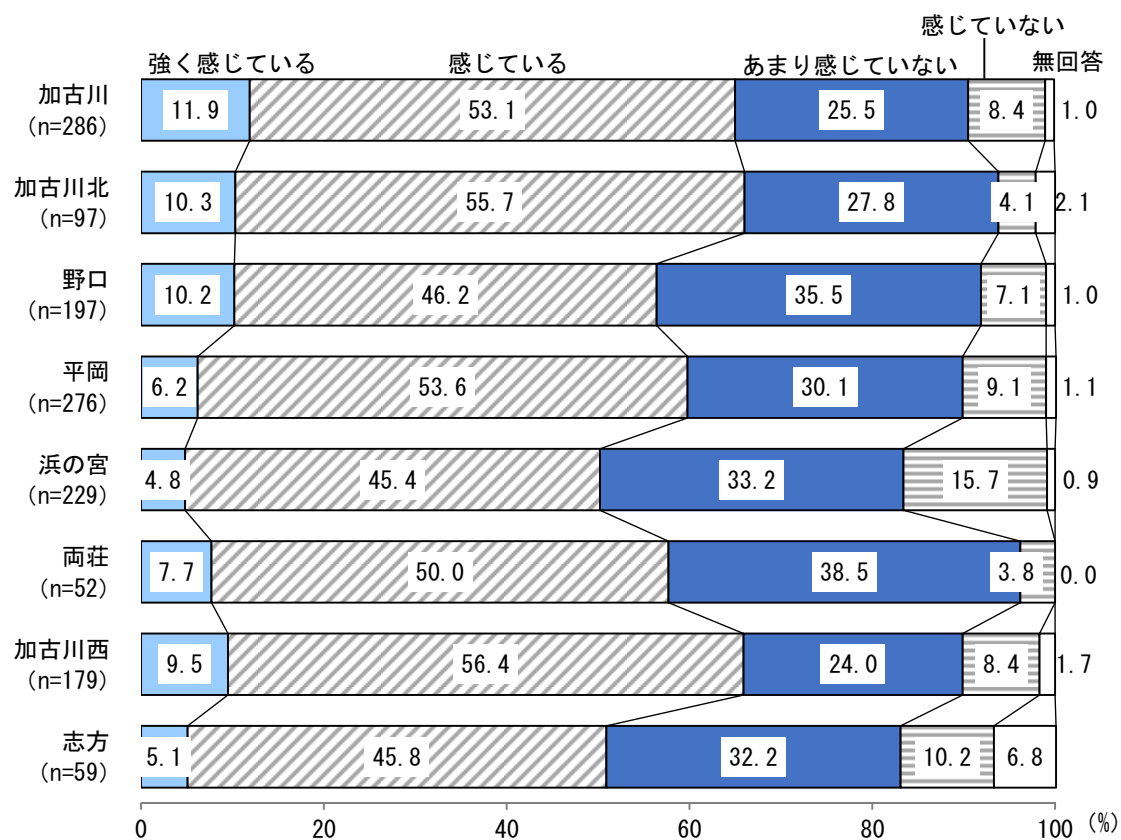
●性年代別でみると、『感じていない』は男性の30歳代で5割台と高くなっている。(図15-2)

【図15-2 性年代別 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



●居住地区別でみると、いずれの地区とも『感じている』が5割以上となっている。(図15-3)

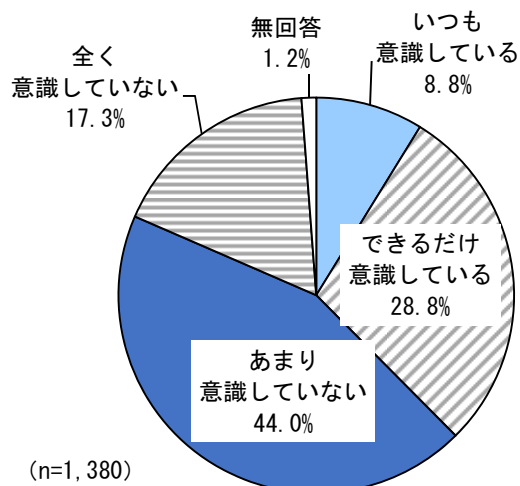
【図15-3 居住地区別 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



16. 加古川産を意識した農畜産物の購入状況

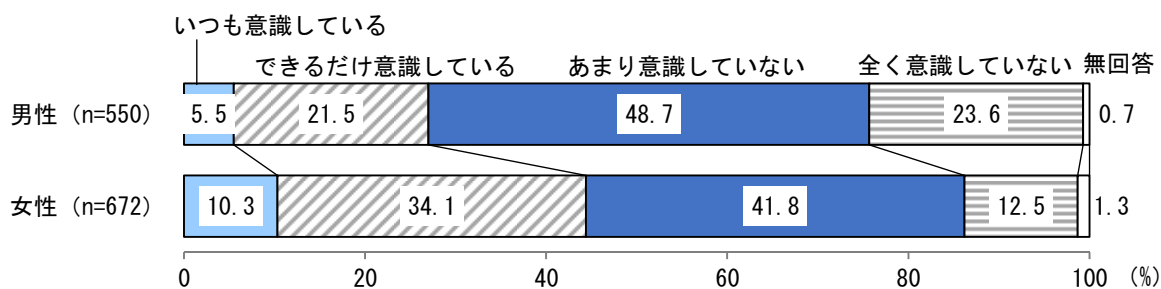
問16 あなたは肉、野菜、果物などの農畜水産物を購入するとき、加古川産（地産品であること）を意識しますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図16 加古川産を意識した農畜産物の購入状況】



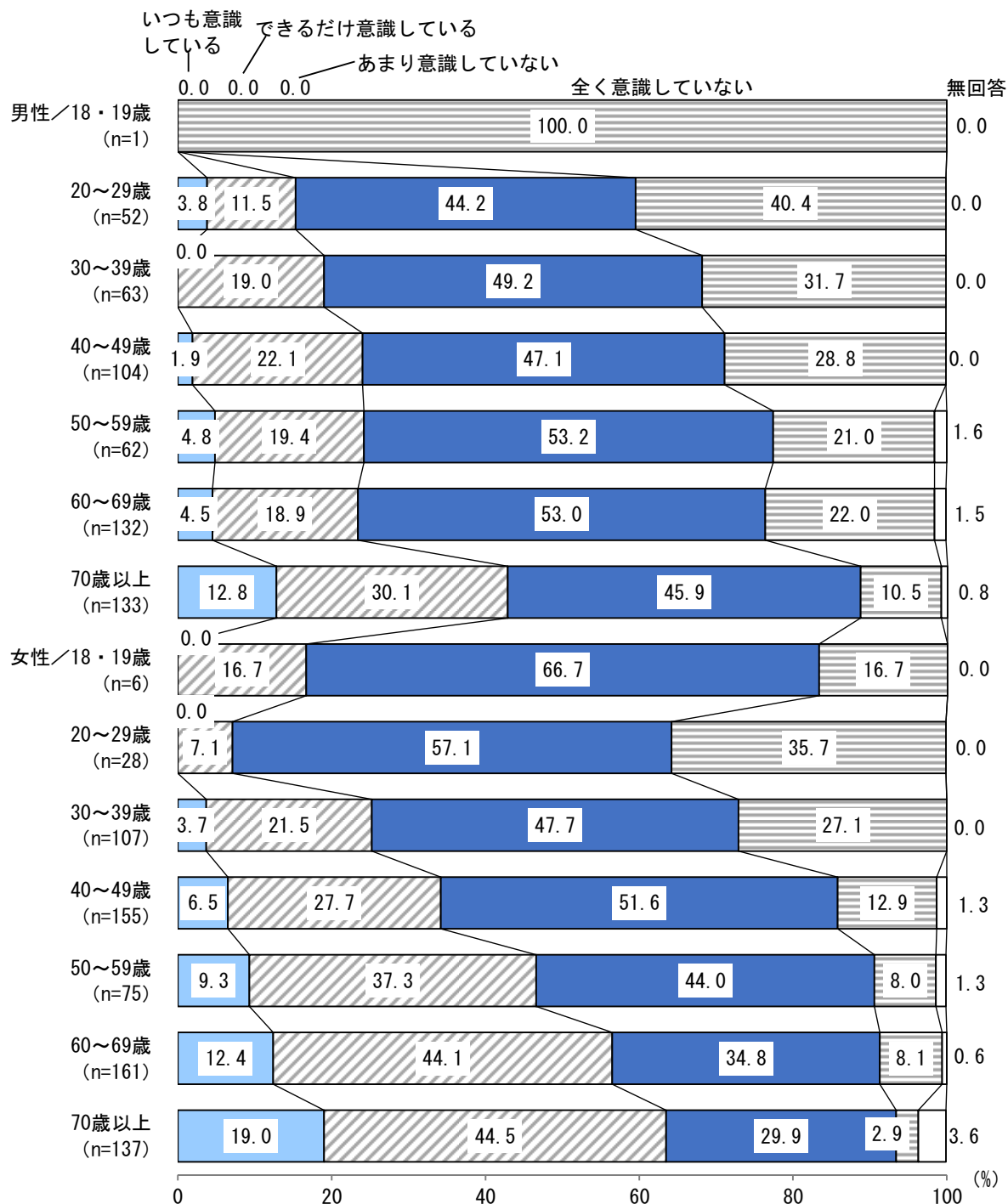
- 加古川産を意識して農畜産物を購入しているかについては、「あまり意識していない」が44.0%で最も多く、次いで「できるだけ意識している」が28.8%、「全く意識していない」が17.3%となっており、「あまり意識していない」と「全く意識していない」をあわせた『意識していない』は61.3%となっている。（図16）
- 性別でみると、『意識している』（「いつも意識している」と「できるだけ意識している」をあわせた割合）は男性（27.0%）より女性（44.4%）の方が17.4ポイント高くなっている。（図16-1）

【図16-1 性別 加古川産を意識した農畜産物の購入状況】



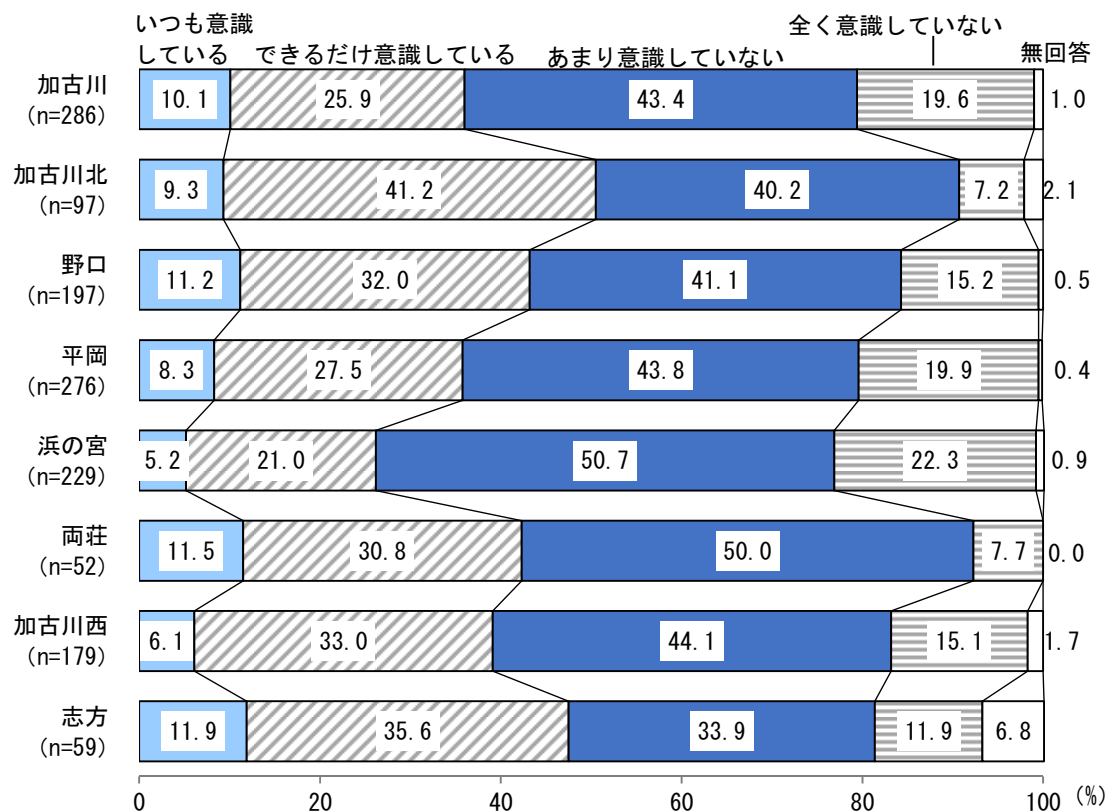
- 性年代別でみると、『意識している』は、男女とも年代が上がるにつれて割合が高くなっており、20歳代を除いたいずれの年代も、男性より女性の方が高い割合となっている。
(図16-2)

【図16-2 性年代別 加古川産を意識した農畜産物の購入状況】



- 居住地区別でみると、『意識している』は加古川北地区(50.5%)で最も高くなっている。
また、『意識している』が『意識していない』を上回っているのは、加古川北地区、志方地区となっている。(図16-3)

【図16-3 居住地区別 加古川産を意識した農畜産物の購入状況】



17. 自由意見

有効回答数1,380件のうち、記述があったのは612件で、テーマごとに分類して集計した結果、意見の延べ件数は822件となった。分類した結果は以下のとおりである。（主な意見を掲載）

1	ともに支え合う福祉社会の実現について	87件
a	子育て支援	51件
	・ 中学3年生まで医療費を無料にしてほしい。 ・ 保育料が高い。 ・ 長期休暇中の児童クラブは、もう少し早い時間から開始してほしい。	
b	高齢者福祉	16件
	・ 高齢者が地域の中で活躍できるように考えてほしい。 ・ 独居老人と高齢の夫婦二人暮らしや空き家が増え、将来が不安。 ・ 食料や衣料品等の買い物に不自由を感じている。病院に行くのも不便で、将来一人になった時が不安。 ・ 高齢者施設などに入居している人が、快適に安心して過ごせる環境をつくってほしい。	
c	障がい者福祉	4件
	・ 障害者に対する福祉サービスをもっと充実させてほしい。	
d	福祉全般	16件
	・ 若い世代が介護を理由に、退職するような状況にならないような制度を作ってほしい。 ・ 福祉にボランティアや高齢者の技術を有効活用すれば良いと思う。	
2	健康づくりや地域医療の充実について	19件
a	健康づくり活動の支援	2件
	・ 近くの大きな公園に行けば、誰でも無料で参加できる健康体操やヨガがあればと思う。	
b	地域医療体制	17件
	・ 加古川中央市民病院の医師や施設などの質をさらに向上させてほしい。 ・ 加古川西側にも医療機関を充実させてほしい。 ・ 深夜12時以降も対応できる小児科救急がないので不安である。	
3	市民生活の安全・安定の確保について	73件
a	防犯・交通安全対策	55件
	・ 防犯対策や交通マナーの取り締まりを強化してほしい。 ・ 空家対策が必要だと思う。 ・ 暴走族がうるさい。危険運転が多いため、取り締まりを強化してほしい。 ・ 防犯への取組を強化すべき。加古川市は治安が悪いと思われがち。 ・ 街灯を増やしてほしい。 ・ 東加古川駅北側周辺には信号が無く、危険だと思う。	
b	地域の防災体制	18件
	・ 市として防災の取組を増やしてほしい。東海地震や集中豪雨による川の氾濫等、懸念される事項がある中、地域防災をさらに進めてほしい。 ・ 川の近くに住んでいるので、津波に関する避難訓練をしてほしい。 ・ 避難指示や勧告が出ても、指定の場所が遠くて行けない。 ・ 地震対策を行ってほしい。	

4 学校教育の充実について	24件
a 学習環境の整備	22件
・中学校に早く給食を取り入れてほしい。 ・特色ある人材を輩出するため、スポーツ・芸術に特化した高校の誘致、中高一貫教育の実施を進めてはどうか。 ・学校にICTを導入してほしい。(電子黒板・タブレット・パソコン等)	
b 特別支援教育	2件
・発達障がい児などへの支援を充実させてほしい。	
5 地域における教育・学習環境の整備について	6件
a 生涯学習の機会や学習環境	6件
・スポーツ施設や生涯学習の場を増やしてほしい。高齢者をもっと地域に関われるようにしてほしい。 ・公民館がもっと気軽、気楽に利用できれば、利用する団体や人が増加するのではないか。	
6 スポーツや文化・芸術の振興について	30件
a スポーツ・レクリエーション活動、文化・芸術の機会提供	30件
・スポーツ施設などをもっと充実させてほしい。 ・加古川駅付近に、文化施設がほしい。 ・異文化に触れられるイベントや、人と人が交流できるイベントを開催してほしい。	
7 地球環境と地球の環境の保全について	30件
a 自然環境の保全	12件
・花いっぱい活動を今後も続けてほしい。 ・河川敷のゴミ掃除や草刈りを、定期ではなく状況によって臨機応変に対処してほしい。	
b 大気や水質・騒音等の環境対策	18件
・大気汚染にかかわる環境基準が守られているのか詳しく検査してほしい。 ・加古川河川敷でのバーベキューや花火の音がうるさい。	
8 資源の循環と環境美化の推進について	41件
a ごみの減量・不用品のリサイクルの推進	25件
・ゴミステーションに分別方法などの看板を設置してほしい。 ・大型ゴミの有料化で困る。粗大ごみの有料化で、不法投棄が増えるのではないかな。 ・公共の場・お祭りイベント・大規模店舗などで、ゴミ分別の啓発をすべき。また、子ども達への啓発も重要だと思う。	
b ポイ捨てやペットのふん害防止	15件
・ペットの糞尿放置に対して罰則を与えてほしい。 ・ゴミや煙草のポイ捨てが多く、困っている。 ・加古川駅周辺での路上喫煙における対策を進めてほしい。 ・ゴミ捨てのマナーが悪い。河川敷がゴミで汚い。(バーベキューの後始末が悪い)	
c 落ち葉や水路の清掃	1件
・水路に落葉等が詰まって困っている。	
9 農業・水産業について	6件
a 農業の振興	6件
・耕作放棄地が出ないように後継者不足を解消してほしい。 ・若い人たちに向けた農業振興をしてほしい。 ・安全、安心な農産物の供給。	

10 工業・地場産業の振興について	6件
a 産業の活性化 ・働く場を今後も継続的に維持できるように、新しいマーケットに対応できる企業の育成に力を注いでほしい。	3件
b 地場産業の活性化 ・地場産業の食材を使ったイベントを増やしてほしい。	3件
11 商業・観光の振興について	39件
a 商業の活性化 ・商店街などを活性化させてほしい。 ・加古川駅南に、もっと魅力ある店や飲食店があればいい。 ・商業施設のリニューアルで地域を活性化させてほしい。 ・北部に住んでいるが、近くにスーパーが無く、高齢になると困るのではないかと心配している。 ・加古川駅前通りの商店街が整備され立派になり嬉しい。	26件
b 観光資源の有効活用・観光事業の活性化 ・古墳や御陵を美しく整備し、内外にアピールしてほしい。 ・歴史的な建造物が多くあるので、観光に力をいれてPRしてはどうか。 ・外国人には住みにくい。五輪を見据え、姫路や神戸への観光客の流れに乗る工夫が必要。	13件
12 機能的・効率的なまちの形成について	178件
a 都市基盤の整備 ・東加古川地域にも気軽に利用できる施設をもっとつくってほしい。 ・図書館の駐車場が狭いので、別の場所にも駐車場をつくってほしい。 ・加古川駅周辺の活性化（若者が集まる商業施設がほしい） ・加古川市西部は東部や中心部に比べてバス路線も無くなり買い物は不便になり、将来に不安を感じる。 ・駅周辺に無料駐車場が無く不便。 ・市の古い施設にエレベーターが無く、駐車場が狭いなど、ベビーカーで入れない所がある。 ・老朽化した水道管を早急に取り替えてほしい。	45件
b 幹線道路の整備 ・道路整備をし、渋滞を解消してほしい。 ・渋滞緩和のために新たな橋を建設してほしい。 ・東播磨自動車道を早く小野市まで延長してほしい。	44件
c 公共交通 ・高齢者が外出しやすいようにバス路線などの見直しをして交通機関を充実させてほしい。 ・運転免許証返納後の交通手段の支援が必要。 ・バスの路線、本数を増やしてほしい。 ・市内の公共交通機関をもっと充実させてほしい。	89件
13 安全・快適な暮らしの基盤の整備について	90件
a 地域内道路の整備 ・通学路の安全確保や段差をなくすなど道路整備をしてほしい。 ・道路の凸凹が目につく。 ・歩道の舗装整備 ・自転車専用道路を作してほしい。 ・歩道が少なく、車と人がギリギリですれ違う場所が多く危ない。 ・道路の端にある溝に、グレーチングがされていない場所があり危険を感じる。	52件
b 公園・緑地や水辺の整備 ・子どもが満足に遊べる大きな公園をつくってほしい。 ・複合遊具を設置した公園を増やしてほしい。 ・市内に緑あふれる公園を増やしてほしい。 ・日岡山公園は、多目的に使える広場がない。	38件

14 まちづくりの進め方について		131件
a まちの全体像		53件
・安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。 ・歴史をいかしたまちづくりにしてほしい。 ・高齢者ばかりでなく、子どもをもつ家庭にもやさしいまちづくりをしてほしい。 ・海や山などの自然をいかしたまちづくりをしてほしい。 ・働く世代が満足できるまちにしてほしい。(休日や夜間営業の行政窓口やインターネットでできる手続き等) ・夫婦・子ども・親、みんなにとって住みやすい加古川市になってほしい。 ・市民のためのまちづくりをしてほしい。 ・高齢者の生きがいのあるまちづくりを目指してほしい。		
b 市民活動や行政との協働		9件
・市民が地域活動に積極的に参加できるようになってほしい。 ・町内会(自治会)に入っていない地域(マンション)は、今後の市との連携がどうなるのか不安。 ・町内会活動、子供会活動が充実している地域は活気があると思う。地域で長く住むためには、近所同士や町内でのつながりが必要であり、活動が盛んになるよう住民主体で取り組まなければいけないと思う。また、そういった動きに対し、市からも支援してもらいたい。		
c 行政		69件
・市の特色を市民と共有し意識づける広報が必要だと思う。 ・税金の無駄遣いがないようにしてほしい。 ・個人個人が加古川について考え、行動することができるまちづくりが必要。まずは市の職員ができているのか、市民はよく見ていると思う。 ・市政がどのような事を行っているのか、情報が入らない。分かりやすくみんなに発信してほしい。		
15 その他		62件
a アンケート		14件
・今回のアンケートにより、まちづくりについて意識を向けることができた。 ・回答者が自分の思いを適切に表現できる選択肢にしてほしい。 ・若者や高齢者それぞれにとって、答えやすい分野や答えにくい分野があった。 ・調査票が届いて加古川に住んでいることを考える良い機会となった。これからの生活をどうしたいか考えたい。		
b その他		48件
・車を運転できない人には住みにくいまちだと思う。 ・若い人の意見を取り入れてほしい。 ・もっと個人個人はゆとりを持ち、相手を気遣いながら生活できる環境を作してほしい。 ・少子高齢化を見据えて、もっと大胆な企画を行うことが必要。 ・加古川市に住んではいるが、職場が地元でないと市に関心を持つことがない。 ・70歳になればバス等の利用になるので、買い物などが不便になるし、地域コミュニティーも今は仕事のため不参加であり、便利に過ごせるところに引越し先を考えている。		
延べ件数		822件

Ⅲ 総括

1. 全体考察

■ 回答者について

回答者は高齢者の割合が高く、60歳以上の割合が約5割を占めており、この傾向が全体の回答結果にも影響しているものと考えられます。また、約7割の人が、加古川市での居住年数が20年以上となっています。

職業については、「会社員、公務員」が約3割、「無職」が約2割となっています。通勤・通学をしている人のうち、通学・通勤先は、約半分が市内、残り半分が市外となっています。また、通勤・通学をしている人の半数以上は、「自動車」を利用しています。

■ 定住意向について

6割以上の人が、加古川市での定住意向があると回答しています。女性よりも男性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、定住意向が強い傾向がみられます。地区別にみると、加古川西地区において、最も強い定住意向がみられます。

定住意向がない人のうち、転居したい理由としては、買い物や医療機関へのアクセスが不便であることや、景観・まちなみに魅力がないことなどが挙げられています。性年代別にみると傾向は異なり、40歳代男女では通勤・通学の利便性、30歳代女性では子育て環境の充実を求める声が理由として挙げられています。地区別でも傾向は異なり、加古川北地区では福祉サービスの充実を求める声が多く挙げられています。

また、市外への転居を希望する人のうち、転居先としては、神戸市を希望する人が約3割、明石市を希望する人が1割半ばとなっています。30歳代女性では、明石市を希望する人が約4割となっています。

■ 満足度・重要度について

満足度では、「水道水の供給」や「下水道の整備」、「消防や救急・救命体制」などへの評価が高いものの、「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「地域内の道路の安全性や便利さ」などへの評価が低くなっています。

重要度では「安心できる医療体制」や「介護保険など社会保障制度の適正な運営」などが上位となっています。

重要度が高い一方で満足度が低くなっている項目は「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「地域内の道路の安全性や便利さ」、「介護保険など社会保障制度の適正な運営」、「加古川駅周辺の都心としての魅力」などとなっています。

■ 防災対策・防犯対策について

防災対策として何の取組も行っていない人は約4割、防犯対策として何の取組も行っていない人は約3割となっています。防災対策よりも防犯対策について、家庭での取り組みをしているという割合が高くなっています。

■ 家族等の介護状況について

現在、家族等の介護を行っている人は1割半ばとなっています。男性よりも女性の方がその割合は高く、年齢別にみると、50歳代が最も高くなっています。地区別にみると、加古川北地区、両荘地区、志方地区で、その割合が高くなっています。

介護の対象者が自身もしくは配偶者の親であると回答した人は6割半ばとなっています。地区別にみると傾向が異なり、加古川西地区では「配偶者」、浜の宮地区では「祖父母」、両荘地区では「兄弟・姉妹」がそれぞれ他の地区よりも高くなっています。

また、介護をする上で困っていることとして、身体的・精神的負担を挙げる人が多く、男性よりも女性の方が、その負担を感じている傾向がみられます。加古川北地区では、特に困っていないという回答が他の地区と比べて高くなっています。

■ 市政に関する情報や「広報かこがわ」「加古川市のホームページ」について

約9割の人が、市政に関する情報については「広報かこがわ」から入手していると回答しています。町内会の回覧からという回答も多く、男性で5割、女性で6割となっています。

広報かこがわについて、約8割の人が『満足』（「満足している」「やや満足している」の合計）と回答している一方で、30歳代以下男性、20歳代以下女性では、読んだことがない人が1割以上となっています。

市のホームページについては、「見たことがない」という人が4割半ばと最も多くなっています。加古川北地区では見たことがないという人が5割を超えており、他の地区と比べて最も高くなっています。

■ 「棋士のまち 加古川」について

「棋士のまち 加古川」について知っている人は6割半ばとなっています。性年代別にみると60歳以上男性で比較的高くっており、7割以上が知っているという回答をしています。地区別にみると、加古川地区、加古川西地区で、知っているという回答した人が7割台となっています。

「棋士のまち 加古川」に関する取組の認知度については、女性よりも男性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、高い傾向がみられます。

■ 市民活動の参加状況・参加意向

市民活動に参加をしている人は、2割弱となっています。女性よりも男性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、参加している人が多い傾向がみられます。地区別にみると、加古川北地区、両荘地区、志方地区では比較的高く、2割台となっています。

今後の参加意向がある人（「ぜひ、参加したい」「機会があれば参加したい」の合計）は6割弱となっており、参加していない人の中にも、参加意向のある人がいることがわかります。男性よりも女性の方が参加意向のある人が多いなかで、70歳以上女性は4割と他の年代よりも低くなっています。

■ 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度

市や居住地域に対する誇りや愛着を感じている人（「強く感じている」「感じている」の合計）は約6割となっています。30歳代男性では、5割台の人が誇りや愛着を感じていない（「あまり感じていない」「感じていない」の合計）と答えており、他の性年代と比較して高くなっています。

■ 加古川産を意識した農畜産物の購入状況

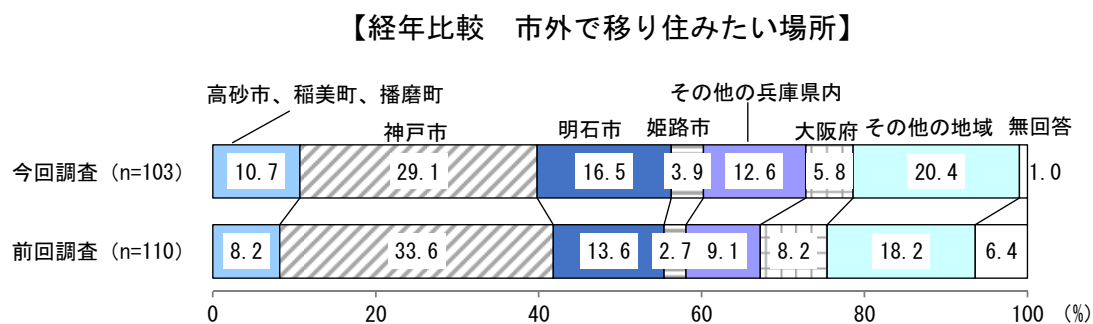
農畜産物を購入する際に加古川市産を意識していない（「あまり意識していない」「全く意識していない」の合計）と答えた人は約6割となっています。男性よりも女性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、加古川市産を意識して購入している人が多い傾向がみられます。地区別にみると、加古川北地区、志方地区においては、意識していないという人よりも、意識していると回答した人の方が多くなっています。

2. 経年比較

アンケート結果の分析において、前回調査の結果との差異がみられた項目について、考察をまとめます。

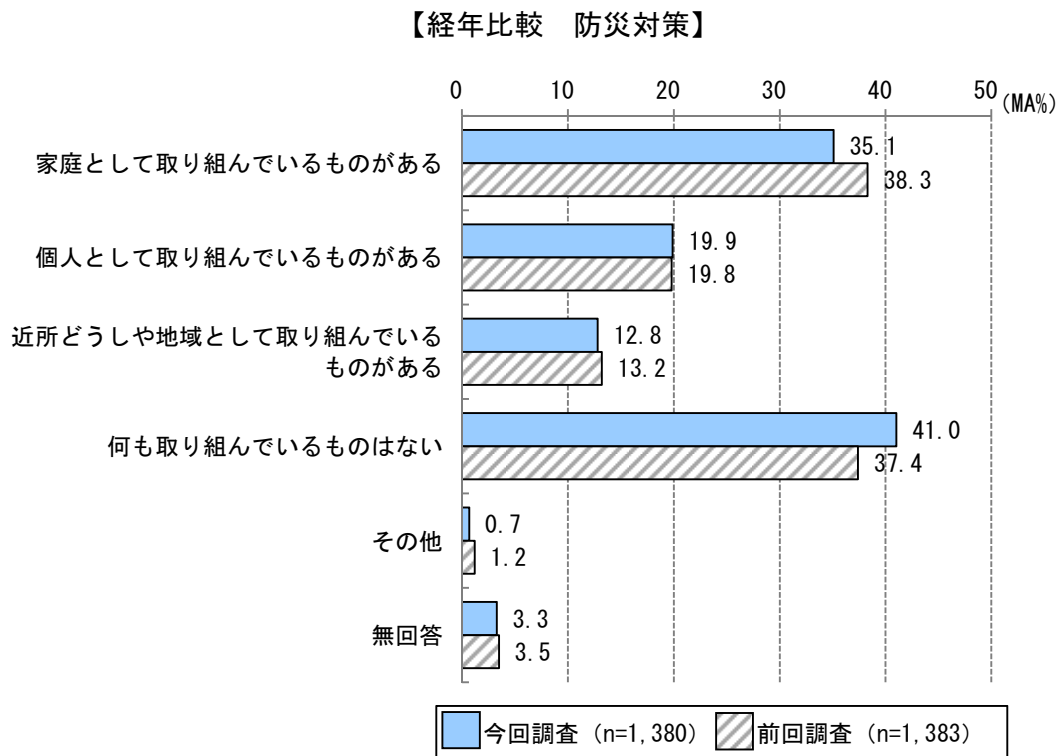
■ 市外で移り住みたい場所について

前回調査と比較して、「明石市」や「その他の兵庫県内」と回答する人が増加しています。



■ 防災対策について

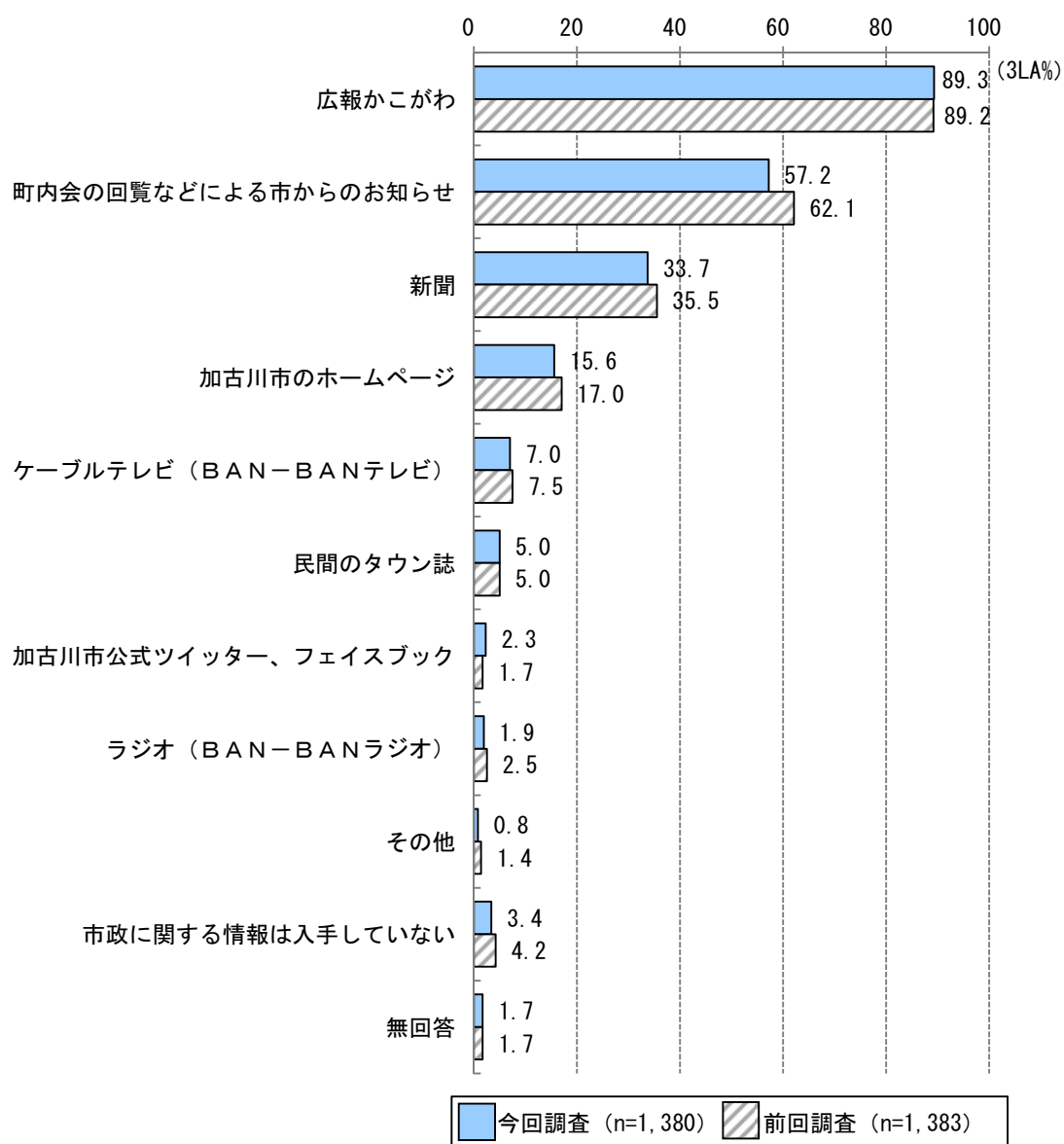
前回調査と比較して、「何も取り組んでいるものはない」と回答する人が増加しています。



■ 市政に関する情報の入手先について

前回調査と比較して、「町内会の回覧などによる市からのお知らせ」と回答する人が減少しています。

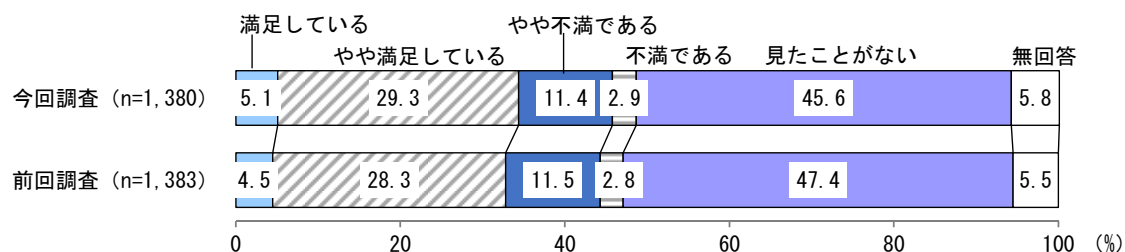
【経年比較 市政に関する情報の入手先】



■ 加古川市のホームページの満足度について

前回調査と比較して、「見たことがない」と回答する人が減少し、「満足している」「やや満足している」と回答する人が増加しています。

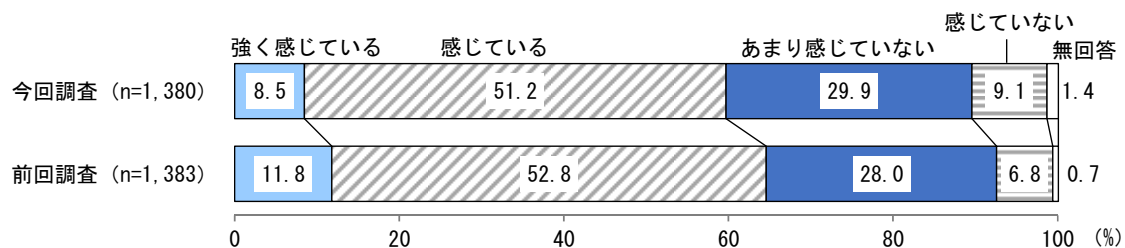
【経年比較 加古川市のホームページの満足度】



■ 郷土愛の意識について

前回調査と比較して、「あまり感じていない」「感じていない」と回答する人が増加しています。

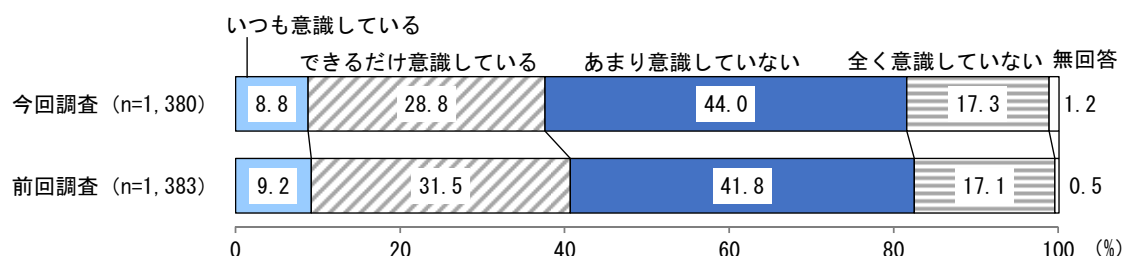
【経年比較 郷土愛の意識】



■ 地産地消の意識について

前回調査と比較して、「あまり意識していない」「全く意識していない」と回答する人が増加しています。

【経年比較 地産地消の意識】



平成29年度 市民意識調査 報告書
平成30年 3 月

加古川市 企画部 政策企画課
〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000番地
電話 (079) 427-9113